

習志野市市民意識調査
結果報告書

平成 24 年 10 月
習志野市

目次



第1章	市民意識調査の実施概要	1
第2章	調査票及び全体集計結果	9
第3章	調査結果の分析	27
第1節	住みよさと定住意向について	29
第2節	市政全般について	50
第3節	公共施設について	83
第4節	行政改革について	92
第5節	協働型社会の在り方について	100
第6節	行政情報について	128
第7節	都市のイメージ（将来像）について	132
第4章	調査結果のまとめ	139

第1章 市民意識調査の実施概要



1 調査の目的

本調査は、市民生活の現状、市民の行政に対する要望、および市政に対する評価の実態、市民のまちづくりに対する意識等を的確に把握し、今後の行政運営等に反映させるための基礎資料とすることを目的としました。

2 調査対象者・調査方法等

対象者	20歳以上の市民から10,000名を無作為抽出
実施時期	平成24年6月1日～6月14日
配布・回収方法	郵送による発送・回収

3 調査項目

項目	内容
基本属性・住居形態等	性別、年齢、住居地区、家族構成、職業（通勤・通学先を含む）、住居形態
住みよさと定住意向について	居住年数（転入の主な理由、前住地を含む）、住みよさ、住みよい／住みにくい理由、定住意向、定住／転出したい理由
市政全般について	特に重要な施策、優先順位が低くてもやむを得ない施策、具体的に取り組むべき施策、施策の満足度、施策に対する不満の理由
公共施設について	公共施設の施設数・規模について、公共施設再生にあたっての民間事業者の活用について、公共施設までの適正距離、各施設の優先順位
行政改革について	サービス水準と受益者負担について、公共施設の管理運営方法、今後取り組むべき行政改革の施策
協働型社会の在り方について	活動への参加状況、活動する団体、活動している内容、活動に参加していない理由、今後の活動意向、今後も活動しない理由、「まちづくり会議」の認知度、「地域担当制」の認知度、イベントへの参加状況、イベントの参加方法、参加しない理由
行政情報について	情報の入手方法、知りたい情報
都市のイメージ（将来像）について	希望する習志野市の都市イメージ、習志野市のイメージ（現在／10年後）

4 留意事項

- 質問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定質問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。また、質問ごとに全回答者数を $n=〇〇$ で表示しています。
- 質問には1つのみ答えるもの（シングルアンサー）と複数回答のもの（マルチアンサー）があり、マルチアンサーの質問では、表記の割合の合計は100%を超えます。
- 割合は選択肢ごとに小数第2位で四捨五入しているため、その割合の合計は100%にならないところがあります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いています。
- クロス集計結果のグラフや表について、表側となる質問に「無回答」は表示しないため、表側のカテゴリーの合計件数と全体の件数が一致しない場合があります。
- クロス集計結果の表について、表頭となる質問の選択肢で最大回答数を網掛け、表側となる質問の選択肢で最大回答数を斜体字で示し、いずれもゴシックフォントにて示します。ただし、性別のクロス集計に関しては対象外とします。

5 回収結果

回収票	4,113 票
回収率	41.1%

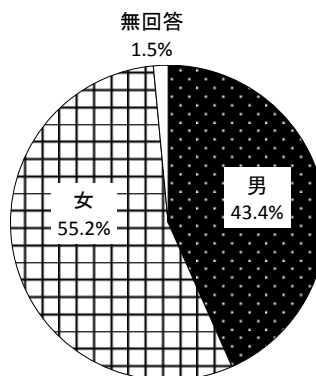
6 集計・分析のための地域区分

地区名	該当行政区域
谷 津	谷津1、5、6、7丁目
向 山	谷津2、3、4丁目、谷津町1、4丁目
袖ヶ浦 西	袖ヶ浦1、2、3丁目
袖ヶ浦 東	袖ヶ浦4、5、6丁目
津 田 沼	津田沼全域
鷺 沼 ・ 鷺 沼 台	鷺沼全域、鷺沼台全域
藤 崎	藤崎全域
大久保・泉・本大久保	大久保全域、泉町全域、本大久保1、2丁目
本大久保・花咲・屋敷	本大久保3、4、5丁目、花咲全域、屋敷全域
実 籾 ・ 新 栄	実籾全域、実籾本郷全域、新栄全域
実 花	東習志野1、6、7、8丁目
東 習 志 野	東習志野2、3、4、5丁目
秋 津 ・ 茜 浜	秋津・茜浜全域
香 澄 ・ 芝 園	香澄・芝園全域

7 基本属性

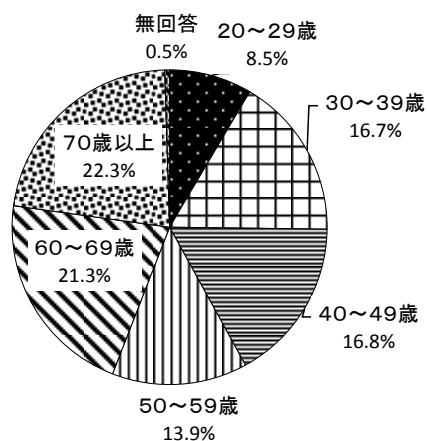
〔性別〕

	人数	構成比
男	1,784	43.4%
女	2,269	55.2%
無回答	60	1.5%
合計	4,113	100.0%



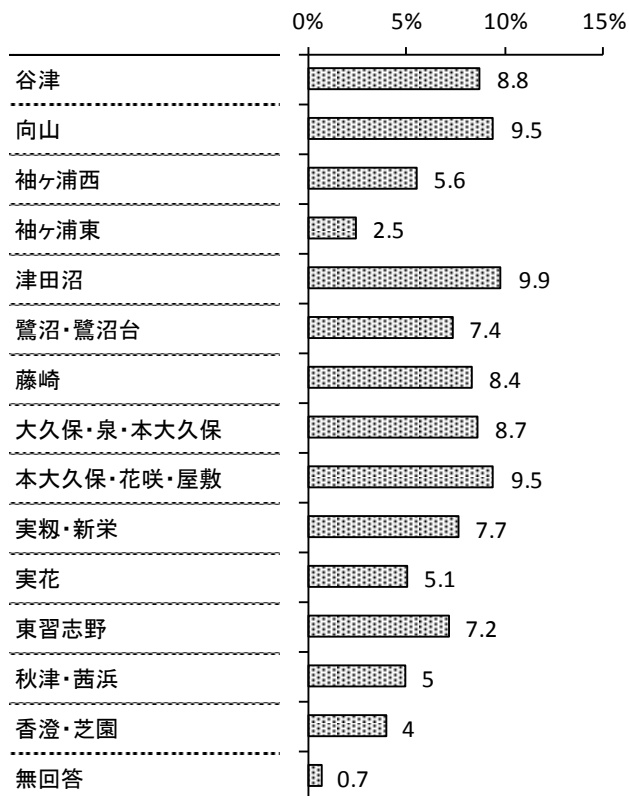
〔年齢〕

	人数	構成比
20～29歳	348	8.5%
30～39歳	685	16.7%
40～49歳	693	16.8%
50～59歳	572	13.9%
60～69歳	875	21.3%
70歳以上	918	22.3%
無回答	22	0.5%
合計	4,113	100.0%



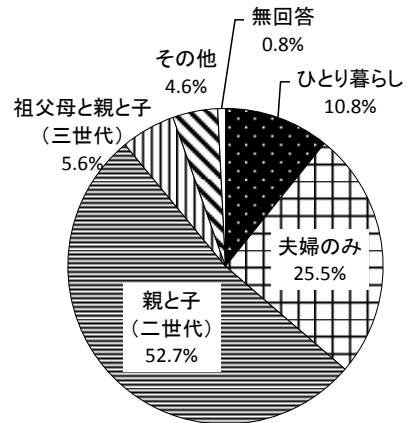
〔居住地区〕

	人数	構成比
谷津	361	8.8%
向山	392	9.5%
袖ヶ浦西	230	5.6%
袖ヶ浦東	104	2.5%
津田沼	407	9.9%
鷺沼・鷺沼台	304	7.4%
藤崎	345	8.4%
大久保・泉・本大久保	357	8.7%
本大久保・花咲・屋敷	391	9.5%
実籾・新栄	315	7.7%
実花	210	5.1%
東習志野	298	7.2%
秋津・茜浜	206	5.0%
香澄・芝園	165	4.0%
無回答	28	0.7%
合計	4,113	100.0%



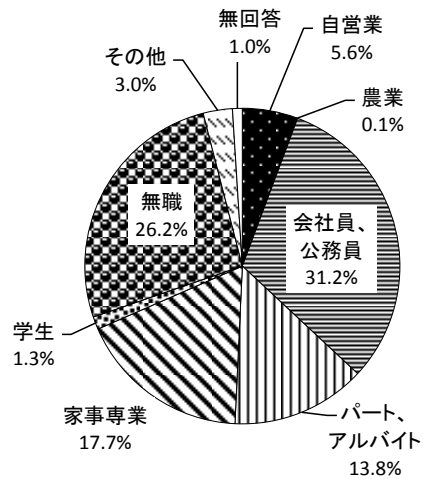
〔家族構成〕

	人数	構成比
ひとり暮らし	444	10.8%
夫婦のみ	1,050	25.5%
親と子（二世代）	2,166	52.7%
祖父母と親と子（三世代）	231	5.6%
その他	190	4.6%
無回答	32	0.8%
合計	4,113	100.0%



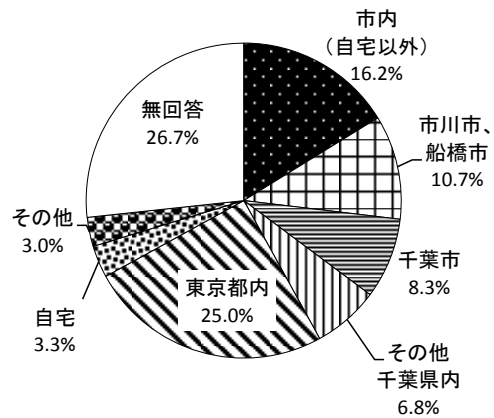
〔職業〕

	人数	構成比
自営業	229	5.6%
農業	6	0.1%
会社員、公務員	1,285	31.2%
パート、アルバイト	567	13.8%
家事専業	729	17.7%
学生	53	1.3%
無職	1,079	26.2%
その他	122	3.0%
無回答	43	1.0%
合計	4,113	100.0%



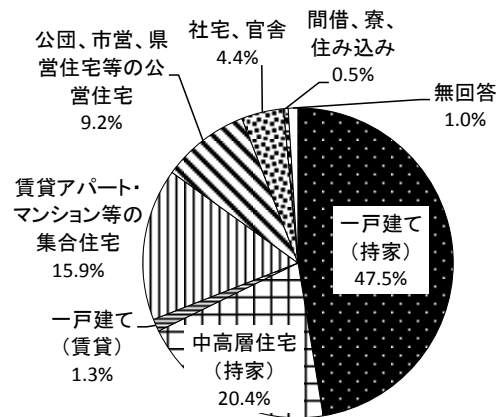
〔通勤・通学〕（職業で自営業、会社員・公務員、パート・アルバイト、学生、その他を回答した人）

	人数	構成比
市内（自宅以外）	484	16.2%
市川市、船橋市	319	10.7%
千葉市	249	8.3%
その他千葉県内	204	6.8%
東京都内	747	25.0%
自宅	99	3.3%
その他	90	3.0%
無回答	799	26.7%
合計	2,991	100.0%



〔住居形態〕

	人数	構成比
一戸建て（持家）	1,952	47.5%
中高層住宅（持家）	838	20.4%
一戸建て（賃貸）	52	1.3%
賃貸アパート・マンション等の集合住宅	652	15.9%
公団、市営、県営住宅等の公営住宅	378	9.2%
社宅、官舎	180	4.4%
間借、寮、住み込み	20	0.5%
無回答	41	1.0%
合計	4,113	100.0%



第2章 調査票及び全体集計結果



あなたの声をお聞かせください

習志野市市民意識調査

日ごろより、習志野市行政にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この度、本市では、以下の通り、市民意識調査を実施いたします。突然の依頼にて、ご迷惑、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

現在、本市では、平成12（2000）年に「市民一人ひとりが夢と輝きをもって自己実現できる都市（まち）習志野」を目指すべき都市の姿とした基本構想を定め、豊かな人間性と暖かさを育み、都市と自然が共生し、安全で安心な暮らしができ、活気あふれるいきいきとした「まち」を目指して、まちづくりを推進しています。

しかし、この基本構想を策定してから10年が経過する中においては、社会、経済情勢は大きく変化し、特に平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災では、本市も大きな被害を受けました。被害の復旧復興については多額の費用が掛かり、昨今、厳しい状況であった財政状況は、更に厳しい状況へ遷移していくことが想定されます。

本市では、今後、厳しい行財政運営が強いられる中においても、将来をどのように創っていくのか、市民の皆様には本市のまちづくりの方向性をきちんとお示ししていくことが必要と考え、次期基本構想の早期策定を目指しています。

そこで、次期基本構想の策定における基礎資料とするため、市民の皆様の意識をお伺いしたく市民意識調査を実施するものです。

なお、調査にあたっては、20歳以上の市民の方から10,000名を無作為に選ばせていただきました。調査は無記名で行い、結果は全て統計的に処理いたしますので、個人のお名前などが出ることは一切ありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年6月

習志野市長 宮本 泰介

～ ご記入にあたってのお願い ～

- 1 最初から1問ずつ、該当する質問にお答えください。
なお、お答えしにくい質問にはご回答いただかなくても結構です。
- 2 質問には、できるだけ宛名のご本人がお答えくださいますようお願いいたします。
(ただし事情によっては、ご家族の方がお答えいただいても結構です。)
- 3 回答方法に指示があるもの以外は、あてはまる番号に○をつけてください。
「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容を具体的に記入してください。

※ この調査票をご記入いただきましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒にて、6月14日(木)までにご投函ください(切手不要)。なお、住所・氏名はお書きにならないで結構です。

【問合せ】習志野市役所 企画政策部 企画政策課
電話 047(451)1151(内線)231・233

■ 基本属性・居住形態等について

F1 性別を教えてください。(1つだけに○)			n=4,113		
1 男	43.4%	2 女	55.2%	無回答	1.5%

F2 年齢を教えてください。(1つだけに○)			n=4,113		
1 20～29歳	8.5%	4 50～59歳	13.9%	7 70～74歳	10.3%
2 30～39歳	16.7%	5 60～64歳	10.4%	8 75歳以上	12.0%
3 40～49歳	16.8%	6 65～69歳	10.9%	無回答	0.5%

F3 お住まいの住所を教えてください。(1つだけに○)			n=4,113		
1 谷津1・5・6・7丁目	8.8%	8 鷺沼台	3.7%	15 屋敷	3.1%
2 谷津2・3・4丁目	9.3%	9 藤崎	8.4%	16 実籾、実籾本郷	6.2%
3 谷津町1・4丁目	0.3%	10 大久保	4.7%	17 新栄	1.4%
4 袖ヶ浦1・2・3丁目	5.6%	11 泉町	1.4%	18 東習志野1・6・7・8丁目	5.1%
5 袖ヶ浦4・5・6丁目	2.5%	12 本大久保1・2丁目	2.7%	19 東習志野2・3・4・5丁目	7.2%
6 津田沼	9.9%	13 本大久保3・4・5丁目	3.7%	20 秋津、茜浜	5.0%
7 鷺沼	3.7%	14 花咲	2.7%	21 香澄、芝園	4.0%
				無回答	0.7%

F4 家族構成を教えてください。(1つだけに○)			n=4,113		
1 ひとり暮らし	10.8%	4 祖父母と親と子(三世代)	5.6%		
2 夫婦のみ	25.5%	5 その他	4.6%		
3 親と子(二世代)	52.7%	無回答	0.8%		

F5 職業を教えてください。兼業の方は主なものを1つ選択してください。(1つだけに○)			n=4,113		
1 自営業	5.6%	4 パート、アルバイト	13.8%	7 無職	26.2%
2 農業	0.1%	5 家事専業	17.7%	8 その他	3.0%
3 会社員、公務員	31.2%	6 学生	1.3%	無回答	1.0%

F6 勤務先・通学先を教えてください。通勤・通学している方のみお答えください。(1つだけに○)			n=2,991		
1 市内(自宅以外)	16.2%	4 その他千葉県内	6.8%	7 その他	3.0%
2 市川市、船橋市	10.7%	5 東京都内	25.0%	無回答	26.7%
3 千葉市	8.3%	6 自宅	3.3%		

F7 お住まいの住居形態を教えてください。(1つだけに○)			n=4,113		
1 一戸建て(持家)	47.5%	4 賃貸アパート・マンション		6 社宅、官舎	4.4%
2 中高層住宅(持家)	20.4%	等の集合住宅	15.9%	7 間借、寮、住み込み	0.5%
3 一戸建て(賃貸)	1.3%	5 公団、市営、県営住宅等の		無回答	1.0%
		公営住宅	9.2%		

■ 住みよさと定住意向について

問1		あなたは、習志野市に住んで何年になりますか。(1つだけに○) n=4,113	
1	1年未満	2.9%	} 問1-1、1-2へ
2	1～5年未満	12.3%	
3	5～10年未満	11.6%	
4	10～20年未満	16.9%	} 問1-1、1-2へ
5	20年以上	47.3%	
6	生まれてからずっと	8.6%	} 問2へ
	無回答	0.4%	

(選択)	※ 問1で、「1～5」を選ばれた方のみ、ご回答ください。	
問1-1	習志野市にお住まいになった主な理由は何ですか。(○は2つまで) n=3,742	
1	居住環境が良い	24.6%
2	住宅の価格が手頃	17.0%
3	仕事の都合	14.1%
4	通勤・通学が便利	23.6%
5	買い物が便利	6.4%
6	教育水準が高い	0.9%
7	各種施設が充実している	0.8%
8	結婚	15.8%
9	家族の都合	18.8%
10	親類や友人が近くにいる	9.2%
11	行政サービスが充実している	0.5%
12	子育て支援が充実している	0.9%
13	特になし	6.1%
14	その他	6.5%
	無回答	1.8%

(選択)	※ 問1で、「1～5」を選ばれた方のみ、ご回答ください。	
問1-2	習志野市以外で最も長くお住まいだったのはどちらですか。(1つだけに○) n=3,742	
1	近隣市(千葉市・船橋市・八千代市・市川市・浦安市)	27.3%
2	その他県内市町村	12.5%
3	千葉県以外の関東	29.7%
4	その他国内	17.8%
5	海外	0.5%
	無回答	12.2%

問2		あなたが現在お住まいの場所は、住みやすいと感じますか。(1つだけに○) n=4,113	
1	住みやすい	38.7%	} 問2-1へ
2	まあ住みやすい	43.8%	
3	やや住みにくい	5.7%	} 問2-2へ
4	住みにくい	2.8%	
5	どちらともいえない	4.2%	} 問3へ
	無回答	4.8%	

(選択)	※ 問2で、「1」「2」を選ばれた方のみ、ご回答ください。	
問2-1	住みやすい、まあ住みやすいと感じる理由は何ですか。(○は3つまで) n=3,394	
1	交通が便利である	68.5%
2	住宅事情が良い	18.6%
3	教育環境に恵まれている	9.7%
4	子育て支援環境が充実している	3.8%
5	自然環境に恵まれている	20.8%
6	文化水準が高い	2.2%
7	災害が少ない	20.6%
8	人々が親切である	8.2%
9	落ち着いていて清潔である	15.1%
10	福祉・医療が充実している	6.9%
11	生活基盤整備が進んでいる(買い物便利等)	41.5%
12	街に活気が満ちている	1.5%
13	街並みが整備されている	7.7%
14	治安が良い	12.5%
15	その他	1.9%
	無回答	0.5%

(選択)	※ 問2で、「3」「4」を選ばれた方のみ、ご回答ください。				
問2-2	やや住みにくい、住みにくいと感じる理由は何ですか。(〇は3つまで)			n=350	
1	交通が不便である	38.9%	9	騒々しく雑然としている	13.7%
2	住宅事情が悪い	9.1%	10	福祉・医療が充実してない	12.6%
3	教育環境に恵まれていない	6.0%	11	生活基盤整備が遅れている	
4	子育て支援環境が充実していない	8.0%		(買い物不便等)	32.6%
5	自然環境に恵まれていない	8.3%	12	街に活気が乏しい	23.4%
6	文化水準が低い	5.1%	13	街並みが整備されていない	17.1%
7	災害の不安がある	19.1%	14	治安が悪い	8.9%
8	人々が不親切である	5.1%	15	その他	15.7%
				無回答	1.7%

問3	あなたは、今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思いますか。(1つだけに〇)				n=4,113		
1	住み続けたい	60.7%	} 問3-1へ	3	すぐにでも転出したい	1.8%	} 問3-2へ
2	将来転出すると思う	16.9%	} 問3-2へ	4	わからない	19.1%	} 問4へ
					無回答	1.4%	

(選択)	※ 問3で、「1」を選ばれた方のみ、ご回答ください。				
問3-1	住み続けたいと思う理由は何ですか。(1つだけに〇)			n=2,498	
1	愛着がある	23.6%	6	仕事の都合	1.6%
2	昔から住んでいる	11.8%	7	自然環境がよい	7.2%
3	通勤・通学が便利	8.5%	8	行政サービスが充実している	0.5%
4	買い物・遊びに便利	8.0%	9	土地、家屋所有のため	30.3%
5	地域の人の結びつきが強い	5.1%	10	その他	2.8%
				無回答	0.5%

(選択)	※ 問3で、「2」「3」を選ばれた方のみ、ご回答ください。				
問3-2	将来転出すると思う、すぐにでも転出したいと思う理由は何ですか。(1つだけに〇)			n=770	
1	周辺環境や風紀の悪化	6.2%	7	仕事の都合	17.7%
2	住宅の都合	18.8%	8	行政サービスが不十分	3.5%
3	通勤・通学が不便	5.5%	9	東日本大震災の影響	6.0%
4	買い物不便	3.4%	10	その他	11.7%
5	各種施設の整備不足	1.6%		無回答	0.9%
6	家族の都合	24.8%			

■ 市政全般について

問4		次の施策の中で特に重要だと思うものは何ですか。(〇は5つまで) n=4,113		
1	高齢者施策	66.2%	8 環境の施策	39.4%
2	障がい者(児)施策	18.0%	9 都市整備の施策	
3	子育て支援施策	43.9%	(交通関係の施策を含む)	45.0%
4	健康づくりの施策	24.1%	10 安全・安心で平和なまちづくりの施策	59.6%
5	学校教育の施策	28.3%	11 産業振興の施策	17.4%
6	生涯学習・生涯スポーツの施策	15.5%	12 観光振興の施策	3.5%
7	市民協働*の施策	14.6%	13 その他	2.7%
			無回答	1.6%

※「市民協働」とは、市民、市民活動団体、企業・学校などと市が互いの特性を理解し、対等な立場で共通の目標を達成するために協力・協調することをいいます。

問5		次の施策の中で、優先順位が低くてもやむを得ないと思う施策はどれですか。(〇は3つまで) n=4,113		
1	高齢者施策	8.0%	8 環境の施策	4.9%
2	障がい者(児)施策	3.8%	9 都市整備の施策	
3	子育て支援施策	3.1%	(交通関係の施策を含む)	11.4%
4	健康づくりの施策	11.5%	10 安全・安心で平和なまちづくりの施策	3.8%
5	学校教育の施策	2.6%	11 産業振興の施策	18.4%
6	生涯学習・生涯スポーツの施策	24.7%	12 観光振興の施策	64.2%
7	市民協働の施策	18.3%	13 その他	1.9%
			無回答	10.6%

問6		高齢者施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで) n=4,113		
1	高齢者住宅の確保	12.9%	9 高齢者医療など経済的支援の充実	27.5%
2	働く場の確保	22.6%	10 介護教室など介護者支援の充実	6.6%
3	趣味等の活動機会の創出	8.0%	11 ひとり暮らし高齢者等に対する	
4	ボランティア等の活動の場の創出	8.4%	相談体制の充実	24.3%
5	寝たきり予防に向けた検診の充実	10.0%	12 市内各所のバリアフリー*対策	11.6%
6	介護予防に向けた事業の充実	10.4%	13 その他	1.4%
7	在宅福祉サービスの充実	19.3%	無回答	1.8%
8	福祉・介護施設等の整備	22.8%		

※「バリアフリー」とは、高齢者、障がい者などの方々にとって、障壁となるものを取り除き生活しやすくすることを意味します。

問7		障がい者（児）施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。（〇は2つまで）		n=4,113	
1	住民参加による社会福祉の推進	8.6%	8	地域環境の整備	5.7%
2	相談・情報提供体制の充実	17.5%	9	防災体制の整備	5.0%
3	在宅福祉サービスの充実	11.6%	10	教育の充実	8.7%
4	施設福祉サービスの充実	17.6%	11	自主的活動の促進	9.0%
5	日中活動支援体制の充実	12.3%	12	市内各所のバリアフリー対策	14.5%
6	生活機能向上のための支援	21.3%	13	その他	1.3%
7	雇用対策・就労機会の充実	37.5%		無回答	7.3%

問8		子育て支援施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。（〇は2つまで）		n=4,113	
1	乳幼児の保育教育施設の整備	25.7%	7	子育てに関する学習・講座などの開催	4.6%
2	放課後児童会（学童保育）の充実	13.7%	8	親子がとにもくつろげる場所の確保	8.4%
3	子育てと就労の両立支援	35.8%	9	子どもの遊びに着目した取り組み	5.0%
4	母子保健*の充実	7.5%	10	子どもに対する相談窓口の充実	9.1%
5	時間外保育や短期の一時預かりなど、 保育メニューの充実	27.3%	11	子どもの医療費など経済的支援の充実	25.5%
6	保育ボランティアの育成	5.9%	12	その他	1.8%
				無回答	8.1%

※「母子保健」とは、妊娠中からの母子の健康、乳幼児の発育・発達等の子育て家庭の健康づくりにかかわることです。

問9		健康づくりの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。（〇は2つまで）		n=4,113	
1	母子保健の充実	7.2%	7	救急診療、休日・夜間診療等の充実	47.1%
2	小児救急医療体制の整備	17.3%	8	リハビリテーションの充実	7.5%
3	がん検診等健康診査の充実	22.9%	9	在宅医療の充実	16.8%
4	健康相談や健康教育の充実	11.0%	10	その他	1.1%
5	健康づくり事業の充実	12.4%		無回答	4.0%
6	医療施設の充実	32.2%			

問10		学校教育の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。（〇は2つまで）		n=4,113	
1	学校施設の整備	15.1%	7	特色ある学校づくりの推進	7.4%
2	確かな学力を培う教育の推進	26.8%	8	安全教育・安全管理の充実	6.1%
3	社会及び自然体験学習の充実	12.4%	9	いじめ、不登校を生まない教育の推進	35.7%
4	体育・運動能力の向上	6.0%	10	家庭や地域との連携	10.6%
5	教職員の資質の向上	39.1%	11	安全・安心、平和に関する教育の推進	6.6%
6	自己管理能力を育てる健康教育の推進	10.5%	12	その他	1.9%
				無回答	5.5%

問1 1		生涯学習・生涯スポーツの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)		n=4,113	
1	各種公民館講座の充実	15.9%	7	生涯学習指導者の育成	9.9%
2	公民館、図書館等、生涯学習施設の整備	32.5%	8	生涯スポーツ活動の機会の拡充	17.3%
3	スポーツ施設の整備・充実	26.5%	9	競技スポーツの振興	3.9%
4	図書館の充実	19.7%	10	青少年の健全育成の推進	14.7%
5	芸術・文化活動の機会の充実	13.4%	11	その他	1.6%
6	文化の保護や伝承	8.0%		無回答	7.5%

問1 2		市民協働の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)		n=4,113
1	まちづくりへの市民参画(まちづくり会議等)の促進	23.8%		
2	市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業、学校と市の連携・交流	32.4%		
3	町会、自治会活動の支援	23.2%		
4	市民活動団体*の支援	8.3%		
5	市民活動団体の人材の育成	8.2%		
6	ボランティア活動(個人)の支援	18.2%		
7	市民協働の理解、意識づくり	18.0%		
8	男女共同参画に関する意識の向上	5.7%		
9	平和事業の拡充	5.5%		
10	その他	1.5%		
	無回答			11.9%

※「市民活動団体」とは、不特定多数の人のために社会貢献活動をする非営利団体です。

問1 3		環境の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)		n=4,113	
1	環境学習講座等の充実	3.4%	8	環境美化運動・清掃活動の推進	14.6%
2	情報提供の推進	9.7%	9	路上喫煙・ポイ捨て等の防止の強化	24.9%
3	地球温暖化防止対策の推進	11.8%	10	公害対策の強化	7.2%
4	自然環境の保全	21.8%	11	エコ*の取り組みに対する支援の充実	10.6%
5	ごみの減量化・リサイクルの推進	27.4%	12	その他	1.8%
6	魅力ある街並みづくりの推進	17.9%		無回答	4.1%
7	公園や緑地の整備	25.0%			

※「エコ」とは、エコロジーの略。一般に「環境によい」という意味で用いられています。

(例：エコバッグ、エコカー、エコライフ等)

問1 4		都市整備の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)		n=4,113	
1	幹線道路の整備	10.7%	8	踏切道の改善・解消	16.4%
2	身近な生活道路の整備	27.9%	9	バス路線の利便性の拡大・充実	19.5%
3	未利用地の有効活用	16.6%	10	公共施設の老朽化対策	12.8%
4	駐車場・駐輪場の整備	7.7%	11	良好な住環境の維持、保全	18.0%
5	市内各所のバリアフリー対策	12.4%	12	景観施策の推進	2.9%
6	下水道の整備	7.9%	13	その他	2.7%
7	安全で安定した水道水・ガスの供給	22.9%		無回答	3.5%

問15		安全・安心で平和なまちづくりの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)		n=4,113	
1	防災・減災対策※ ¹ の推進	40.0%	8	市民の防犯意識の高揚	10.3%
2	防災倉庫等防災関連施設の整備	12.8%	9	防犯に配慮した都市環境整備	23.5%
3	消防・救急体制の整備・充実	22.3%	10	防災公園※ ² の整備	13.5%
4	地域防災活動の推進	10.2%	11	防災無線の充実	7.2%
5	市民の防災意識の高揚	10.5%	12	その他	1.4%
6	犯罪情報の提供	13.0%		無回答	3.8%
7	地域防犯活動の推進	13.6%			

※1「減災対策」とは、災害が起こってからのことよりも、災害が起こる前の事前の対策（例：住宅の耐震化、家具の転倒防止、個人や地域の防災力の強化等）に重点を置き、災害による被害を未然に減らす取り組みのことで。

※2「防災公園」とは、広域防災拠点、避難地、避難路としての役割をもつ都市公園および緩衝緑地のことです。

問16		産業（商業、工業、農業）振興の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)		n=4,113	
1	中小企業の支援・育成	21.2%	7	都市型農業の振興	11.7%
2	創業・起業への支援	6.7%		（農業後継者の育成、農地の有効活用等）	
3	中小企業資金融資制度の充実	4.4%	8	地産地消の推進	16.2%
4	商業・商店街の活性化	32.4%	9	職業技術取得への支援	4.9%
5	買い物しやすい環境整備 （買い物弱者※対策等）	32.5%	10	雇用・就業の支援 （雇用の場の創出・確保）	33.4%
6	工業の振興（新たな製品、技術の開発等）	3.6%	11	産学官連携の推進	2.7%
			12	その他	0.6%
				無回答	5.3%

※「買い物弱者」とは、商店街や商店などの廃業、撤退により、住んでいる地域や身近な場所で買い物ができない方（主に高齢者や障がい者）のことで。主な対策として、新たな出店や宅配、送迎サービス等があります。

問17		観光振興の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)		n=4,113	
1	観光資源の発掘・創出	30.3%	6	メディアを積極的に活用したPR	23.3%
2	観光を推進する民間組織の育成・構築	14.5%	7	友好都市（富士吉田市・南房総市）との	
3	情報提供等を行う観光拠点の設置	13.0%		交流	11.5%
4	観光ガイドの育成と充実	8.0%	8	その他	3.9%
5	ふるさと産品育成の支援	33.1%		無回答	14.1%

問18	次の各施策についてどのようにお感じですか。					
	(施策ごとに○は1つまで)					
高齢者施策	満足 2.6%	やや満足 20.5%	やや不満 14.2%	不満 8.2%	わからない 46.5%	無回答 8.0%
障がい者(児)施策	満足 1.8%	やや満足 13.3%	やや不満 9.1%	不満 4.5%	わからない 60.8%	無回答 10.5%
子育て支援施策	満足 2.8%	やや満足 21.4%	やや不満 15.2%	不満 8.6%	わからない 41.0%	無回答 10.9%
健康づくりの施策	満足 4.0%	やや満足 34.4%	やや不満 13.3%	不満 4.5%	わからない 33.7%	無回答 10.1%
学校教育の施策	満足 3.4%	やや満足 26.4%	やや不満 12.7%	不満 7.1%	わからない 39.4%	無回答 10.9%
生涯学習・生涯スポーツの施策	満足 3.9%	やや満足 26.5%	やや不満 12.4%	不満 4.8%	わからない 41.9%	無回答 10.6%
市民協働の施策	満足 1.5%	やや満足 16.3%	やや不満 9.7%	不満 3.5%	わからない 57.7%	無回答 11.3%
環境の施策	満足 3.7%	やや満足 31.1%	やや不満 17.6%	不満 8.3%	わからない 28.5%	無回答 10.8%
都市整備の施策	満足 2.8%	やや満足 27.5%	やや不満 19.8%	不満 14.1%	わからない 25.2%	無回答 10.5%
安全・安心で平和なまちづくりの施策	満足 3.5%	やや満足 31.5%	やや不満 17.2%	不満 8.2%	わからない 29.0%	無回答 10.6%
産業振興の施策	満足 0.9%	やや満足 13.3%	やや不満 13.6%	不満 6.8%	わからない 54.7%	無回答 10.8%
観光振興の施策	満足 1.2%	やや満足 12.4%	やや不満 11.8%	不満 7.1%	わからない 56.8%	無回答 10.8%

(選択) (記述) 問18-1	<p>※ 問18で、「やや不満」「不満」を選ばれた方のみ、ご回答ください。</p> <p>「不満」の理由はどのようなことでしょうか。</p>

■ 公共施設について

問19	習志野市の公共施設、特に建物は老朽化が進み、耐震補強、建て替えが急務となっています。しかし、そのためには多額の経費が必要であり、現在の施設数・規模を維持したまま、改修・改築を行っていくことは不可能であるとの試算結果*が出ています。施設数や規模について、どう考えますか。(〇は1つまで)	
	1 現状の施設数・規模を維持すべき	19.6%
	2 施設の統廃合等により、適切な施設数・規模に縮小していくべき	67.5%
	3 その他 無回答	4.9% 7.9%

*試算結果については、「習志野市公共施設再生計画策定に対する提言書」「習志野市公共施設再生計画基本方針」をご参照ください。(市のホームページ等でご覧になれます。)

問20	公共施設の建て替え、維持保全のためには、多額の経費や様々な技術・ノウハウが必要です。現在は、民間事業者の資金や技術力、アイデアを活用する様々な方法が開発、制度化されています。習志野市が取り組む公共施設再生にあたって、このような民間事業者の力を活用することについてどう考えますか。(1つだけに〇)			
	1 積極的に活用すべき	31.5%	3 行政が自ら行うべき	4.5%
	2 活用すべきだが、適切に判断してほしい	53.6%	4 どちらともいえない	4.1%
			無回答	6.3%

問21	公共施設までの距離は、どの程度の距離であれば不都合がないと考えますか。(1つだけに〇)			
	1 300メートル (歩いて3分半)	2.7%	5 3キロメートル (歩いて36分)	3.6%
	2 500メートル (歩いて6分)	17.7%	6 市内であれば、どこでも良い	7.3%
	3 1キロメートル (歩いて12分)	47.0%	7 その他	3.1%
	4 2キロメートル (歩いて24分)	13.5%	無回答	5.2%

※()内は、時速5キロメートルで歩いた時の所要時間です。

問22	将来の習志野市にとって、大切だと思う施設について、優先順位を番号としてつけてください。(1~5位まで必須、6位以降任意)	
	順位	順位
	1 小・中学校 (1位:1,432人,2位:387人,3位:416人,4位:181人,5位:123人)	13 高齢者福祉施設 (1位:709人,2位:367人,3位:346人,4位:370人,5位:386人)
	2 高等学校 (1位:47人,2位:530人,3位:182人,4位:279人,5位:160人)	14 障がい者(児)福祉施設 (1位:93人,2位:257人,3位:226人,4位:319人,5位:314人)
	3 鹿野山少年自然の家等の校外学習施設 (1位:12人,2位:25人,3位:60人,4位:51人,5位:81人)	15 ヘルスステーション等の保健施設 (1位:93人,2位:240人,3位:240人,4位:288人,5位:307人)
	4 給食センター (1位:21人,2位:65人,3位:136人,4位:129人,5位:173人)	16 市営住宅 (1位:77人,2位:74人,3位:89人,4位:86人,5位:133人)
	5 幼稚園 (1位:152人,2位:530人,3位:515人,4位:281人,5位:166人)	17 勤労会館等の勤労者施設 (1位:14人,2位:23人,3位:31人,4位:37人,5位:60人)
	6 保育所 (1位:543人,2位:583人,3位:546人,4位:384人,5位:198人)	18 谷津干潟自然観察センター等の自然環境保全施設 (1位:61人,2位:39人,3位:76人,4位:102人,5位:152人)
	7 公民館 (1位:34人,2位:70人,3位:121人,4位:164人,5位:202人)	19 市役所連絡所機能 (1位:246人,2位:128人,3位:174人,4位:211人,5位:281人)
	8 コミュニティセンター (1位:41人,2位:109人,3位:117人,4位:183人,5位:203人)	20 その他() (1位:52人,2位:26人,3位:20人,4位:24人,5位:26人)
	9 図書館 (1位:116人,2位:147人,3位:214人,4位:274人,5位:311人)	21 その他()
	10 文化ホール等のホール機能 (1位:42人,2位:83人,3位:86人,4位:108人,5位:143人)	22 その他()
	11 野球場・サッカー場・テニスコート (1位:25人,2位:43人,3位:63人,4位:96人,5位:114人)	無回答
	12 体育館 (1位:17人,2位:22人,3位:58人,4位:70人,5位:96人)	

■ 行政改革について

問23	少子高齢化が進む人口減少社会では、税や保険料を負担する生産年齢人口*の割合が減少します。今後、今と同じ行政サービスを提供するには、市民一人あたりのコストが増加します。サービス水準と受益者負担について、どう考えますか。	
	(1つだけに○)	
1	今よりサービス水準が低下してもやむを得ないので、受益者負担は今のままにしてほしい	41.4%
2	受益者負担が増えてもやむを得ないので、今のサービス水準を維持してほしい	37.5%
3	その他	11.6%
	無回答	9.5%

※「生産年齢人口」とは、年齢別人口のうち労働力の中核をなす15歳以上65歳未満の人口のこと。

問24	市民サービスを維持していくためにはマンパワーが必要ですが、現在、習志野市では、職員の削減を進めています。今後、サービスを維持するために、公共施設の管理運営の実施について、どう考えますか。				
	(1つだけに○)				
1	公設公営※1を維持して欲しい	12.8%	4	統廃合を進めて欲しい	19.7%
2	民営化※2を含め適切に対応して欲しい	35.4%	5	その他	2.7%
3	公設民営※3、民設民営※4として欲しい	21.1%		無回答	8.3%

※1「公設公営」とは、従来通り、行政が施設を建て、管理運営を行うこと。

※2「民営化」とは、その業務の実施に関して、行政は一切関知せず、民間事業者にすべて委ねること。

※3「公設民営」とは、行政が建てた施設を民間事業者が独立採算制を基本に運営する形態。

※4「民設民営」とは、行政が用地を提供し、民間事業者がその土地に施設を建て管理運営を行うこと。

問25	行政改革の施策として今後も特に取り組むべきだと思うものは何ですか。				
	(○は2つまで)				
1	収入に見合った事業の縮小・削減	30.3%	6	わかりやすい市役所の組織づくり	14.9%
2	職員数・人件費の削減	35.2%	7	公共サービスにおける市民の参画、市民協働の推進	8.6%
3	職員の資質向上	24.9%	8	業務の効率化、見直し	32.8%
4	行政改革の内容の情報提供及び情報公開	8.8%	9	その他	1.8%
5	民間委託・民間経営の推進	17.0%		無回答	5.8%

■ 協働型社会の在り方について

問26	本市では、協働型社会※の推進を目指しています。				
	あなたは現在、仕事や家庭以外で何か活動していますか。 (〇は1つまで)				
1 現在活動している	16.6%	} 問26-1、26-2へ	3 現在活動していないし、 今後も活動しない	44.1%	} 問26-5へ
2 現在活動していないが、 今後活動してみたい	31.2%		} 問26-3、26-4へ	4 その他	
			無回答	5.9%	

※「協働型社会」とは、NPO、ボランティア活動団体、企業、学校、町会・自治会、行政など多様な主体が公共サービスの担い手となり、地域の課題解決に向けて互いが協力・協調していく社会のこと。

(選択)	※ 問26で、「1」を選ばれた方のみ、ご回答ください。			
問26-1	どのような団体での活動ですか。 (〇はいくつでも)			
1 ボランティア団体・NPO等での活動	20.4%	5 社会福祉の活動	11.0%	
2 個人のボランティア活動	15.8%	6 サークル活動	36.5%	
3 町会・自治会・まちづくり会議での活動	34.4%	7 社会教育の活動	5.7%	
4 学校支援活動	13.3%	8 その他	4.8%	
			無回答	1.5%

(選択)	※ 問26で、「1」を選ばれた方のみ、ご回答ください。			
問26-2	活動されている内容は、以下のどれにあてはまりますか。 (〇はいくつでも)			
1 保健・福祉活動	16.8%	6 防犯活動	11.7%	
2 文化・芸術活動	20.1%	7 国際交流活動	2.9%	
3 スポーツ活動	22.7%	8 子どもの健全育成活動	13.2%	
4 環境保全活動	14.5%	9 社会教育活動	7.3%	
5 防災活動	11.1%	10 その他	7.9%	
			無回答	15.8%

(選択)	※ 問26で、「2」を選ばれた方のみ、ご回答ください。			
問26-3	現在活動していないのは、どのような理由ですか。 (〇はいくつでも)			
1 興味のある活動がない	6.8%	5 一緒に活動する人がいない	10.6%	
2 仕事が忙しい	42.6%	6 活動する場所がない	5.4%	
3 子育てが忙しい	15.5%	7 どのように始めたらよいかかわからない	36.3%	
4 どのような活動があるかわからない	45.7%	8 その他	6.1%	
			無回答	3.1%

(選択)	※ 問26で、「2」を選ばれた方のみ、ご回答ください。			
問26-4	今後活動される場合、活動してみたい内容は以下のどれにあてはまりますか。 (〇は2つまで)			
1 保健・福祉活動	20.5%	6 防犯活動	10.1%	
2 文化・芸術活動	24.0%	7 国際交流活動	11.2%	
3 スポーツ活動	21.4%	8 子どもの健全育成活動	20.9%	
4 環境保全活動	20.6%	9 社会教育活動	9.1%	
5 防災活動	9.6%	10 その他	1.6%	
			無回答	8.8%

(選択) 問26-5	※ 問26で、「3」を選ばれた方のみ、ご回答ください。 「活動しない」大きな理由は何ですか。 (1つだけに○)				
1	家事や仕事、学業等の事情	41.9%	4	興味がなく、活動したいと思わない	21.2%
2	興味はあるが、 内容や参加方法等がわからない	10.2%	5	活動内容に問題（不備、不満等）がある	1.7%
3	活動する場所や一緒に活動する人がいない	7.2%	6	その他	13.4%
				無回答	4.5%

問27	習志野市では、地域交流の場であり、課題や問題についてご議論頂く 「まちづくり会議」を開催していますが、その役割や内容についてご存知ですか。 (1つだけに○)			
1	「まちづくり会議」について知っている	18.7%		
2	「まちづくり会議」について知らない	74.7%		
3	その他	0.9%		
	無回答	5.6%		

問28	習志野市では、市職員が地域と密着して課題に取り組む「地域担当制」を導入し ていますが、その役割や内容についてご存知ですか。 (1つだけに○)			
1	「地域担当制」について知っている	7.8%		
2	「地域担当制」について知らない	87.0%		
3	その他	0.4%		
	無回答	4.8%		

問29	あなたは、これまでに習志野市主催のイベントや行事に参加したことはあります か。 (1つだけに○)						
1	積極的に参加している	2.7%	} 問29-1へ	3	参加したことがない	56.9%	} 問29-2へ
2	時折、参加している	33.9%		4	その他	1.6%	
				無回答	4.8%		

(選択) 問29-1	※ 問29で、「1」「2」を選ばれた方のみ、ご回答ください。 パブリックコメント、市・地区主催のイベントや行事などを通じ、市政のあり方 についての意見を述べたことがありますか。または、議会や委員会等の傍聴や、 公募委員を経験したことがありますか。 (1つだけに○)				
1	ある	11.0%	3	その他	0.4%
2	ない	86.5%		無回答	2.1%

(選択) 問29-2	※ 問29で、「3」を選ばれた方のみ、ご回答ください。 「参加したことがない」大きな理由はなんですか。 (1つだけに○)				
1	家事や仕事、学業等の家庭事情	28.9%	4	内容に問題（不備、不満等）がある	1.3%
2	内容や参加方法を知らなかった	40.3%	5	その他	4.8%
3	興味がなく、参加したいと思わない	19.9%		無回答	4.9%

■ 行政情報について

問30		あなたは、市からの情報を得る手段として、どのような方法を利用していますか。 (〇は2つまで)		
1	広報紙	77.6%	6 公共施設でのお知らせ	4.4%
2	習志野市ホームページ	27.8%	7 テレビ広報	3.8%
3	その他インターネット	1.9%	8 新聞(タウン誌などを含む)	11.2%
4	地域の回覧板	28.9%	9 携帯電話	2.2%
5	地域の掲示板	4.3%	10 その他	1.5%
			無回答	3.9%

問31		あなたが、市民として知りたい情報は何か。 (〇は3つまで)		
1	新しい制度や事務手続き	49.1%	9 市の行事等の予定	18.1%
2	市内施設の紹介・利用方法・予約状況	38.3%	10 地域の歴史文化	4.3%
3	市長の基本的な考え方	11.3%	11 市内の企業情報	3.1%
4	市議会の動向	7.6%	12 市民相互の情報交換	3.0%
5	市の予算の使い方	24.2%	13 市民サークル等の募集や活動	13.7%
6	市のサービスの内容	38.8%	14 市内の観光情報	3.6%
7	市の今後の計画	27.3%	15 その他	1.4%
8	市の人口などの基本的な統計	1.5%	無回答	5.6%

■ 都市のイメージ（将来像）について

問32		あなたは、習志野市がどのようなまちになってほしいと思いますか。 (1つだけに○)		
1	市内の産業を育成し、経済的に豊かな都市	8.1%	7 互いを認め合い、尊重し合える都市	1.3%
2	商業施設などの集積した地域の中核的都市	1.8%	8 安心して子育てができる子育て支援環境の充実した都市	9.0%
3	生活環境の整った快適で住みやすい都市	29.7%	9 防災・防犯が行き届き、安全・安定した生活を送れる都市	16.8%
4	教育・文化などの充実した文教都市	7.1%	10 その他	0.7%
5	保健・医療・福祉などの充実した福祉都市	18.9%	無回答	4.5%
6	緑の豊かな都市	2.0%		

問33		「 <u>現在</u> 」の習志野市のイメージに合う言葉を選んでください。 (○は3つまで)				
1	やさしい	5.2%	12 落ち着いた	22.5%	23 いきいきした	3.2%
2	開放的な	3.6%	13 あたたかい	4.7%	24 豊かな	3.5%
3	明るい	10.0%	14 安全な	16.4%	25 静かな	18.8%
4	整然とした	4.4%	15 楽しい	1.5%	26 その他	13.5%
5	近代的な	2.4%	16 美しい	1.5%	()	
6	親しみのある	21.6%	17 にぎやかな	2.7%	27 その他	
7	力強い	0.5%	18 充実した	3.5%	()	
8	人情味のある	5.4%	19 若々しい	2.4%	28 その他	
9	伝統的な	3.4%	20 素朴な	17.4%	()	
10	さわやかな	4.5%	21 個性的な	1.3%	無回答	10.5%
11	のんびりした	23.0%	22 創造的な	0.6%		

問34		「 <u>10年後</u> 」の習志野市のイメージとして次のどの言葉がふさわしいと思いますか。 (○は3つまで)				
1	やさしい	8.3%	12 落ち着いた	13.8%	23 いきいきした	19.3%
2	開放的な	4.2%	13 あたたかい	11.0%	24 豊かな	21.1%
3	明るい	13.5%	14 安全な	35.9%	25 静かな	6.0%
4	整然とした	5.5%	15 楽しい	3.4%	26 その他	3.8%
5	近代的な	6.1%	16 美しい	6.6%	()	
6	親しみのある	17.1%	17 にぎやかな	2.8%	27 その他	
7	力強い	4.0%	18 充実した	17.9%	()	
8	人情味のある	11.3%	19 若々しい	1.9%	28 その他	
9	伝統的な	2.0%	20 素朴な	2.5%	()	
10	さわやかな	3.0%	21 個性的な	2.1%	無回答	8.0%
11	のんびりした	5.0%	22 創造的な	3.8%		

■ 記述質問

(記述)

問35

今後 10 年間を見据え、習志野市では今、何をすべきだと考えますか。

ご協力ありがとうございました。

今回いただきましたご意見は、

大切に活用させていただきます。

今後とも市政にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

※ご記入いただいた調査票は、6月14日(木)までに、

同封の封筒に入れて切手を貼らずに投函してください。

ありがとうございました。

第3章 調査結果の分析



第1節 住みよさと定住意向について

1-1 居住年数

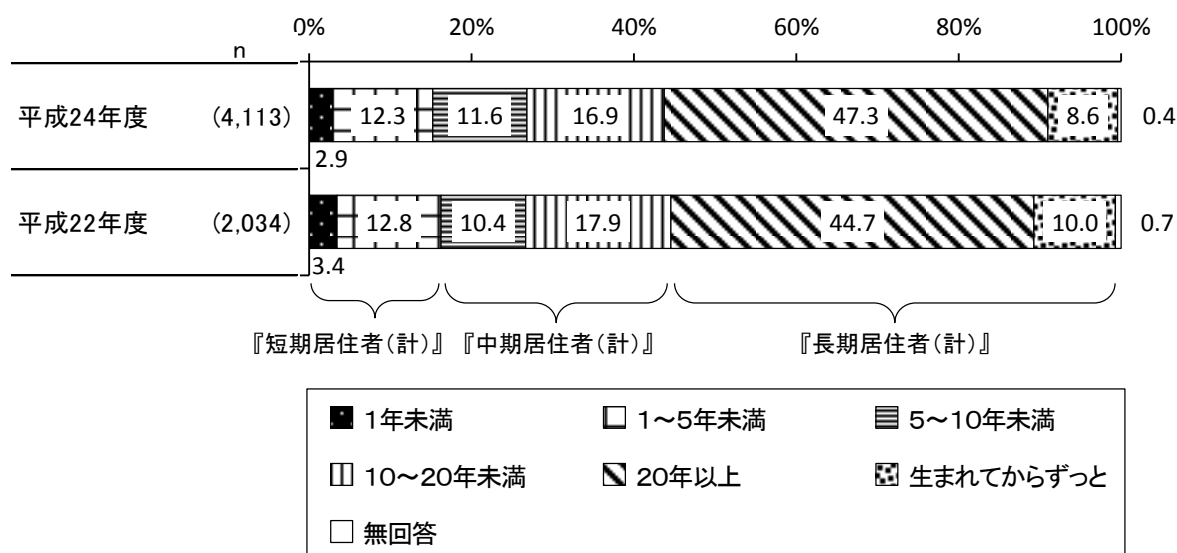
『長期居住者』が5割半ばで、増加傾向。

問1 あなたは、習志野市に住んで何年になりますか。(1つだけに○)

居住年数は「1年未満」と「1～5年未満」を合わせた『短期居住者』は15.2%、「5～10年未満」と「10～20年未満」を合わせた『中期居住者』は28.5%、「20年以上」と「生まれてからずっと」を合わせた『長期居住者』は55.9%となっています。『長期居住者』は半数を超え、年々増加傾向となっています。

前回調査との推移をみると、『長期居住者』、『短期居住者』、『中期居住者』ともに、ほぼ横ばいとなっています。

図 1-1-1

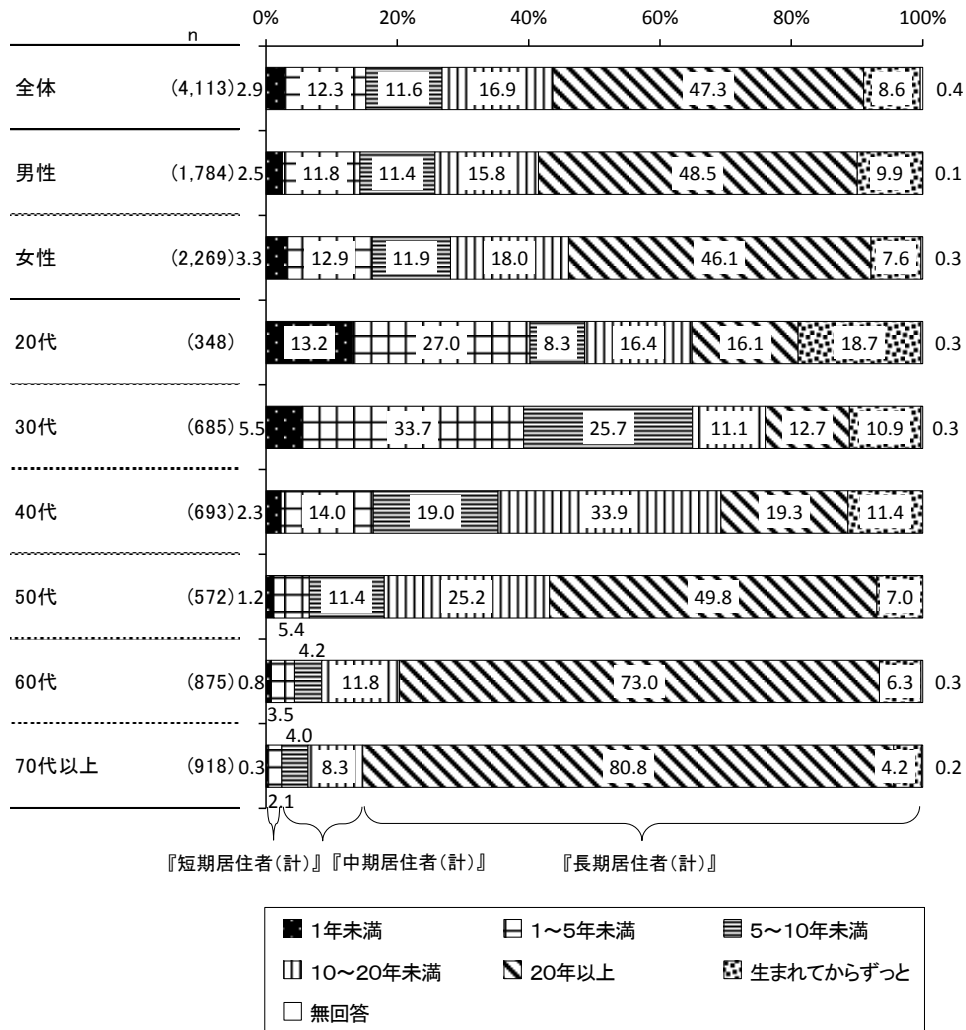


※ 『短期居住者』 = 「1年未満」「1～5年未満」の合計
 『中期居住者』 = 「5～10年未満」「10～20年未満」の合計
 『長期居住者』 = 「20年以上」「生まれてからずっと」の合計
 以下、同様

性別にみると、男性と女性では居住年数に大差はみられません。

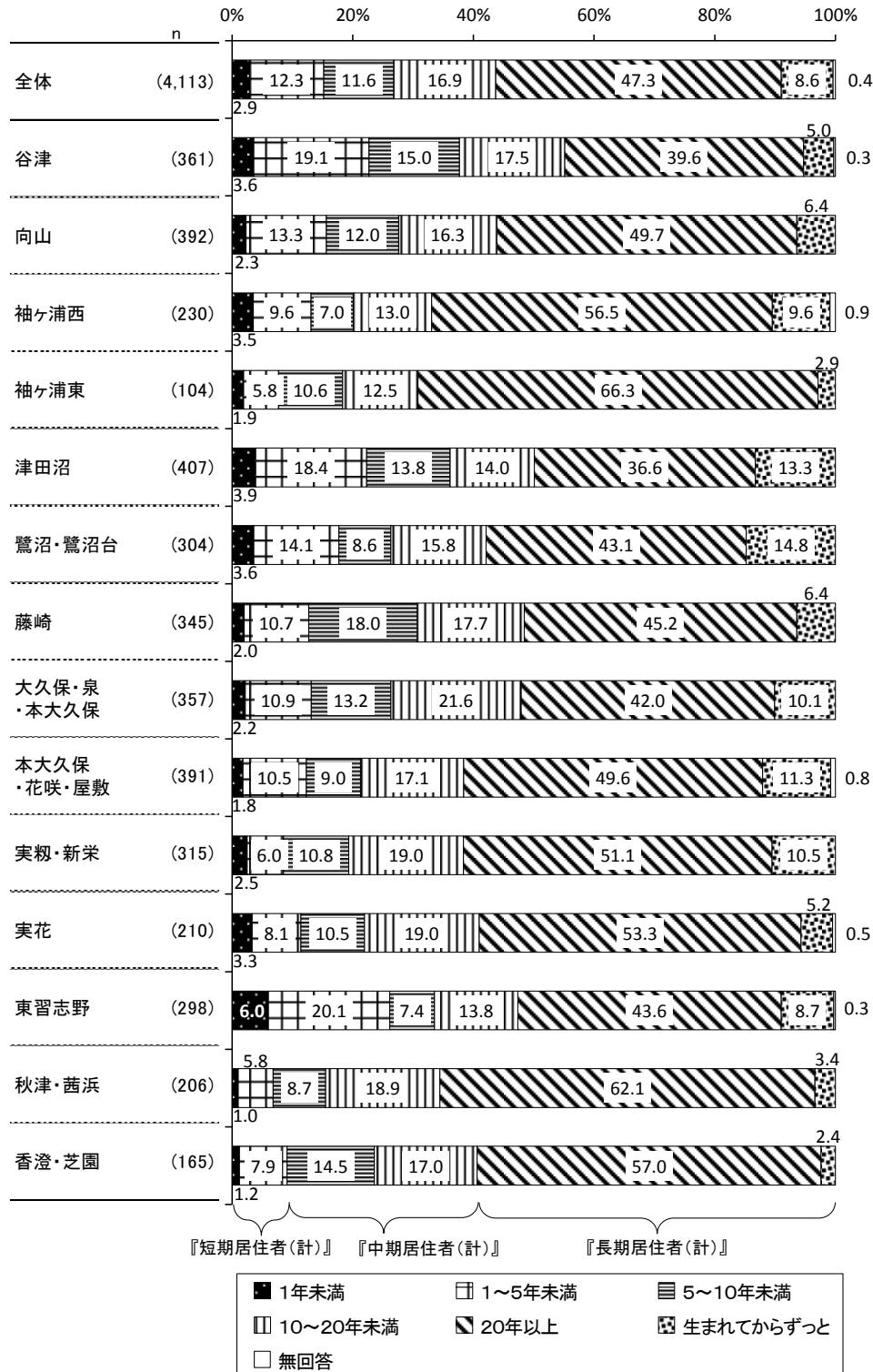
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて居住年数が長くなる傾向があります。「1年未満」は20代で13.2%、「1～5年未満」は30代で33.7%、「5～10年未満」は30代で25.7%、「10～20年未満」は40代で33.9%と多くなっています。50代以上では『長期居住者』が半数以上となり、70歳以上では8割を超えています。

図 1- 1- 2 居住年数：性別・年齢別



居住地区別にみると、『短期居住者』は東習志野が 26.1%、谷津が 22.7%、津田沼が 22.3%で 2 割を占め、『中期居住者』は藤崎が 35.7%、大久保・泉・本大久保が 34.8%、谷津が 32.5%、香澄・芝園が 31.5%と多く 3 割から 3 割半ばとなっています。『長期居住者』は袖ヶ浦東が 69.2%、袖ヶ浦西が 66.1%、秋津・茜浜が 65.5%、実籾・新栄が 61.6%、本大久保・花咲・屋敷が 60.9%で多くなっています。

図 1- 1- 3 居住年数：居住地区別



1-2 居住理由と前住地

居住理由は「通勤・通学が便利」が2割、千葉県内からの転入は4割。

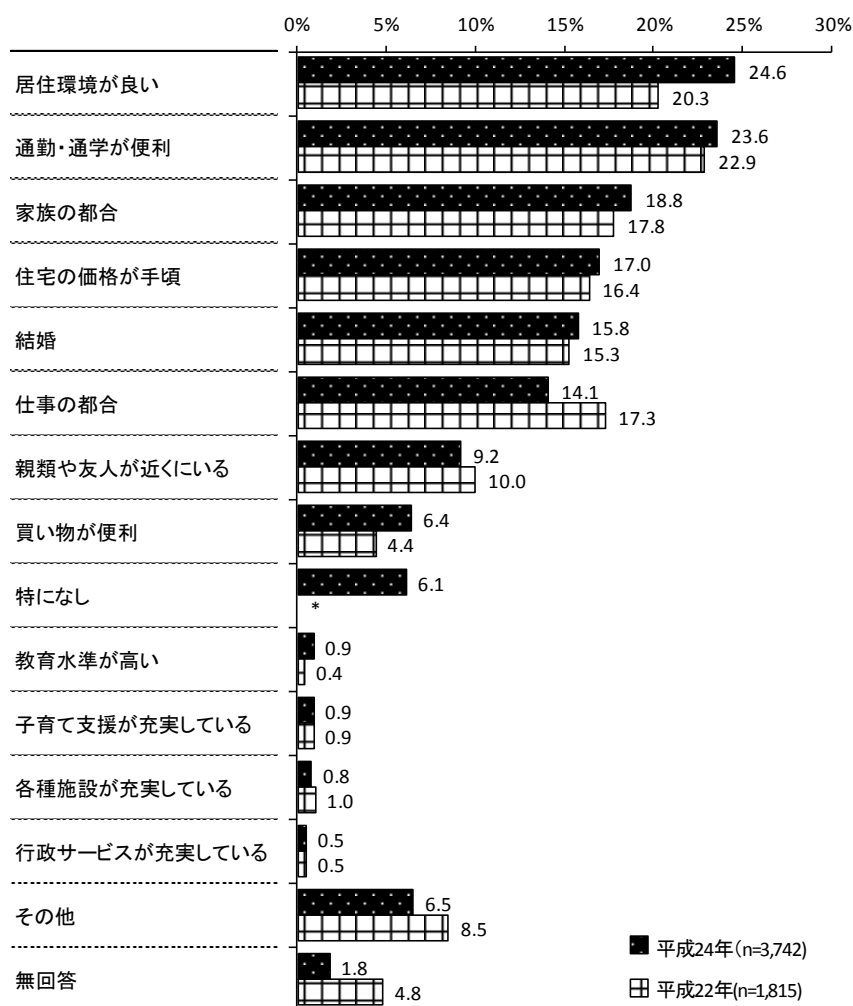
問1-1 ※問1で、「1年未満～20年以上」を選ばれた方のみ、ご回答ください。

習志野市にお住まいになった主な理由は何ですか。(〇は2つまで)

習志野市に住むようになった3,742人に理由を聞くと、「居住環境が良い」が24.6%で最も多く、次いで「通勤・通学が便利」が23.6%、「家族の都合」が18.8%となっています。

前回調査との推移をみると、「居住環境が良い」は4.3ポイント増加し、「仕事の都合」は3.2ポイント減少しています。

図 1-2-1



※「特になし」は平成24年度より追加

性別にみると、男性は女性より「通勤・通学が便利」が 8.9 ポイント、「仕事の都合」が 5.9 ポイント高く、女性は男性より「結婚」が 10.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「家族の都合」は 20 代で 4 割を占めています。年齢が高くなるにつれて「居住環境がよい」は増加傾向となっています。

居住年数別にみると、「居住環境がよい」は香澄・芝園で 4 割弱と多く、秋津・茜浜や袖ヶ浦東、向山でも 3 割を超えています。「通勤・通学が便利」は谷津、向山、津田沼で 3 割となっています。

居住年数別にみると、「住宅の価格が手頃」「結婚」は 1 年未満で 2 割以上と多くなっています。「通勤・通学が便利」は 1 年以上の居住年数で 2 割半ばを超えています。居住年数が長くなるにつれて「居住環境がよい」は増加しています。

表 1- 2- 1 居住理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別

(%)

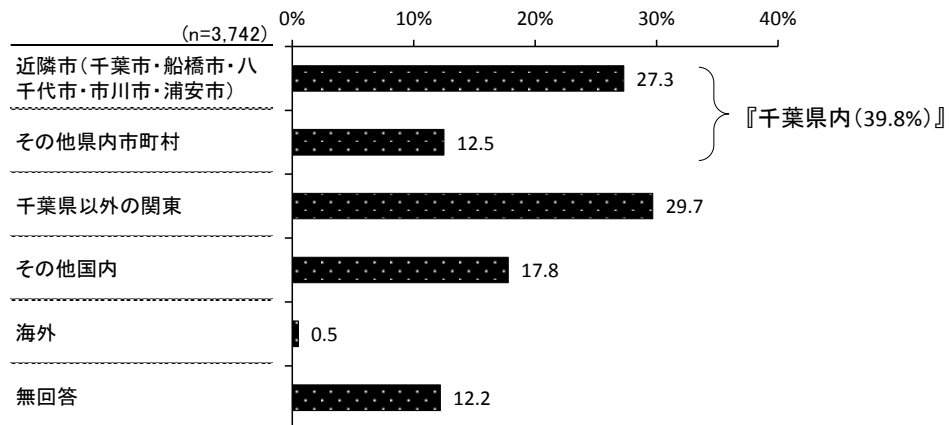
		全 体 (n)	居住環境がよい	住宅の価格が手頃	仕事の都合	通勤・通学が便利	買い物 が便利	教育水準 が高い	各種施設 が充実している	結婚	家族の 都合	親類や友人 が近くに いる	行政サー ビスが充 実している	子育て支 援が充実 している	特になし	その他	無回答
全体		3,742	24.6	17.0	14.1	23.6	6.4	0.9	0.8	15.8	18.8	9.2	0.5	0.9	6.1	6.5	1.8
性別・ 年齢別	男	1,606	26.1	17.7	17.4	28.6	5.9	0.9	0.7	10.2	16.9	8.3	0.7	0.7	7.0	6.9	1.7
	女	2,089	23.5	16.4	11.5	19.7	6.7	0.9	0.9	20.3	20.3	10.1	0.2	1.1	5.2	6.2	1.9
	20代	282	13.8	7.8	13.1	23.0	6.4	0.7	-	16.0	40.8	6.0	-	0.7	3.5	7.4	0.4
	30代	608	20.7	18.6	16.6	25.0	6.1	1.3	0.5	20.6	20.2	10.9	0.2	2.1	3.1	4.4	0.3
	40代	614	22.5	14.3	16.3	28.8	6.2	1.3	0.8	15.6	21.0	15.1	-	1.8	2.9	7.8	0.5
	50代	532	26.7	14.1	16.4	25.0	7.0	0.9	1.3	15.0	20.1	9.0	-	0.4	4.3	7.0	1.7
	60代	817	27.7	23.0	13.7	24.7	4.9	0.7	0.5	16.6	13.5	6.0	0.7	0.5	7.7	5.9	1.8
	70歳以上	877	28.7	16.9	10.1	17.2	7.8	0.6	1.3	12.4	13.1	8.3	1.1	0.2	10.9	7.0	4.3
居住地区別	谷津	342	25.1	10.5	15.2	31.0	8.5	1.5	0.6	14.9	19.0	5.8	0.3	0.9	6.1	9.4	1.8
	向山	367	33.5	17.2	12.3	30.8	7.4	0.8	0.8	11.7	18.8	9.3	0.3	0.3	3.5	6.0	0.8
	袖ヶ浦西	206	18.0	17.0	9.2	26.7	9.7	-	1.0	17.5	19.4	10.7	-	-	10.2	3.9	1.0
	袖ヶ浦東	101	33.7	12.9	11.9	14.9	3.0	-	1.0	15.8	15.8	10.9	-	1.0	10.9	5.0	1.0
	津田沼	353	19.8	9.3	20.1	33.7	12.2	0.3	0.6	13.6	17.0	9.9	-	0.6	3.4	6.2	1.1
	鷺沼・鷺沼台	259	20.8	16.2	12.7	25.7	4.2	0.8	0.4	22.0	17.0	10.8	0.8	0.8	6.6	5.8	1.2
	藤崎	323	22.3	18.0	17.0	26.6	7.4	1.2	0.6	15.5	17.6	7.7	0.3	1.2	5.3	8.0	1.5
	大久保・泉・本大久保	321	23.4	13.1	13.7	18.1	6.9	1.6	0.6	17.1	23.1	9.7	-	1.6	7.2	6.2	2.8
	本大久保・花咲・屋敷	344	24.7	27.6	11.3	24.1	3.2	1.2	0.6	13.7	18.3	9.9	0.9	0.9	6.4	5.8	1.5
	実籾・新栄	282	16.0	18.1	12.8	18.1	2.1	0.4	0.4	27.3	19.9	11.3	0.7	1.1	8.9	5.0	1.4
	実花	198	17.7	17.2	22.7	12.1	7.6	-	0.5	20.2	19.7	7.1	1.0	1.0	8.6	5.1	0.5
	東習志野	271	24.7	21.8	15.1	10.7	6.6	1.5	1.5	17.7	16.6	10.3	1.5	2.2	6.3	5.2	4.4
	秋津・茜浜	199	36.7	23.1	10.1	21.6	3.5	1.5	3.0	8.5	22.1	7.5	-	0.5	3.0	7.5	4.5
	香澄・芝園	161	38.5	16.8	8.7	21.1	1.2	1.2	0.6	13.0	17.4	9.9	0.6	0.6	3.7	11.8	2.5
居住年数別	1年未満	118	16.1	22.9	17.8	22.0	10.2	1.7	-	20.3	15.3	9.3	-	0.8	4.2	6.8	-
	1～5年未満	505	18.4	21.8	18.6	27.3	8.5	2.0	0.8	16.4	17.0	11.9	0.8	1.6	2.6	6.9	0.6
	5～10年未満	476	22.9	16.6	18.5	26.9	5.5	0.4	0.8	15.8	18.5	10.3	0.4	1.3	3.6	5.3	1.7
	10～20年未満	696	27.2	14.1	9.9	26.1	8.5	0.6	1.1	12.4	23.6	10.6	0.3	1.0	5.6	6.9	1.1
	20年以上	1,947	26.2	16.5	13.1	21.0	5.0	0.9	0.7	16.6	17.8	7.8	0.5	0.6	8.0	6.5	2.6

問1-2 ※問1で、「1年未満～20年以上」を選ばれた方のみ、ご回答ください。
 習志野市以外で最も長くお住まいだったのはどちらですか。(1つだけに○)

習志野市に住むようになった3,742人に前住地を聞くと、「千葉県以外の関東」が29.7%で最も多く、次いで「近隣市」が27.3%、「その他国内」が17.8%となっています。

前回調査では『千葉県内』は50.1%で、今回は10.3ポイント減少しています。

図 1- 2- 2



性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっていますが、男性は「その他国内」が5.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「千葉以外の関東」は60代以上で3割以上を占めています。一方、「近隣市」は20代から50代で多く3割前後となっています。

居住地区別にみると、「近隣市」は香澄・芝園と東習志野、実花で3割半ばから3割強、「千葉県以外の関東」は袖ヶ浦西と袖ヶ浦東で4割弱を占めています。

居住年数別にみると、「近隣市」は1年未満が3割半ばと多くなっています。一方、「千葉県以外の関東」は20年以上で3割半ばとなっています。

表 1- 2- 2 前住地：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別

(%)

		全 体 (n)	近隣市 (千葉市・市川市・浦安市・八千代市)	その他県内市町村	千葉県以外の関東	その他国内	海外	無回答
全体		3,742	27.3	12.5	29.7	17.8	0.5	12.2
性別・年齢別	男	1,606	26.0	12.5	31.5	21.0	0.5	8.5
	女	2,089	28.2	12.6	28.3	15.5	0.5	14.9
	20代	282	29.1	13.1	18.8	22.7	1.1	15.2
	30代	608	28.9	15.3	25.3	17.6	0.7	12.2
	40代	614	30.9	13.5	27.9	17.8	0.5	9.4
	50代	532	29.1	10.9	28.4	21.4	0.6	9.6
	60代	817	27.4	12.7	31.8	18.0	0.4	9.7
	70歳以上	877	21.7	10.3	36.6	14.1	0.2	17.1
居住地区別	谷津	342	26.6	13.2	26.9	18.1	1.2	14.0
	向山	367	24.5	9.8	34.1	21.5	0.8	9.3
	袖ヶ浦西	206	23.8	7.8	39.8	12.6	0.5	15.5
	袖ヶ浦東	101	23.8	12.9	37.6	19.8	1.0	5.0
	津田沼	353	21.5	15.6	28.6	23.8	0.3	10.2
	鷺沼・鷺沼台	259	27.8	16.6	25.5	16.6	-	13.5
	藤崎	323	26.3	11.8	32.2	18.9	0.6	10.2
	大久保・泉・本大久保	321	26.2	11.5	29.3	20.2	0.3	12.5
	本大久保・花咲・屋敷	344	29.9	13.7	26.5	16.6	0.3	13.1
	実籾・新栄	282	25.2	13.1	30.5	13.5	-	17.7
	実花	198	33.3	14.1	23.2	16.7	1.0	11.6
	東習志野	271	36.5	13.3	24.0	14.0	-	12.2
	秋津・茜浜	199	24.1	9.0	33.7	19.6	1.0	12.6
香澄・芝園	161	36.6	10.6	32.9	11.2	-	8.7	
居住年数別	1年未満	118	36.4	13.6	24.6	15.3	-	10.2
	1～5年未満	505	29.9	14.9	24.4	22.0	0.4	8.5
	5～10年未満	476	32.6	13.9	25.2	17.0	0.4	10.9
	10～20年未満	696	33.3	12.5	23.7	19.1	0.6	10.8
	20年以上	1,947	22.5	11.5	34.7	16.6	0.5	14.1

1-3 住みよさ

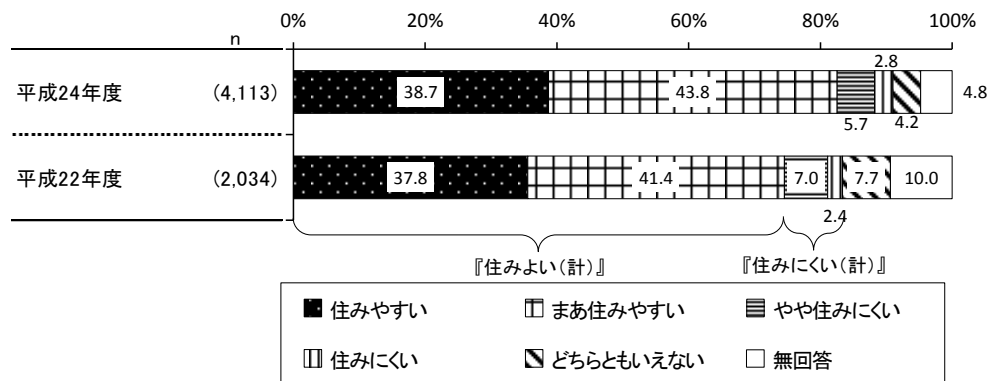
『住みよい』は8割。

問2 あなたが現在お住まいの場所は、住みやすいと感じますか。(1つだけに○)

現在の居住地の住みやすさについては「まあ住みやすい」が43.8%で最も多く、「住みやすい」の38.7%と合わせた『住みよい』が82.5%となっています。

前回調査との推移をみると、「住みやすい」も「まあ住みやすい」も割合が増えています。また、『住みにくい』は減少傾向となっています。

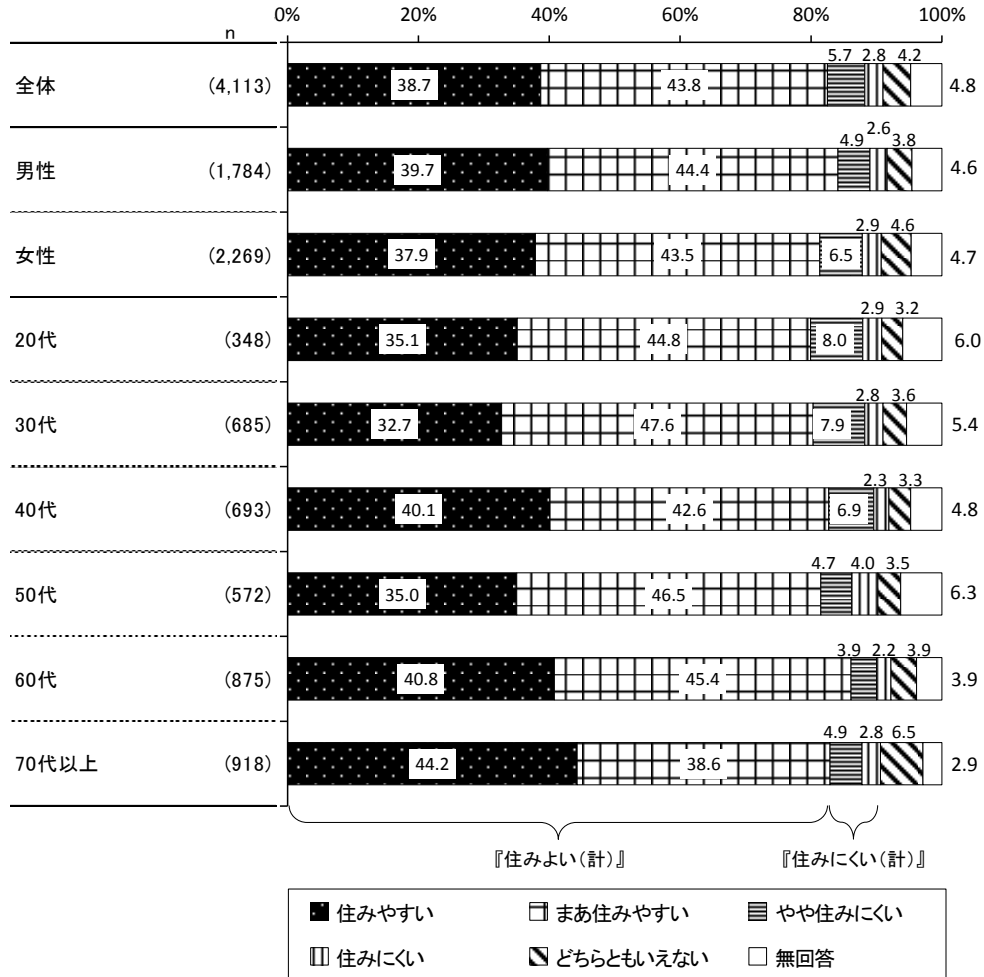
図 1-3-1



性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっています。

年齢別にみると「住みやすい」は30代で3割と最も少ないですが、40代以上は増加傾向となっています。『住みよい』は20代の79.9%を除く全年代で8割を超えています。

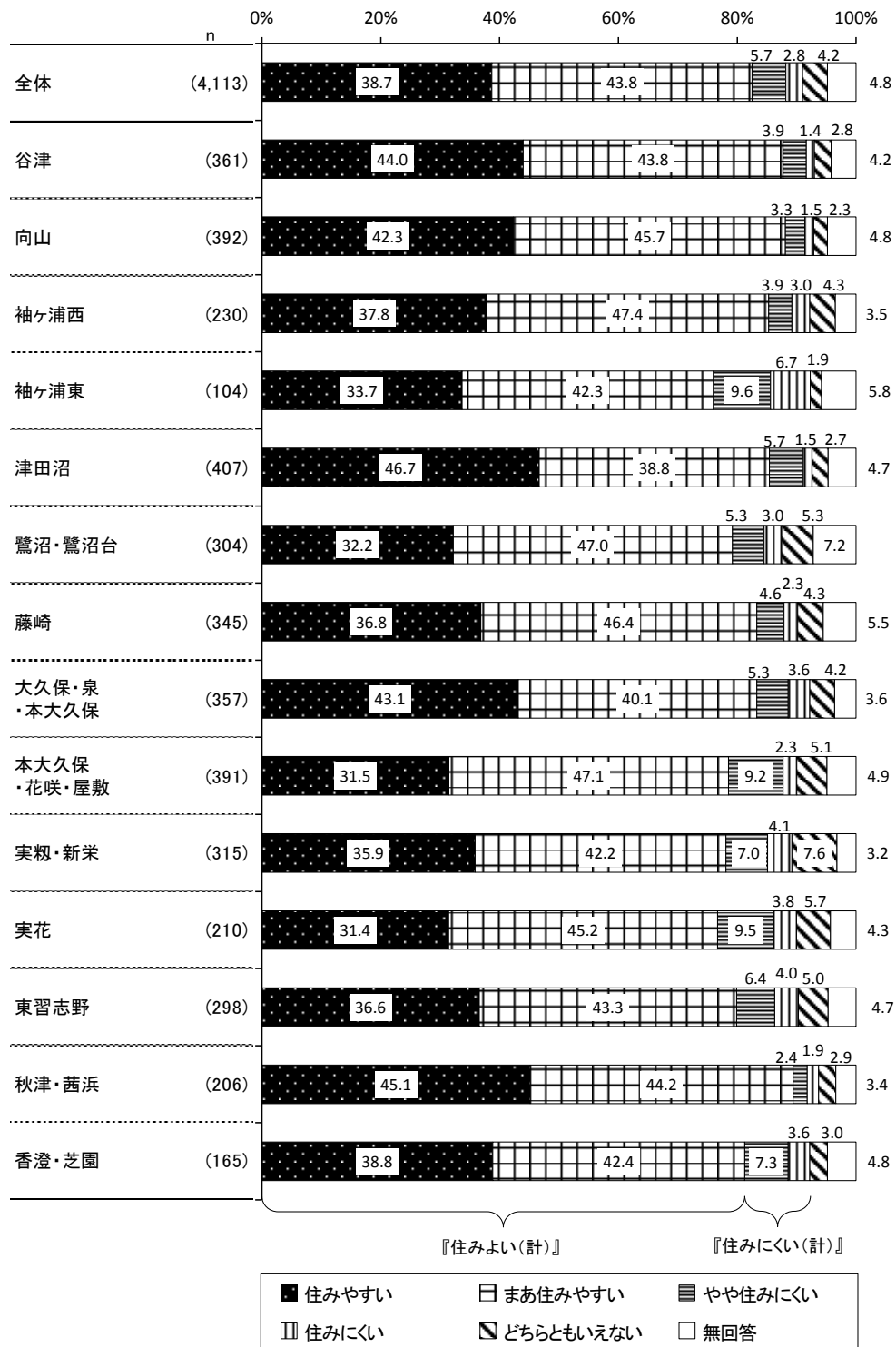
図 1- 3- 2 住みよさ：性別・年齢別



居住地区別にみると『住みよい』は秋津・茜浜が 89.3%で最も多く、次いで向山 88.0%、谷津が 87.8% となっています。

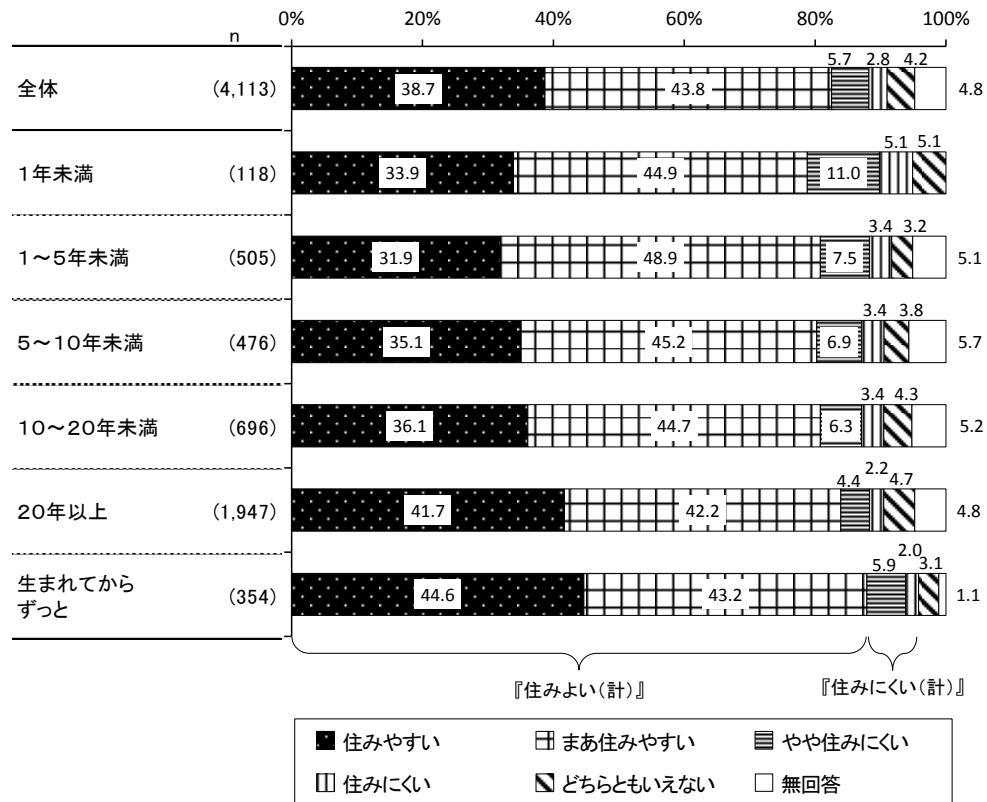
『住みにくい』は袖ヶ浦東で 16.3%、実花で 13.3%となっています。

図 1- 3- 3 住みよさ：居住地区別



居住年数別にみると、『住みよい』は居住年数が長くなるにつれて増加し、『住みにくい』は減少する傾向にあります。

図 1- 3- 4 住みよさ：居住年数別



1-4 住みよい理由と住みにくい理由

住みよさは「交通の便利さ」／「交通の不便さ」に左右される。

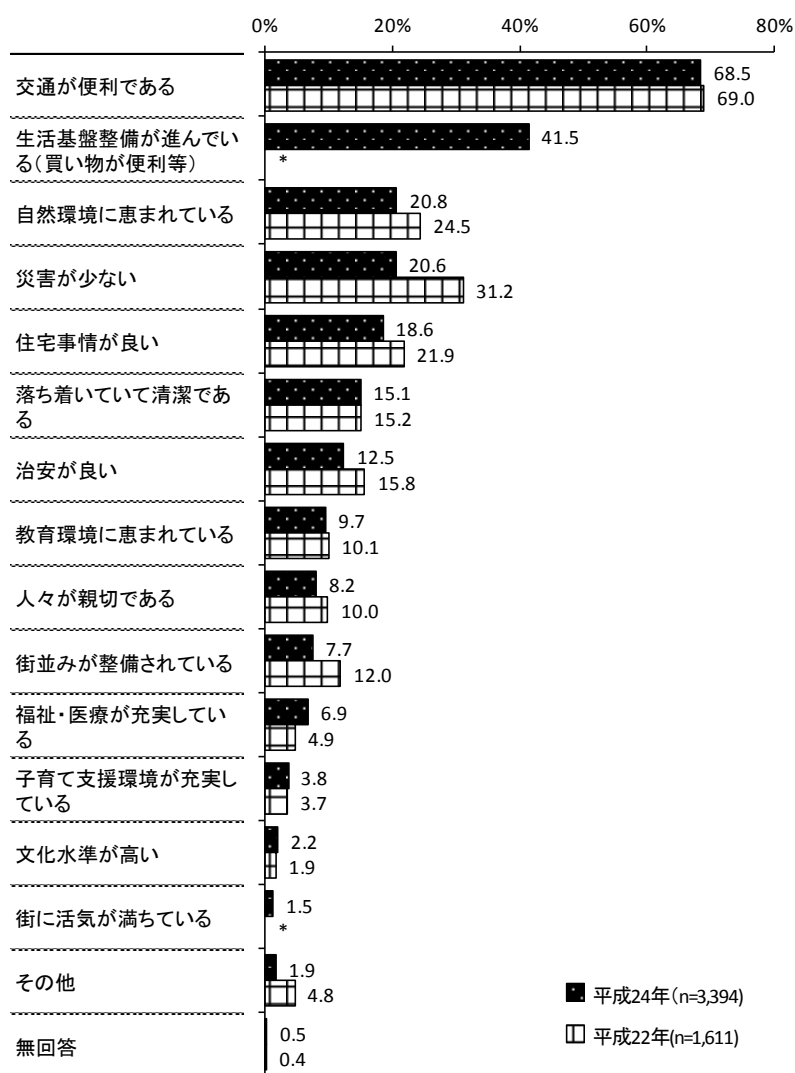
問2-1 ※問2で、「住みやすい」「まあ住みやすい」を選ばれた方のみ、ご回答ください。

住みやすい、まあ住みやすいと感じる理由は何ですか。(〇は3つまで)

習志野市が住みやすいと答えた 3,394 人に理由を聞くと、「交通が便利である」が 68.5%で最も多く、次いで「生活基盤整備が進んでいる(買い物便利等)」が 41.5%、「自然環境に恵まれている」が 20.8%となっています。

前回調査との推移をみると、「災害が少ない」が 10.6 ポイント、「街並みが整備されている」が 4.3 ポイント減少しています。

図 1-4-1



※「生活基盤整備が進んでいる」は平成24年度より追加
 ※「街に活気が満ちている」は平成24年度より追加

性別にみると、男性と女性で同じような傾向です。

年齢別にみると、全ての年代で「交通が便利である」が6割半ばから7割と最も多くなっています。「生活基盤整備が進んでいる（買い物便利等）」は20代で5割と最も多く、年齢層が上がるにつれて減少傾向にあります。「災害が少ない」と「自然環境に恵まれている」は60代で多く、それぞれ3割弱、2割半ばを占めています。

居住地区別にみると「交通が便利である」は津田沼で9割を超えています。実花、東習志野では3割にとどまっています。「生活基盤整備が進んでいる」は津田沼で6割、袖ヶ浦西と実花で5割を超えています。袖ヶ浦東では2割を下回っています。

居住年数別にみると、「生活基盤整備が進んでいる」が1年未満では5割を超えています。また、居住年数が長くなるにつれて「災害が少ない」は増加傾向となっています。

表 1- 4- 1 住みよい理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別（上位 10 項目）

(%)

		全 体 (n)	交通が 便利である	生活基盤整備が進んでいる (買い物便利等)	自然環境に恵まれている	災害が少ない	住宅事情が良い	落ち着いていて清潔である	治安が良い	福祉・医療が充実している	教育環境に恵まれている	街並みが整備されている
全体		3,394	68.5	41.5	20.8	20.6	18.6	15.1	12.5	6.9	9.7	7.7
性別・ 年齢別	男	1,500	70.0	40.3	20.9	19.6	19.5	15.5	13.9	8.8	8.2	7.9
	女	1,846	67.6	42.7	20.9	21.2	17.9	14.5	11.2	5.3	11.0	7.6
	20代	278	70.1	50.0	11.5	8.3	12.9	16.5	15.8	4.3	9.4	6.8
	30代	550	64.2	48.5	18.0	10.2	18.5	13.5	10.4	4.4	11.5	7.1
	40代	573	68.8	46.8	18.2	14.8	21.8	14.1	10.3	4.5	16.9	5.4
	50代	466	71.0	42.7	21.5	21.2	19.5	16.1	14.6	4.1	8.2	11.8
	60代	754	69.5	39.0	25.2	29.0	19.1	17.2	13.7	6.4	6.0	8.6
	70歳以上	760	68.2	31.1	23.6	28.2	17.1	13.6	12.0	13.8	7.6	6.4
居住地区別	谷津	317	78.5	45.7	10.4	15.8	18.0	13.2	13.9	6.9	18.0	3.5
	向山	345	82.0	41.7	34.5	9.9	17.1	19.7	12.8	7.2	4.6	5.2
	袖ヶ浦西	196	81.6	55.1	27.0	5.6	10.7	8.2	11.7	8.7	2.0	2.6
	袖ヶ浦東	79	59.5	17.7	21.5	3.8	30.4	29.1	22.8	8.9	6.3	27.8
	津田沼	348	92.0	60.1	6.0	15.5	15.8	8.6	10.9	5.2	7.8	5.5
	鷺沼・鷺沼台	241	68.5	29.5	19.1	26.6	23.7	15.8	17.0	6.2	5.0	5.4
	藤崎	287	78.7	47.7	16.7	18.5	20.9	11.5	8.4	3.1	7.0	4.5
	大久保・泉・本大久保	297	70.4	47.5	13.8	27.9	15.8	10.4	11.8	9.4	12.8	6.4
	本大久保・花咲・屋敷	307	61.2	26.7	21.2	28.0	20.5	20.8	12.4	7.5	11.1	5.5
	実籾・新栄	246	58.5	28.9	22.0	32.5	14.2	14.6	13.0	9.3	13.4	4.1
	実花	161	33.5	52.8	16.1	40.4	18.6	16.1	12.4	6.2	5.6	6.2
	東習志野	238	30.7	42.4	20.6	39.9	23.9	11.3	11.3	8.0	22.7	6.7
	秋津・茜浜	184	67.9	28.8	41.3	6.5	18.5	22.3	13.0	7.1	5.4	23.9
	香澄・芝園	134	53.7	30.6	41.8	3.7	22.4	26.1	9.7	3.7	6.7	32.1
居住年数別	1年未満	93	58.1	51.6	17.2	4.3	25.8	17.2	9.7	2.2	8.6	5.4
	1～5年未満	408	61.3	46.3	19.1	6.6	20.1	14.7	13.7	5.1	12.0	7.6
	5～10年未満	382	65.2	42.4	19.4	10.7	19.6	16.2	10.7	4.5	9.7	8.1
	10～20年未満	562	68.0	44.5	20.5	16.4	19.6	18.5	12.8	6.2	12.8	8.0
	20年以上	1,633	70.9	37.8	23.2	26.7	18.4	14.0	11.8	8.6	8.0	8.2
	生まれてからずっと	311	73.3	44.7	13.8	31.5	12.2	13.5	17.0	5.8	10.0	4.8

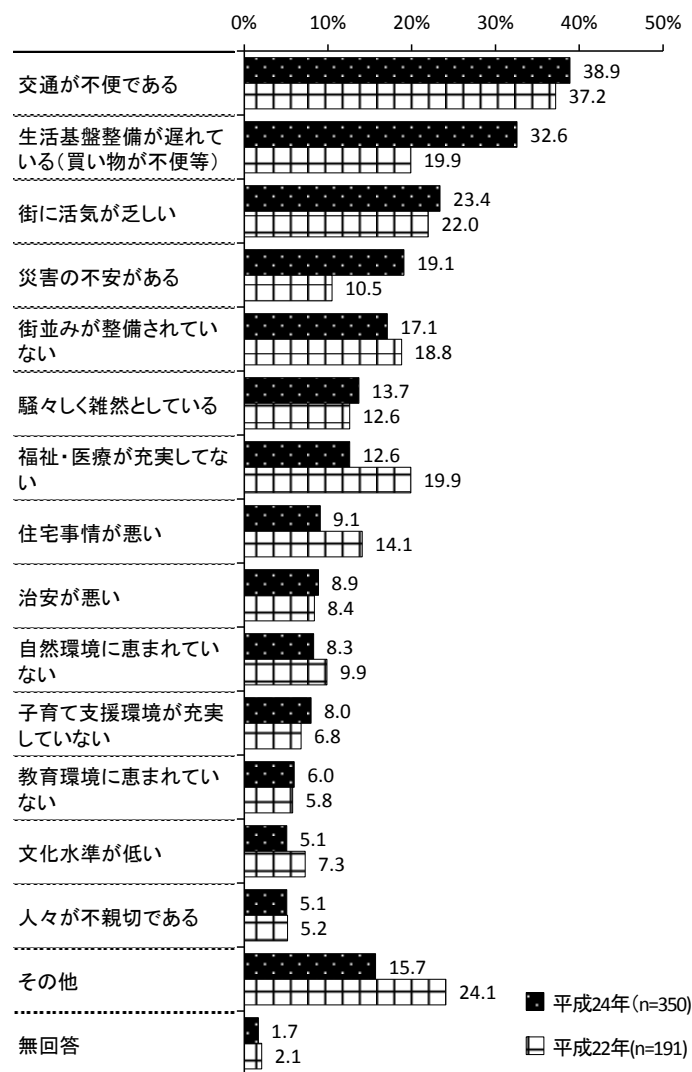
問2-2 ※ 問2で、「やや住みにくい」「住みにくい」を選ばれた方のみ、ご回答ください。

やや住みにくい、住みにくいと感じる理由は何ですか。(〇は3つまで)

習志野市が住みにくいと答えた 350 人に理由を聞くと、「交通が不便である」が 38.9%で最も多く、次いで「生活基盤が遅れている（買い物が不便等）」が 32.6%、「街に活気が乏しい」が 23.4%となっています。

前回調査との推移をみると、「生活基盤整備が遅れている」が 12.7 ポイント、「災害の不安がある」が 8.6 ポイント増加しています。

図 1-4-2



性別にみると、男性は「街に活気が乏しい」が7.7ポイント高く、女性は「生活基盤整備が遅れている（買い物不便等）」が6.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「交通が不便である」は50代より若い年代で4割弱から6割弱となっています。「街に活気が乏しい」は60代で4割弱、「生活基盤整備が遅れている」は70歳以上で4割弱、「災害の不安がある」は50代で3割弱となっています。

居住地区別にみると、「災害の不安がある」は袖ヶ浦東、香澄・芝園で8割前後、袖ヶ浦西で6割と多く、「交通が不便である」は実花と東習志野で7割弱、実籾・新栄で6割弱を占め、「生活基盤整備が遅れている」は藤崎と本大久保・花咲・屋敷で5割強となっています。

居住年数別にみると、「交通が不便である」は1年未満で6割強、「生活基盤整備が遅れている」は生まれてからずっと住んでいる人で4割強、「街並みが整備されていない」は1年未満で3割となっています。

表 1- 4- 2 住みにくい理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別（上位10項目）

		(%)										
		全 体 (n)	交通が不便である	生活基盤整備が遅れている (買い物不便等)	街に活気が乏しい	災害の不安がある	街並みが整備されていない	その他	騒々しく雑然としている	福祉・医療が充実していない	住宅事情が悪い	治安が悪い
全 体		350	38.9	32.6	23.4	19.1	17.1	15.7	13.7	12.6	9.1	8.9
性別・年齢別	男	134	38.1	28.4	28.4	17.2	17.2	14.9	14.9	10.4	11.2	11.9
	女	213	39.4	35.2	20.7	20.2	17.4	16.0	13.1	14.1	8.0	7.0
	20代	38	57.9	36.8	21.1	5.3	10.5	13.2	10.5	7.9	15.8	15.8
	30代	73	43.8	26.0	26.0	13.7	17.8	15.1	13.7	19.2	11.0	8.2
	40代	64	39.1	26.6	18.8	23.4	20.3	20.3	12.5	21.9	6.3	15.6
	50代	50	48.0	36.0	18.0	28.0	24.0	14.0	10.0	12.0	8.0	2.0
	60代	53	35.8	34.0	37.7	17.0	17.0	13.2	18.9	3.8	9.4	7.5
	70歳以上	71	19.7	38.0	19.7	22.5	12.7	16.9	15.5	7.0	7.0	5.6
居住地区別	谷津	19	31.6	26.3	15.8	5.3	26.3	31.6	10.5	10.5	-	-
	向山	19	21.1	31.6	42.1	26.3	5.3	26.3	5.3	10.5	15.8	10.5
	袖ヶ浦西	16	18.8	12.5	31.3	62.5	12.5	6.3	18.8	6.3	25.0	6.3
	袖ヶ浦東	17	58.8	35.3	17.6	82.4	-	5.9	-	-	-	5.9
	津田沼	29	3.4	31.0	24.1	6.9	24.1	31.0	34.5	10.3	6.9	20.7
	鷺沼・鷺沼台	25	44.0	44.0	8.0	12.0	20.0	8.0	12.0	4.0	8.0	16.0
	藤崎	24	29.2	54.2	25.0	8.3	33.3	16.7	4.2	16.7	4.2	8.3
	大久保・泉・本大久保	32	34.4	6.3	25.0	3.1	18.8	18.8	28.1	12.5	15.6	9.4
	本大久保・花咲・屋敷	45	24.4	51.1	17.8	6.7	20.0	13.3	11.1	15.6	4.4	4.4
	実籾・新栄	35	57.1	42.9	34.3	17.1	25.7	11.4	2.9	14.3	14.3	5.7
	実花	28	67.9	14.3	17.9	-	3.6	7.1	21.4	28.6	10.7	14.3
	東習志野	31	67.7	16.1	35.5	3.2	16.1	3.2	19.4	12.9	9.7	6.5
	秋津・茜浜	9	33.3	22.2	22.2	44.4	-	22.2	11.1	-	11.1	11.1
	香澄・芝園	18	44.4	44.4	11.1	77.8	5.6	27.8	-	16.7	5.6	5.6
居住年数別	1年未満	19	63.2	26.3	26.3	5.3	31.6	10.5	5.3	15.8	10.5	5.3
	1～5年未満	55	34.5	25.5	20.0	7.3	21.8	18.2	16.4	14.5	9.1	10.9
	5～10年未満	49	42.9	32.7	20.4	26.5	14.3	22.4	8.2	14.3	12.2	8.2
	10～20年未満	68	44.1	33.8	23.5	19.1	25.0	14.7	10.3	14.7	4.4	11.8
	20年以上	129	36.4	32.6	24.0	25.6	13.2	14.0	14.7	10.1	10.1	8.5
	生まれてからずっと	28	25.0	42.9	32.1	7.1	3.6	14.3	28.6	10.7	10.7	3.6

1-5 定住意向

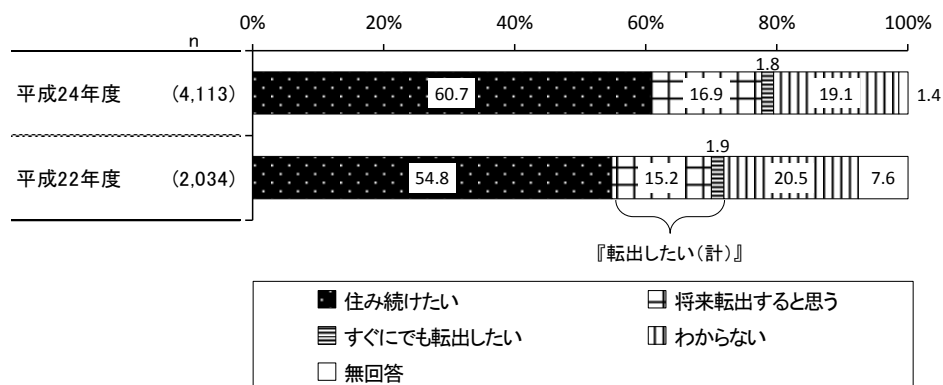
「住み続けたい」が6割。

問3 あなたは、今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思いますか。(1つだけに○)

今後の居住意向については「住み続けたい」が60.7%で最も多く、次いで「わからない」が19.1%、「将来転出すると思う」が16.9%となっています。

前回調査との推移をみると、「住み続けたい」は5.9ポイント増え、増加傾向となっています。

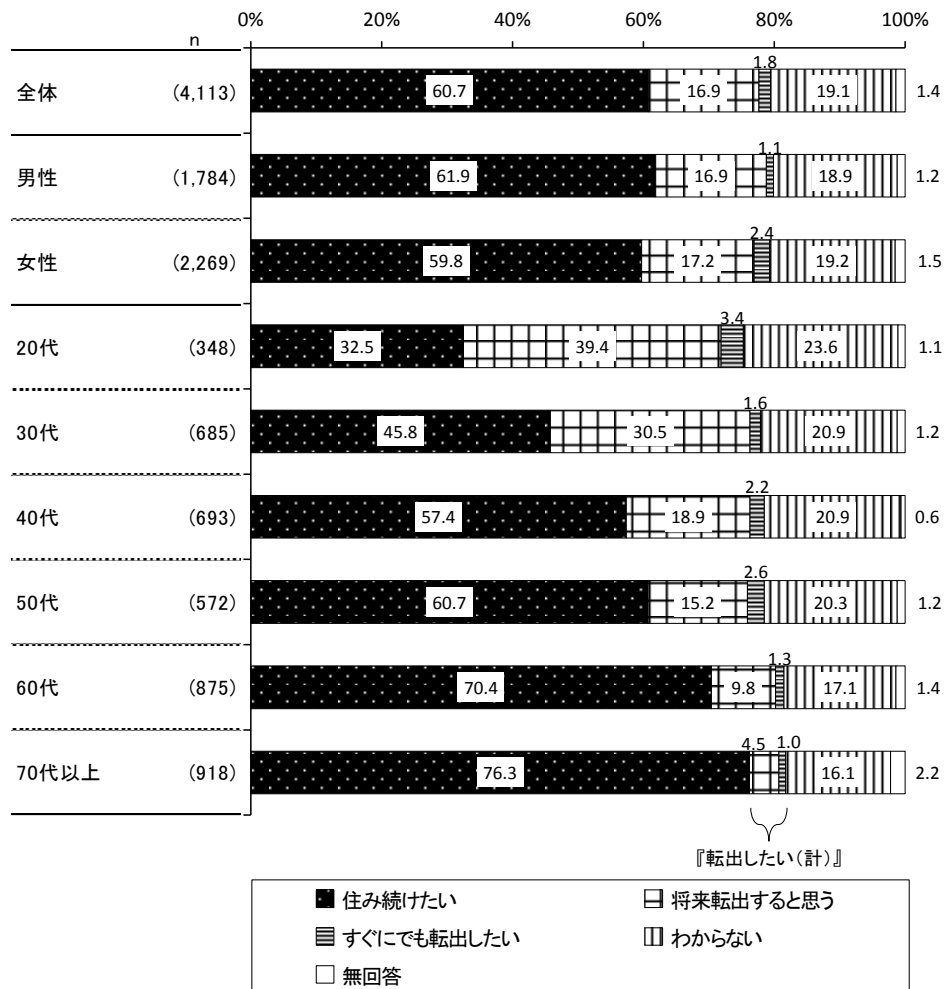
図 1-5-1



年齢別にみると、男性と女性との差はあまりみられません。

年齢別にみると、「住み続けたい」は20代で3割弱と最も低いですが、年齢が高くなるにつれて増加傾向となり、60代以上では7割以上となっています。

図 1-5-2



1-6 定住したい理由と転出したい理由

定住したい理由の3割は「土地、家屋所有のため」、転出したい理由の2割半ばは「家族の都合」

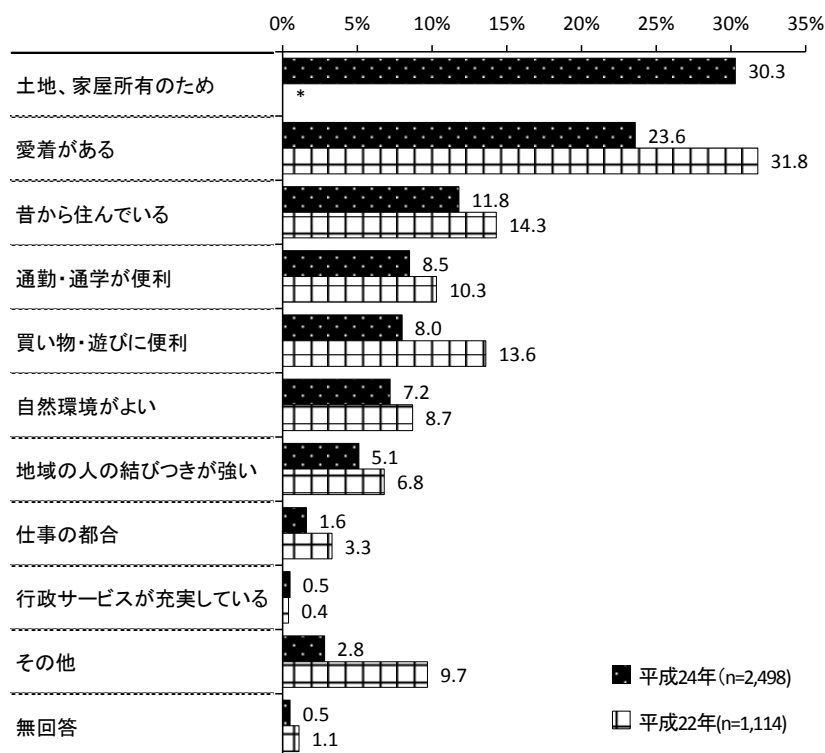
問3-1 ※問3で、「住み続けたい」を選ばれた方のみ、ご回答ください。

住み続けたいと思う理由は何ですか。(1つだけに○)

「住み続けたい」と答えた2,498人に理由を聞くと、「土地、家屋所有のため」が30.3%で最も多く、次いで「愛着がある」が23.6%となっています。

前回調査との推移をみると、「愛着がある」が8.2ポイント、「買い物・遊びに便利」が5.6ポイント減少しています。

図 1-6-1



※「土地、家屋所有のため」は平成24年度より追加

性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっています。

年齢別にみると、「土地、家屋所有のため」は20代を除く全年代で3割と多くなっています。

居住地区別にみると、「土地、家屋所有のため」は実花、鷺沼・鷺沼台、本大久保・花咲・屋敷で4割と多くなっています。「愛着がある」は香澄・芝園、袖ヶ浦東、向山で3割前後と多くなっています。

居住年数別にみると、「土地、家屋所有のため」は1年未満と生まれてからずっと住んでいる人を除いて3割強と多くなっています。居住年数が長くなるにつれて「愛着がある」は増加の傾向にあります。

表 1- 6- 1 定住したい理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別

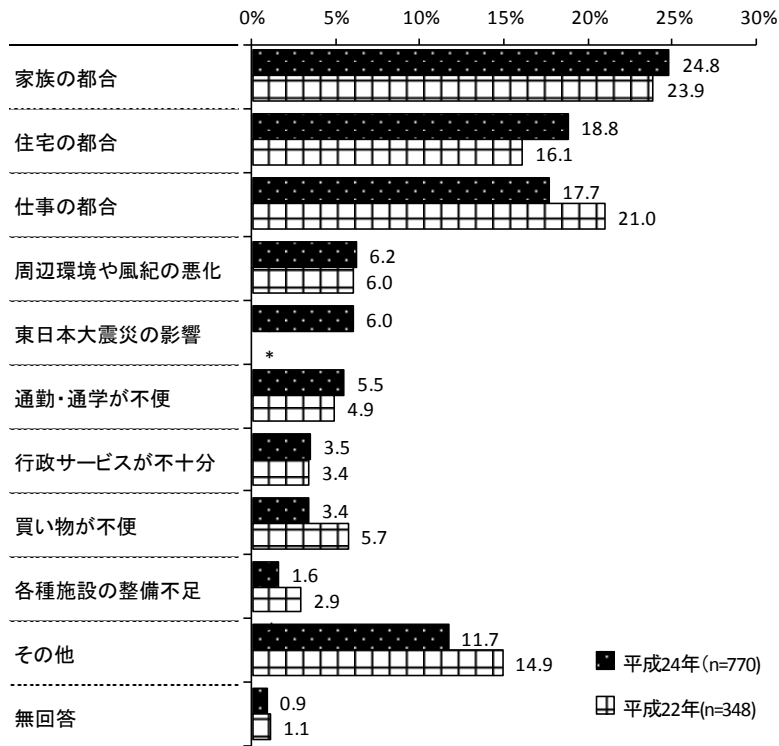
		全 体 (n)	愛着 がある	昔から 住んで いる	通勤・ 通学が 便利	買い物・ 遊びに 便利	地域の人 の結び つきが 強い	仕事 の都合	自然 環境が よい	行政サ ービス が充実 している	土地、 家屋 所有 のため	その他	無 回 答
全体		2,498	23.6	11.8	8.5	8.0	5.1	1.6	7.2	0.5	30.3	2.8	0.5
性別・ 年齢別	男	1,104	23.9	13.0	8.6	7.1	4.9	2.0	7.4	0.5	29.6	2.6	0.3
	女	1,356	23.2	10.7	8.6	8.7	5.2	1.3	6.7	0.5	31.4	3.0	0.7
	20代	113	33.6	16.8	18.6	9.7	3.5	1.8	0.9	-	10.6	4.4	-
	30代	314	22.9	9.6	12.4	9.6	4.8	1.3	3.5	0.6	31.5	3.2	0.6
	40代	398	20.6	11.6	16.6	6.8	4.0	3.0	4.0	-	29.1	3.5	0.8
	50代	347	25.4	13.0	11.5	5.5	2.6	2.9	4.9	-	32.9	1.4	-
	60代	616	24.2	11.9	4.7	7.6	5.7	0.8	9.7	0.3	33.0	1.9	0.2
	70歳以上	700	22.4	11.4	2.4	9.3	7.0	1.1	10.3	1.3	30.4	3.4	0.9
居住 地区 別	谷津	218	25.7	8.7	17.9	10.1	4.6	0.9	3.2	-	25.7	3.2	-
	向山	233	27.5	7.3	11.2	8.2	3.4	1.3	13.3	-	23.6	4.3	-
	袖ヶ浦西	137	21.2	20.4	10.2	13.1	2.9	1.5	10.9	-	12.4	5.8	1.5
	袖ヶ浦東	63	28.6	17.5	1.6	3.2	4.8	-	7.9	-	34.9	1.6	-
	津田沼	234	18.8	15.4	16.2	14.1	3.0	3.0	2.1	0.4	24.4	2.1	0.4
	鷺沼・鷺沼台	184	20.7	15.8	3.8	3.3	3.8	1.1	6.5	1.1	41.8	1.1	1.1
	藤崎	237	22.4	11.4	7.6	10.1	4.2	0.8	4.2	0.8	36.7	1.3	0.4
	大久保・泉・本大久保	204	23.5	16.7	6.4	7.4	5.9	2.9	5.9	1.0	27.5	2.9	-
	本大久保・花咲・屋敷	237	22.8	10.1	4.6	3.8	5.9	1.7	8.0	0.4	40.9	1.7	-
	実籾・新栄	186	20.4	15.6	5.9	4.8	10.2	1.1	8.6	-	29.6	3.2	0.5
	実花	125	20.8	6.4	4.8	9.6	6.4	2.4	2.4	-	44.0	1.6	1.6
	東習志野	202	26.2	8.4	4.0	7.4	5.0	3.0	4.0	1.0	37.6	2.0	1.5
	秋津・茜浜	130	26.2	6.9	10.0	8.5	10.8	1.5	12.3	1.5	16.2	6.2	-
	香澄・芝園	96	31.3	5.2	6.3	4.2	2.1	-	18.8	1.0	27.1	4.2	-
居住 年数 別	1年未満	41	12.2	-	19.5	14.6	2.4	7.3	9.8	-	26.8	4.9	2.4
	1～5年未満	191	10.5	0.5	19.9	11.5	4.7	4.2	6.8	2.6	31.4	7.9	-
	5～10年未満	245	16.3	0.8	15.5	11.4	6.1	1.2	7.3	-	35.9	4.9	0.4
	10～20年未満	392	19.1	3.1	13.8	9.7	5.9	1.5	8.2	0.3	34.2	3.8	0.5
	20年以上	1,375	27.0	12.1	4.7	7.3	5.5	1.3	8.1	0.4	31.3	1.7	0.4
	生まれてからずっと	248	31.5	44.4	3.6	1.6	1.2	1.2	0.4	0.4	13.7	1.2	0.8

問3-2 ※問3で、「将来転出すると思う」「すぐにでも転出したい」を選ばれた方のみ、ご回答ください。
 将来転出すると思う、すぐにでも転出したいと思う理由は何ですか。(1つだけに○)

転出したいと答えた770人に理由を聞くと、「家族の都合」が24.8%で最も多く、次いで「住宅の都合」が18.8%、「仕事の都合」が17.7%となっています。

前回調査との推移をみると、「住宅の都合」が2.7ポイントと若干増加し、「仕事の都合」が3.3ポイント減少しています。

図 1- 6- 2



※「東日本大震災の影響」は平成24年度より追加

性別にみると、男性は「仕事の都合」が 11.6 ポイント高く、女性は「家族の都合」が 9.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「仕事の都合」は 20 代で、「住宅の都合」は 60 代で、「家族の都合」は 30 代以上で 2 割強となっています。

居住地区別にみると、「東日本大震災の影響」は袖ヶ浦東で 4 割、「家族の都合」は実花、袖ヶ浦東、袖ヶ浦西、大久保・泉・本大久保で 3 割、「仕事の都合」は津田沼で 3 割と多くなっています。

居住年数別にみると、「仕事の都合」は居住年数が 1 年未満の短期居住者で 3 割、生まれてからずっと住んでいる人は「家族の都合」が 3 割以上と多くなっています。

表 1- 6- 2 転出したい理由：性別・年齢別、居住地区別、居住年数別

		全 体 (n)	周辺環境や風紀の悪化	住宅の都合	通勤・通学が不便	買い物 が不便	各種施設 の整備不足	家族の 都合	仕事の 都合	行政サー ビスが不 十分	東日本大 震災の影 響	その他	無回 答
全体		770	6.2	18.8	5.5	3.4	1.6	24.8	17.7	3.5	6.0	11.7	0.9
性別・ 年齢別	男	320	4.4	18.4	7.2	3.8	1.3	19.7	24.4	4.1	4.4	11.9	0.6
	女	444	7.4	19.1	4.3	3.2	1.8	28.8	12.8	3.2	7.0	11.5	0.9
	20代	149	4.0	16.1	8.7	4.7	1.3	22.1	26.2	-	3.4	12.8	0.7
	30代	220	5.5	20.9	6.8	2.3	1.8	25.9	20.9	5.5	4.1	6.4	-
	40代	146	10.3	18.5	3.4	1.4	0.7	26.0	18.5	4.1	4.1	13.0	-
	50代	102	4.9	16.7	4.9	3.9	2.9	26.5	15.7	2.9	5.9	14.7	1.0
	60代	97	5.2	22.7	4.1	3.1	1.0	23.7	6.2	3.1	14.4	13.4	3.1
	70歳以上	50	8.0	18.0	-	10.0	2.0	24.0	2.0	6.0	10.0	18.0	2.0
居住地区 別	谷津	68	7.4	19.1	4.4	-	2.9	19.1	26.5	7.4	-	13.2	-
	向山	77	3.9	24.7	3.9	1.3	-	20.8	15.6	2.6	10.4	16.9	-
	袖ヶ浦西	47	2.1	19.1	2.1	-	-	34.0	12.8	4.3	14.9	8.5	2.1
	袖ヶ浦東	14	-	7.1	7.1	-	-	35.7	-	-	42.9	-	7.1
	津田沼	105	6.7	15.2	1.9	1.9	-	26.7	32.4	2.9	2.9	9.5	-
	鷺沼・鷺沼台	65	9.2	15.4	6.2	6.2	3.1	21.5	15.4	3.1	1.5	16.9	1.5
	藤崎	50	4.0	16.0	2.0	8.0	2.0	24.0	20.0	2.0	4.0	18.0	-
	大久保・泉・本大久保	80	8.8	20.0	8.8	-	1.3	32.5	18.8	5.0	1.3	3.8	-
	本大久保・花咲・屋敷	60	11.7	18.3	8.3	8.3	1.7	23.3	11.7	3.3	1.7	11.7	-
	実籾・新栄	60	8.3	28.3	10.0	1.7	3.3	18.3	8.3	3.3	3.3	13.3	1.7
	実花	27	7.4	18.5	3.7	3.7	-	37.0	14.8	-	3.7	11.1	-
	東習志野	47	4.3	17.0	12.8	10.6	4.3	25.5	8.5	2.1	2.1	12.8	-
	秋津・茜浜	34	-	23.5	5.9	2.9	-	23.5	8.8	5.9	14.7	11.8	2.9
	香澄・芝園	30	-	10.0	-	6.7	3.3	16.7	23.3	3.3	23.3	10.0	3.3
居住年 数別	1年未満	55	5.5	20.0	5.5	7.3	-	21.8	30.9	1.8	-	7.3	-
	1～5年未満	210	6.2	17.6	2.4	1.4	2.4	25.7	26.2	3.3	1.4	12.9	0.5
	5～10年未満	136	2.9	23.5	6.6	2.2	1.5	25.0	20.6	3.7	5.1	8.1	0.7
	10～20年未満	130	9.2	17.7	7.7	4.6	1.5	24.6	10.8	3.1	6.2	14.6	-
	20年以上	200	6.0	20.0	5.5	4.5	1.0	24.0	8.0	3.5	13.0	13.0	1.5
	生まれてからずっと	35	8.6	5.7	11.4	2.9	2.9	31.4	17.1	5.7	2.9	8.6	2.9

第2節 市政全般について

2-1 特に重要な施策

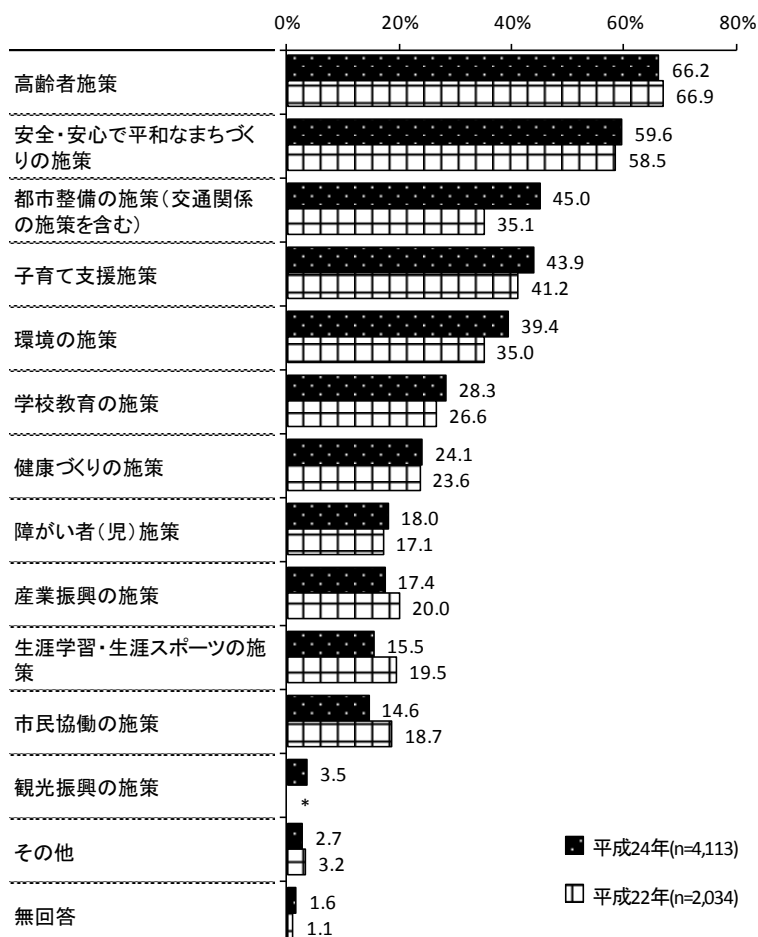
「高齢者施策」が6割半ば。

問4 次の施策の中で特に重要だと思うものは何ですか。(〇は5つまで)

特に重要と思う施策は「高齢者施策」が66.2%で最も多く、次いで「安全・安心で平和なまちづくりの施策」が59.6%、「都市整備の施策（交通関係の施策を含む）」が45.0%となっています。

前回調査との推移をみると、「市民協働の施策」は4.1ポイント、「生涯学習・生涯スポーツの施策」は4.0ポイント低くなっています。一方、「都市整備の施策」は9.9ポイント、「環境の施策」は4.4ポイントの増加となっています。

図 2-1-1



性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっていますが、男性は「産業振興の施策」が6.0ポイント、「生涯学習・生涯スポーツの施策」が5.7ポイント高く、女性は「高齢者施策」が4.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、全年代で「安心で安全なまちづくり」が5割以上、多い年代では6割以上となっています。「子育て支援施策」は20代から30代で6割から7割弱、「高齢者施策」は特に50代から70歳以上で7割を超えています。

居住地区別にみると、「高齢者施策」は袖ヶ浦西、香澄・芝園で7割を超えています。「環境の施策」は谷津で4割半ば、「安全・安心で平和なまちづくりの施策」は向山で6割半ばと多くなっています。

表 2-1-1 力を入れるべき施策：性別・年齢別、居住地区別

(%)

		全 体 (n)	高齢者 施策	障 が い 者 (児) 施 策	子 育 て 支 援 施 策	健 康 づ く り の 施 策	学 校 教 育 の 施 策	生 涯 学 習 ・ 生 涯 ス ポ ー ツ の 施 策	市 民 協 働 の 施 策	環 境 の 施 策	都 市 整 備 の 施 策 (交 通 関 係 の 施 策 を 含 む)	安 全 ・ 安 心 で 平 和 な ま ち づ く り の 施 策	産 業 振 興 の 施 策	観 光 振 興 の 施 策	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	66.2	18.0	43.9	24.1	28.3	15.5	14.6	39.4	45.0	59.6	17.4	3.5	2.7	1.6
性別・年齢別	男	1,784	63.6	16.0	42.3	24.6	27.1	18.7	16.1	41.8	48.0	57.4	20.8	4.3	3.0	0.8
	女	2,269	68.2	19.6	45.8	23.6	29.5	13.0	13.4	37.8	43.1	61.6	14.8	3.0	2.4	2.0
	20代	348	52.9	24.4	63.5	19.0	33.6	11.5	12.4	33.3	50.3	59.8	14.7	5.5	2.6	0.6
	30代	685	49.3	19.7	69.3	15.8	45.0	11.4	9.5	38.5	51.2	57.1	16.6	4.5	3.5	0.7
	40代	693	59.9	15.3	51.4	15.7	41.6	13.1	11.7	45.3	53.7	61.0	17.9	3.0	2.2	0.6
	50代	572	71.7	19.1	40.0	21.7	23.6	17.5	12.9	43.9	48.4	63.6	21.5	3.3	2.6	0.9
	60代	875	74.5	16.8	35.3	31.1	18.6	19.3	19.9	40.6	37.7	61.9	18.7	3.3	2.3	1.6
	70歳以上	918	77.7	16.6	22.8	33.4	16.3	17.3	17.1	34.3	37.0	55.7	14.7	2.9	2.8	3.5
居住地区別	谷津	361	57.6	14.4	47.9	24.1	33.0	12.7	13.3	46.0	51.2	64.5	15.5	3.0	2.2	0.6
	向山	392	67.9	19.9	43.4	25.0	23.2	16.3	15.1	42.9	38.3	65.6	16.8	6.6	3.1	1.3
	袖ヶ浦西	230	73.0	20.0	36.5	26.5	24.3	12.2	13.5	39.1	42.2	57.8	14.3	0.9	3.5	1.7
	袖ヶ浦東	104	68.3	14.4	44.2	20.2	27.9	16.3	16.3	40.4	51.9	61.5	13.5	3.8	4.8	1.0
	津田沼	407	65.8	17.4	47.7	23.6	29.0	17.0	11.5	41.8	42.0	61.7	19.4	3.7	2.5	1.7
	鷺沼・鷺沼台	304	65.5	14.1	44.4	21.1	28.9	16.4	14.1	37.2	52.3	52.6	17.4	4.9	2.0	1.0
	藤崎	345	61.2	17.1	46.7	20.9	31.3	15.9	18.6	41.7	45.2	57.4	20.3	2.6	2.0	2.0
	大久保・泉・本大久保	357	68.3	24.1	44.0	22.1	29.1	16.5	16.0	35.0	44.5	60.5	14.3	2.0	2.5	1.1
	本大久保・花咲・屋敷	391	68.5	21.5	46.5	24.6	28.9	14.1	14.1	36.6	46.5	57.5	19.7	2.8	3.3	1.0
	実籾・新栄	315	66.3	17.1	33.7	26.0	24.1	15.9	13.3	34.6	42.9	57.5	18.7	3.8	2.5	3.2
	実花	210	63.3	18.6	46.2	29.0	29.5	16.2	14.8	40.5	49.0	61.4	11.9	2.9	1.4	1.9
	東習志野	298	67.8	21.8	45.3	23.2	34.6	14.8	14.8	33.6	44.3	58.7	17.4	3.7	2.0	1.7
	秋津・茜浜	206	69.9	12.6	42.2	29.6	22.3	19.4	16.0	42.7	37.4	54.4	17.0	1.9	4.4	1.0
	香澄・芝園	165	70.9	10.3	43.0	22.4	29.1	13.9	13.3	40.6	49.1	61.8	23.0	7.9	2.4	1.8

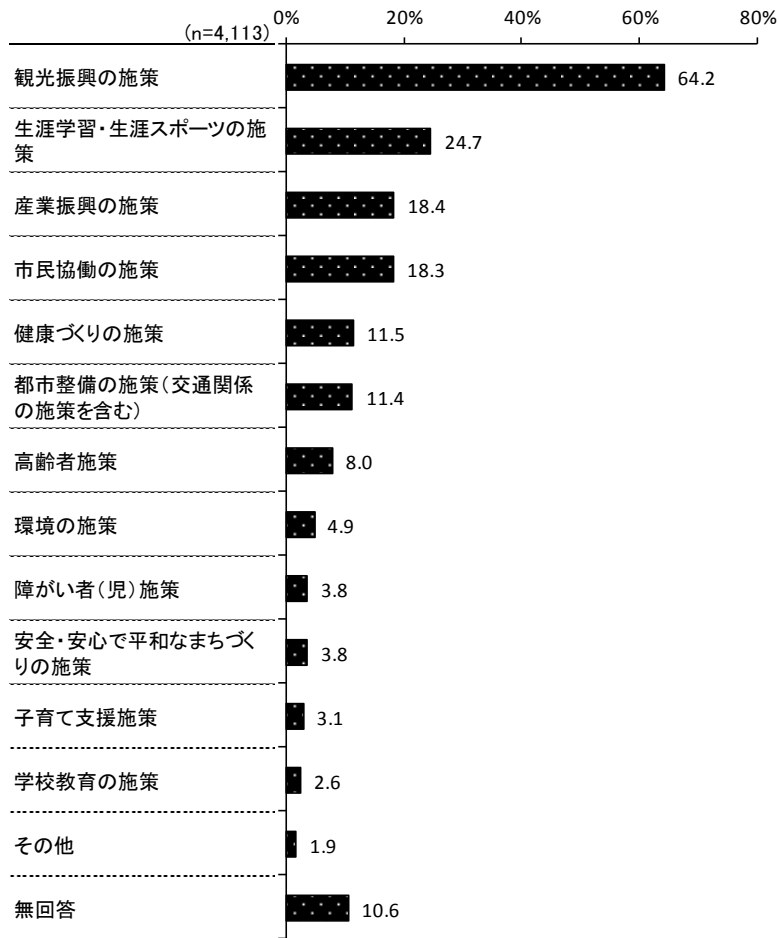
2-2 優先順位の低い施策

「観光振興の施策」が6割半ば。

問5 次の施策の中で、優先順位が低くてもやむを得ないと思う施策はどれですか。(〇は3つまで)

優先順位が低くてもやむを得ないと思う施策は「観光振興の施策」が64.2%で最も多く、次いで「生涯学習・生涯スポーツの施策」が24.7%、「産業振興の施策」が18.4%となっています。

図 2-2-1



※平成22年度は未実施

性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっていますが、男性は「産業振興の施策」が4.7ポイント、「市民協働の施策」が4.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「観光振興の施策」は40代50代が7割強と多くなっています。「生涯学習・生涯スポーツの施策」は50代で3割、「市民協働の施策」は50代で2割半ばとなっています。

居住地区別にみると「観光振興の施策」は藤崎で7割と多くなっています。

表 2-2-1 優先順位の低い施策：性別・年齢別、居住地区別

(%)

		全 体 (n)	高 齢 者 施 策	障 が い 者 (児) 施 策	子 育 て 支 援 施 策	健 康 づ く り の 施 策	学 校 教 育 の 施 策	生 涯 学 習 ・ 生 涯 ス ポ ー ツ の 施 策	市 民 協 働 の 施 策	環 境 の 施 策	都 市 整 備 の 施 策 (交 通 関 係 の 施 策 を 含 む)	安 全 ・ 安 心 で 平 和 な ま ち づ く り の 施 策	産 業 振 興 の 施 策	観 光 振 興 の 施 策	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	8.0	3.8	3.1	11.5	2.6	24.7	18.3	4.9	11.4	3.8	18.4	64.2	1.9	10.6
性別・年齢別	男	1,784	10.3	4.8	4.1	12.0	3.5	24.6	20.9	6.1	13.4	4.8	21.1	65.9	2.2	7.2
	女	2,269	5.9	3.1	2.2	11.2	1.8	25.0	16.4	3.9	9.7	2.9	16.4	63.5	1.6	13.1
	20代	348	4.0	3.4	1.4	12.4	2.9	27.0	15.8	4.3	9.8	1.4	20.7	66.4	1.1	6.0
	30代	685	7.0	2.8	1.6	13.6	1.3	27.7	19.0	4.2	9.1	2.6	18.0	69.6	1.2	6.1
	40代	693	4.8	3.3	4.3	11.8	3.2	28.4	17.6	2.6	8.4	1.4	17.5	73.4	1.0	4.9
	50代	572	5.1	3.7	3.3	13.6	2.4	31.3	24.7	3.1	7.5	3.3	18.5	71.5	2.3	5.4
	60代	875	9.0	4.2	3.1	10.3	2.9	21.5	17.8	5.4	13.5	3.9	20.9	64.3	1.6	12.5
	70歳以上	918	13.6	4.8	3.6	9.3	2.6	17.8	16.1	8.0	16.4	7.3	16.1	48.0	3.4	21.1
居住地区別	谷津	361	8.9	4.2	2.8	12.7	3.0	25.5	18.3	6.6	10.2	3.6	18.0	65.7	1.4	8.3
	向山	392	7.7	4.3	3.8	15.6	2.8	29.8	17.3	4.3	14.0	3.8	18.4	56.4	1.3	13.8
	袖ヶ浦西	230	12.6	5.7	3.0	7.0	1.7	20.0	17.0	3.9	7.4	2.6	19.1	61.7	2.2	15.7
	袖ヶ浦東	104	8.7	4.8	2.9	10.6	2.9	19.2	11.5	3.8	8.7	3.8	23.1	66.3	3.8	6.7
	津田沼	407	6.9	3.4	4.9	12.0	2.0	27.3	17.0	4.2	9.6	3.7	18.7	66.3	2.5	8.1
	鷺沼・鷺沼台	304	9.5	3.0	2.0	9.5	2.3	27.0	22.7	6.9	13.2	5.3	16.4	63.2	2.0	8.9
	藤崎	345	7.0	3.2	3.8	11.9	2.0	28.7	17.4	2.9	12.5	2.3	18.6	70.7	1.2	8.7
	大久保・泉・本大久保	357	10.4	3.9	3.1	12.6	2.2	26.6	20.2	4.2	12.6	5.3	18.2	67.5	2.0	8.4
	本大久保・花咲・屋敷	391	7.7	3.3	2.8	12.5	2.8	26.6	19.4	5.9	10.0	4.3	18.2	65.7	1.8	9.2
	実籾・新栄	315	6.3	2.9	3.2	8.9	4.4	19.7	18.1	6.0	13.3	3.8	18.4	63.8	1.6	13.7
	実花	210	8.1	2.4	2.4	9.5	1.0	20.0	18.6	6.2	15.2	2.4	18.6	63.8	2.4	11.0
	東習志野	298	8.7	4.7	3.7	9.4	3.0	18.8	18.1	5.4	8.7	4.4	16.4	62.4	1.3	10.1
	秋津・茜浜	206	6.3	4.4	1.5	9.2	3.4	25.2	16.0	3.9	11.2	2.4	21.8	61.7	2.4	14.1
	香澄・芝園	165	1.8	4.2	0.6	16.4	1.2	21.2	21.8	2.4	12.1	1.8	18.8	64.8	3.0	12.7

2-3 具体的に取り組むべき施策

〔1〕 高齢者施策

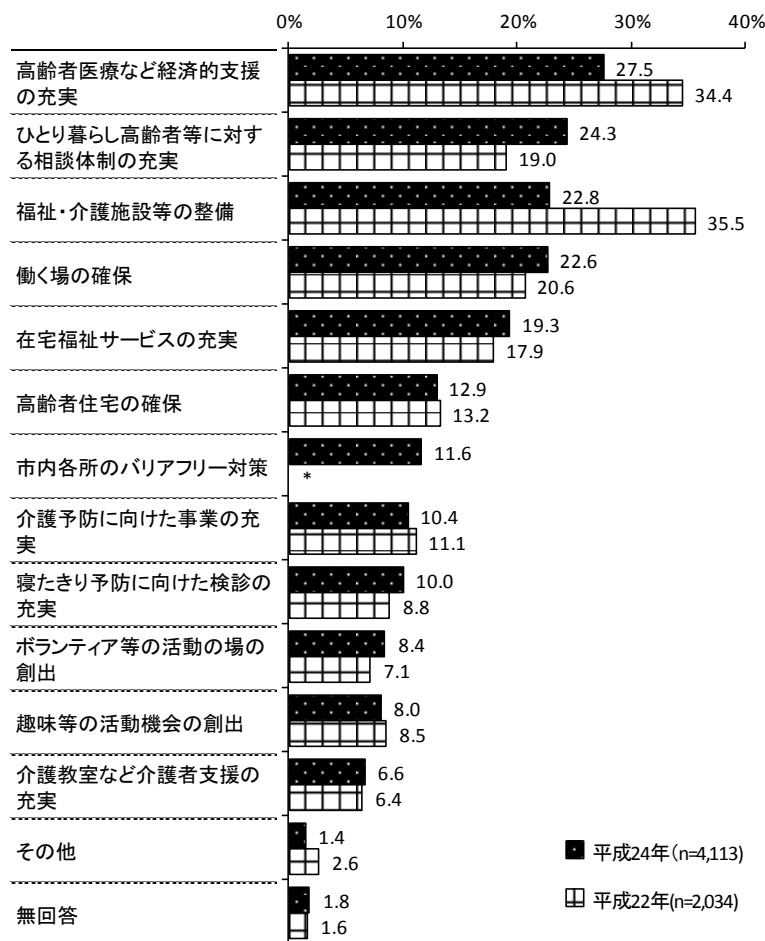
「福祉・介護施設等の整備」が3割弱。

問6 高齢者施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

高齢者施策として特に取り組むべきと思うものは「高齢者医療など経済的支援の充実」が27.5%で最も多く、次いで「ひとり暮らし高齢者等に対する相談体制の充実」が24.3%、「福祉・介護施設等の整備」が22.8%となっています。

前回調査との推移をみると、「福祉・介護施設等の整備」は12.7ポイント、「高齢者医療など経済的支援の充実」は6.9ポイント減少していますが、「ひとり暮らし高齢者等に対する相談体制の充実」は5.3ポイント増加しています。

図 2-3-1



※「市内各所のバリアフリー対策」は平成24年度より追加

性別にみると、男性は「働く場の確保」が4.1ポイント高く、女性は「在宅福祉サービスの充実」が4.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「ひとり暮らし高齢者等に対する相談体制の充実」は全年代において2割以上を占め、「高齢者医療など経済的支援の充実」は30代を除いて2割を超え、60代以上では3割を超えています。「働く場の確保」は30代、40代で3割を超えています。

居住地区別にみると、「高齢者住宅の確保」は袖ヶ浦西で2割強、「ひとり暮らし高齢者等に対する相談体制の充実」は袖ヶ浦東で3割と多くなっています。

表 2- 3- 1 高齢者施策：性別・年齢別、居住地区別

(%)

		全 体 (n)	高 齢 者 住 宅 の 確 保	働 く 場 の 確 保	趣 味 等 の 活 動 機 会 の 創 出	ボ ラ ン テ ィ ア 等 の 活 動 の 場 の 創 出	寝 た き り 予 防 に 向 け た 検 診 の 充 実	介 護 予 防 に 向 け た 事 業 の 充 実	在 宅 福 祉 サ ー ビ ス の 充 実	福 祉 ・ 介 護 施 設 等 の 整 備	高 齢 者 医 療 な ど 経 済 的 支 援 の 充 実	介 護 教 室 な ど 介 護 者 支 援 の 充 実	ひ と り 暮 ら し 高 齢 者 等 に 対 す る 相 談 体 制 の 充 実	市 内 各 所 の バ リ ア フ リ ー 対 策	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	12.9	22.6	8.0	8.4	10.0	10.4	19.3	22.8	27.5	6.6	24.3	11.6	1.4	1.8
性別・年齢別	男	1,784	12.1	25.1	9.0	9.8	10.1	11.2	17.0	22.2	28.0	5.9	22.8	11.0	1.8	1.2
	女	2,269	13.4	21.0	7.3	7.1	9.8	9.8	21.1	23.4	27.1	7.2	25.4	12.3	1.1	2.0
	20代	348	11.5	26.7	15.5	7.2	9.2	9.5	16.7	18.7	22.1	7.5	23.9	19.0	1.7	0.6
	30代	685	11.4	31.4	7.6	11.1	7.3	7.6	20.6	21.0	18.7	7.9	24.1	13.7	1.5	1.8
	40代	693	13.9	32.0	8.2	8.1	9.1	8.9	21.2	21.8	22.8	7.5	21.5	11.5	1.2	0.9
	50代	572	15.7	26.2	7.0	7.9	7.2	11.0	19.4	25.5	28.7	6.3	25.2	8.4	1.4	1.4
	60代	875	12.1	20.3	7.3	9.3	9.8	10.9	18.3	24.7	32.0	6.1	24.7	10.4	1.1	0.8
	70歳以上	918	12.5	7.6	6.5	6.2	15.0	13.4	19.0	22.8	34.6	5.4	26.0	10.5	1.6	3.7
居住地区別	谷津	361	13.9	24.4	10.2	11.1	9.1	10.8	18.8	24.1	21.3	6.6	22.4	14.7	0.3	1.4
	向山	392	15.1	21.7	6.6	7.7	10.2	11.0	19.6	24.2	25.8	6.6	26.3	9.9	2.8	1.5
	袖ヶ浦西	230	23.0	17.0	8.7	4.8	7.8	8.3	13.5	22.2	33.0	5.7	28.7	11.3	1.3	3.0
	袖ヶ浦東	104	11.5	18.3	12.5	5.8	12.5	14.4	20.2	18.3	25.0	5.8	31.7	8.7	1.0	1.9
	津田沼	407	10.3	21.4	6.1	9.6	10.6	12.0	18.7	24.6	26.3	6.6	23.6	14.5	0.7	2.0
	鷺沼・鷺沼台	304	11.5	22.4	7.6	9.2	12.2	13.5	19.1	24.3	25.7	8.9	23.0	9.9	1.3	0.7
	藤崎	345	10.4	24.1	6.1	8.7	8.4	9.0	22.3	28.7	27.0	8.1	20.9	11.6	1.4	1.4
	大久保・泉・本大久保	357	13.4	24.1	7.3	8.1	10.4	9.8	19.6	19.9	28.3	5.0	24.9	13.4	0.8	1.4
	本大久保・花咲・屋敷	391	10.0	21.0	7.7	9.0	12.0	11.8	20.5	24.6	27.6	6.6	21.7	11.5	2.3	1.5
	実籾・新栄	315	9.5	24.4	11.4	9.2	9.5	6.0	16.8	20.3	28.9	8.6	27.0	10.8	1.6	1.6
	実花	210	11.9	28.6	6.7	5.2	10.0	9.0	20.5	21.0	31.0	5.2	23.8	10.0	1.0	2.9
	東習志野	298	13.1	24.5	9.1	6.7	7.0	7.7	23.2	18.5	28.9	5.0	28.9	10.4	1.0	3.0
	秋津・茜浜	206	16.5	19.4	6.3	6.8	11.2	13.1	18.9	20.9	30.1	6.3	21.8	10.7	1.9	1.0
	香澄・芝園	165	13.9	24.8	9.1	9.7	10.9	13.3	16.4	20.6	31.5	4.8	20.6	10.3	1.2	-

〔2〕 障害者（児）施策

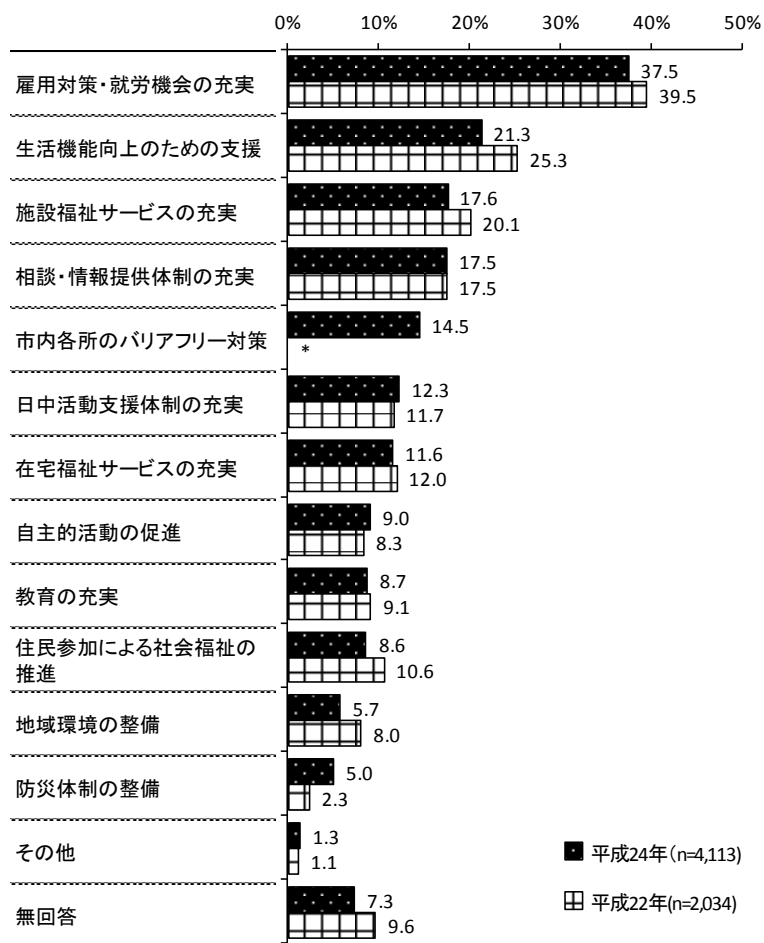
「雇用対策・就労機会の充実」が4割弱。

問7 障がい者（児）施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。（○は2つまで）

障害者（児）施策として特に取り組むべきと思うものは「雇用対策・就労機会の充実」が37.5%で最も多く、次いで「生活機能向上のための支援」が21.3%、「施設福祉サービスの充実」が17.6%となっています。

前回調査との推移をみると、「生活機能向上のための支援」が4ポイント増加しています。

図 2-3-2



※「市内各所のバリアフリー対策」は平成24年度より追加

性別にみると、男性と女性との差はあまりみられません。

年齢別にみると、「教育の充実」は若い年齢ほど割合が高く、年齢が高くなるにつれて減少傾向になっています。「雇用対策・就労機会の充実」は30代から50代で4割半ばとなっています。

居住地区別にみると、「雇用対策・就労機会の充実」は袖ヶ浦東で4割半ばと多くなっています。

表 2- 3- 2 障害者施策：性別・年齢別、居住地区別

(%)

		全 体 (n)	住 民 参 加 に よ る 社 会 福 祉 の 推 進	相 談 ・ 情 報 提 供 体 制 の 充 実	在 宅 福 祉 サ ー ビ ス の 充 実	施 設 福 祉 サ ー ビ ス の 充 実	日 中 活 動 支 援 体 制 の 充 実	生 活 機 能 向 上 の た め の 支 援	雇 用 対 策 ・ 就 労 機 会 の 充 実	地 域 環 境 の 整 備	防 災 体 制 の 整 備	教 育 の 充 実	自 主 的 活 動 の 促 進	市 内 各 所 の バ リ ア フ リ ー 対 策	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	8.6	17.5	11.6	17.6	12.3	21.3	37.5	5.7	5.0	8.7	9.0	14.5	1.3	7.3
性別・年齢別	男	1,784	9.5	17.5	12.5	18.0	11.0	21.4	39.5	6.4	4.9	7.9	10.2	13.3	1.3	5.7
	女	2,269	7.7	17.5	10.8	17.5	13.6	21.2	36.2	5.3	5.0	9.3	8.2	15.5	1.3	8.4
	20代	348	8.0	17.8	7.8	12.9	13.5	21.6	41.1	8.9	3.7	14.7	8.6	17.5	2.0	2.6
	30代	685	6.6	17.7	9.2	15.2	15.6	17.7	47.3	6.0	3.6	14.0	6.4	14.6	1.3	3.8
	40代	693	5.8	19.6	10.1	16.5	15.3	24.1	43.4	4.8	5.1	10.2	6.6	13.7	1.0	3.2
	50代	572	8.4	16.8	12.1	17.5	15.0	22.2	44.2	3.7	3.0	8.9	9.6	13.3	1.0	4.9
	60代	875	11.3	16.6	12.3	19.1	13.1	21.9	35.7	5.5	4.0	4.9	11.3	13.9	1.5	7.8
	70歳以上	918	9.8	17.2	15.0	20.8	4.8	20.9	21.9	6.5	8.5	4.4	10.6	15.4	1.1	15.6
居住地区別	谷津	361	7.8	17.2	10.5	18.3	11.6	19.1	42.4	7.8	3.6	8.6	11.6	14.7	0.3	7.2
	向山	392	8.2	15.3	11.0	18.4	13.5	24.7	43.9	5.6	2.3	7.1	7.1	16.1	1.0	6.6
	袖ヶ浦西	230	9.6	15.7	8.3	17.8	8.3	22.2	34.3	4.3	5.2	7.8	7.4	16.1	2.2	11.7
	袖ヶ浦東	104	12.5	17.3	5.8	16.3	7.7	20.2	45.2	8.7	4.8	12.5	10.6	13.5	1.0	6.7
	津田沼	407	6.4	17.2	12.3	19.9	14.0	20.6	35.9	5.2	4.9	9.8	6.4	17.7	0.7	6.4
	鷺沼・鷺沼台	304	5.9	18.4	11.5	19.7	13.8	19.1	37.5	5.6	5.9	8.2	6.9	13.8	1.6	6.6
	藤崎	345	9.6	17.4	9.9	15.4	13.0	24.1	40.6	5.2	4.3	9.6	7.0	12.2	1.2	7.5
	大久保・泉・本大久保	357	9.8	17.4	12.9	16.5	14.6	23.0	34.2	4.8	5.6	9.2	6.7	14.3	1.7	6.4
	本大久保・花咲・屋敷	391	8.7	21.5	14.1	17.1	12.0	19.4	34.3	5.6	6.9	8.7	9.7	13.8	2.0	6.1
	実籾・新栄	315	7.9	16.2	14.3	18.4	11.7	18.1	33.7	5.4	7.3	11.1	9.5	15.6	1.3	7.0
	実花	210	11.0	18.6	11.0	18.1	13.8	22.9	35.2	6.2	2.4	4.8	13.3	15.2	1.4	7.6
	東習志野	298	9.7	19.5	12.8	15.1	11.4	18.5	37.6	5.4	5.0	10.7	10.7	15.8	0.3	6.7
	秋津・茜浜	206	9.2	15.0	10.7	19.9	9.2	22.8	34.5	5.8	5.8	4.9	14.1	10.2	1.9	9.7
	香澄・芝園	165	7.9	18.2	10.3	14.5	12.7	26.7	37.6	7.3	6.7	5.5	12.1	9.7	1.8	7.3

〔3〕 子育て支援施策

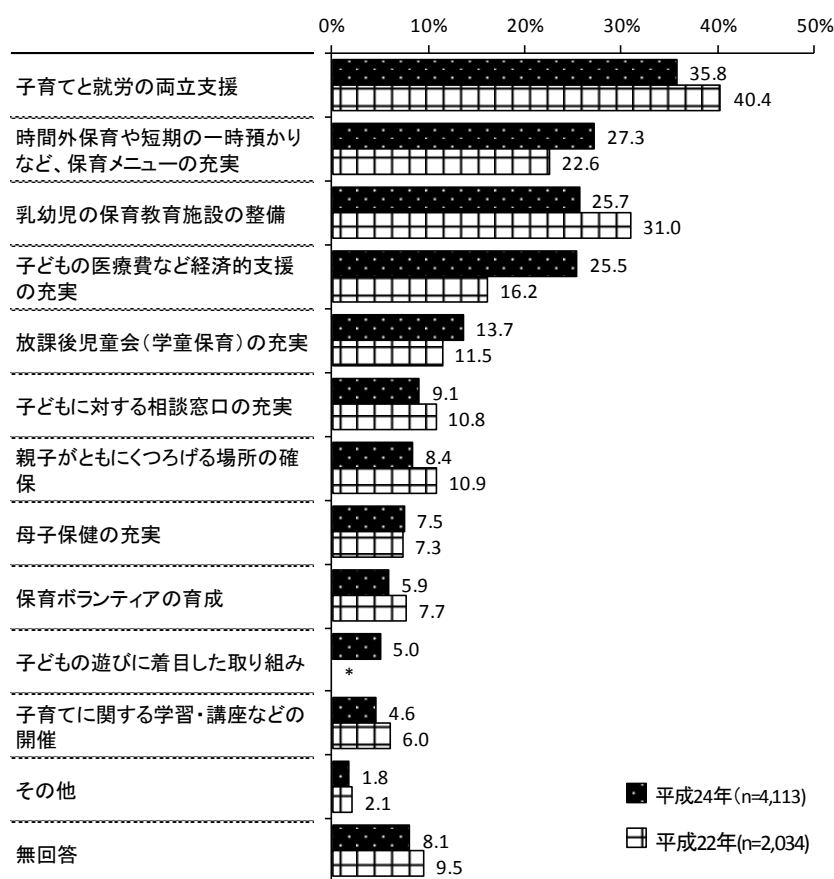
「子育てと就労の両立支援」が3割半ば。

問8 子育て支援施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(○は2つまで)

子育て支援施策として特に取り組むべきと思うものは「子育てと就労の両立支援」が35.8%で最も多く、次いで「時間外保育や短期の一時預かりなど、保育メニューの充実」が27.3%、「乳幼児の保育教育施設の整備」が25.7%となっています。

前回調査との推移をみると、「子どもの医療費など経済的支援の充実」が9.3ポイント、「時間外保育や短期の一時預かりなど、保育メニューの充実」が4.7ポイント増加していますが、「乳幼児の保育教育施設の整備」が5.3ポイント、「子育てと就労の両立支援」が4.6ポイント減少しています。

図 2-3-3



※「子どもの遊びに着目した取り組み」は平成24年度より追加

性別にみると、男性と女性との差はあまりみられませんが、男性は「乳幼児の保育教育施設の整備」が4ポイント、女性は「子どもの医療費など経済的支援の充実」が5.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「子育てと就労の両立支援」は20代から60代まで3割半ばから4割弱となっています。「子どもの医療費など経済的支援の充実」は20代から40代で3割半ばとなっています。

居住地区別にみると、「乳幼児の保育教育施設の整備」は谷津で3割強、「子育てと就労の両立支援」は秋津・茜浜で4割と多くなっています。

表 2-3-3 子育て支援施策：性別・年齢別、居住地区別

(%)

		全 体 (n)	乳 幼 児 の 保 育 教 育 施 設 の 整 備	放 課 後 児 童 会 (<u>学 童 保 育</u>) の 充 実	子 育 て と 就 労 の 両 立 支 援	母 子 保 健 の 充 実	時 間 外 保 育 や 短 期 の 一 時 預 かり な ど、 <u>保 育 メ ニ ュー</u> の 充 実	保 育 ボ ラ ン テ ィ ア の 育 成	開 催 子 育 て に 関 す る 学 習 ・ 講 座 な ど の	確 保 親 子 が と も に く つ ろ げ る 場 所 の	子 ど も の 遊 び に 着 目 し た 取 り 組 み	子 ど も に 対 す る 相 談 窓 口 の 充 実	子 ど も の 医 療 費 な ど 経 済 的 支 援 の 充 実	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	25.7	13.7	35.8	7.5	27.3	5.9	4.6	8.4	5.0	9.1	25.5	1.8	8.1
性別・年齢別	男	1,784	28.1	12.0	38.7	8.3	26.3	5.7	4.9	9.6	5.9	8.4	22.8	1.8	7.0
	女	2,269	24.1	15.2	33.7	6.9	28.4	6.0	4.4	7.3	4.2	9.7	27.9	1.6	8.7
	20代	348	27.9	7.5	39.7	12.1	29.3	3.2	8.3	9.8	5.5	8.3	34.5	0.6	1.7
	30代	685	28.3	14.5	38.8	7.3	29.1	3.9	5.0	10.8	4.8	5.4	36.5	1.5	2.0
	40代	693	25.1	15.4	36.9	5.8	29.1	4.6	4.3	6.3	4.8	7.8	36.1	2.9	1.9
	50代	572	30.8	13.6	38.1	6.8	30.2	7.3	4.2	5.9	3.7	11.2	19.9	2.3	5.6
	60代	875	26.5	15.9	37.0	7.4	28.7	7.5	4.0	7.3	4.8	10.3	18.2	1.0	9.3
	70歳以上	918	19.6	12.5	28.9	7.7	20.9	6.8	3.9	10.0	5.8	11.0	16.6	2.0	19.9
居住地区別	谷津	361	33.0	15.0	32.7	7.2	29.6	4.4	4.2	10.8	3.6	8.0	25.2	1.7	7.2
	向山	392	24.7	12.8	35.7	8.2	29.8	6.9	4.8	9.7	3.3	10.2	23.2	2.3	9.2
	袖ヶ浦西	230	27.0	14.8	37.0	7.8	24.3	4.3	2.2	6.1	5.2	7.8	27.0	0.9	12.2
	袖ヶ浦東	104	26.9	16.3	33.7	11.5	28.8	3.8	5.8	7.7	4.8	7.7	21.2	1.0	9.6
	津田沼	407	26.0	13.8	38.3	7.4	28.3	3.9	6.1	7.4	4.7	8.4	24.3	1.5	7.4
	鷺沼・鷺沼台	304	23.0	11.5	36.5	7.9	25.7	5.6	5.9	6.9	8.6	8.2	29.3	2.3	6.9
	藤崎	345	29.0	13.9	35.9	9.6	25.2	8.4	4.9	5.2	2.3	8.7	25.2	2.3	6.7
	大久保・泉・本大久保	357	23.2	16.0	36.1	9.2	26.3	6.7	5.3	9.0	5.6	10.6	24.4	1.4	6.4
	本大久保・花咲・屋敷	391	23.5	12.0	33.8	7.2	31.2	5.4	2.8	9.0	3.6	12.3	25.8	3.1	7.7
	実籾・新栄	315	21.6	12.1	37.8	4.1	25.1	7.0	5.1	10.5	7.0	9.5	25.4	1.6	7.9
	実花	210	28.6	12.9	33.3	6.2	28.6	5.7	4.3	10.0	4.8	11.0	25.7	1.0	7.6
	東習志野	298	21.8	16.1	36.2	4.7	24.8	5.0	6.0	8.7	3.7	10.7	29.9	0.7	9.4
	秋津・茜浜	206	29.6	13.6	40.8	8.7	22.3	7.8	2.4	6.8	10.7	5.8	20.9	2.4	8.3
	香澄・芝園	165	25.5	14.5	33.9	7.9	30.9	6.1	2.4	7.3	4.8	4.2	29.7	1.8	8.5

〔4〕 健康づくりの施策

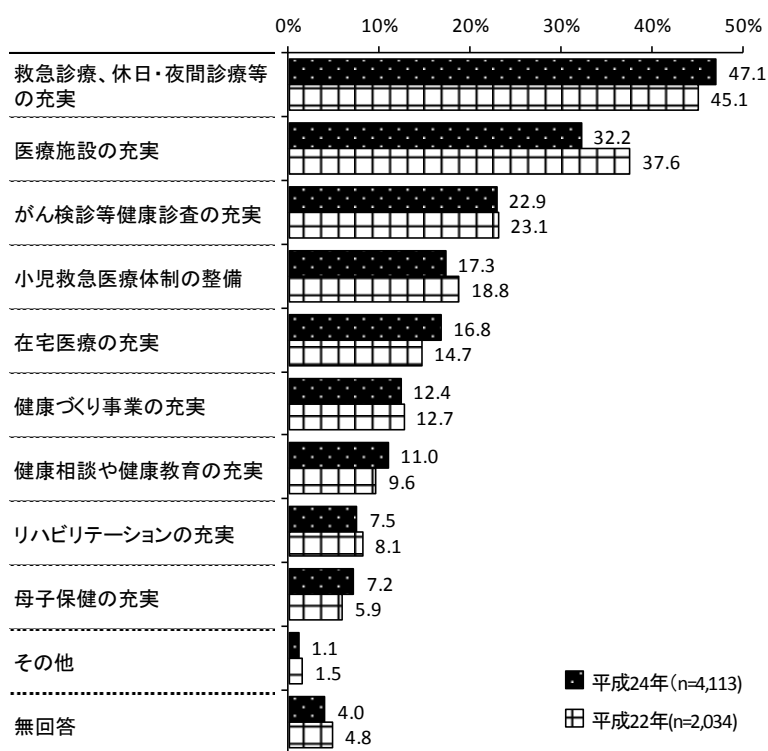
「救急診療、休日・夜間診療等の充実」が4割半ば。

問9 健康づくりの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

健康づくりの施策として特に取り組むべきと思うものは「救急診療、休日・夜間診療等の充実」が47.1%で最も多く、次いで「医療施設の充実」が32.2%、「がん検診等健康診査の充実」が22.9%となっています。

前回調査との推移をみると、「医療施設の充実」が5.4ポイント減少しています。

図 2-3-4



性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっていますが、男性は「健康づくり事業の充実」が5.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「救急診療、休日・夜間診療等の充実」は20代から50代で5割を超えています。「小児救急医療体制の整備」は30代で3割強、「がん検診等健康診査の充実」は20代で3割強、「在宅医療の充実」は70歳以上で2割半ばと多くなっています。

居住地区別にみると、「救急診療、休日・夜間診療等の充実」は谷津で5割を超えています。「医療施設の充実」は実花で4割半ば、「在宅医療の充実」は実靱・新栄で2割強となっています。

表 2-3-4 健康づくりの施策：性別・年齢別、居住地区別

		(%)											
		全 体 (n)	母子保健の 充実	小児救急医療 体制の整備	がん検診等 健康診査の充 実	健康相談や 健康教育の充 実	健康づくり 事業の充実	医療施設 の充実	救急診療、 休日・夜間 診療等の充 実	リハビリテ ーションの充 実	在宅医療 の充実	その他	無回 答
全 体		4,113	7.2	17.3	22.9	11.0	12.4	32.2	47.1	7.5	16.8	1.1	4.0
性別・ 年齢別	男	1,784	8.6	17.2	21.5	13.6	15.5	31.6	45.3	7.0	15.9	1.1	3.8
	女	2,269	6.3	17.7	24.2	8.9	9.8	33.0	48.7	7.8	17.2	1.1	4.1
	20代	348	10.6	23.9	33.0	15.2	8.9	24.7	52.9	5.2	6.9	1.1	1.1
	30代	685	11.7	32.0	31.2	8.3	6.7	28.9	52.4	3.8	6.6	0.7	1.9
	40代	693	5.8	24.0	22.9	8.7	9.2	34.9	55.0	5.3	10.4	1.3	2.0
	50代	572	4.0	14.0	18.2	10.7	11.5	38.6	50.9	7.7	20.6	1.4	2.8
	60代	875	5.9	9.4	20.8	12.8	17.1	34.6	39.5	9.5	23.0	1.3	4.6
	70歳以上	918	7.1	8.7	17.9	11.5	16.1	29.4	39.9	10.8	24.7	0.9	8.1
居住 地区別	谷津	361	6.9	21.1	23.5	7.8	10.5	30.2	53.5	5.5	16.9	0.3	4.2
	向山	392	8.9	18.6	26.3	9.9	14.3	28.3	48.7	8.2	17.1	0.5	2.8
	袖ヶ浦西	230	9.1	15.7	22.2	10.9	9.6	33.0	48.7	5.7	18.3	1.3	3.0
	袖ヶ浦東	104	6.7	15.4	26.9	6.7	15.4	32.7	47.1	6.7	19.2	1.0	1.0
	津田沼	407	7.6	17.7	25.1	11.8	14.0	31.2	45.7	8.4	13.3	0.7	4.2
	鷺沼・鷺沼台	304	7.2	20.1	22.7	11.5	12.8	31.9	45.1	5.9	16.8	0.7	4.6
	藤崎	345	7.8	17.4	21.7	9.3	12.2	29.9	48.7	6.7	18.6	1.7	4.6
	大久保・泉・本大久保	357	7.0	16.5	21.8	12.6	10.6	33.3	48.7	8.7	16.8	1.1	3.6
	本大久保・花咲・屋敷	391	7.9	17.1	18.9	12.8	11.8	36.3	45.0	7.7	16.6	1.8	3.3
	実靱・新栄	315	4.8	13.7	21.0	14.0	13.0	28.6	44.8	7.3	21.3	1.3	5.4
	実花	210	6.7	12.9	20.0	11.0	10.5	45.2	45.7	10.5	10.5	1.9	4.3
	東習志野	298	6.4	16.8	25.2	8.1	13.4	33.2	49.7	6.7	17.8	1.0	4.7
	秋津・茜浜	206	7.8	17.5	21.8	14.6	13.6	31.6	39.8	8.7	15.5	1.5	3.9
	香澄・芝園	165	5.5	21.8	25.5	11.5	11.5	29.1	44.2	8.5	17.6	1.2	3.0

〔5〕 学校教育の施策

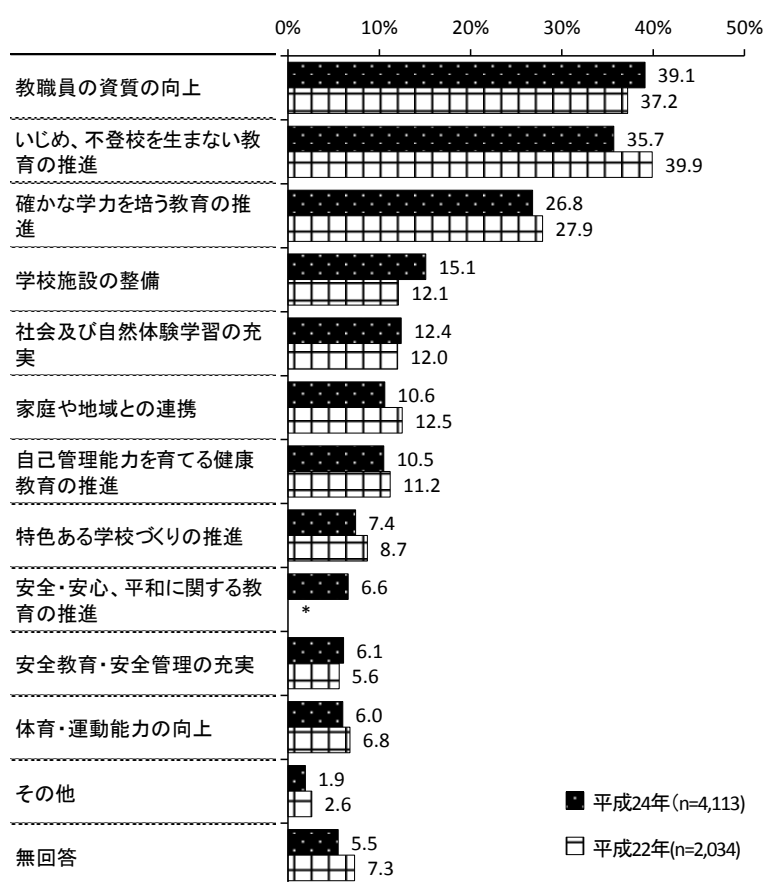
「教職員の資質の向上」が4割。

問10 学校教育の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

学校教育の施策として特に取り組むべきと思うものは「教職員の資質の向上」が39.1%で最も多く、次いで「いじめ、不登校を生まない教育の推進」が35.7%、「確かな学力を培う教育の推進」が26.8%となっています。

前回調査との推移をみると、「いじめ、不登校を生まない教育の推進」が4.2ポイントと減少しています。

図 2-3-5



※「安全・安心、平和に関する教育の推進」は平成24年度より追加

性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっています。

年齢別にみると、「教職員の資質の向上」が40代から60代で4割半ば前後、「学校施設の整備」は40代で2割半ばとなっています。

居住地区別にみると、「教職員の資質の向上」は秋津・茜浜で4割半ば、「確かな学力を培う教育の推進」は袖ヶ浦東で3割強となっています。「いじめ、不登校を生まない教育の推進」は東習志野、袖ヶ浦西で4割以上と多くなっています。

表 2- 3- 5 学校教育の施策：性別・年齢別、居住地区別

(%)

		全 体 (n)	学校施設の整備	確かな学力を培う教育の推進	社会及び自然体験学習の充実	体育・運動能力の向上	教職員の資質の向上	自己管理能力を育てる健康教育の推進	進 特色ある学校づくりの推進	安全教育・安全管理の充実	いじめ、不登校を生まない教育の推進	家庭や地域との連携	安全・安心、平和に関する教育の推進	その他	無回答
全体		4,113	15.1	26.8	12.4	6.0	39.1	10.5	7.4	6.1	35.7	10.6	6.6	1.9	5.5
性別・年齢別	男	1,784	13.8	26.7	13.4	7.3	38.6	11.0	9.6	6.0	33.6	10.3	7.2	2.5	4.4
	女	2,269	16.2	27.1	11.7	5.0	39.6	10.1	5.7	6.0	37.5	11.0	6.1	1.4	6.2
	20代	348	11.2	24.1	17.8	10.3	30.5	11.5	7.2	10.3	37.6	16.1	2.9	2.6	1.7
	30代	685	20.6	27.7	18.4	6.7	35.0	8.6	7.0	9.8	34.5	11.1	5.3	2.2	1.8
	40代	693	26.1	29.4	11.5	5.1	44.2	9.8	4.9	5.8	32.9	8.2	6.2	2.3	1.7
	50代	572	17.3	24.3	9.4	4.9	47.0	11.7	8.2	3.8	35.1	11.4	6.8	2.4	3.0
	60代	875	7.7	28.7	12.1	4.9	43.7	13.0	7.5	4.8	38.3	9.7	7.2	1.3	5.8
	70歳以上	918	10.0	24.9	8.7	6.3	32.8	8.9	8.7	4.4	36.4	10.2	8.6	1.3	13.7
居住地区別	谷津	361	20.8	30.5	11.4	3.6	40.4	10.0	7.2	6.1	33.5	11.6	7.2	1.1	4.2
	向山	392	13.3	28.3	11.7	3.8	39.8	10.2	8.9	5.9	37.5	14.0	4.8	2.0	5.1
	袖ヶ浦西	230	9.6	24.3	10.9	7.4	39.1	10.0	6.5	5.7	40.9	7.4	5.2	2.2	10.4
	袖ヶ浦東	104	9.6	32.7	8.7	5.8	43.3	15.4	5.8	6.7	31.7	5.8	6.7	2.9	7.7
	津田沼	407	13.3	27.3	11.1	5.9	40.5	13.0	9.1	6.9	32.4	9.6	7.1	3.2	5.4
	鷺沼・鷺沼台	304	17.1	23.4	15.5	7.6	34.9	9.5	8.2	4.6	35.2	13.2	6.6	2.3	4.6
	藤崎	345	18.3	25.8	12.5	4.1	42.3	8.1	7.0	5.2	36.8	9.9	4.1	2.3	6.1
	大久保・泉・本大久保	357	17.1	29.7	11.8	6.4	37.8	10.9	7.6	6.2	36.7	8.4	5.9	2.5	3.6
	本大久保・花咲・屋敷	391	14.1	27.4	11.8	7.4	40.2	9.7	8.2	7.4	32.2	10.7	6.4	1.5	5.6
	実籾・新栄	315	16.5	26.0	14.3	5.7	32.1	12.1	4.4	3.5	39.0	12.7	7.6	1.0	6.0
	実花	210	13.3	22.4	18.6	5.2	39.5	11.0	4.3	7.1	34.8	13.3	11.4	0.5	3.3
	東習志野	298	17.4	23.2	12.1	8.7	35.2	9.4	5.7	5.7	41.6	8.1	8.1	1.7	6.0
	秋津・茜浜	206	11.7	26.7	10.2	5.8	45.6	12.6	9.2	7.3	33.5	10.2	7.3	1.9	5.8
	香澄・芝園	165	10.9	29.1	13.9	7.9	43.0	7.9	7.9	8.5	33.9	9.7	6.1	1.2	4.8

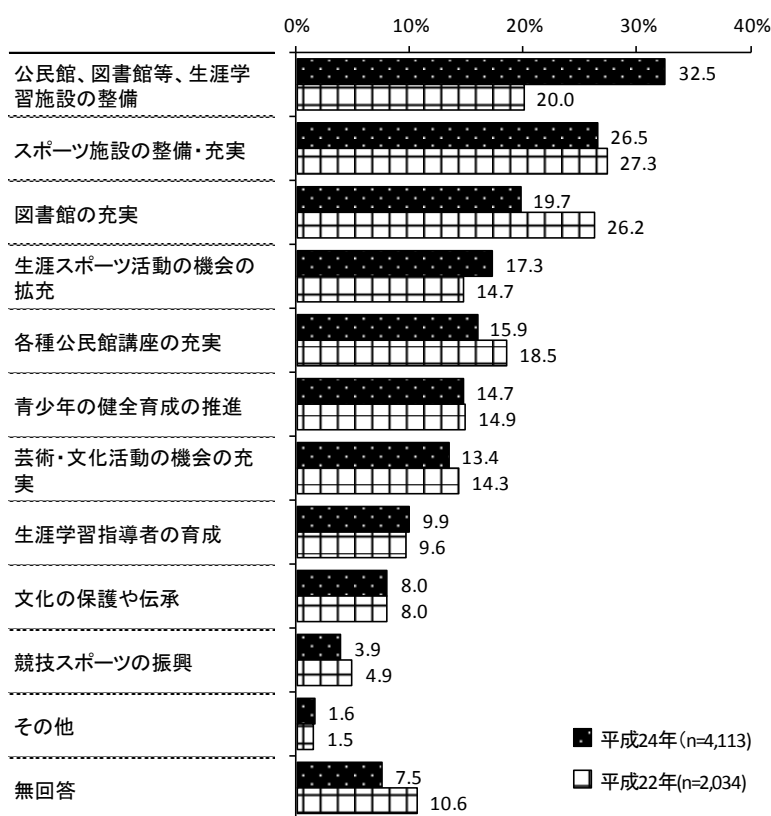
〔6〕 生涯学習・生涯スポーツの施策 「スポーツ施設の整備・充実」が2割後半。

問11 生涯学習・生涯スポーツの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

生涯学習・生涯スポーツの施策として特に取り組むべきと思うものは「公民館、図書館等、生涯学習施設の整備」が32.5%で最も多く、次いで「スポーツ施設の整備・充実」が26.5%、「図書館の充実」が19.7%となっています。

前回調査との推移をみると、「公民館、図書館等、生涯学習施設の整備」が12.5ポイント増加していますが、「図書館の充実」が6.5ポイント減少しています。

図 2-3-6



性別にみると、男性は「スポーツ施設の整備・充実」が8.2ポイント高く、女性は「各種公民館講座の充実」が7.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「スポーツ施設の整備・充実」は20代から40代で3割強から4割、「青少年の健全育成の推進」は70歳以上で2割強となっています。「図書館の整備・充実」は年齢が高くなるにつれて減少傾向となっています。

居住地区別にみると、「公民館、図書館等、生涯学習施設の整備」は鷺沼・鷺沼台、香澄・芝園で3割半ば以上、「スポーツ施設の整備・充実」は谷津と藤崎で3割強と多くなっています。

表 2- 3- 6 生涯学習・生涯スポーツの施策：性別・年齢別、居住地区別

		(%)												
		全 体 (n)	各種 公民館 講座の 充実	公民館、 図書館等、 生涯学 習施設の 整備	ス ポ ー ツ 施 設 の 整 備 ・ 充 実	図 書 館 の 充 実	芸 術 ・ 文 化 活 動 の 機 会 の 充 実	文 化 の 保 護 や 伝 承	生 涯 学 習 指 導 者 の 育 成	生 涯 ス ポ ー ツ 活 動 の 機 会 の 拡 充	競 技 ス ポ ー ツ の 振 興	青 少 年 の 健 全 育 成 の 推 進	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	15.9	32.5	26.5	19.7	13.4	8.0	9.9	17.3	3.9	14.7	1.6	7.5
性別・ 年齢別	男	1,784	11.5	31.3	31.3	18.7	11.9	9.4	10.9	19.9	5.8	15.5	1.8	5.6
	女	2,269	19.3	33.8	23.1	20.6	14.8	6.9	8.9	15.2	2.4	13.9	1.4	8.7
	20代	348	9.8	32.5	39.9	25.0	11.8	7.2	4.0	20.1	10.3	10.3	0.9	4.0
	30代	685	15.6	35.3	36.5	27.9	11.7	8.0	4.8	16.2	4.7	8.6	1.9	2.6
	40代	693	13.1	35.8	33.2	26.6	14.0	7.2	5.9	16.6	4.9	10.5	2.2	4.0
	50代	572	17.0	37.2	25.3	21.0	16.1	9.4	8.6	17.3	3.0	11.9	1.9	4.0
	60代	875	18.6	30.3	19.0	14.2	15.5	8.1	12.9	20.9	2.4	18.9	0.7	9.3
	70歳以上	918	17.3	27.2	16.7	10.6	11.5	7.7	16.7	14.3	2.2	22.1	1.9	15.4
居住地区別	谷津	361	17.5	33.2	31.3	17.7	16.9	9.4	8.3	18.0	3.3	12.2	0.3	6.6
	向山	392	19.4	32.7	27.0	21.4	17.6	7.7	7.4	14.5	2.8	10.5	2.6	7.1
	袖ヶ浦西	230	17.8	24.3	18.3	17.4	13.5	7.4	14.3	16.1	4.8	13.9	2.2	14.3
	袖ヶ浦東	104	16.3	32.7	23.1	15.4	16.3	5.8	6.7	16.3	5.8	21.2	1.9	6.7
	津田沼	407	15.0	34.6	27.0	24.3	13.0	8.6	7.4	19.2	2.9	12.8	1.7	5.9
	鷺沼・鷺沼台	304	17.8	35.9	27.3	22.4	14.1	7.2	8.2	15.1	3.6	12.8	2.0	6.6
	藤崎	345	12.2	31.0	31.3	20.0	11.0	7.8	9.9	16.2	4.3	13.3	1.7	7.8
	大久保・泉・本大久保	357	15.7	33.9	24.6	22.1	10.1	7.3	10.9	17.1	4.2	17.9	1.1	7.0
	本大久保・花咲・屋敷	391	17.6	33.2	24.8	20.2	11.3	7.7	11.3	17.1	5.6	11.3	3.6	7.2
	実籾・新栄	315	11.7	32.7	28.3	12.7	14.9	10.5	12.1	16.2	4.8	16.5	1.0	7.0
	実花	210	15.7	31.4	25.2	18.6	13.3	7.1	9.5	21.9	2.9	21.4	1.9	6.7
	東習志野	298	10.4	31.9	28.5	18.8	10.1	8.4	11.4	21.5	2.7	19.1	0.7	9.4
	秋津・茜浜	206	21.4	30.6	18.9	19.9	14.1	4.4	10.2	17.0	3.9	20.4	1.0	7.3
	香澄・芝園	165	17.0	35.2	26.7	15.8	13.9	10.3	12.1	17.6	4.2	14.5	-	6.1

〔7〕 市民協働の施策

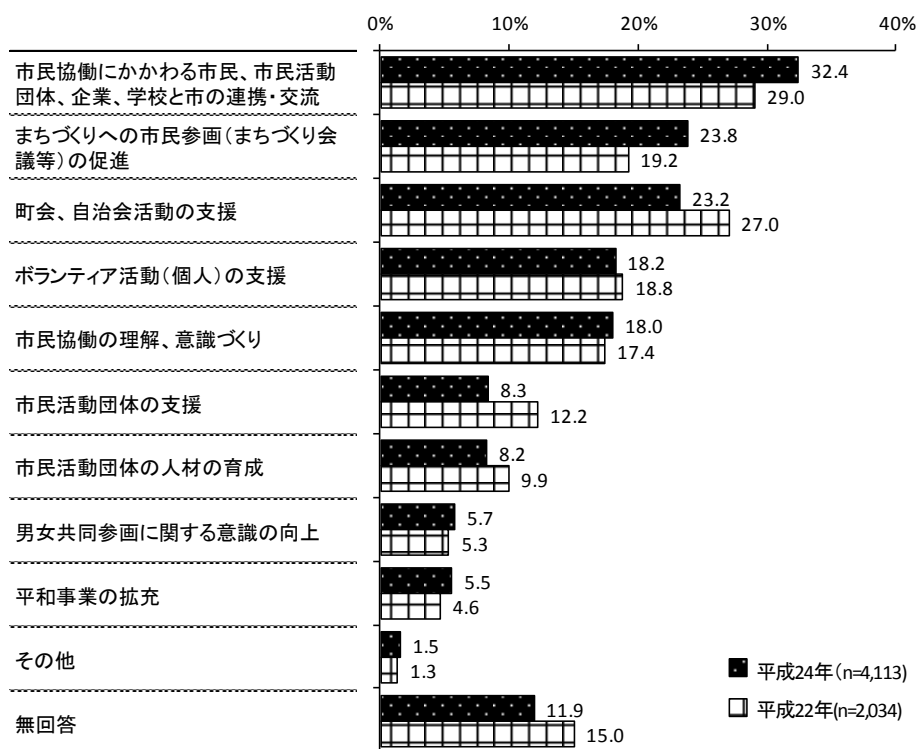
「市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業・学校と市の連携、交流」が3割弱。

問12 市民協働の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

市民協働の施策として特に取り組むべきと思うものは「市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業、学校と市の連携・交流」が32.4%で最も多く、次いで「まちづくりへの市民参画（まちづくり会議等）の促進」が23.8%、「町会、自治会活動の支援」が23.2%となっています。

前回調査との推移をみると、「まちづくりへの市民参画の促進」4.6ポイント増加しています。

図 2-3-7



性別にみると、男性は「まちづくりへの市民参画（まちづくり会議等）の促進」が7.3ポイント、「町会、自治会活動の支援」が5.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業、学校と市の連携・交流」は20代から40代で4割弱、「町会、自治会活動の支援」は70歳以上で3割半ばとなっています。

居住地区別にみると、「市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業、学校と市の連携・交流」は大久保・泉・本大久保と香澄・芝園で3割半ば、「ボランティア活動（個人）の支援」は秋津・茜浜で2割強と多くなっています。

表 2- 3- 7 市民協働の施策：性別・年齢別、居住地区別

		(%)											
		全 体 (n)	まちづくりへの市民参画（まちづくり会議等）の促進	市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業、学校と市の連携・交流	町会、自治会活動の支援	市民活動団体の支援	市民活動団体の人材の育成	ボランティア活動（個人）の支援	市民協働の理解、意識づくり	男女共同参画に関する意識の向上	平和事業の拡充	その他	無回答
全 体		4,113	23.8	32.4	23.2	8.3	8.2	18.2	18.0	5.7	5.5	1.5	11.9
性別・年齢別	男	1,784	27.9	31.3	26.2	8.9	9.5	18.5	19.3	5.0	5.8	1.6	8.5
	女	2,269	20.6	33.5	20.9	7.8	7.2	18.0	17.2	6.2	5.5	1.2	14.2
	20代	348	25.0	39.9	16.4	8.3	4.9	18.7	19.3	10.3	6.3	1.4	7.2
	30代	685	25.8	38.5	19.1	8.6	4.4	16.8	16.9	5.8	5.8	1.6	9.8
	40代	693	27.0	38.7	19.5	7.2	6.9	18.5	16.9	3.8	4.8	1.3	8.8
	50代	572	21.3	33.7	19.8	9.6	7.7	19.9	21.7	6.3	4.5	2.1	10.1
	60代	875	23.2	29.8	23.0	8.0	9.9	20.5	20.7	5.5	6.6	0.9	13.1
	70歳以上	918	21.9	21.7	34.4	8.4	11.9	15.7	14.3	5.0	5.2	1.4	17.2
居住地区別	谷津	361	26.0	33.2	23.5	6.9	8.0	18.0	15.8	7.8	4.7	0.8	11.9
	向山	392	27.3	34.4	21.7	6.9	8.4	19.6	15.6	5.9	4.6	2.0	12.2
	袖ヶ浦西	230	16.5	32.2	22.2	8.3	7.8	16.1	17.4	6.1	8.3	1.3	18.3
	袖ヶ浦東	104	27.9	26.0	27.9	4.8	10.6	21.2	18.3	5.8	6.7	1.9	11.5
	津田沼	407	24.6	33.7	18.9	9.8	8.6	21.9	17.9	5.4	3.4	2.0	10.3
	鷺沼・鷺沼台	304	29.6	30.3	23.0	6.6	6.9	15.8	18.8	6.9	5.3	1.6	11.2
	藤崎	345	25.5	30.7	24.3	11.0	5.5	15.4	20.9	6.4	4.6	0.9	11.9
	大久保・泉・本大久保	357	21.8	35.3	21.6	10.4	7.0	18.2	19.6	4.5	5.6	1.4	9.8
	本大久保・花咲・屋敷	391	19.7	34.3	26.9	9.2	8.7	13.8	18.9	4.9	6.4	2.8	10.2
	実籾・新栄	315	26.3	27.3	27.3	7.9	8.6	20.0	17.1	3.8	3.8	-	12.7
	実花	210	16.7	34.8	21.0	6.2	9.0	19.5	22.4	5.2	10.5	1.9	12.9
	東習志野	298	23.2	33.9	22.8	8.4	7.4	17.8	15.8	5.4	7.4	0.7	12.4
	秋津・茜浜	206	22.3	26.2	22.3	7.3	11.7	23.8	18.0	5.3	5.8	1.9	10.2
	香澄・芝園	165	25.5	35.8	25.5	9.1	10.3	17.0	18.2	6.7	4.8	0.6	10.9

〔8〕 環境の施策

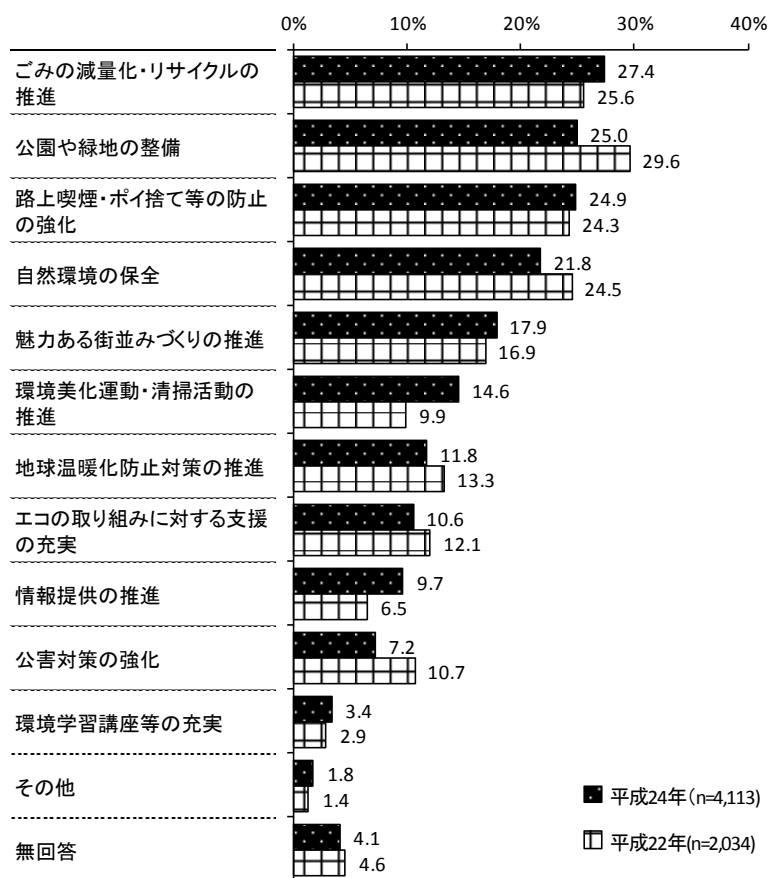
「ごみの減量化・リサイクルの推進」が3割弱。

問13 環境の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

環境の施策として特に取り組むべきと思うものは「ごみの減量化・リサイクルの推進」が27.4%で最も多く、次いで「公園や緑地の整備」が25.0%、「路上喫煙・ポイ捨て等の防止の強化」が24.9%となっています。

前回調査との推移をみると、「公園や緑地の整備」が4.6ポイント減少しています。

図 2-3-8



性別にみると、男性は「魅力ある街並みづくりの推進」が4.7ポイント高く、女性は「地球温暖化防止対策の推進」が3.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「路上喫煙・ポイ捨て等の防止の強化」は20代で3割半ばを超え、「公園や緑地の整備」は30代で3割半ば、40代で3割となっています。「路上喫煙・ポイ捨て等の防止の強化」は20代から40代および70歳以上で2割後半となっています。

居住地区別にみると、「公園や緑地の整備」は谷津で3割強となっています。「ごみの減量化・リサイクルの推進」は袖ヶ浦東で3割半ば、大久保・泉・本大久保で3割強と多くなっています。

表 2-3-8 環境の施策：性別・年齢別、居住地区別

		全 体 (n)	環 境 学 習 講 座 等 の 充 実	情 報 提 供 の 推 進	進 地 球 温 暖 化 防 止 対 策 の 推 進	自 然 環 境 の 保 全	ご み の 減 量 化 ・ リ サ イ ク ル の 推 進	推 進 魅 力 あ る 街 並 み づ く り の 推 進	公 園 や 緑 地 の 整 備	推 進 環 境 美 化 運 動 ・ 清 掃 活 動 の 推 進	止 の 強 化 上 路 喫 煙 ・ ポ イ 捨 て 等 の 防 止	公 害 対 策 の 強 化	支 援 の 充 実 エ コ の 取 り 組 み に 対 する	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	3.4	9.7	11.8	21.8	27.4	17.9	25.0	14.6	24.9	7.2	10.6	1.8	4.1
性別・年齢別	男	1,784	4.0	9.2	9.7	23.4	26.6	20.6	26.1	16.5	24.6	7.0	9.8	1.8	3.2
	女	2,269	2.6	10.1	13.4	20.4	28.1	15.9	24.5	13.1	25.4	7.3	11.5	1.9	4.6
	20代	348	2.6	7.8	8.0	13.2	26.1	19.0	29.9	14.7	37.1	7.8	11.5	2.6	2.0
	30代	685	2.8	8.0	9.2	16.2	25.4	19.9	35.0	14.9	29.9	6.1	10.7	1.9	1.8
	40代	693	2.6	9.5	12.4	19.3	28.7	17.9	30.2	12.8	27.3	5.6	11.7	2.7	1.6
	50代	572	2.8	10.5	10.3	22.6	29.4	17.5	25.0	15.7	23.6	5.6	10.7	2.6	2.8
	60代	875	4.2	11.2	14.4	27.4	26.9	18.9	17.8	14.7	19.7	8.6	12.9	0.7	4.3
	70歳以上	918	4.2	10.0	13.5	25.1	27.3	15.7	18.6	14.7	21.1	8.6	7.4	1.3	8.9
居住地区別	谷津	361	2.2	9.1	10.2	22.7	24.7	18.6	32.4	16.9	25.2	7.5	9.1	1.7	3.0
	向山	392	3.6	8.2	9.4	25.8	28.8	18.1	26.5	15.8	22.2	8.2	7.7	2.6	4.8
	袖ヶ浦西	230	7.4	6.1	12.6	24.3	24.3	17.0	19.1	12.2	29.6	5.7	10.4	3.0	7.0
	袖ヶ浦東	104	1.0	12.5	17.3	16.3	36.5	19.2	26.9	12.5	12.5	9.6	13.5	1.9	1.9
	津田沼	407	2.7	8.6	8.8	18.7	26.8	21.6	25.1	18.4	28.3	4.4	7.1	2.0	4.9
	鷺沼・鷺沼台	304	4.9	9.2	13.5	20.4	27.0	17.1	23.4	12.5	24.3	7.9	11.2	2.3	5.3
	藤崎	345	2.3	9.0	10.1	24.6	25.2	17.1	29.9	15.9	22.0	6.7	11.6	1.7	3.8
	大久保・泉・本大久保	357	3.1	14.6	12.0	17.9	27.5	16.2	26.3	12.6	26.3	6.7	11.8	1.4	3.4
	本大久保・花咲・屋敷	391	3.1	9.0	12.3	22.0	31.7	15.3	25.3	17.1	22.8	6.4	12.0	1.0	3.1
	実籾・新栄	315	3.8	8.6	13.3	18.1	28.9	16.5	21.3	12.1	29.5	8.3	12.4	2.9	3.2
	実花	210	2.4	11.9	15.2	21.9	25.7	16.7	21.4	12.4	29.0	8.1	11.4	1.4	3.3
	東習志野	298	3.4	9.4	12.4	22.1	25.8	18.5	24.5	15.1	27.5	6.4	12.8	1.0	4.0
	秋津・茜浜	206	4.9	10.2	14.1	25.7	26.7	23.3	16.0	10.7	21.4	7.8	11.7	1.9	3.4
香澄・芝園	165	2.4	13.9	13.3	22.4	27.3	18.8	25.5	12.1	20.6	10.9	11.5	0.6	4.8	

〔9〕 都市整備の施策

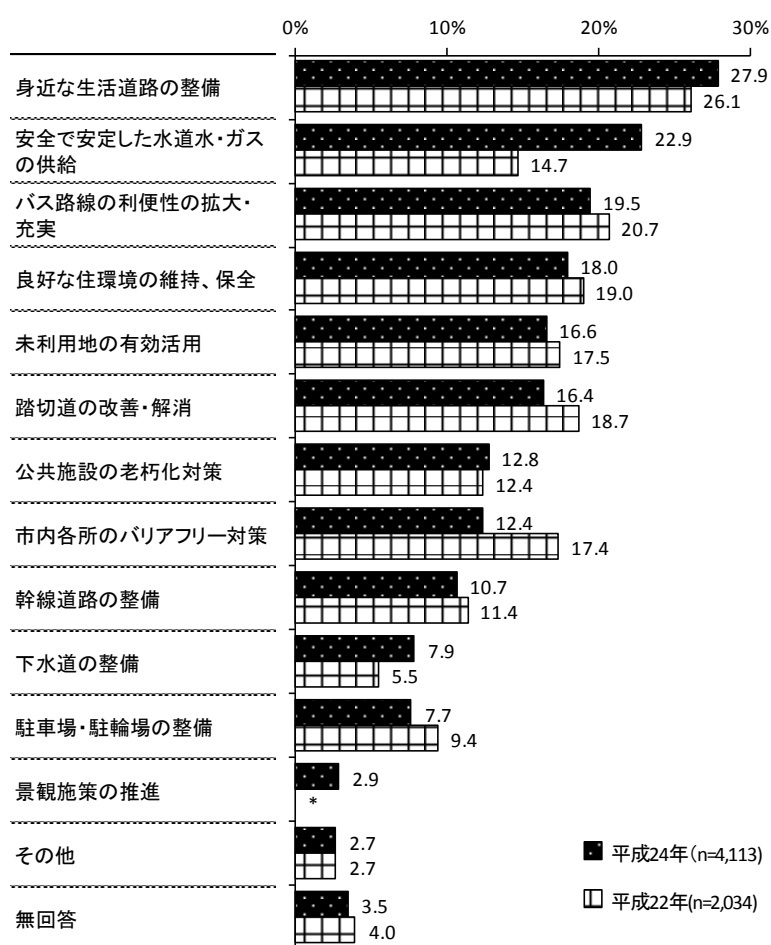
「身近な生活道路の整備」が2割半ば。

問14 都市整備の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

都市整備の施策として特に取り組むべきと思うものは「身近な生活道路の整備」が27.9%で最も多く、次いで「安全で安定した水道水・ガスの供給」が22.9%、「バス路線の利便性の拡大・充実」が19.5%となっています。

前回調査との推移をみると、「安全で安定した水道水・ガスの供給」が8.2ポイント増加していますが、「市内各所のバリアフリー対策」が5ポイント減少しています。

図 2-3-9



※「景観施策の推進」は平成24年度より追加

性別にみると、男性は「幹線道路の整備」が7ポイント高く、女性は「安全で安定した水道水・ガスの供給」が6.7ポイント、「市内各所のバリアフリー対策」が4.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「身近な生活道路の整備」が40代で3割強となっています。

居住地区別にみると、「バス路線の利便性の拡大・充実」は東習志野で4割、実花で3割半ば、「身近な生活道路の整備」は谷津で4割、「踏切道の改善・解消」は津田沼で3割弱と多くなっています。

表 2-3-9 都市整備の施策：性別・年齢別、居住地区別

		(%)														
		全 体 (n)	幹 線 道 路 の 整 備	身 近 な 生 活 道 路 の 整 備	未 利 用 地 の 有 効 活 用	駐 車 場 ・ 駐 輪 場 の 整 備	市 内 各 所 の バ リ ア フ リ ー 対 策	下 水 道 の 整 備	安 全 で 安 定 し た 水 道 水 ・ ガ ス の 供 給	踏 切 道 の 改 善 ・ 解 消	バ ス 路 線 の 利 便 性 の 拡 大 ・ 充 実	公 共 施 設 の 老 朽 化 対 策	良 好 な 住 環 境 の 維 持 ・ 保 全	景 観 施 策 の 推 進	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	10.7	27.9	16.6	7.7	12.4	7.9	22.9	16.4	19.5	12.8	18.0	2.9	2.7	3.5
性別・年齢別	男	1,784	14.7	28.4	18.0	9.1	9.9	7.1	19.2	18.9	16.0	12.1	20.7	4.1	3.1	2.7
	女	2,269	7.7	27.6	15.6	6.7	14.5	8.6	25.9	14.5	22.1	13.5	16.0	1.9	2.3	3.8
	20代	348	10.1	25.9	18.1	9.8	15.2	4.6	21.8	17.8	23.6	12.4	16.7	2.9	2.3	2.0
	30代	685	13.1	26.9	17.8	10.4	10.9	8.0	20.0	20.0	18.5	15.2	14.6	3.1	3.9	1.5
	40代	693	15.4	33.0	13.0	8.1	12.1	8.8	19.5	20.9	17.9	14.6	15.4	2.0	3.6	1.2
	50代	572	12.9	26.2	15.9	9.1	12.4	10.0	21.2	16.4	20.5	11.5	17.1	3.0	3.8	2.1
	60代	875	8.5	25.7	19.4	5.7	13.7	7.1	26.2	14.2	19.0	12.1	22.4	3.8	1.5	3.5
	70歳以上	918	6.4	28.9	15.8	5.8	11.4	8.0	25.7	11.8	19.8	11.5	19.6	2.6	1.5	7.8
居住地区別	谷津	361	14.4	40.2	14.7	9.1	11.9	6.1	21.9	8.3	14.7	11.9	19.1	6.1	1.7	3.0
	向山	392	5.9	25.8	17.6	11.2	16.3	6.4	26.8	10.2	14.8	12.2	23.5	3.3	3.8	4.1
	袖ヶ浦西	230	5.7	23.5	13.0	7.8	13.9	13.0	32.2	16.1	15.7	15.7	17.8	1.7	2.2	5.2
	袖ヶ浦東	104	2.9	25.0	18.3	6.7	4.8	21.2	17.3	17.3	15.4	10.6	29.8	3.8	3.8	2.9
	津田沼	407	10.1	27.3	16.7	8.1	13.8	6.9	20.1	27.8	9.3	12.0	19.7	2.7	3.2	1.7
	鷺沼・鷺沼台	304	17.1	29.3	15.8	8.6	11.5	6.6	18.4	18.4	24.3	13.5	12.2	3.0	2.6	3.9
	藤崎	345	15.7	33.3	14.2	5.5	14.8	8.4	16.8	19.1	13.3	13.0	16.2	4.1	3.8	3.2
	大久保・泉・本大久保	357	11.5	25.8	16.0	10.4	10.6	5.0	22.7	23.2	18.8	16.0	15.7	1.7	2.0	3.4
	本大久保・花咲・屋敷	391	10.7	32.5	15.3	4.3	12.3	7.4	24.0	22.0	16.6	15.9	13.6	1.8	3.3	2.8
	実籾・新栄	315	10.5	29.5	21.0	7.3	12.1	8.3	20.6	14.0	23.8	10.2	16.8	1.9	2.2	3.8
	実花	210	11.0	21.9	18.6	7.1	12.9	4.3	23.3	11.4	36.7	12.4	15.7	4.3	1.4	2.9
	東習志野	298	12.1	21.1	21.1	5.7	9.4	5.0	24.8	10.1	40.9	10.4	13.8	2.7	1.7	3.7
	秋津・茜浜	206	7.3	19.4	17.0	9.2	14.1	10.7	28.2	10.7	17.0	11.7	26.7	1.0	3.9	4.4
	香澄・芝園	165	5.5	23.0	15.8	4.8	9.7	17.6	25.5	10.9	22.4	10.3	25.5	1.8	1.8	3.6

〔10〕安全で安心なまちづくりの施策

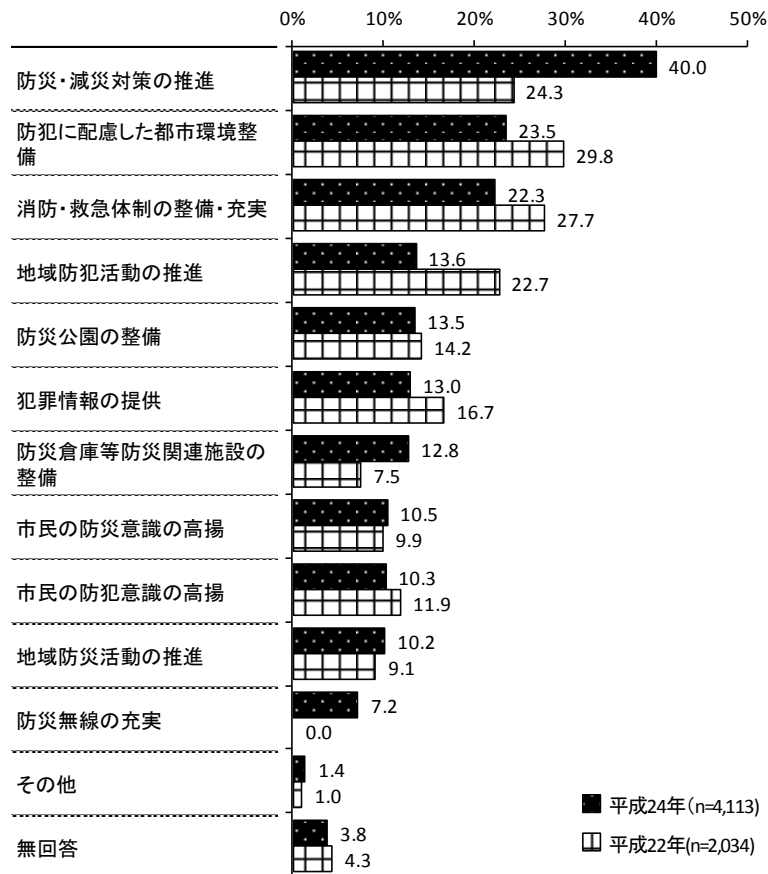
「防災・減災対策の推進」が4割。

問15 安全・安心で平和なまちづくりの施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

安全・安心で平和なまちづくりの施策として特に取り組むべきと思うものは「防災・減災対策の推進」が40.0%で最も多く、次いで「防犯に配慮した都市環境整備」が23.5%、「消防・救急体制の整備・充実」が22.3%となっています。

前回調査との推移をみると、「防災・減災対策の推進」が15.7ポイント増加していて、「地域防犯活動の推進」が9.1ポイント、「防犯に配慮した都市環境整備」が6.3ポイント減少しています。

図 2-3-10



※「防災無線の充実」は平成24年度より追加

性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっていますが、女性は「防災倉庫等防災関連施設の整備」が5.7ポイント多くなっています。

年齢別にみると、「防災・減災対策の推進」は20代で4割半ばを超えています。「犯罪情報の提供」は20代で2割弱ですが年齢が高くなるにつれて減少傾向となっています。

居住地区別にみると、「防災・減災対策の推進」は香澄・芝園で5割強、「防災公園の整備」は鷺沼・鷺沼台で2割強と多くなっています。

表 2-3-10 安全で安心なまちづくりの施策：性別・年齢別、居住地区別

(%)

		全 体 (n)	防 災 ・ 減 災 対 策 の 推 進	防 災 倉 庫 等 防 災 関 連 施 設 の 整 備	消 防 ・ 救 急 体 制 の 整 備 ・ 充 実	地 域 防 災 活 動 の 推 進	市 民 の 防 災 意 識 の 高 揚	犯 罪 情 報 の 提 供	地 域 防 犯 活 動 の 推 進	市 民 の 防 犯 意 識 の 高 揚	防 犯 に 配 慮 し た 都 市 環 境 整 備	防 災 公 園 の 整 備	防 災 無 線 の 充 実	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	40.0	12.8	22.3	10.2	10.5	13.0	13.6	10.3	23.5	13.5	7.2	1.4	3.8
性別・年齢別	男	1,784	39.2	9.6	24.2	11.4	11.2	12.8	15.4	12.4	24.7	11.9	6.2	2.1	2.5
	女	2,269	40.9	15.3	20.9	9.3	9.8	13.2	12.3	8.7	22.4	14.9	8.1	0.8	4.6
	20代	348	46.6	12.4	20.4	4.9	9.2	17.8	13.2	10.6	24.7	14.9	4.3	1.1	2.3
	30代	685	39.7	13.9	23.4	8.2	7.2	15.6	15.0	8.8	25.3	16.2	5.4	1.6	2.3
	40代	693	42.9	15.2	22.9	7.6	9.2	15.6	12.8	9.4	23.8	15.3	5.6	1.4	1.9
	50代	572	41.8	15.0	24.1	9.1	8.9	13.3	13.6	9.6	26.0	10.7	6.8	2.3	2.4
	60代	875	38.2	11.4	22.1	14.7	12.0	10.3	15.3	10.6	22.6	13.1	8.9	1.0	3.3
	70歳以上	918	36.7	10.3	21.1	12.3	13.6	9.8	11.8	12.2	20.4	11.8	9.5	1.1	7.8
居住地区別	谷津	361	40.7	11.9	21.3	8.3	10.5	12.7	15.8	10.2	25.8	14.7	6.6	1.1	3.6
	向山	392	42.6	14.5	24.0	11.0	10.5	11.7	12.2	12.5	24.5	14.0	4.6	0.8	2.6
	袖ヶ浦西	230	41.3	11.3	22.6	7.8	9.6	11.7	9.6	10.9	23.9	15.2	9.1	0.9	6.5
	袖ヶ浦東	104	50.0	9.6	22.1	19.2	13.5	7.7	12.5	4.8	22.1	14.4	7.7	1.0	1.0
	津田沼	407	37.6	12.3	21.4	7.9	8.6	15.0	16.7	8.6	26.3	14.0	4.4	1.2	3.9
	鷺沼・鷺沼台	304	34.9	14.5	18.1	10.2	7.9	14.8	10.5	7.6	23.4	22.4	9.2	2.0	4.9
	藤崎	345	42.6	11.9	21.2	9.3	9.6	13.0	15.1	13.3	20.0	11.6	9.3	1.4	3.2
	大久保・泉・本大久保	357	39.2	13.4	20.2	11.8	11.5	15.1	14.0	10.4	26.9	10.6	5.3	2.0	2.8
	本大久保・花咲・屋敷	391	39.9	13.8	28.1	10.7	10.7	11.3	15.3	9.0	18.2	14.8	6.6	1.5	2.6
	実籾・新栄	315	38.1	14.6	22.2	8.9	13.3	13.0	12.4	13.0	20.6	10.8	8.6	1.6	4.1
	実花	210	33.3	9.0	26.2	12.4	12.4	16.2	12.9	10.5	22.9	10.5	10.5	2.4	5.2
	東習志野	298	37.9	11.7	24.5	10.4	10.7	13.8	13.4	10.4	25.5	9.7	7.7	0.3	5.4
	秋津・茜浜	206	42.2	15.5	18.4	10.2	7.3	14.1	14.6	9.7	26.2	13.6	7.3	1.5	4.4
	香澄・芝園	165	52.1	10.9	21.2	15.2	12.1	7.9	11.5	9.1	19.4	12.7	7.3	2.4	1.2

〔1 1〕 産業振興の施策

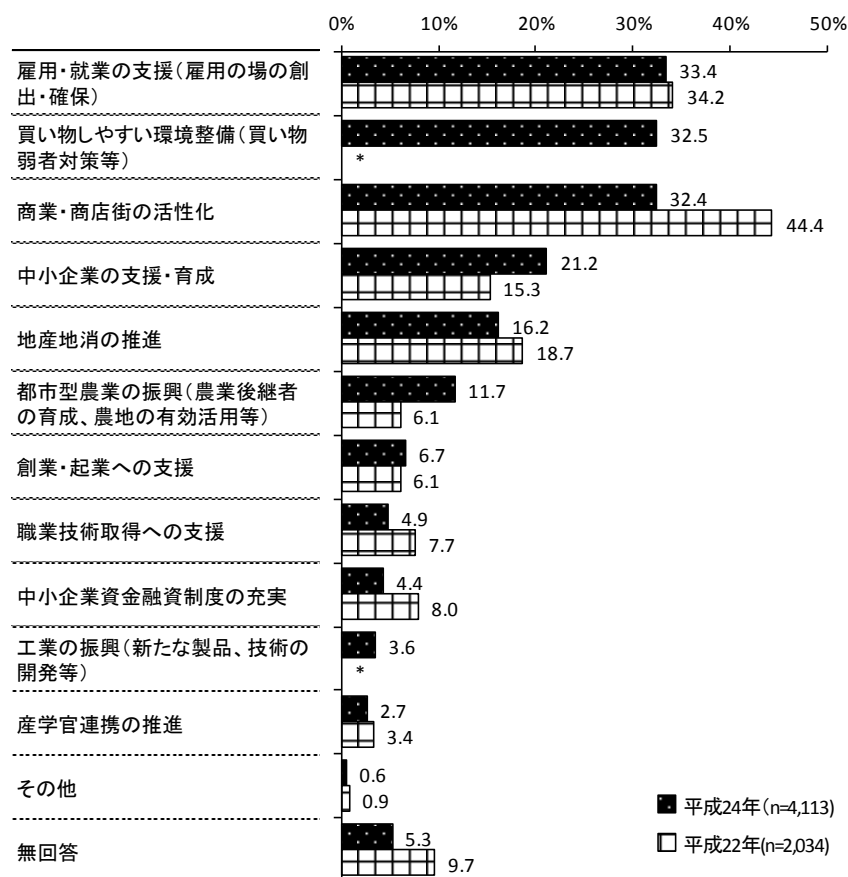
「商店街の活性化」が4割半ば。

問16 産業(商業、工業、農業)振興の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

産業(商業、工業、農業)振興の施策として特に取り組むべきと思うものは「雇用・就業の支援(雇用の場の創出・確保)」が33.4%で最も多く、次いで「買い物しやすい環境整備(買い物弱者対策等)」が32.5%、「商業・商店街の活性化」が32.4%となっています。

前回調査との推移をみると、「商業・商店街の活性化」が12ポイント減少しています。

図 2-3-11



※「買い物しやすい環境整備(買い物弱者対策等)」は平成24年度より追加

※「工業の振興(新たな製品、技術の開発等)」は平成24年度より追加

性別にみると、男性は「中小企業の支援・育成」が6.7ポイント、「創業・企業への支援」が6.1ポイント高く、女性は「買い物しやすい環境整備（買い物弱者対策等）」が5.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「雇用・就業の支援（雇用の場の創出・確保）」は20代で4割半ばを超え、「買い物しやすい環境整備」は70歳以上で4割を超えています。

居住地区別にみると、「買い物しやすい環境整備」は香澄・芝園で4割となっています。「商業・商店街の活性化」は袖ヶ浦西で4割弱、「雇用・就業の支援」は実花で4割弱と多くなっています。

表 2- 3- 11 産業振興の施策：性別・年齢別、居住地区別

		(%)													
		全 体 (n)	中小 企業 の 支 援 ・ 育 成	創 業 ・ 起 業 へ の 支 援	中 小 企 業 資 金 融 資 制 度 の 充 実	商 業 ・ 商 店 街 の 活 性 化	買 い 物 し や す い 環 境 整 備 (買 物 弱 者 対 策 等)	工 業 の 振 興 (新 た な 製 品 、 技 術 の 開 発 等)	都 市 型 農 業 の 振 興 (農 業 後 継 者 の 育 成 、 農 地 の 有 効 活 用 等)	地 産 地 消 の 推 進	職 業 技 術 取 得 へ の 支 援	雇 用 ・ 就 業 の 支 援 (雇 用 の 場 の 創 出 ・ 確 保)	産 学 官 連 携 の 推 進	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	21.2	6.7	4.4	32.4	32.5	3.6	11.7	16.2	4.9	33.4	2.7	0.6	5.3
性別・年齢別	男	1,784	25.1	10.1	5.5	32.8	29.4	5.0	10.9	14.4	4.5	34.0	4.1	0.8	3.3
	女	2,269	18.4	4.0	3.6	32.4	35.0	2.5	12.1	17.7	5.2	33.2	1.5	0.4	6.6
	20代	348	24.4	6.9	4.3	25.6	30.7	2.3	9.8	12.1	6.6	47.1	1.1	0.6	2.3
	30代	685	26.9	5.4	5.3	32.3	29.8	2.5	10.5	13.1	5.3	39.3	2.5	0.4	3.2
	40代	693	20.5	7.4	3.0	37.7	28.7	3.3	12.0	16.5	5.6	38.5	1.2	0.3	3.5
	50代	572	20.6	7.0	4.5	34.8	28.3	3.8	13.3	17.0	4.2	36.5	2.4	0.9	4.0
	60代	875	20.6	7.8	4.7	33.8	30.3	4.3	13.6	17.8	4.8	32.9	2.9	0.8	4.5
	70歳以上	918	17.6	5.7	4.7	28.6	42.6	4.1	10.5	18.2	3.6	18.6	4.4	0.7	10.8
居住地区別	谷津	361	19.4	7.2	4.4	29.6	35.7	5.3	10.5	15.2	4.4	34.6	2.8	0.3	5.0
	向山	392	21.9	5.1	7.1	37.0	31.9	2.3	8.7	15.8	4.8	33.9	2.6	-	7.1
	袖ヶ浦西	230	17.0	7.0	3.5	39.6	29.1	3.5	10.0	14.8	3.0	37.0	1.3	0.4	7.8
	袖ヶ浦東	104	18.3	10.6	4.8	32.7	32.7	5.8	7.7	22.1	1.9	27.9	4.8	1.0	5.8
	津田沼	407	19.9	6.4	3.4	37.6	29.2	3.4	10.6	17.2	4.7	32.9	3.4	0.7	5.7
	鷺沼・鷺沼台	304	20.1	5.9	3.0	30.6	36.2	3.9	18.4	17.8	3.0	30.6	1.6	0.7	4.3
	藤崎	345	22.9	9.0	3.5	31.0	27.8	2.3	13.3	18.0	4.1	33.6	4.9	1.2	3.8
	大久保・泉・本大久保	357	19.9	5.9	3.6	33.3	25.2	3.6	15.7	19.0	6.4	35.3	3.4	0.6	4.5
	本大久保・花咲・屋敷	391	22.5	6.6	5.6	32.7	34.3	2.6	10.5	17.9	6.6	30.2	1.3	1.0	4.1
	実籾・新栄	315	20.3	6.0	5.1	29.8	38.4	2.9	11.4	15.9	4.8	35.2	1.3	1.0	3.5
	実花	210	27.1	5.7	3.8	25.2	31.4	3.8	9.0	11.0	6.2	39.0	1.4	1.0	7.1
	東習志野	298	26.8	5.4	5.0	29.5	35.9	4.4	10.4	13.8	3.7	33.9	1.7	0.3	6.0
	秋津・茜浜	206	21.4	10.2	3.4	29.6	31.1	4.4	14.1	17.0	3.9	26.7	6.3	0.5	6.3
香澄・芝園	165	17.6	5.5	5.5	31.5	40.0	4.2	10.3	11.5	9.1	36.4	1.2	-	3.6	

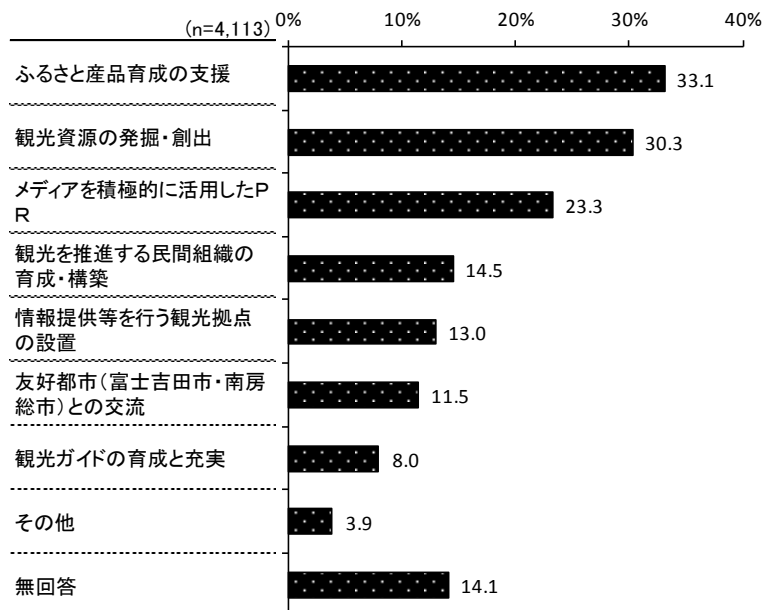
〔12〕 観光振興の施策

「ふるさとと産品育成の支援」が3割強。

問17 観光振興の施策として特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

観光振興の施策として特に取り組むべきと思うものは「ふるさとと産品育成の支援」が33.1%で最も多く、次いで「観光資源の発掘・創出」が30.3%、「メディアを積極的に活用したPR」が23.3%となっています。

図 2-3-12



※平成22年度は未実施

性別にみると、男性は「観光資源の発掘・創出」が 12.4 ポイント高く、女性は「ふるさと産品育成の支援」が 6.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「ふるさと産品育成の支援」は 70 歳以上で 4 割弱、「メディアを積極的に活用した PR」は 20 代で 3 割強となっています。

居住地区別にみると、「メディアを積極的に活用した PR」は向山で 3 割となっています。

表 2- 3- 12 観光振興の施策：性別・年齢別、居住地区別

		(%)									
		全 体 (n)	観光資源の発掘・創出	観光を推進する民間組織の育成・構築	情報提供等を行う観光拠点の設置	観光ガイドの育成と充実	ふるさと産品育成の支援	メディアを積極的に活用した PR	友好都市（富士吉田市・南房総市）との交流	その他	無回答
全体		4,113	30.3	14.5	13.0	8.0	33.1	23.3	11.5	3.9	14.1
性別・年齢別	男	1,784	37.3	15.1	13.2	9.2	29.7	23.3	12.7	5.5	10.1
	女	2,269	24.9	14.0	13.0	7.0	35.8	23.5	10.8	2.5	16.9
	20代	348	32.2	13.5	10.1	11.8	29.9	31.6	17.5	4.3	6.9
	30代	685	31.1	14.6	11.4	8.5	30.5	26.7	12.4	4.1	9.6
	40代	693	31.6	14.7	15.7	9.2	29.7	24.0	11.4	4.2	10.1
	50代	572	28.8	14.5	14.5	8.0	30.6	24.5	10.1	6.1	11.9
	60代	875	32.8	15.1	13.8	7.4	35.5	21.8	9.5	2.6	15.9
	70歳以上	918	26.5	14.1	11.5	5.7	38.1	18.3	11.7	3.2	22.3
居住地区別	谷津	361	31.9	15.5	11.1	9.1	29.6	26.0	10.8	4.4	11.9
	向山	392	28.1	14.0	16.1	11.0	30.4	30.4	7.9	2.8	13.5
	袖ヶ浦西	230	25.2	12.2	11.3	8.7	34.8	28.3	10.4	2.6	19.1
	袖ヶ浦東	104	34.6	15.4	12.5	1.9	30.8	22.1	15.4	2.9	16.3
	津田沼	407	30.7	12.3	12.0	8.6	35.1	23.3	12.5	3.7	13.8
	鷺沼・鷺沼台	304	33.6	15.5	13.8	6.3	35.2	23.4	10.5	3.9	12.2
	藤崎	345	28.4	15.1	11.6	5.8	31.9	23.5	9.0	5.8	15.1
	大久保・泉・本大久保	357	28.3	13.2	14.6	6.7	33.1	18.8	12.6	5.9	15.4
	本大久保・花咲・屋敷	391	30.2	16.1	16.6	8.2	30.7	20.2	11.5	5.1	13.6
	実籾・新栄	315	33.7	15.6	10.8	9.8	35.2	21.6	10.8	2.2	13.3
	実花	210	30.5	14.8	14.8	9.0	35.2	20.5	11.9	3.8	14.8
	東習志野	298	29.9	14.8	8.7	7.0	34.9	21.8	18.1	2.0	13.1
	秋津・茜浜	206	32.0	14.6	16.0	8.7	34.5	20.9	12.1	4.9	12.1
	香澄・芝園	165	32.1	14.5	12.1	5.5	35.2	25.5	12.1	2.4	12.7

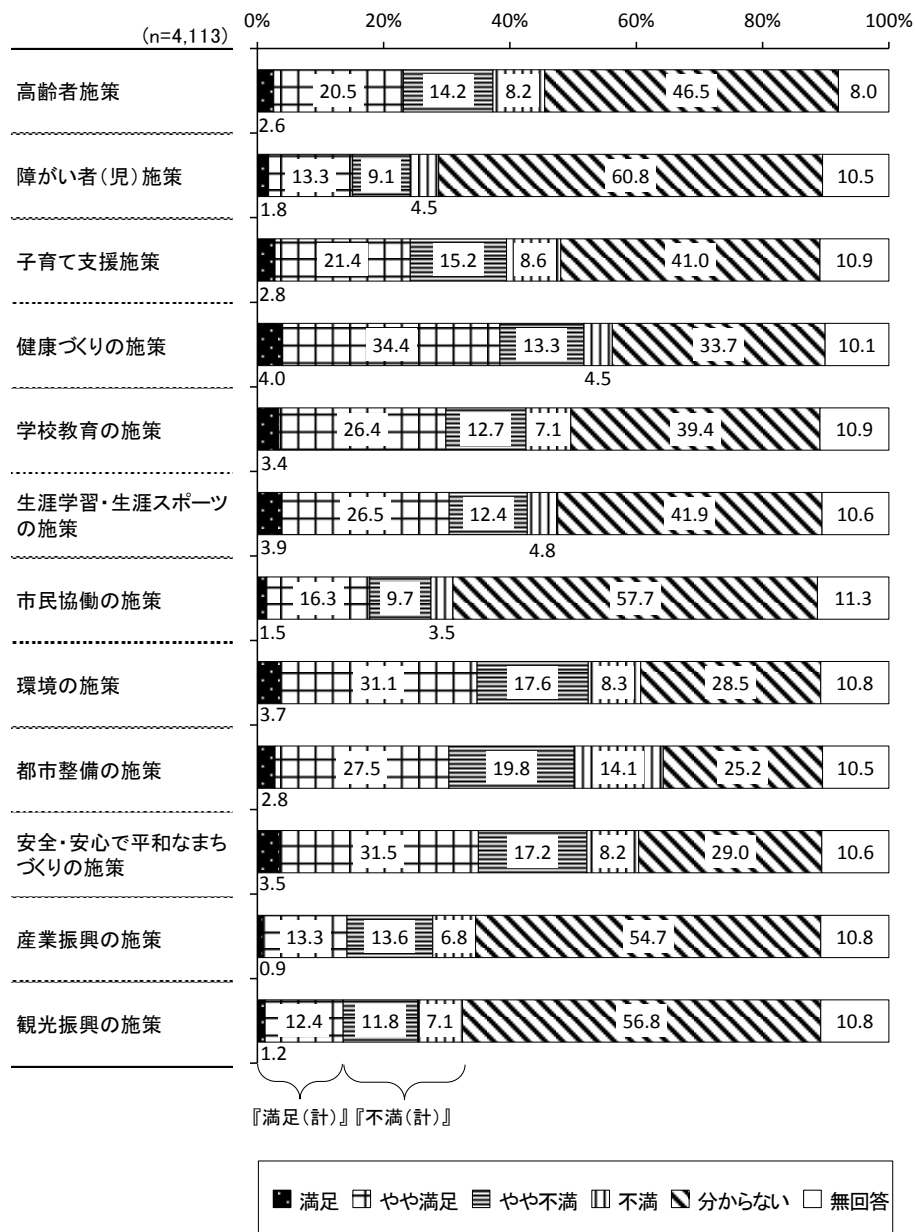
2-4 施策の満足度

満足度が高いのは、健康づくりの施策、安全・安心で平和なまちづくりの施策、環境の施策。

問18 次の各施策についてどのように感じですか。(施策ごとに○は1つまで)

「満足」「やや満足」の合計である『満足』が最も多いものは「健康づくりの施策」が38.4%で、次いで「安全・安心で平和なまちづくりの施策」が35.0%、「環境の施策」が34.8%となっています。一方、「やや不満」「不満」の合計である『不満』が最も多いものは「都市整備の施策」が33.9%で、次いで「環境の施策」が25.9%で「安全・安心で平和なまちづくりの施策」が25.4%となっています。

図 2-4-1



高齢者施策に関して、性別にみると、男性と女性との差はあまりみられません。年齢別にみると、『満足』は20代、30代では1割半ばですが、高齢になるにつれて多くなり、70歳以上では3割半ばとなっています。また、居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜で3割半ばを超え、津田沼では2割を下回っています。

障害者（児）施策に関して、性別にみると、男性は『不満』が4.1ポイント多くなっています。年齢別にみると、『わからない』は20代30代では7割前後となっています。居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜で3割弱となっています。

子育て支援施策に関して、性別にみると、男性と女性との差はあまりみられません。年齢別にみると、『満足』『不満』共に30代40代が3割以上ですが、若干『不満』が多くなっています。居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜及び大久保・泉・本大久保で3割、『不満』は袖ヶ浦東で3割となっています。

表 2- 4- 1 施策の満足度（1）：性別・年齢別、居住地区別

		〔 高齢者施策 〕 (%)					〔 障がい者（児）施策 〕 (%)				〔 子育て支援施策 〕 (%)			
		全 体 (n)	『満足』	『不満』	わからない	無回答	『満足』	『不満』	わからない	無回答	『満足』	『不満』	わからない	無回答
全体		4,113	23.1	22.4	46.5	8.0	15.1	13.6	60.8	10.5	24.2	23.8	41.0	10.9
性別・年齢別	男	1,784	24.4	23.9	44.6	7.1	16.5	16.1	58.3	9.2	22.6	24.7	43.4	9.2
	女	2,269	21.7	21.3	48.5	8.5	13.8	12.0	63.2	10.9	25.6	23.6	39.2	11.6
	20代	348	16.6	16.4	64.1	2.9	16.4	11.2	68.7	3.7	22.4	21.5	52.9	3.2
	30代	685	14.6	15.4	65.8	4.2	12.4	10.7	71.8	5.1	31.1	38.4	26.4	4.1
	40代	693	18.6	21.1	56.9	3.5	14.6	16.8	65.2	3.5	33.5	34.6	28.1	3.8
	50代	572	22.2	26.2	47.2	4.4	15.5	17.3	61.7	5.4	23.8	22.7	47.7	5.8
	60代	875	23.4	27.4	37.6	11.7	15.4	14.2	58.1	12.5	18.7	17.0	50.7	13.6
	70歳以上	918	35.1	24.0	26.1	14.6	16.0	11.9	49.1	22.9	18.7	13.3	43.9	24.1
居住地区別	谷津	361	20.5	16.9	52.9	9.7	12.7	10.5	64.0	12.7	25.5	24.7	38.2	11.6
	向山	392	22.2	21.7	46.4	9.7	14.8	12.7	61.0	11.5	20.9	23.0	42.9	13.3
	袖ヶ浦西	230	20.4	25.6	42.2	11.7	12.6	10.4	59.6	17.4	14.8	17.8	47.4	20.0
	袖ヶ浦東	104	27.0	25.0	42.3	5.8	17.3	9.6	60.6	12.5	20.2	30.8	37.5	11.5
	津田沼	407	19.0	18.7	55.5	6.9	13.2	11.8	66.3	8.6	20.6	24.3	46.7	8.4
	鷺沼・鷺沼台	304	21.7	23.4	46.7	8.2	15.4	12.5	63.8	8.2	28.0	25.7	37.8	8.6
	藤崎	345	21.5	23.8	47.5	7.2	11.6	15.3	63.2	9.9	25.5	28.4	36.8	9.3
	大久保・泉・本大久保	357	25.5	23.5	44.0	7.0	17.4	16.5	59.1	7.0	30.3	20.7	40.3	8.7
	本大久保・花咲・屋敷	391	22.8	23.8	47.1	6.4	13.3	15.1	64.2	7.4	23.5	23.8	43.2	9.5
	実籾・新栄	315	25.4	23.2	41.6	9.8	17.1	14.6	54.0	14.3	25.4	20.3	40.6	13.7
	実花	210	22.8	23.3	47.1	6.7	12.4	15.2	62.4	10.0	24.3	23.3	44.8	7.6
	東習志野	298	20.8	21.2	52.0	6.0	12.7	15.1	61.1	11.1	24.5	28.2	36.2	11.1
	秋津・茜浜	206	36.5	23.7	33.5	6.3	29.6	15.1	48.5	6.8	30.5	21.8	39.3	8.3
	香澄・芝園	165	26.0	27.3	39.4	7.3	17.6	16.3	56.4	9.7	23.0	26.1	41.2	9.7

健康づくりの施策に関して、性別にみると、男性は『不満』が4.3ポイント多くなっています。年齢別にみると、『満足』は40代で4割強となっています。居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜で4割半ばとなっています。

学校教育の施策に関して、性別にみると、男性と女性との差はあまりみられません。年齢別にみると、『満足』『不満』共に40代が3割強から3割半ばと多くなっています。居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜で4割弱となっています。

生涯学習・生涯スポーツの施策に関して、性別にみると、男性は『不満』が8.5ポイント高くなっています。年齢別にみると、『満足』は40代で3割強となっています。居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜で4割強となっています。

表 2- 4- 2 施策の満足度（2）：性別・年齢別、居住地区別

		〔健康づくりの施策〕 (%)					〔学校教育の施策〕 (%)				〔生涯学習・生涯スポーツの施策〕 (%)			
		全 体 (n)	『満足』	『不満』	わからない	無回答	『満足』	『不満』	わからない	無回答	『満足』	『不満』	わからない	無回答
全体		4,113	38.4	17.8	33.7	10.1	29.8	19.8	39.4	10.9	30.4	17.2	41.9	10.6
性別・年齢別	男	1,784	36.7	20.4	34.7	8.2	31.9	20.6	38.7	8.9	30.2	22.0	39.5	8.3
	女	2,269	39.6	16.1	33.1	11.2	28.4	19.5	39.9	12.1	30.7	13.5	43.9	11.9
	20代	348	33.6	10.7	52.3	3.4	28.1	13.8	54.9	3.2	27.8	15.8	53.4	2.9
	30代	685	32.0	20.6	42.5	5.0	29.7	25.2	40.4	4.7	27.1	18.1	50.5	4.2
	40代	693	43.3	19.7	33.2	3.9	35.6	32.7	27.8	3.8	33.5	20.3	42.4	3.8
	50代	572	38.0	19.9	35.8	6.3	31.3	22.5	40.6	5.6	31.4	19.6	43.5	5.4
	60代	875	38.4	19.6	29.7	12.3	27.2	16.1	42.7	13.9	30.0	17.6	39.4	13.0
	70歳以上	918	41.7	14.2	23.4	20.8	28.0	10.3	37.8	24.0	31.2	12.9	32.4	23.5
居住地区別	谷津	361	39.1	19.1	31.3	10.5	32.2	18.3	38.8	10.8	29.4	16.9	42.1	11.6
	向山	392	39.0	15.3	33.9	11.7	26.1	20.2	40.1	13.8	27.1	17.1	43.1	12.8
	袖ヶ浦西	230	33.0	14.8	35.7	16.5	21.8	15.7	43.9	18.7	24.8	15.6	40.9	18.7
	袖ヶ浦東	104	43.2	18.2	28.8	9.6	27.9	20.2	39.4	12.5	37.5	15.4	38.5	8.7
	津田沼	407	37.3	15.8	38.8	8.1	29.3	18.9	43.2	8.6	25.8	17.9	47.9	8.4
	鷺沼・鷺沼台	304	33.2	21.0	37.2	8.6	24.7	21.3	45.4	8.6	33.2	16.1	42.1	8.6
	藤崎	345	37.7	18.8	34.5	9.0	29.0	20.3	40.9	9.9	29.3	17.7	43.8	9.3
	大久保・泉・本大久保	357	39.5	19.6	32.2	8.7	34.2	21.0	36.1	8.7	29.7	18.4	42.6	9.2
	本大久保・花咲・屋敷	391	38.6	19.4	33.2	8.7	30.2	19.4	40.9	9.5	31.7	18.7	41.2	8.4
	実籾・新栄	315	41.6	16.5	28.9	13.0	31.1	19.4	34.6	14.9	30.1	17.5	37.8	14.6
	実花	210	37.6	14.8	39.0	8.6	31.4	18.5	41.0	9.0	29.0	15.2	47.6	8.1
	東習志野	298	37.5	17.4	34.9	10.1	32.2	23.2	33.6	11.1	29.9	15.5	44.6	10.1
	秋津・茜浜	206	45.6	20.4	26.7	7.3	38.4	19.0	35.0	7.8	43.7	18.5	30.6	7.3
	香澄・芝園	165	38.7	17.6	33.9	9.7	30.3	22.4	38.2	9.1	38.2	16.3	36.4	9.1

市民協働の施策に関して、性別にみると、男性は『不満』が9.1ポイント高くなっています。年齢別にみると、『わからない』は20代で7割となり、高齢になるにつれて少なくなり、70歳以上で4割となっています。居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜で3割弱となっています。

環境の施策に関して、性別にみると、男性は『不満』が4.2ポイント高くなっています。年齢別にみると、『満足』は20代で4割弱となり、『不満』は40代で3割半ばとなっています。居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜で4割半ば、香澄・芝園で4割強となっている一方、『不満』は津田沼、藤崎で3割となっています。

都市整備の施策に関して、性別にみると、男性は『不満』が4.9ポイント高くなっています。年齢別にみると、『満足』は20代で3割半ばを超え多くなっています。居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜で3割半ばとなっている一方、『不満』は本大久保・花咲・屋敷で4割と多くなっています。

表 2- 4- 3 施策の満足度（3）：性別・年齢別、居住地区別

		〔 市民協働の施策 〕 (%)					〔 環境の施策 〕 (%)				〔 都市整備の施策 〕 (%)			
		全 体 (n)	『満足』	『不満』	わからない	無回答	『満足』	『不満』	わからない	無回答	『満足』	『不満』	わからない	無回答
全体		4,113	17.8	13.2	57.7	11.3	34.8	25.9	28.5	10.8	30.3	33.9	25.2	10.5
性別・年齢別	男	1,784	17.7	18.4	54.7	9.1	33.6	28.4	29.6	8.4	31.0	36.8	24.0	8.3
	女	2,269	17.9	9.3	60.2	12.6	36.0	24.2	27.7	12.2	30.1	31.9	26.2	11.7
	20代	348	18.7	5.8	71.6	4.0	38.8	19.0	39.1	3.2	37.1	28.2	31.6	3.2
	30代	685	18.0	9.3	67.6	5.1	35.4	28.6	31.5	4.4	33.3	37.0	25.8	3.9
	40代	693	19.1	15.9	61.0	4.0	34.7	36.2	25.7	3.5	28.3	46.7	21.5	3.5
	50代	572	15.7	15.3	63.1	5.8	35.5	27.3	32.0	5.2	29.7	37.5	28.0	4.9
	60代	875	16.4	15.8	54.3	13.5	35.8	23.9	26.6	13.7	30.9	30.5	25.7	12.8
	70歳以上	918	18.6	13.5	42.9	24.9	31.8	19.6	24.5	24.1	27.4	25.3	23.2	24.1
居住地区別	谷津	361	16.6	10.3	60.4	12.7	36.0	26.6	26.6	10.8	31.3	33.5	24.9	10.2
	向山	392	13.6	14.3	58.2	14.0	35.9	21.2	29.1	13.8	32.1	29.0	25.8	13.0
	袖ヶ浦西	230	13.0	10.0	59.6	17.4	32.2	20.4	28.7	18.7	30.4	25.6	27.4	16.5
	袖ヶ浦東	104	20.2	13.4	55.8	10.6	31.7	27.9	31.7	8.7	24.1	38.4	27.9	9.6
	津田沼	407	18.9	11.3	61.7	8.1	32.9	31.7	27.8	7.6	33.1	35.6	23.8	7.4
	鷺沼・鷺沼台	304	20.1	13.2	57.6	9.2	28.7	29.3	32.6	9.5	25.6	39.2	26.3	8.9
	藤崎	345	18.3	13.3	58.0	10.4	33.0	30.4	27.5	9.0	30.4	39.1	20.6	9.9
	大久保・泉・本大久保	357	18.2	15.4	57.1	9.2	35.0	23.2	31.9	9.8	30.8	33.9	26.3	9.0
	本大久保・花咲・屋敷	391	18.9	13.3	58.3	9.5	34.5	28.9	27.4	9.2	27.9	40.6	23.0	8.4
	実籾・新栄	315	17.4	15.9	51.7	14.9	34.3	26.7	24.8	14.3	29.2	33.0	24.1	13.7
	実花	210	15.3	12.9	62.9	9.0	35.2	22.3	34.3	8.1	30.0	26.2	34.8	9.0
	東習志野	298	14.4	11.4	61.4	12.8	35.2	21.5	30.5	12.8	29.2	32.9	25.8	12.1
	秋津・茜浜	206	27.7	17.0	47.6	7.8	46.1	19.9	26.7	7.3	36.9	28.2	26.7	8.3
	香澄・芝園	165	21.8	16.3	52.1	9.7	42.4	27.9	21.8	7.9	32.7	35.7	22.4	9.1

安全で安心なまちづくりに関して、性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっています。年齢別にみると、『満足』は20代で4割弱となっています。居住地区別にみると、『満足』は袖ヶ浦東と津田沼で4割弱となっています。

産業振興の施策に関して、性別にみると、男性は『不満』が10.2ポイント高くなっています。年齢別にみると、『満足』『不満』ともに40代で若干ポイントが高くなっています。居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜で2割、『不満』は香澄・芝園で3割となっています。

観光振興の施策に関して、性別にみると、男性と女性で9.9ポイントの差があります。年齢別にみると、『満足』は40代で1割半ばとなっている一方、『不満』が50代で2割強となっています。居住地区別にみると、『満足』は秋津・茜浜で2割となっている一方、『不満』が香澄・芝園で2割半ばとなっています。

表 2-4-4 施策の満足度（4）：性別・年齢別、居住地区別

		〔安全・安心で平和なまちづくりの施策〕 (%)					〔産業振興の施策〕 (%)				〔観光振興の施策〕 (%)			
		全 体 (n)	『満足』	『不満』	わからない	無回答	『満足』	『不満』	わからない	無回答	『満足』	『不満』	わからない	無回答
全体		4,113	35.0	25.4	29.0	10.6	14.2	20.4	54.7	10.8	13.6	18.9	56.8	10.8
性別・年齢別	男	1,784	35.8	27.6	28.6	8.1	13.8	26.2	51.0	9.0	13.1	24.5	53.6	8.8
	女	2,269	34.6	24.1	29.2	12.1	14.5	16.0	57.7	11.8	14.1	14.6	59.4	11.9
	20代	348	39.1	21.2	36.5	3.2	17.0	13.5	66.1	3.4	15.8	14.0	66.4	3.7
	30代	685	36.2	27.2	32.4	4.2	16.7	19.4	59.6	4.4	15.8	17.4	62.6	4.2
	40代	693	37.2	33.9	24.8	4.0	17.9	24.1	54.1	3.9	17.3	19.9	58.7	4.0
	50代	572	36.0	27.5	30.6	5.9	13.6	22.9	58.0	5.4	13.2	21.5	59.6	5.6
	60代	875	32.8	24.3	29.7	13.3	11.7	22.3	53.0	13.0	10.6	21.4	55.2	12.8
	70歳以上	918	32.7	19.3	25.4	22.7	11.2	17.4	47.2	24.2	11.3	17.0	47.6	24.1
居住地区別	谷津	361	37.6	24.4	27.1	10.8	16.0	16.6	55.7	11.6	15.0	15.3	57.6	12.2
	向山	392	35.7	23.0	28.6	12.8	13.0	23.2	50.5	13.3	14.6	21.0	51.3	13.3
	袖ヶ浦西	230	29.1	21.4	32.2	17.4	9.1	17.8	55.7	17.4	7.4	17.0	58.7	17.0
	袖ヶ浦東	104	39.4	27.9	24.0	8.7	14.5	16.4	58.7	10.6	13.5	13.4	62.5	10.6
	津田沼	407	39.1	24.6	27.8	8.6	14.3	22.3	55.5	7.9	14.7	21.7	56.0	7.6
	鷺沼・鷺沼台	304	31.2	28.7	31.6	8.6	14.8	19.1	57.9	8.2	14.5	19.1	57.9	8.6
	藤崎	345	33.3	29.3	28.4	9.0	15.4	17.7	57.4	9.6	13.7	18.9	58.0	9.6
	大久保・泉・本大久保	357	35.3	27.7	27.7	9.2	15.4	19.1	56.3	9.2	14.8	19.3	56.9	9.0
	本大久保・花咲・屋敷	391	37.8	24.5	28.9	8.7	15.4	21.5	55.0	8.2	14.3	18.9	58.1	8.7
	実籾・新栄	315	33.3	25.1	27.9	13.7	11.5	23.8	49.5	15.2	10.8	18.7	55.6	14.9
	実花	210	32.9	22.4	36.2	8.6	11.9	16.1	63.3	8.6	11.5	14.7	64.8	9.0
	東習志野	298	33.6	22.8	31.5	12.1	13.8	19.5	53.7	13.1	12.4	17.4	58.4	11.7
	秋津・茜浜	206	38.8	24.3	29.6	7.3	19.4	21.3	51.0	8.3	19.4	19.5	53.4	7.8
	香澄・芝園	165	31.5	33.9	24.8	9.7	13.9	29.7	48.5	7.9	12.1	26.7	52.1	9.1

第3節 公共施設について

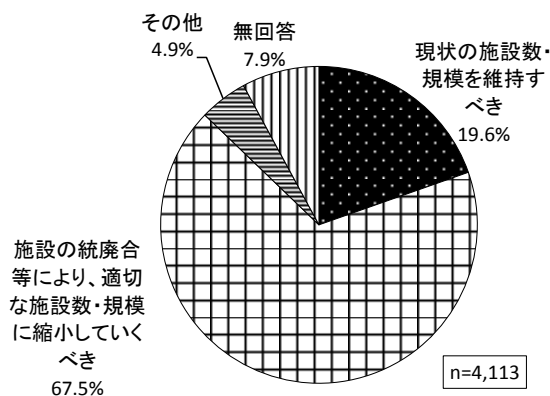
3-1 公共施設の施設数・規模について

「施設の統廃合等により、適切な施設数・規模に縮小していくべき」が7割弱。

問19 習志野市の公共施設、特に建物は老朽化が進み、耐震補強、建て替えが急務となっています。しかし、そのためには多額の経費が必要であり、現在の施設数・規模を維持したまま、改修・改築を行っていくことは不可能であるとの試算結果が出ています。施設数や規模について、どう考えますか。(〇は1つまで)

公共施設の数や規模については「施設の統廃合等により、適切な施設数・規模に縮小していくべき」が67.5%で最も多く、次いで「現状の施設数・規模を維持すべき」が19.6%となっています。

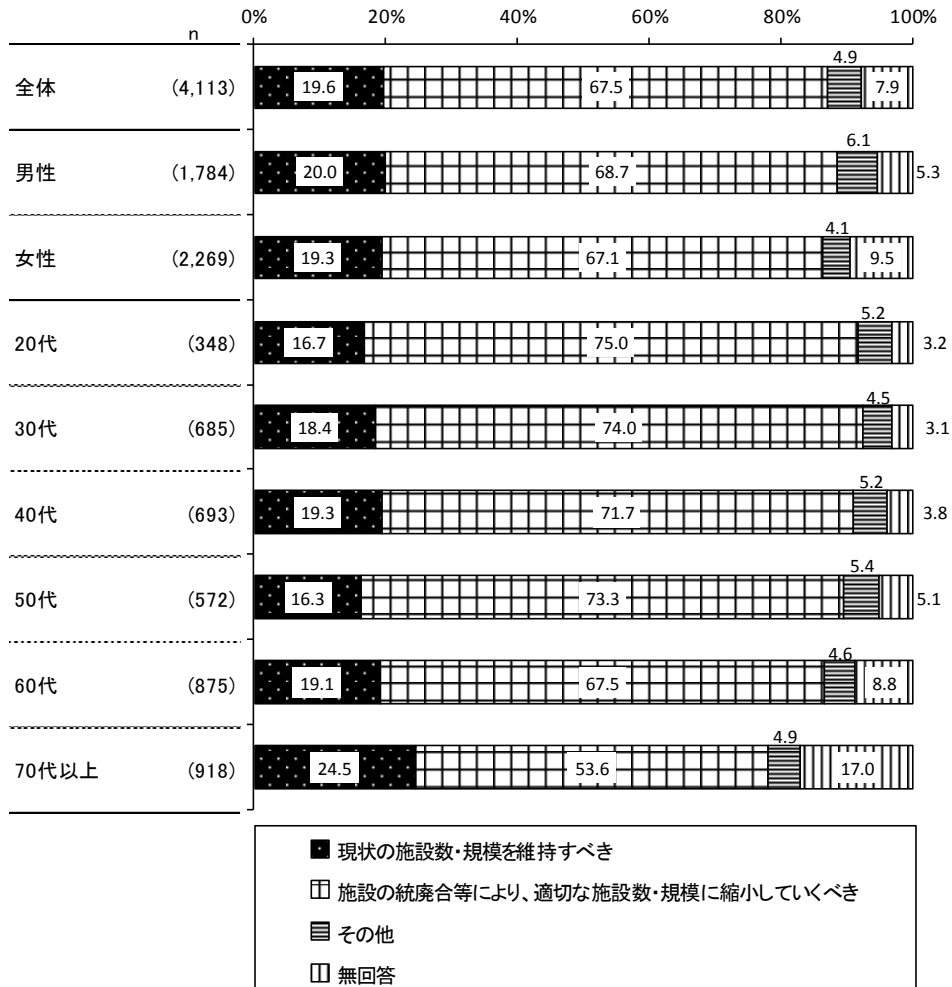
図 3- 1- 1



性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっています。

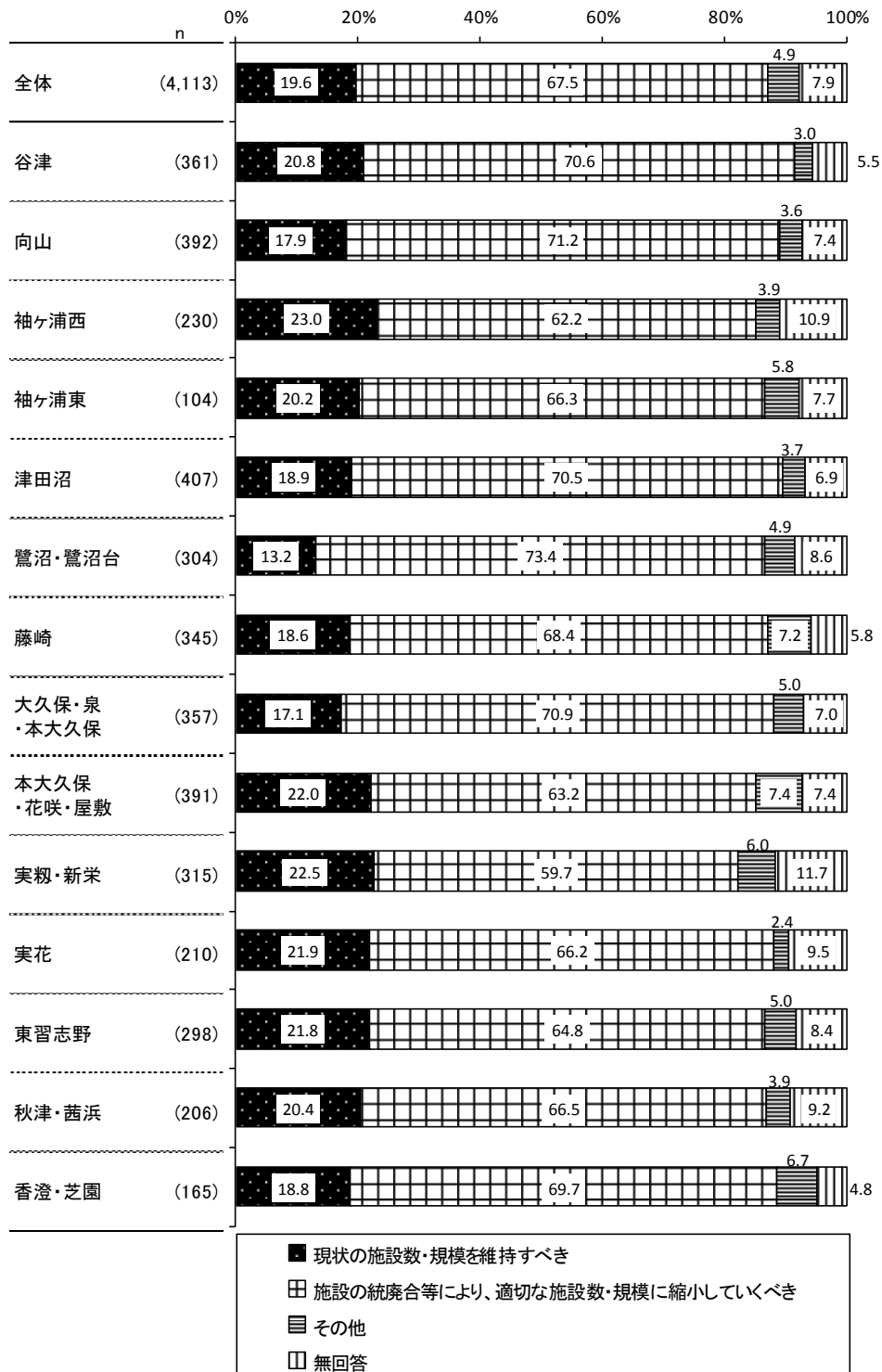
年齢別にみると、「施設の統廃合等により、適切な施設数・規模に縮小していくべき」は20代から50代で7割以上ですが、60代を超えると減少傾向となっており、60代で7割弱、70歳以上で5割強となっています。

図 3- 1- 2 公共施設の施設数・規模：性別・年齢別



居住地区別にみると、「施設の統廃合等により、適切な施設数・規模に縮小していくべき」は鷺沼・鷺沼台で7割強と多く、比べて実籾・新栄では6割弱と少なくなっています。

図 3- 1- 3 公共施設の施設数・規模：居住地区別



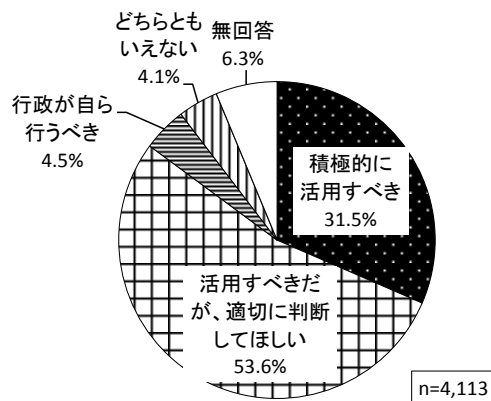
3-2 公共施設再生にあたっての民間事業者の活用について

「活用すべきだが、適切に判断してほしい」が5割強。

問20 公共施設の建て替え、維持保全のためには、多額の経費や様々な技術・ノウハウが必要です。現在は、民間事業者の資金や技術力、アイデアを活用する様々な方法が開発、制度化されています。習志野市が取り組む公共施設再生にあたって、このような民間事業者の力を活用することについてどう考えますか。(1つだけに○)

公共施設再生の民間業者活用については「活用すべきだが、適切に判断してほしい」が53.6%で最も多く、次いで「積極的に活用すべき」が31.5%となっています。

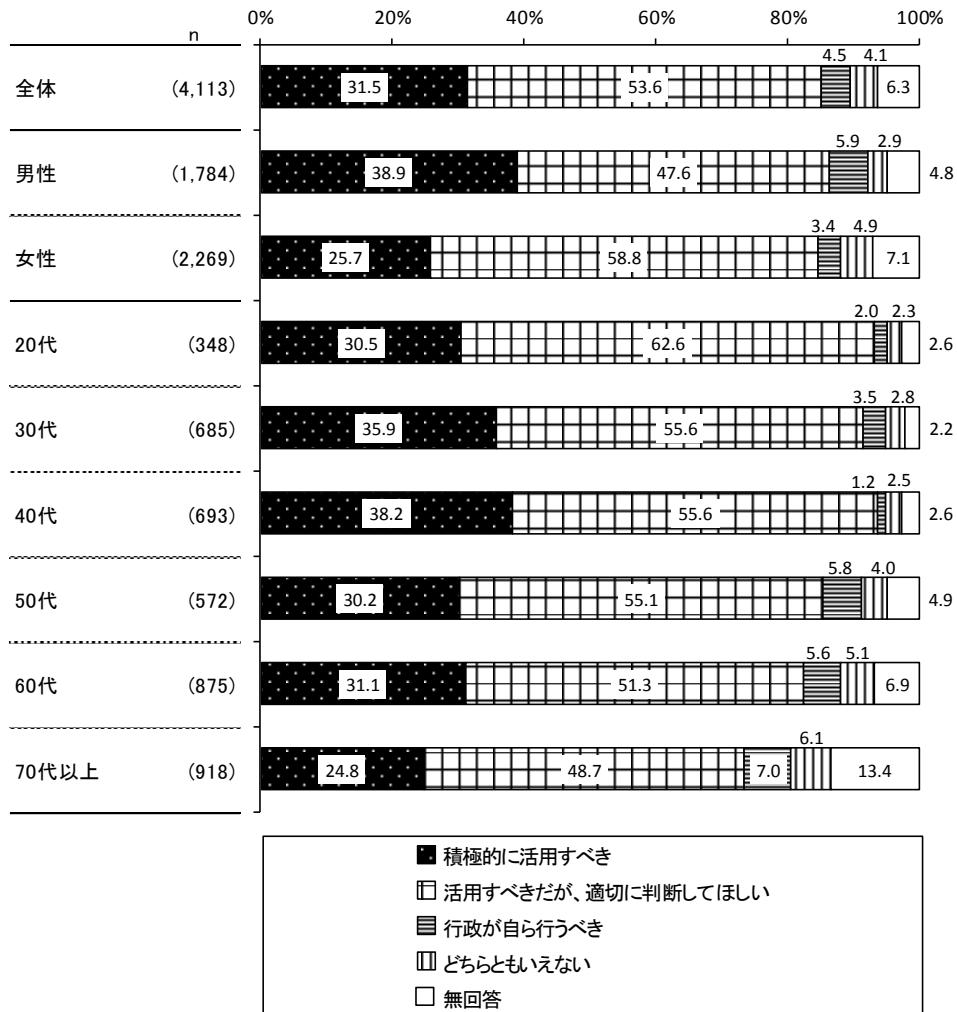
図 3- 2- 1



性別にみると、男性は「積極的に活用すべき」が 13.2 ポイント高く、女性は「活用すべきだが、適切に判断してほしい」が 11.2 ポイント高くなっています。

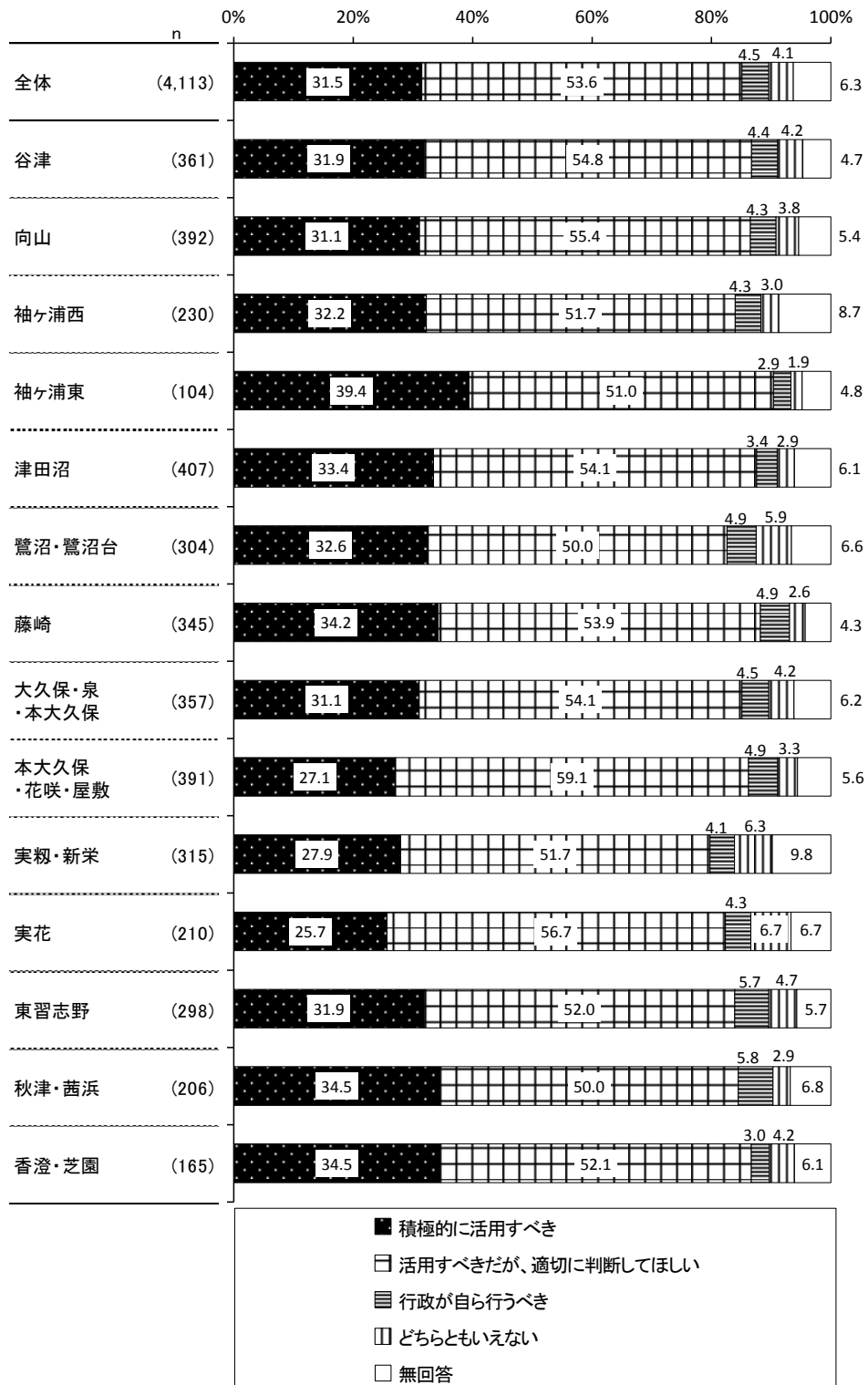
年齢別にみると、「積極的に活用すべき」は 40 代で 4 割弱となっている一方、「活用すべきだが、適切に判断してほしい」は 20 代で 6 割強と多くなっています。

図 3-2-2 民間事業者を活用した公共施設再生：性別・年齢別



居住地区別にみると、「積極的に活用すべき」は袖ヶ浦東で4割弱となり、「活用すべきだが、適切に判断してほしい」は本大久保・花咲・屋敷で6割弱となっています。

図 3- 2- 3 民間事業者を活用した公共施設再生：居住地区別



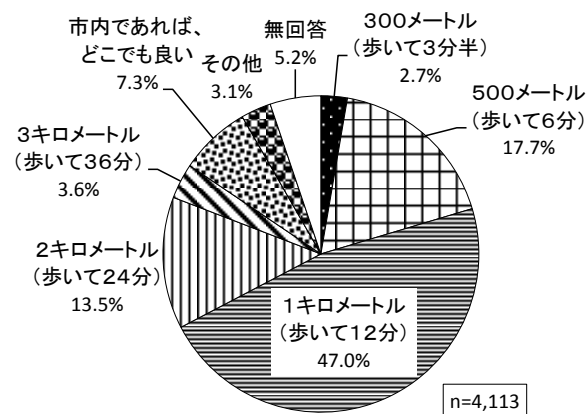
3-3 公共施設までの適正距離

「1キロメートル」が4割半ば以上。

問21 公共施設までの距離は、どの程度の距離であれば不都合がないと考えますか。(1つだけに○)

公共施設までの距離で望ましいのは「1キロメートル(歩いて12分)」が47.0%で最も多く、次いで「500メートル(歩いて6分)」が17.7%、「2キロメートル(歩いて24分)」が13.5%となっています。

図 3-3-1



性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっています。

年齢別にみると、年代間でも大きな差はありません。

居住地区別にみると、「1キロメートル（歩いて12分）」は津田沼で5割強と多い一方、実籾・新栄では4割弱となっています。

表 3- 3- 1 公共施設までの適正距離：性別・年齢別、居住地区別

(%)

		全 体 (n)	3 0 0 メ ー ト ル (歩 い て 3 分 半)	5 0 0 メ ー ト ル (歩 い て 6 分)	1 キ ロ メ ー ト ル (歩 い て 1 2 分)	2 キ ロ メ ー ト ル (歩 い て 2 4 分)	3 キ ロ メ ー ト ル (歩 い て 3 6 分)	市 内 で あ れ ば、 ど こ で も 良 い	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	2.7	17.7	47.0	13.5	3.6	7.3	3.1	5.2
性別・年齢別	男	1,784	2.7	17.5	45.7	13.5	3.9	8.7	3.4	4.5
	女	2,269	2.6	17.9	48.1	13.6	3.4	6.2	2.8	5.4
	20代	348	2.9	19.5	50.6	13.8	4.0	3.7	3.4	2.0
	30代	685	2.2	20.1	48.5	12.7	3.6	7.3	3.4	2.2
	40代	693	2.7	17.7	47.3	14.4	2.7	8.4	3.8	2.9
	50代	572	1.9	15.7	50.7	10.5	3.3	9.8	4.0	4.0
	60代	875	2.1	13.9	45.5	16.3	5.7	7.7	2.6	6.2
	70歳以上	918	4.0	20.0	43.4	12.5	2.3	6.1	2.1	9.6
居住地区別	谷津	361	2.2	21.1	51.0	13.3	2.2	5.5	1.4	3.3
	向山	392	2.8	18.6	47.4	12.8	4.3	5.4	3.1	5.6
	袖ヶ浦西	230	4.8	22.2	43.0	15.7	3.9	5.7	1.3	3.5
	袖ヶ浦東	104	6.7	14.4	40.4	16.3	5.8	7.7	1.9	6.7
	津田沼	407	1.5	19.4	52.7	9.6	3.9	5.9	2.7	4.9
	鷺沼・鷺沼台	304	1.6	14.5	51.3	13.2	3.3	9.2	2.0	4.9
	藤崎	345	2.9	17.4	42.0	18.3	4.3	7.2	3.8	4.1
	大久保・泉・本大久保	357	1.4	17.4	46.5	11.2	3.6	9.5	5.9	4.5
	本大久保・花咲・屋敷	391	2.3	13.6	46.8	12.3	3.3	11.3	4.9	5.6
	実籾・新栄	315	5.4	20.6	39.4	14.0	4.1	7.6	2.2	6.7
	実花	210	2.4	13.8	51.9	12.4	2.9	7.1	2.4	7.1
	東習志野	298	2.7	19.8	47.0	13.4	2.3	5.4	4.0	5.4
	秋津・茜浜	206	2.9	18.0	44.7	17.0	3.4	5.8	2.9	5.3
	香澄・芝園	165	1.2	12.7	48.5	17.0	4.8	9.1	2.4	4.2

3-4 各施設の優先順位

「小・中学校」が1位。

問22 将来の習志野市にとって、大切だと思う施設について、優先順位を番号としてつけてください。

将来の習志野市に大切と思う施設で1位に挙げられたものは「小・中学校」が1,432人で最も多く、次いで「高齢者福祉施設」が709人、「保育所」が543人となっています。2位に挙げられたものは「保育所」が583人で最も多く、次いで「高等学校」と「幼稚園」がそれぞれ530人となっています。3位に挙げられたものは「保育所」が最も多く546人で、次いで「幼稚園」が515人、「小・中学校」が416人となっています。

図 3-4-1

(人)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
小・中学校	1,432	387	416	181	123	42	15	11	7	1
高等学校	47	530	182	279	160	60	38	23	17	14
鹿野山少年自然の家等の校外学習施設	12	25	60	51	81	40	21	17	20	14
給食センター	21	65	136	129	173	60	41	38	23	29
幼稚園	152	530	515	281	166	64	35	20	13	10
保育所	543	583	546	384	198	61	26	13	14	12
公民館	34	70	121	164	202	87	72	44	40	30
コミュニティセンター	41	109	117	183	203	73	55	42	31	32
図書館	116	147	214	274	311	121	80	59	52	37
文化ホール等のホール機能	42	83	86	108	143	58	42	49	28	40
野球場・サッカー場・テニスコート	25	43	63	96	114	42	31	27	25	37
体育館	17	22	58	70	96	44	39	31	35	36
高齢者福祉施設	709	367	346	370	386	121	71	40	31	20
障がい者（児）福祉施設	93	257	226	319	314	146	56	49	46	17
ヘルスステーション等の保健施設	93	240	240	288	307	107	72	50	38	45
市営住宅	77	74	89	86	133	46	25	25	19	12
勤労会館等の勤労者施設	14	23	31	37	60	21	15	10	8	10
谷津干潟自然観察センター等の自然環境保全施設	61	39	76	102	152	56	32	22	19	17
市役所連絡所機能	246	128	174	211	281	90	43	44	24	27
その他	52	26	20	24	26	10	5	1	0	2

第4節 行政改革について

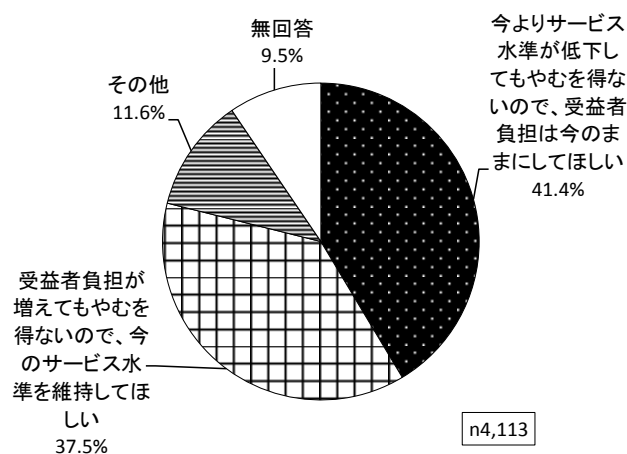
4-1 サービス水準と受益者負担について

「今よりサービス水準が低下してもやむを得ないので、受益者負担は今のままにしてほしい」が4割。

問23 少子高齢化が進む人口減少社会では、税や保険料を負担する生産年齢人口の割合が減少します。今後、今と同じ行政サービスを提供するには、市民一人あたりのコストが増加します。サービス水準と受益者負担について、どう考えますか。(1つだけに○)

サービス水準と受益者負担については「今よりサービス水準が低下してもやむを得ないので、受益者負担は今のままにしてほしい」が41.4%で最も多く、次いで「受益者負担が増えてもやむを得ないので、今のサービス水準を維持してほしい」が37.5%となっています。

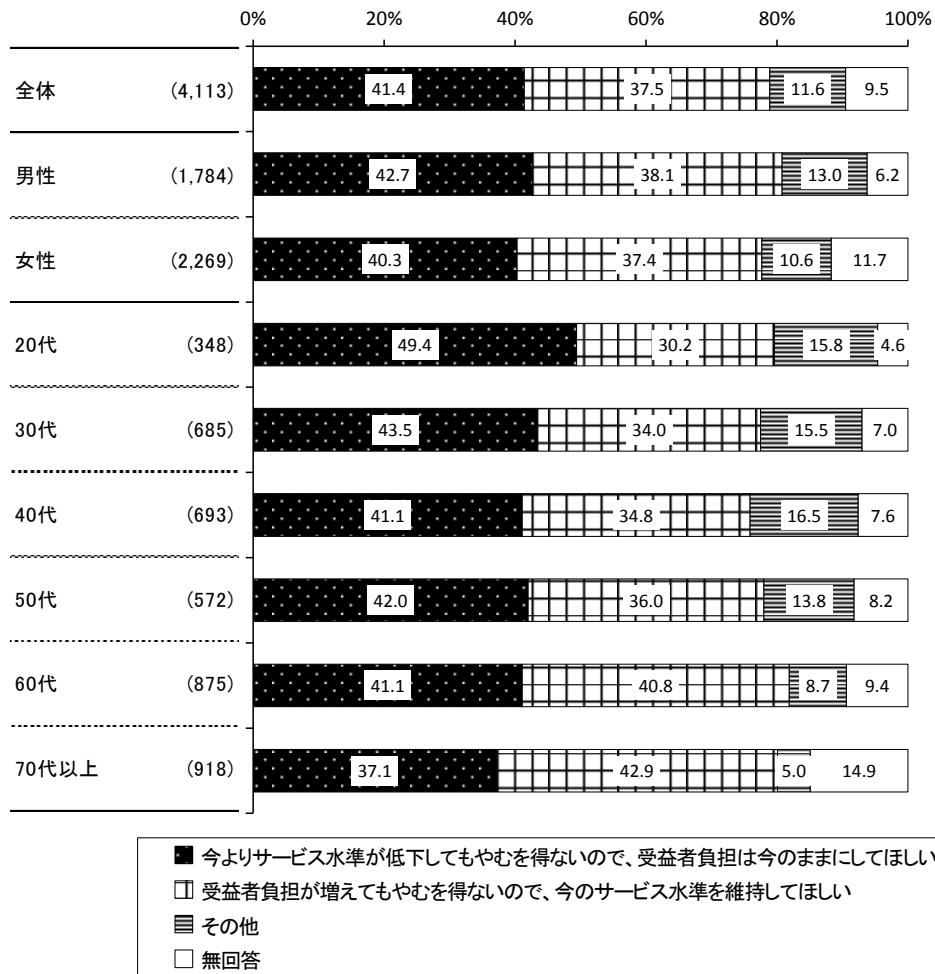
図 4-1-1



性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっています。

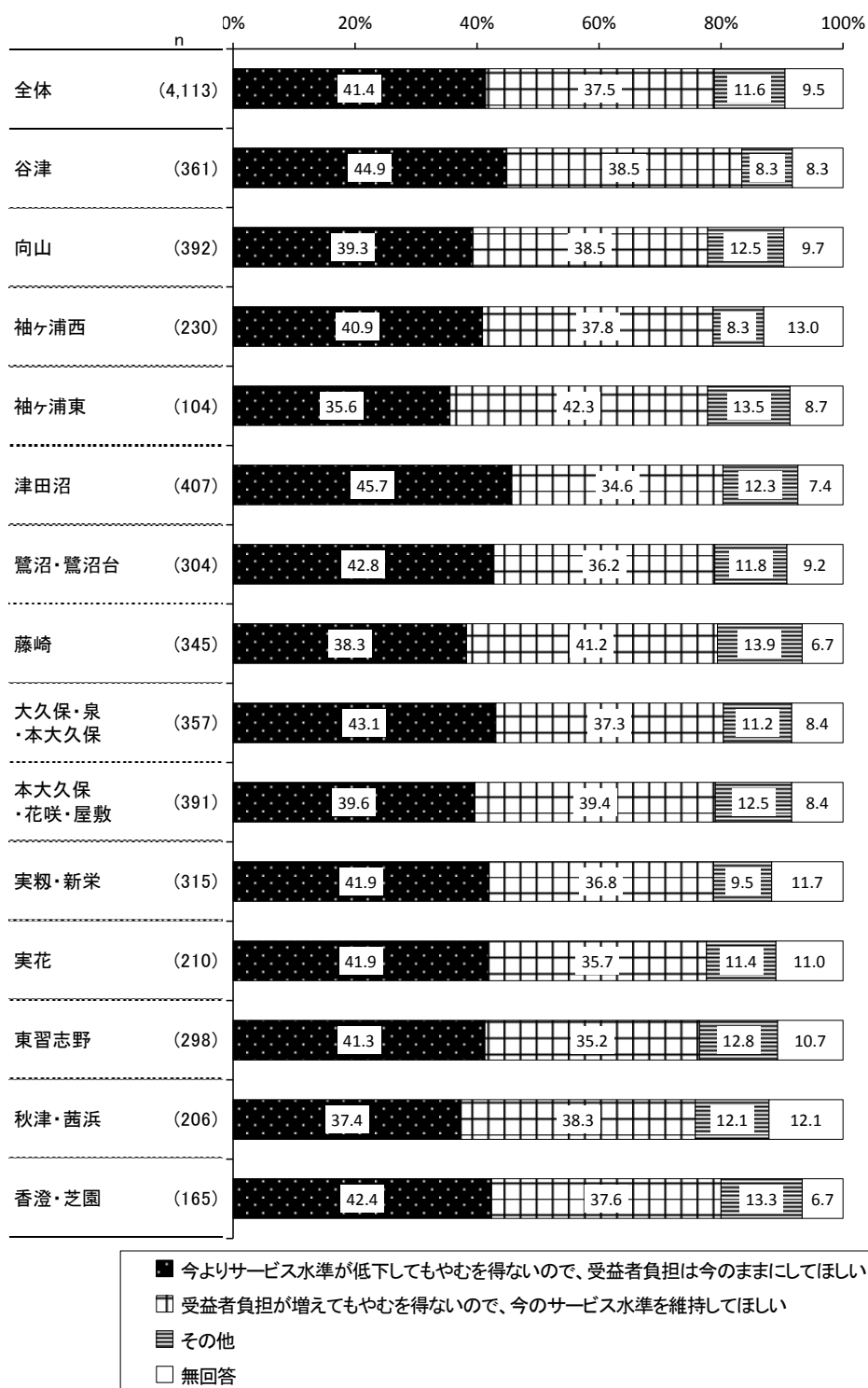
年齢別にみると、「今よりサービス水準が低下してもやむを得ないので、受益者負担は今のままにしてほしい」は20代で最も多く、高齢になるにつれて低くなる傾向である一方、「受益者負担が増えてもやむを得ないので、今のサービス水準を維持してほしい」は70歳以上で最も多く、低年齢になるにつれて低くなる傾向となっています。

図 4- 1- 2 サービス水準と受益者負担：性別・年齢別



居住地区別にみると、「今よりサービス水準が低下してもやむを得ないので、受益者負担は今のままにしてほしい」は津田沼で4割半ばとなっており、「受益者負担が増えてもやむを得ないので、今のサービス水準を維持してほしい」は袖ヶ浦東で4割強となっています。

図 4- 1- 3 サービス水準と受益者負担：居住地区別



4-2 公共施設の管理運営方法

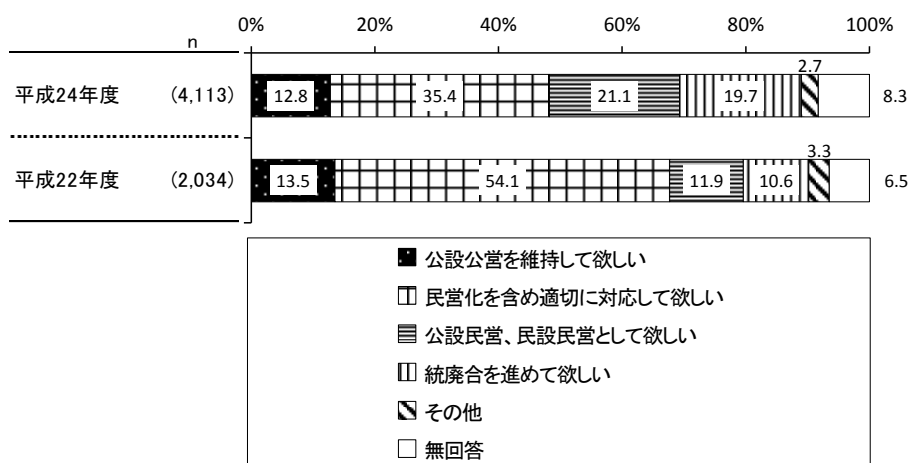
「民営化を含め適切に対応して欲しい」が3割半ば。

問24 市民サービスを維持していくためにはマンパワーが必要ですが、現在、習志野市では、職員の削減を進めています。今後、サービスを維持するために、公共施設の管理運営の実施について、どう考えますか。(1つだけに○)

公共施設の管理運営の実施については「民営化を含め適切に対応して欲しい」が35.4%で最も多く、次いで「公設民営、民設民営として欲しい」が21.1%、「統廃合を進めて欲しい」が19.7%となっています。

前回調査との推移をみると、「民営化を含め適切に対応して欲しい」が18.7ポイント減少していますが、「公設民営、民設民営として欲しい」が9.2ポイント、「統廃合を進めて欲しい」が9.1ポイント増加しています。

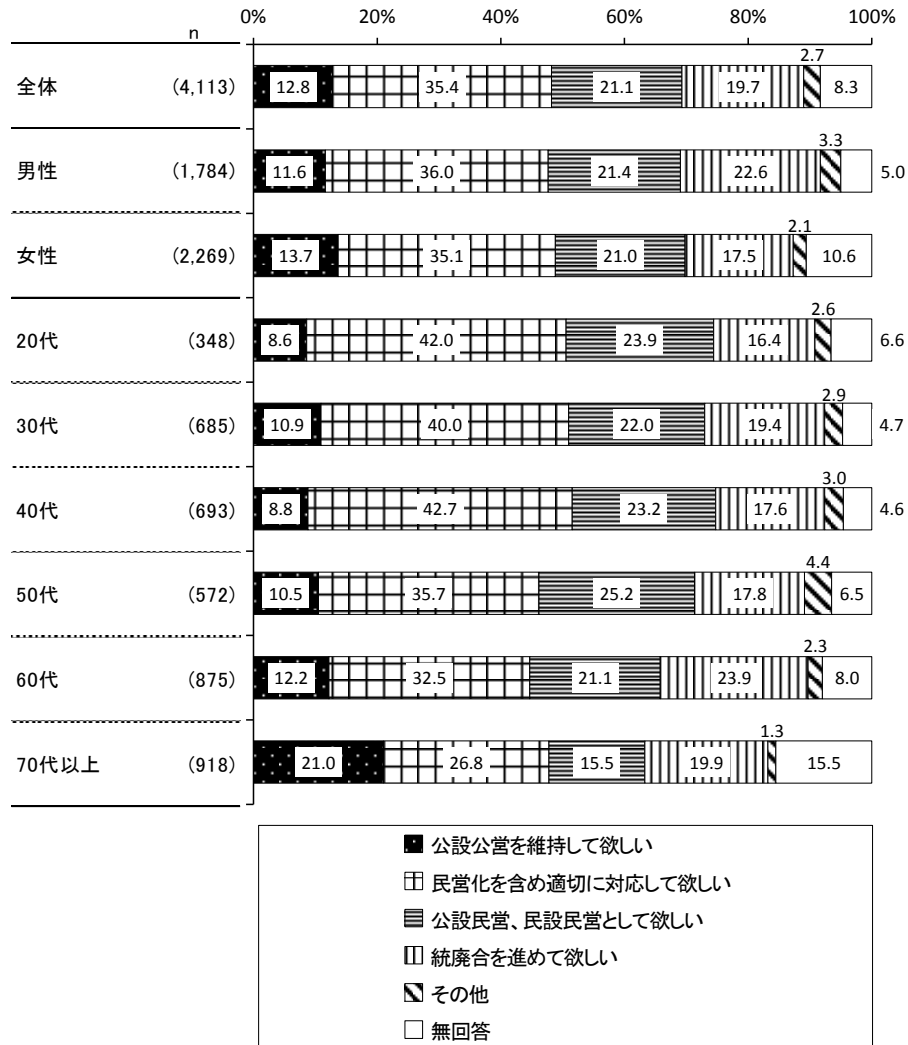
図 4-2-1



性別にみると、男性は「統廃合を進めて欲しい」が5.1ポイント高くなっています。

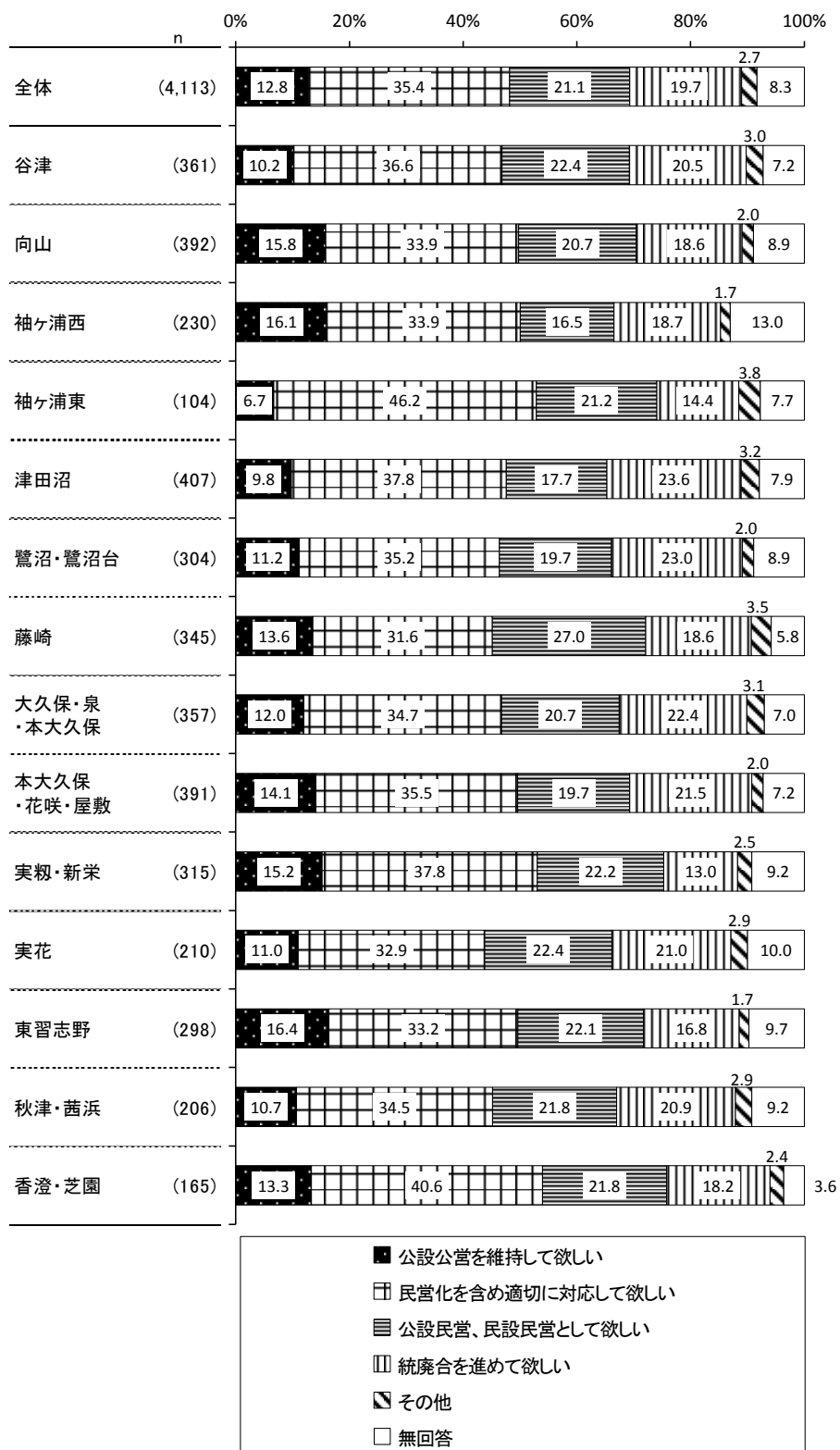
年齢別にみると、「公設公営を維持して欲しい」が70歳以上で2割を超えている一方、「民営化を含み適切に対応して欲しい」が40代で4割強となっています。

図 4- 2- 2 公共施設の管理運営方法：性別・年齢別



居住地区別にみると、「民営化を含め適切に対応して欲しい」は袖ヶ浦東で4割半ばを超えています。

図 4- 2- 3 公共施設の管理運営方法：居住地区別



4-3 今後取り組むべき行政改革の施策

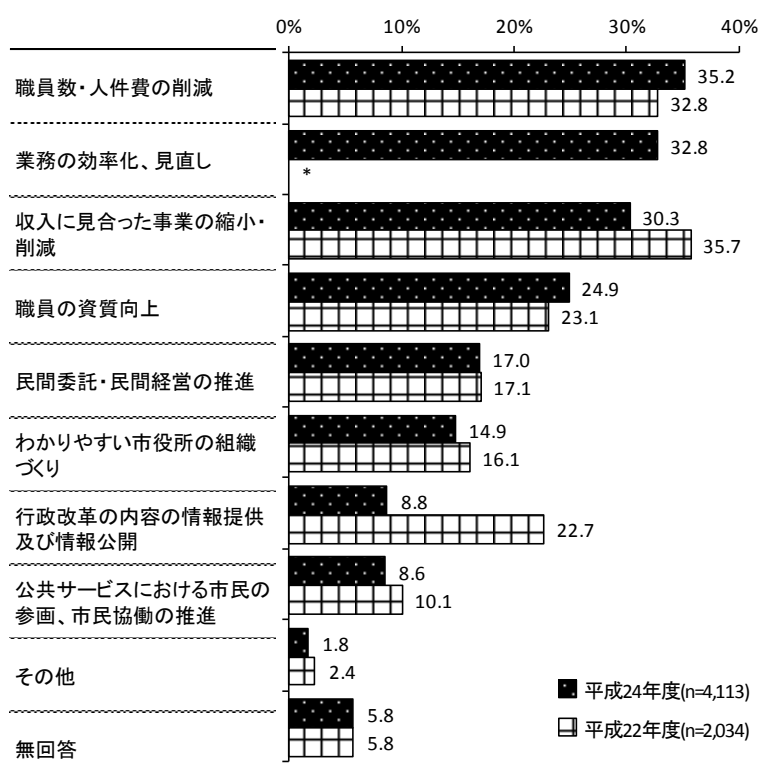
「職員・人件費の削減」が3割半ば。

問25 行政改革の施策として今後も特に取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

行政改革の施策として今後も特に取り組むべきと思うものは「職員・人件費の削減」が35.2%で最も多く、次いで「業務の効率化、見直し」が32.8%、「収入に見合った事業の縮小・削減」が30.3%となっています。

前回調査との推移をみると、「行政改革の内容の情報提供及び情報公開」が13.9ポイント、「収入に見合った事業の縮小・削減」が5.4ポイント減少しています。

図 4-3-1



※「業務の効率化、見直し」は平成24年度より追加

性別にみると、男性は「民間委託・民間経営の推進」が7.5ポイント高くなっています。
 年齢別にみると、「職員数・人件費の削減」が60代で4割半ばとなっています。
 居住地区別にみると、「業務の効率化、見直し」が袖ヶ浦東で4割強と多くなっています。

表 4- 3- 1 今後取り組むべき行政改革の施策：性別・年齢別、居住地区別

		全 体 (n)	収入に見合った事業の縮 小・削減	職員数・人件費の削減	職員の資質向上	行政改革の内容の情報提供 及び情報公開	民間委託・民間経営の推進	わかりやすい市役所の組織 づくり	公共サービスにおける市民 の参画、市民協働の推進	業務の効率化、見直し	その他	無回答
全 体		4,113	30.3	35.2	24.9	8.8	17.0	14.9	8.6	32.8	1.8	5.8
性別・ 年齢別	男	1,784	31.6	35.9	23.8	9.8	21.2	13.5	10.1	31.2	2.6	4.2
	女	2,269	29.4	34.4	25.9	8.1	13.7	16.0	7.2	34.3	1.2	6.8
	20代	348	32.8	25.3	27.9	7.5	14.7	17.2	8.0	37.1	2.6	3.7
	30代	685	37.1	29.1	26.6	7.7	17.7	13.3	6.7	36.9	1.9	3.5
	40代	693	30.2	31.3	28.6	7.9	22.2	11.0	5.8	38.7	1.6	3.9
	50代	572	30.9	35.3	27.6	10.3	20.5	11.5	9.1	34.3	2.8	3.7
	60代	875	26.9	44.2	23.3	10.7	16.9	12.3	11.3	31.1	1.4	4.8
	70歳以上	918	27.1	37.6	19.9	8.0	11.4	22.9	9.4	24.5	1.4	11.5
居住地区別	谷津	361	31.3	35.7	24.9	8.3	14.7	10.8	9.4	36.6	1.4	5.5
	向山	392	30.4	35.5	26.3	10.5	18.1	15.1	9.2	32.7	1.5	5.1
	袖ヶ浦西	230	26.5	36.1	24.8	8.3	13.0	16.1	7.8	30.9	1.3	7.8
	袖ヶ浦東	104	27.9	38.5	25.0	3.8	20.2	9.6	7.7	42.3	3.8	5.8
	津田沼	407	31.4	36.1	24.1	8.6	16.2	14.0	7.6	35.1	1.2	5.7
	鷺沼・鷺沼台	304	32.6	40.8	27.0	9.2	15.1	12.5	5.6	28.6	2.6	6.6
	藤崎	345	30.7	37.1	22.3	8.7	20.6	12.5	11.0	34.8	1.7	4.3
	大久保・泉・本大久保	357	33.6	33.9	23.0	9.5	15.1	14.8	10.9	32.5	2.0	4.8
	本大久保・花咲・屋敷	391	29.4	33.2	25.6	7.7	18.2	17.1	11.3	33.0	1.5	4.9
	実籾・新栄	315	27.9	31.7	25.4	11.4	13.7	17.1	5.7	29.5	2.5	7.6
	実花	210	30.0	33.3	26.7	7.6	18.1	17.6	7.1	31.4	0.5	7.6
	東習志野	298	28.9	29.2	23.5	8.7	20.8	18.1	8.1	31.2	1.3	6.7
	秋津・茜浜	206	26.7	35.9	28.2	8.3	18.9	15.5	8.7	30.6	2.4	5.8
	香澄・芝園	165	32.7	39.4	23.6	8.5	17.6	18.2	6.7	34.5	3.0	1.8

第5節 協働型社会の在り方について

5-1 活動への参加状況

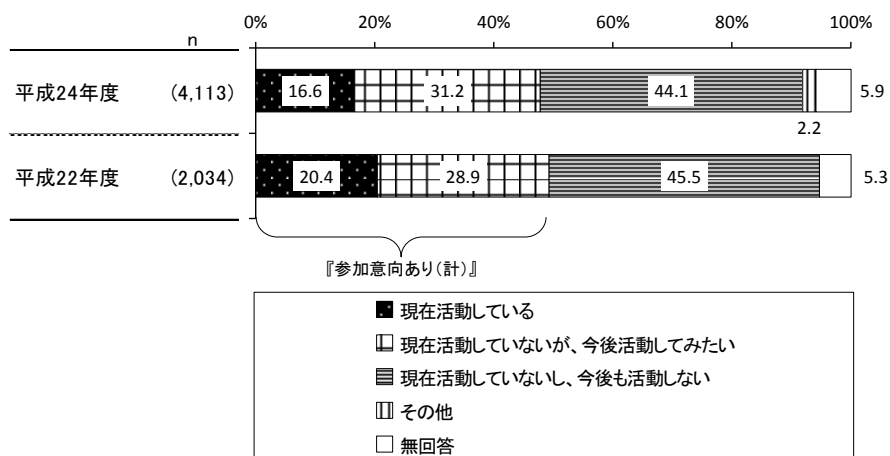
「現在活動していないし、今後も活動しない」が4割半ば。

問26 本市では、協働型社会の推進を目指しています。あなたは現在、仕事や家庭以外で何か活動していますか。(〇は1つまで)

仕事や家庭以外での活動状況は「現在活動していないし、今後も活動しない」が44.1%で最も多くなっています。「現在活動していないが、今後活動してみたい」の31.2%と「現在活動している」の16.6%を合わせた『参加意向あり』が47.8%と5割弱となっています。

前回調査との推移をみると、「現在活動している」が3.8ポイント減少しています。

図 5- 1- 1

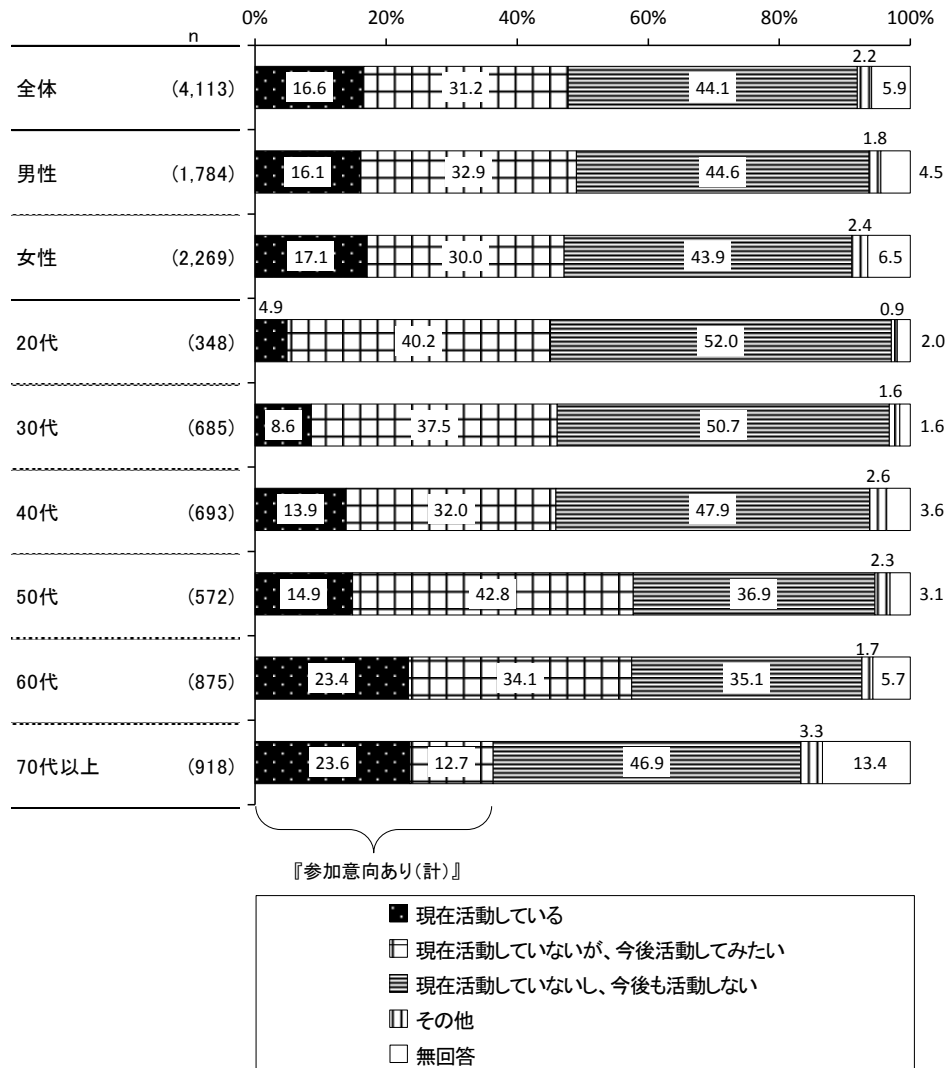


※「その他」は平成24年度より追加

性別にみると、男性と女性で同じような傾向となっています。

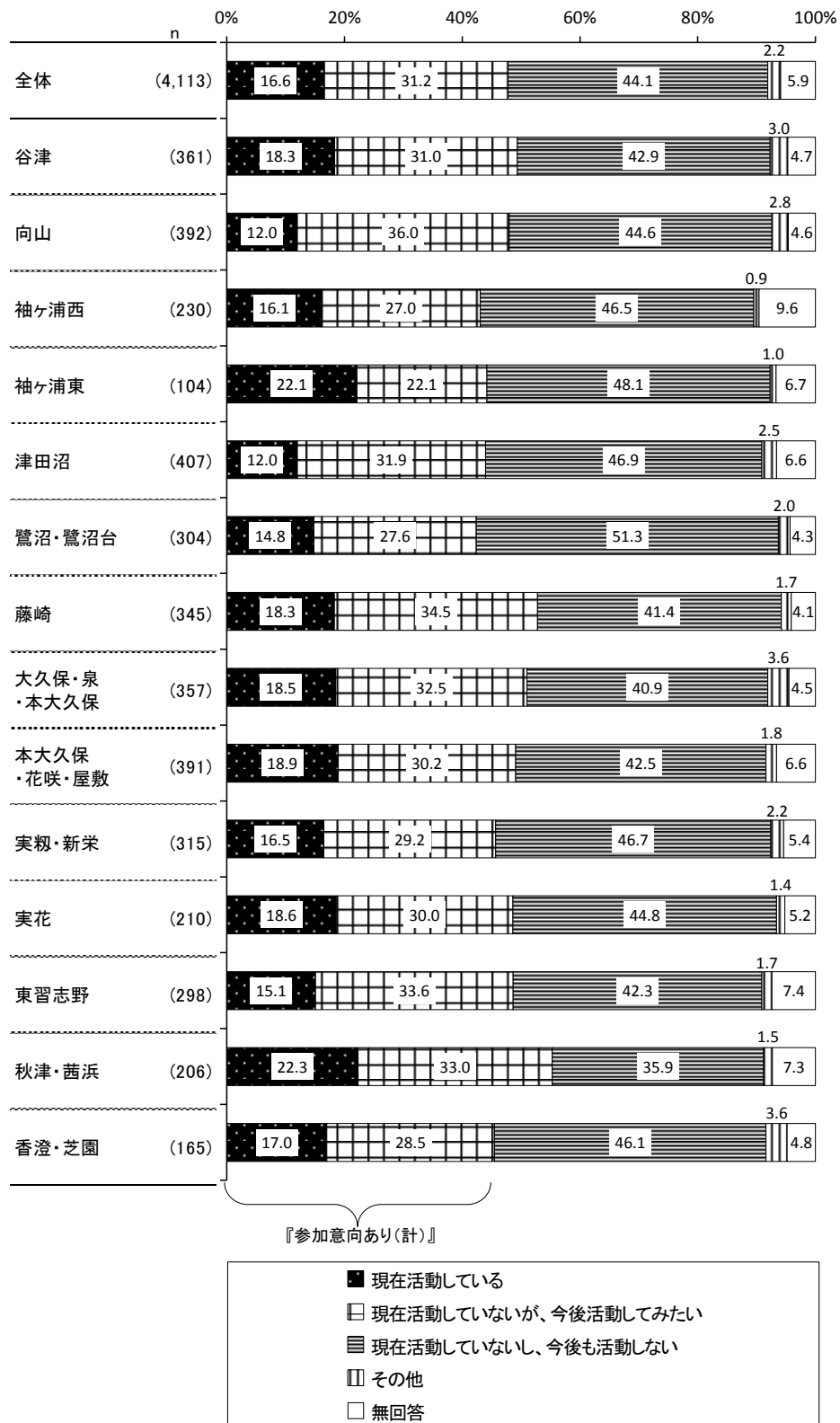
年齢別にみると、「現在活動している」が20代で4.9%と少なくなっています。『参加意向あり』は50代60代で6割弱となっています。一方、20代30代では「現在活動していないし、今後も活動しない」が5割を超えています。

図 5- 1- 2 活動への参加状況：性別・年齢別



居住地区別にみると、「現在活動している」は秋津・茜浜と袖ヶ浦東で2割を超え、「現在活動していないし、今後も活動しない」は鷺沼・鷺沼台で5割を超えています。

図 5- 1- 3 活動への参加状況：居住地区別



5-2 活動する団体

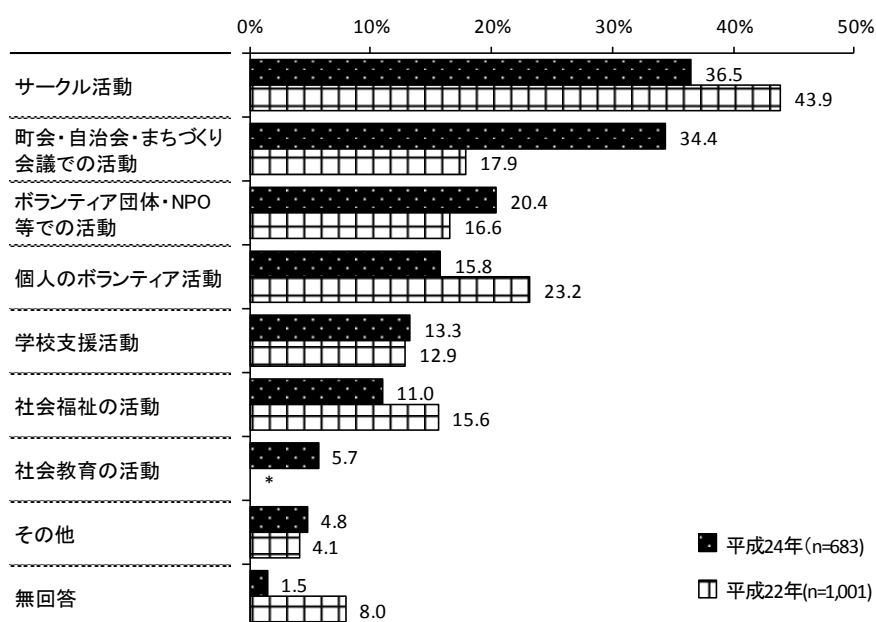
「サークル活動」が4割前半。

問26-1 ※問26で、「現在活動している」を選ばれた方のみ、ご回答ください。
 どのような団体での活動ですか。(〇はいくつでも)

現在活動していると答えた 683 人に、活動している団体について聞いたところ、「サークル活動」が 36.5%で最も多く、次いで「町会・自治会・まちづくり会議での活動」が 34.4%、「ボランティア団体・NPO 等での活動」が 20.4%となっています。

前回調査との推移をみると、「町会・自治会・まちづくり会議での活動」が 16.5 ポイント多くなっていますが、「個人のボランティア活動」が 7.4 ポイント、「サークル活動」が 7.4 ポイント減少しています。

図 5-2-1



※「社会教育の活動」は平成24年度より追加

性別にみると、男性は「町会・自治会・まちづくり会議での活動」が12.7ポイント、「ボランティア団体・NPOでの活動」が6.5ポイント高く、女性は「社会福祉の活動」が5.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「サークル活動」は20代と60代以上で4割を超えており、「学校支援活動」は30代で4割弱、40代で3割弱となっています。50代では「ボランティア団体・NPO等での活動」が3割となっています。

居住地区別にみると、「町会・自治会・まちづくり会議での活動」は秋津・茜浜で5割半ばを超え、「サークル活動」は実花と袖ヶ浦西、袖ヶ浦東で4割半ばを超えています。「個人のボランティア活動」は実籾・新栄で2割半ばを超えています。

表 5- 2- 1 活動する団体：性別・年齢別、居住地区別

		全 体 (n)	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 ・ そ の 他 の 活 動	活 動 個 人 の ボ ラ ン テ ィ ア	町 会 ・ 自 治 会 ・ ま ち づ く り 会 議 で の 活 動	学 校 支 援 活 動	社 会 福 祉 の 活 動	サ ー ク ル 活 動	社 会 教 育 の 活 動	そ の 他	無 回 答
全 体		683	20.4	15.8	34.4	13.3	11.0	36.5	5.7	4.8	1.5
性別・年齢別	男	288	24.0	15.6	41.7	11.5	7.6	34.4	6.6	5.9	1.0
	女	389	17.5	15.9	29.0	14.9	13.4	38.0	4.9	4.1	1.5
	20代	17	23.5	17.6	23.5	5.9	-	41.2	-	-	-
	30代	59	13.6	8.5	28.8	39.0	6.8	23.7	5.1	6.8	-
	40代	96	15.6	15.6	32.3	28.1	3.1	27.1	7.3	4.2	1.0
	50代	85	29.4	10.6	29.4	14.1	10.6	27.1	5.9	4.7	-
	60代	205	19.0	19.5	37.1	7.3	14.6	43.4	5.4	3.4	1.5
	70歳以上	217	22.1	16.6	37.3	5.5	13.4	40.6	6.0	6.5	2.3
居住地区別	谷津	66	18.2	15.2	21.2	22.7	3.0	39.4	10.6	6.1	-
	向山	47	14.9	17.0	25.5	14.9	6.4	36.2	6.4	6.4	2.1
	袖ヶ浦西	37	24.3	24.3	21.6	2.7	18.9	48.6	8.1	8.1	-
	袖ヶ浦東	23	21.7	17.4	39.1	17.4	8.7	47.8	13.0	4.3	-
	津田沼	49	10.2	14.3	28.6	14.3	14.3	40.8	6.1	6.1	-
	鷺沼・鷺沼台	45	26.7	15.6	33.3	11.1	11.1	22.2	4.4	2.2	2.2
	藤崎	63	28.6	17.5	30.2	11.1	15.9	28.6	9.5	11.1	1.6
	大久保・泉・本大久保	66	25.8	15.2	25.8	13.6	7.6	28.8	7.6	1.5	3.0
	本大久保・花咲・屋敷	74	23.0	6.8	48.6	5.4	9.5	35.1	4.1	4.1	-
	実籾・新栄	52	19.2	26.9	42.3	17.3	17.3	32.7	3.8	1.9	-
	実花	39	17.9	7.7	33.3	10.3	5.1	48.7	-	5.1	5.1
	東習志野	45	11.1	22.2	44.4	13.3	8.9	42.2	2.2	2.2	4.4
	秋津・茜浜	46	19.6	15.2	56.5	21.7	10.9	39.1	2.2	4.3	-
	香澄・芝園	28	21.4	10.7	35.7	10.7	25.0	32.1	-	3.6	-

5-3 活動している内容

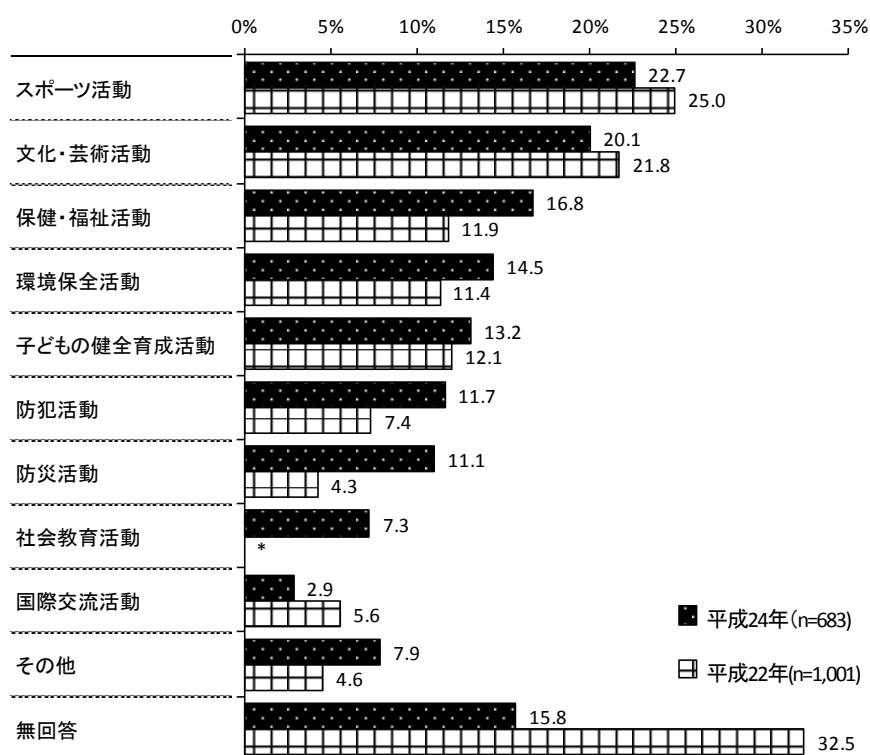
「スポーツ活動」が2割強。

問26-2 ※問26で、「現在活動している」を選ばれた方のみ、ご回答ください。
活動されている内容は、以下のどれにあてはまりますか。(〇はいくつでも)

現在活動していると答えた 683 人に、活動している内容について聞いたところ、「スポーツ活動」が 22.7% で最も多く、次いで「文化・芸術活動」が 20.1%、「保健・福祉活動」が 16.8% となっています。

前回調査との推移をみると、「防災活動」が 6.8 ポイント、「保健・福祉活動」が 4.9 ポイント、「防犯活動」が 4.3 ポイント多くなっています。

図 5-3-1



※「社会教育活動」は平成24年度より追加

性別にみると、男性は「スポーツ活動」が11.5ポイント、「環境保全活動」が7.5ポイント高く、女性は「保健・福祉活動」が8.1ポイント、「子どもの健全育成活動」が7.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「子どもの健全育成活動」は30代で2割強、「文化・芸術活動」は70歳以上で2割半ばを超え、「スポーツ活動」は40代で3割弱となっています。

居住地区別にみると、「スポーツ活動」は実花で4割弱、「保健・福祉活動」は香澄・芝園で3割強、「文化・芸術活動」は津田沼で3割強、「環境保全活動」は秋津・茜浜で2割半ばとなっています。

表 5- 3- 1 活動している内容：性別・年齢別、居住地区別

		全 体 (n)	保健・福祉活動	文化・芸術活動	スポーツ活動	環境保全活動	防災活動	防犯活動	国際交流活動	子どもの健全育成活動	社会教育活動	その他	無回答
全 体		683	16.8	20.1	22.7	14.5	11.1	11.7	2.9	13.2	7.3	7.9	15.8
性別・年齢別	男	288	12.2	17.4	29.2	18.8	14.6	15.3	3.5	8.7	6.6	8.0	15.6
	女	389	20.3	22.4	17.7	11.3	8.7	9.0	2.6	16.5	7.7	8.0	15.7
	20代	17	5.9	11.8	17.6	11.8	17.6	5.9	5.9	11.8	5.9	23.5	5.9
	30代	59	8.5	13.6	10.2	16.9	10.2	11.9	3.4	23.7	5.1	6.8	20.3
	40代	96	7.3	7.3	29.2	17.7	13.5	10.4	2.1	21.9	7.3	6.3	17.7
	50代	85	17.6	11.8	23.5	14.1	5.9	7.1	1.2	20.0	4.7	10.6	15.3
	60代	205	20.5	24.4	22.4	15.1	11.7	14.1	2.0	8.8	8.8	7.3	15.1
	70歳以上	217	20.7	27.2	23.0	12.0	11.5	12.4	4.6	8.3	7.8	7.4	15.2
居住地区別	谷津	66	9.1	25.8	24.2	6.1	12.1	13.6	-	21.2	7.6	12.1	15.2
	向山	47	17.0	19.1	19.1	17.0	8.5	6.4	-	8.5	6.4	10.6	17.0
	袖ヶ浦西	37	21.6	21.6	13.5	13.5	13.5	16.2	5.4	8.1	13.5	8.1	18.9
	袖ヶ浦東	23	17.4	17.4	26.1	13.0	13.0	-	4.3	17.4	13.0	8.7	13.0
	津田沼	49	18.4	32.7	16.3	16.3	2.0	12.2	6.1	6.1	4.1	10.2	16.3
	鷺沼・鷺沼台	45	26.7	6.7	22.2	17.8	8.9	15.6	2.2	11.1	-	6.7	20.0
	藤崎	63	23.8	17.5	19.0	17.5	12.7	6.3	3.2	22.2	6.3	1.6	12.7
	大久保・泉・本大久保	66	13.6	15.2	19.7	10.6	10.6	15.2	3.0	15.2	12.1	12.1	10.6
	本大久保・花咲・屋敷	74	16.2	18.9	27.0	18.9	17.6	20.3	1.4	10.8	4.1	8.1	10.8
	実柵・新栄	52	17.3	25.0	25.0	9.6	13.5	7.7	3.8	11.5	13.5	1.9	23.1
	実花	39	7.7	20.5	38.5	12.8	10.3	7.7	2.6	12.8	7.7	10.3	10.3
	東習志野	45	11.1	20.0	35.6	13.3	6.7	17.8	4.4	11.1	8.9	6.7	13.3
	秋津・茜浜	46	13.0	21.7	15.2	26.1	15.2	6.5	4.3	13.0	6.5	6.5	26.1
	香澄・芝園	28	32.1	14.3	14.3	10.7	7.1	7.1	3.6	10.7	-	7.1	17.9

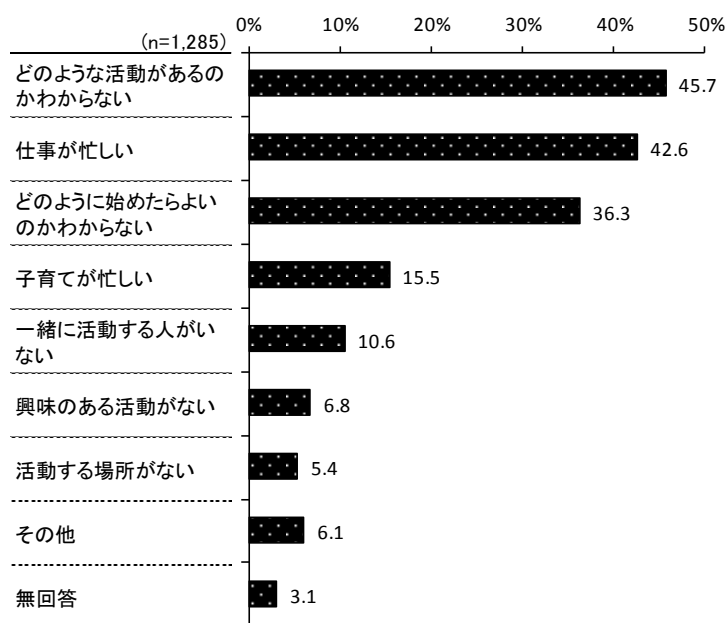
5-4 活動に参加していない理由

「仕事が忙しい」が4割を超える。

問26-3 ※問26で、「現在活動していないが、今後活動してみたい」を選ばれた方のみ、ご回答ください。
現在活動していないのは、どのような理由ですか。(〇はいくつでも)

現在活動していないが、今後活動してみたいと答えた1,285人に、活動していない理由を聞いたところ、「どのような活動があるのかわからない」が45.7%で最も多く、次いで「仕事が忙しい」が42.6%、「どのように始めたらよいのかわからない」が36.3%となっています。

図 5-4-1



性別にみると、男性は「仕事が忙しい」が12.7ポイント高く、女性は「子育てが忙しい」が14.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「子育てが忙しい」は30代で4割半ばとなり、「仕事が忙しい」は40代50代で5割を超えています。20代は「どのような活動があるのかわからない」が5割強、「どのように始めたらよいのかわからない」が4割半ばと多くなっています。

居住地区別にみると、「どのような活動があるのかわからない」は藤崎と津田沼、鷺沼・鷺沼台で5割半ばとなっています。また、鷺沼・鷺沼台は「どのように始めたらよいのかわからない」が4割半ばを超えています。「仕事が忙しい」は袖ヶ浦東と袖ヶ浦西で5割強、東習志野で5割となっています。

表 5- 4- 1 市民活動に参加していない理由：性別・年齢別、居住地区別

		全 体 (n)	い 興 味 の あ る 活 動 が な い	仕 事 が 忙 し い	子 育 て が 忙 し い	ど の よ う な 活 動 が あ る の か わ か ら な い	一 緒 に 活 動 す る 人 が い な い	活 動 す る 場 所 が な い	ど の よ う に 始 め た ら よ い の か わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体		1,285	6.8	42.6	15.5	45.7	10.6	5.4	36.3	6.1	3.1
性別・年齢別	男	587	7.3	49.4	8.0	46.7	10.7	7.3	34.6	4.6	3.1
	女	681	6.5	36.7	22.3	45.2	10.3	3.8	37.6	7.5	3.1
	20代	140	7.1	47.1	13.6	52.1	13.6	3.6	45.0	2.1	2.9
	30代	257	7.4	42.4	44.7	45.9	10.9	1.9	32.3	3.5	1.9
	40代	222	3.6	50.5	24.3	45.0	7.7	3.6	31.5	4.5	3.2
	50代	245	5.7	55.1	2.0	44.5	11.8	5.7	37.1	9.0	2.0
	60代	298	8.4	34.6	1.0	48.7	8.1	7.0	38.9	8.4	2.7
	70歳以上	117	10.3	17.9	1.7	35.0	14.5	13.7	33.3	8.5	9.4
居住地区別	谷津	112	5.4	42.9	15.2	38.4	10.7	4.5	42.9	3.6	2.7
	向山	141	5.7	42.6	12.1	39.0	11.3	5.0	34.8	5.7	4.3
	袖ヶ浦西	62	9.7	51.6	14.5	48.4	6.5	8.1	37.1	6.5	3.2
	袖ヶ浦東	23	8.7	52.2	8.7	26.1	4.3	-	26.1	13.0	4.3
	津田沼	130	5.4	40.8	18.5	55.4	11.5	6.2	33.8	6.2	1.5
	鷺沼・鷺沼台	84	6.0	34.5	21.4	54.8	13.1	2.4	46.4	9.5	1.2
	藤崎	119	-	39.5	16.0	55.5	8.4	1.7	36.1	3.4	1.7
	大久保・泉・本大久保	116	5.2	46.6	14.7	45.7	12.1	7.8	41.4	7.8	4.3
	本大久保・花咲・屋敷	118	11.0	41.5	17.8	45.8	11.0	1.7	30.5	8.5	4.2
	実籾・新栄	92	6.5	41.3	6.5	45.7	8.7	9.8	44.6	6.5	2.2
	実花	63	6.3	39.7	15.9	46.0	9.5	4.8	31.7	6.3	6.3
	東習志野	100	8.0	50.0	21.0	37.0	12.0	7.0	30.0	2.0	4.0
	秋津・茜浜	68	8.8	38.2	13.2	39.7	8.8	10.3	32.4	7.4	2.9
	香澄・芝園	47	19.1	42.6	14.9	51.1	12.8	6.4	29.8	8.5	2.1

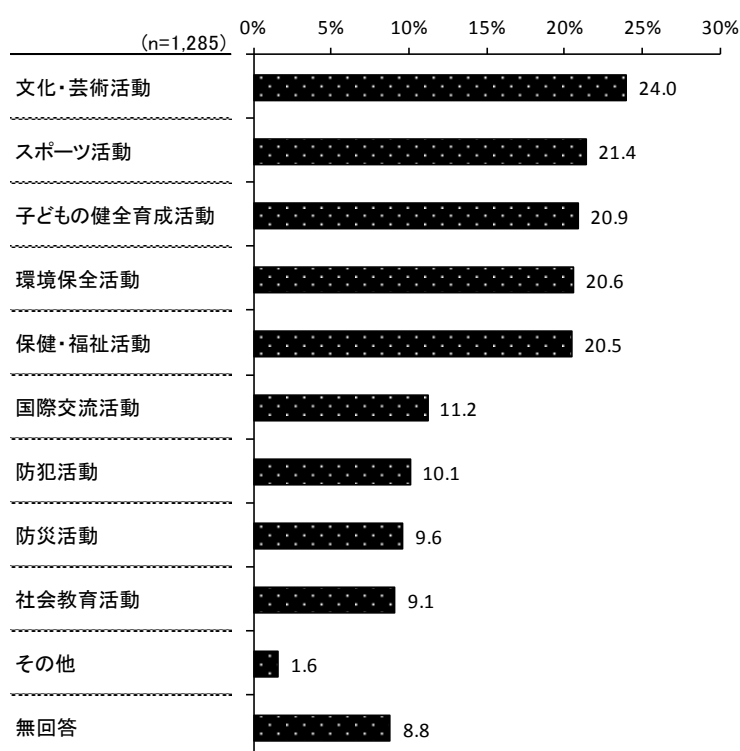
5-5 今後の活動意向

「文化・芸術活動」をしてみたいが2割強。

問26-4 ※問26で、「現在活動していないが、今後活動してみたい」を選ばれた方のみ、ご回答ください。
今後活動される場合、活動してみたい内容は以下のどれにあてはまりますか。(○は2つまで)

現在活動していないが、今後活動してみたいと答えた 1,285 人に活動してみたい内容を聞くと、「文化・芸術活動」が 24.0%で最も多く、次いで「スポーツ活動」が 21.4%、「子どもの健全育成活動」が 20.9%となっています。

図 5-5-1



性別にみると、男性は「スポーツ活動」が12ポイント、「環境保全活動」が10.9ポイント、「防犯活動」が10.4ポイント高く、女性は「保健・福祉活動」が14.6ポイント、「子どもの健全育成活動」が10.5ポイント、「文化・芸術活動」が7.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「スポーツ活動」は20代で3割半ばとなっており、「子どもの健全育成活動」は30代で3割弱となっています。

居住地区別にみると、「子どもの健全育成活動」は袖ヶ浦東で4割弱、「スポーツ活動」は大久保・泉・本大久保で3割、「環境保全活動」は藤崎で3割弱となっています。

表 5- 5- 1 今後の活動意向：性別・年齢別、居住地区別

		全 体 (n)	保 健 ・ 福 祉 活 動	文 化 ・ 芸 術 活 動	ス ポ ー ツ 活 動	環 境 保 全 活 動	防 災 活 動	防 犯 活 動	国 際 交 流 活 動	子 ど も の 健 全 育 成 活 動	社 会 教 育 活 動	そ の 他	無 回 答
全 体		1,285	20.5	24.0	21.4	20.6	9.6	10.1	11.2	20.9	9.1	1.6	8.8
性別・年齢別	男	795	12.6	20.4	27.9	26.6	13.8	15.8	10.1	15.2	9.7	1.7	7.2
	女	997	27.2	27.5	15.9	15.7	6.0	5.4	12.3	25.7	8.2	1.6	10.1
	20代	181	15.7	25.0	34.3	20.0	8.6	6.4	15.0	26.4	7.1	2.1	5.0
	30代	347	16.7	22.6	28.0	16.0	8.2	7.4	17.5	29.2	7.0	0.8	10.5
	40代	332	22.1	27.5	23.9	18.5	8.1	11.3	13.1	23.9	7.2	0.9	5.9
	50代	211	25.7	22.4	13.9	22.4	12.2	10.2	6.9	18.8	9.8	2.4	8.2
	60代	307	22.1	25.8	16.4	24.8	9.1	10.4	7.4	15.8	13.8	0.7	8.4
	70歳以上	431	15.4	17.1	15.4	21.4	13.7	17.9	8.5	8.5	6.8	5.1	17.1
居住地区別	谷津	155	20.5	20.5	26.8	16.1	12.5	6.3	14.3	21.4	14.3	0.9	5.4
	向山	175	21.3	27.0	12.8	19.9	9.9	5.7	10.6	21.3	12.1	1.4	12.8
	袖ヶ浦西	107	25.8	29.0	24.2	17.7	9.7	8.1	14.5	17.7	6.5	3.2	3.2
	袖ヶ浦東	50	13.0	13.0	26.1	13.0	8.7	17.4	8.7	39.1	8.7	8.7	8.7
	津田沼	191	16.2	26.9	21.5	18.5	10.0	12.3	12.3	25.4	10.0	-	5.4
	鷺沼・鷺沼台	156	17.9	19.0	29.8	22.6	6.0	7.1	8.3	21.4	8.3	1.2	15.5
	藤崎	143	20.2	27.7	16.8	29.4	9.2	13.4	8.4	21.8	8.4	1.7	7.6
	大久保・泉・本大久保	146	20.7	18.1	30.2	17.2	7.8	11.2	12.9	24.1	8.6	2.6	8.6
	本大久保・花咲・屋敷	166	25.4	22.9	15.3	22.0	12.7	8.5	13.6	22.0	8.5	1.7	11.0
	実柵・新栄	147	17.4	20.7	28.3	23.9	4.3	12.0	8.7	16.3	13.0	1.1	9.8
	実花	94	22.2	31.7	25.4	17.5	11.1	15.9	9.5	14.3	6.3	3.2	3.2
	東習志野	126	26.0	26.0	10.0	19.0	8.0	15.0	10.0	20.0	4.0	1.0	10.0
	秋津・茜浜	74	11.8	23.5	22.1	25.0	8.8	7.4	13.2	16.2	5.9	1.5	13.2
	香澄・芝園	76	23.4	21.3	23.4	21.3	19.1	8.5	10.6	17.0	8.5	2.1	2.1

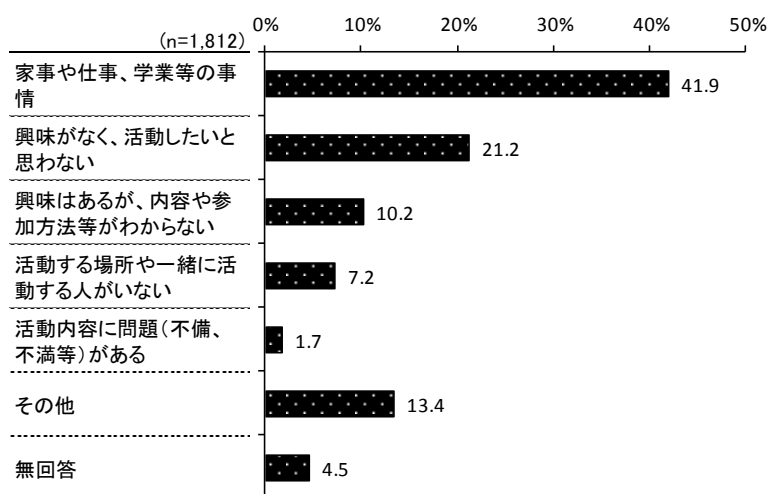
5-6 今後も活動しない理由

「家事や仕事、学業等の事情」が4割。

問26-5 ※26で、「現在活動していないし、今後も活動しない」を選ばれた方のみ、ご回答ください。「活動しない」大きな理由は何ですか。(1つだけに○)

現在活動していないし、今後も活動しないと答えた 1,812 人に理由を聞くと、「家事や仕事、学業等の事情」が 41.9%で最も多く、次いで「興味がなく、活動したいと思わない」が 21.2%、「興味はあるが、内容や参加方法等がわからない」が 10.2%となっています。

図 5-6-1



性別にみると、男性は「興味がなく、活動したいと思わない」が8.1ポイント高く、女性は「家事や仕事、学業等の事情」が5.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「家事や仕事、学業等の事情」が20代から40代で5割半ばから6割弱となっています。70歳以上では「その他」が3割半ばを超えています。

居住地区別にみると、「家事や仕事、学業等の事情」が谷津で5割となっています。

表 5- 6- 1 活動しない理由：性別・年齢別、居住地区別

		全 体 (n)	情 家 事 や 仕 事 、 学 業 等 の 事 情	興 味 は あ る が 、 内 容 や 参 加 方 法 等 が わ か ら な い	活 動 す る 場 所 や 一 緒 に 活 動 す る 人 が い な い	興 味 が な く 、 活 動 し た い と 思 わ な い	活 動 内 容 に 問 題 (不 備 、 不 満 等) が あ る	そ の 他	無 回 答
全 体		1,812	41.9	10.2	7.2	21.2	1.7	13.4	4.5
性別・年齢別	男	795	39.1	11.6	6.4	25.8	2.0	12.2	2.9
	女	997	44.6	9.1	7.7	17.7	1.4	14.1	5.3
	20代	181	55.2	8.8	9.4	24.3	0.6	1.1	0.6
	30代	347	59.7	12.1	4.0	21.0	0.6	2.3	0.3
	40代	332	58.7	9.9	7.5	19.6	1.2	1.8	1.2
	50代	211	45.0	11.4	7.1	20.9	3.3	10.0	2.4
	60代	307	34.2	12.7	8.1	24.1	3.6	14.0	3.3
	70歳以上	431	13.0	7.0	7.9	19.7	1.2	37.4	13.9
居住地区別	谷津	155	50.3	11.6	7.7	18.1	0.6	8.4	3.2
	向山	175	40.0	13.1	9.7	20.6	1.1	13.1	2.3
	袖ヶ浦西	107	38.3	12.1	5.6	19.6	0.9	17.8	5.6
	袖ヶ浦東	50	36.0	18.0	4.0	22.0	-	12.0	8.0
	津田沼	191	39.8	13.1	7.3	24.1	2.6	8.9	4.2
	鷺沼・鷺沼台	156	47.4	12.8	5.1	16.0	2.6	10.3	5.8
	藤崎	143	37.1	8.4	7.7	25.2	0.7	16.8	4.2
	大久保・泉・本大久保	146	43.8	5.5	8.9	15.8	3.4	16.4	6.2
	本大久保・花咲・屋敷	166	38.0	8.4	10.2	23.5	3.0	12.7	4.2
	実籾・新栄	147	39.5	9.5	8.8	19.0	1.4	17.7	4.1
	実花	94	40.4	10.6	1.1	29.8	1.1	13.8	3.2
	東習志野	126	46.0	5.6	6.3	23.8	-	12.7	5.6
	秋津・茜浜	74	44.6	6.8	4.1	17.6	2.7	20.3	4.1
	香澄・芝園	76	44.7	9.2	6.6	22.4	1.3	10.5	5.3

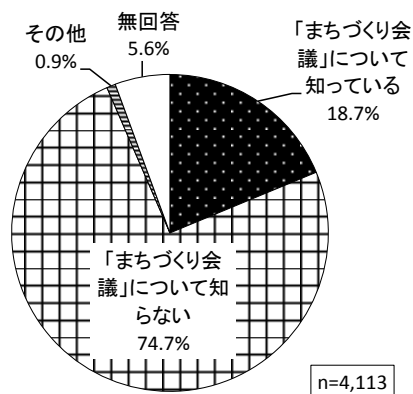
5-7 「まちづくり会議」の認知度

「まちづくり会議」について「知らない」が7割半ば。

問27 習志野市では、地域交流の場であり、課題や問題についてご議論頂く「まちづくり会議」を開催していますが、その役割や内容についてご存知ですか。(1つだけに〇)

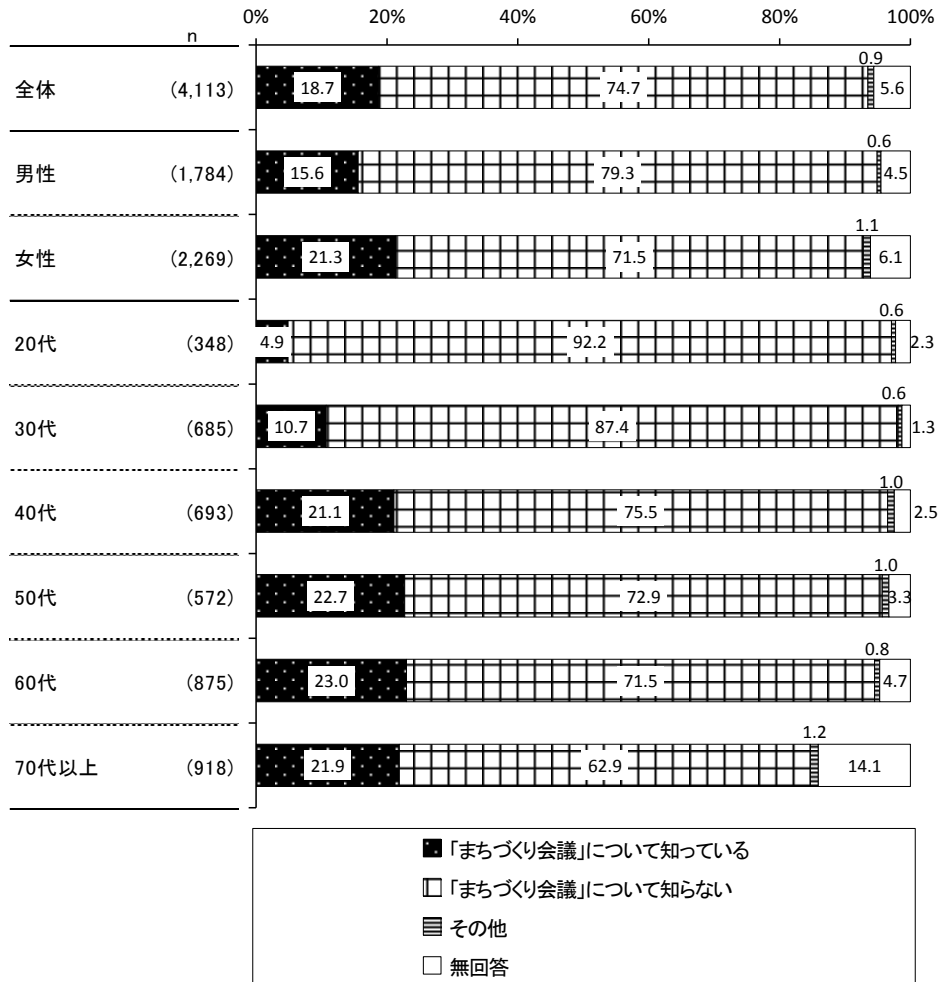
「まちづくり会議」の認知度は「知らない」が74.7%、「知っている」が18.7%となっています。

図 5-7-1



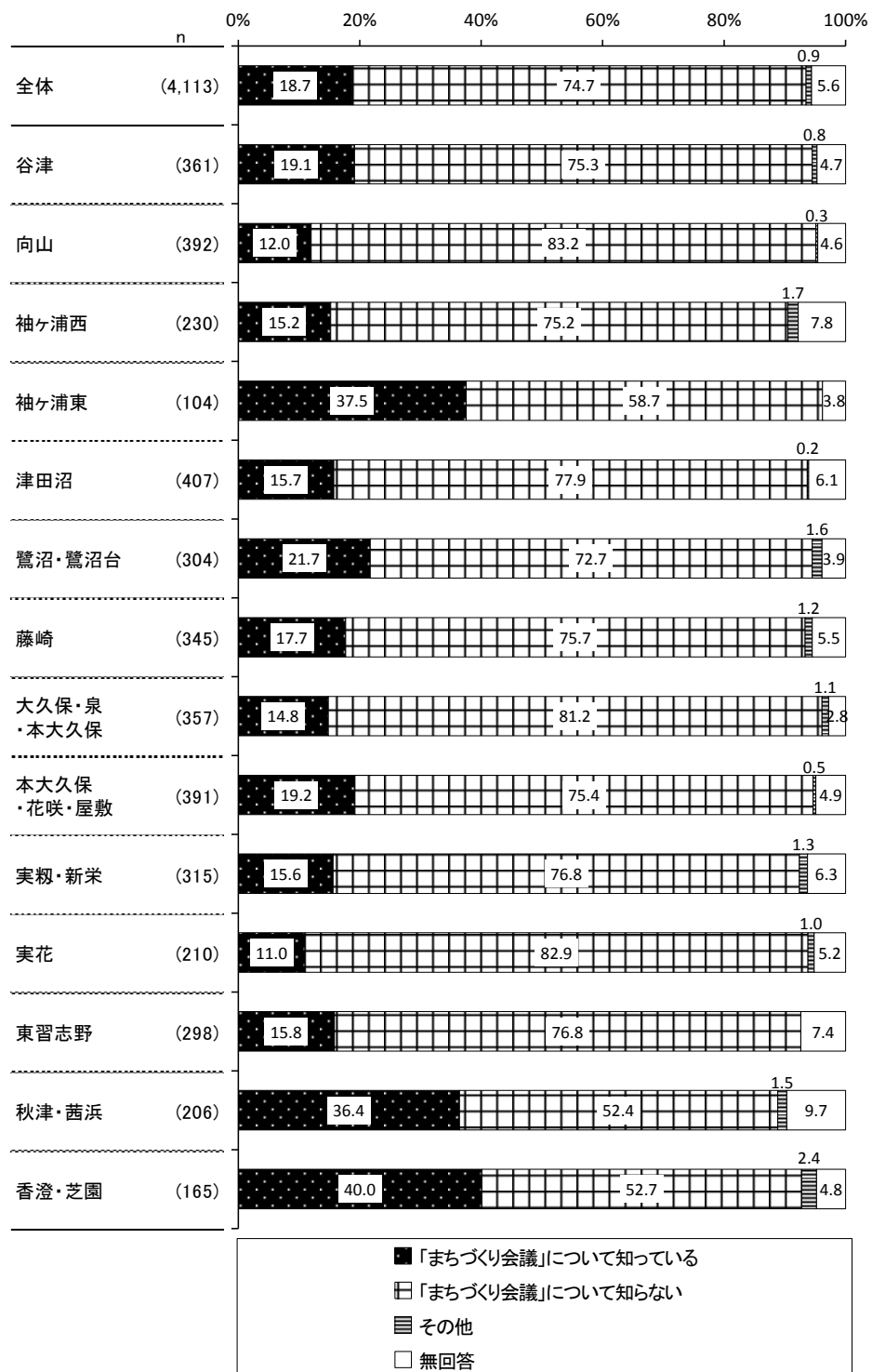
性別にみると、男性は「まちづくり会議について」「知らない」が7.8ポイント高くなっています。
 年齢別にみると、「まちづくり会議について」「知らない」が20代で9割強、30代では9割弱となっ
 ており、その他の年齢層でも7割半ばから6割強となっています。

図 5- 7- 2 「まちづくり会議」の認知度：性別、年齢別



居住地区別にみると、「まちづくり会議」について「知っている」が香澄・芝園で4割、袖ヶ浦東と秋津・茜浜で3割半ばとなっています。

図 5- 7- 3 「まちづくり会議」の認知度：居住地区別



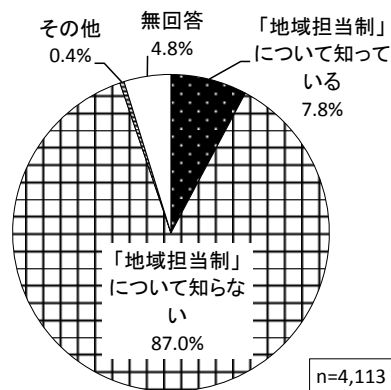
5-8 「地域担当制」の認知度

「地域担当制」について「知らない」が8割半ば。

問28 習志野市では、市職員が地域と密着して課題に取り組む「地域担当制」を導入していますが、その役割や内容についてご存知ですか。(1つだけに○)

「地域担当制」の認知度は「知らない」が87.0%、「知っている」が7.8%となっています。

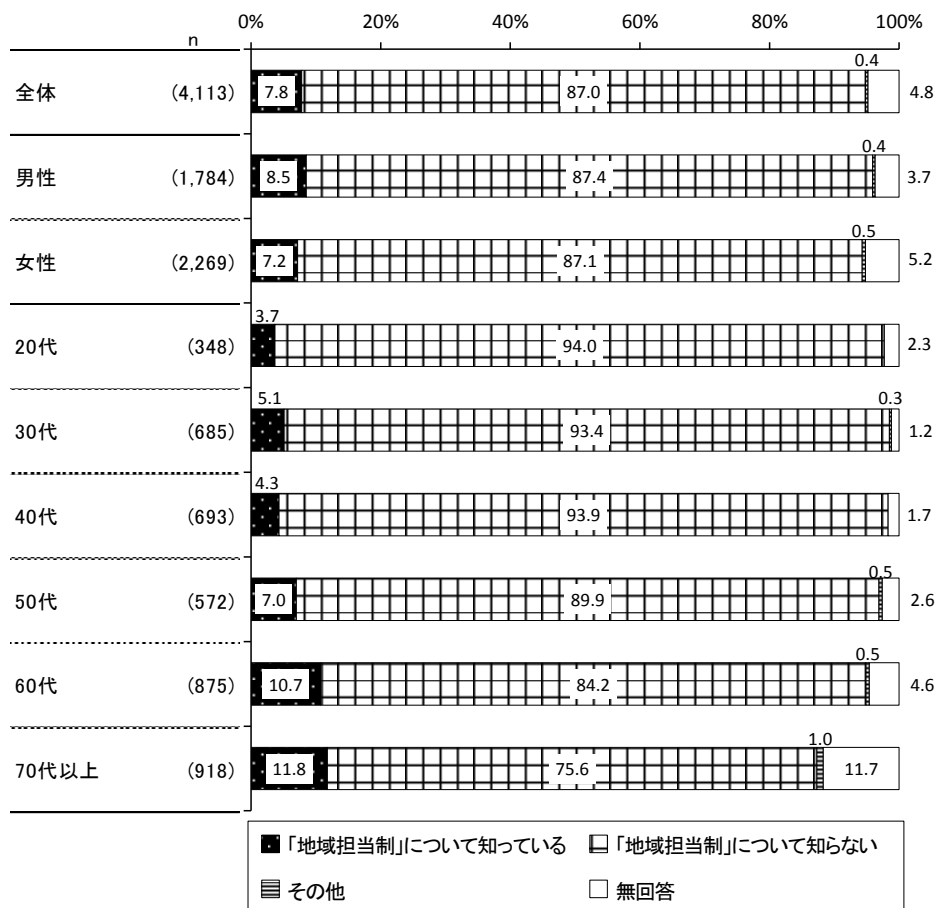
図 5-8-1



性別にみると、男性と女性との差はあまり見られません。

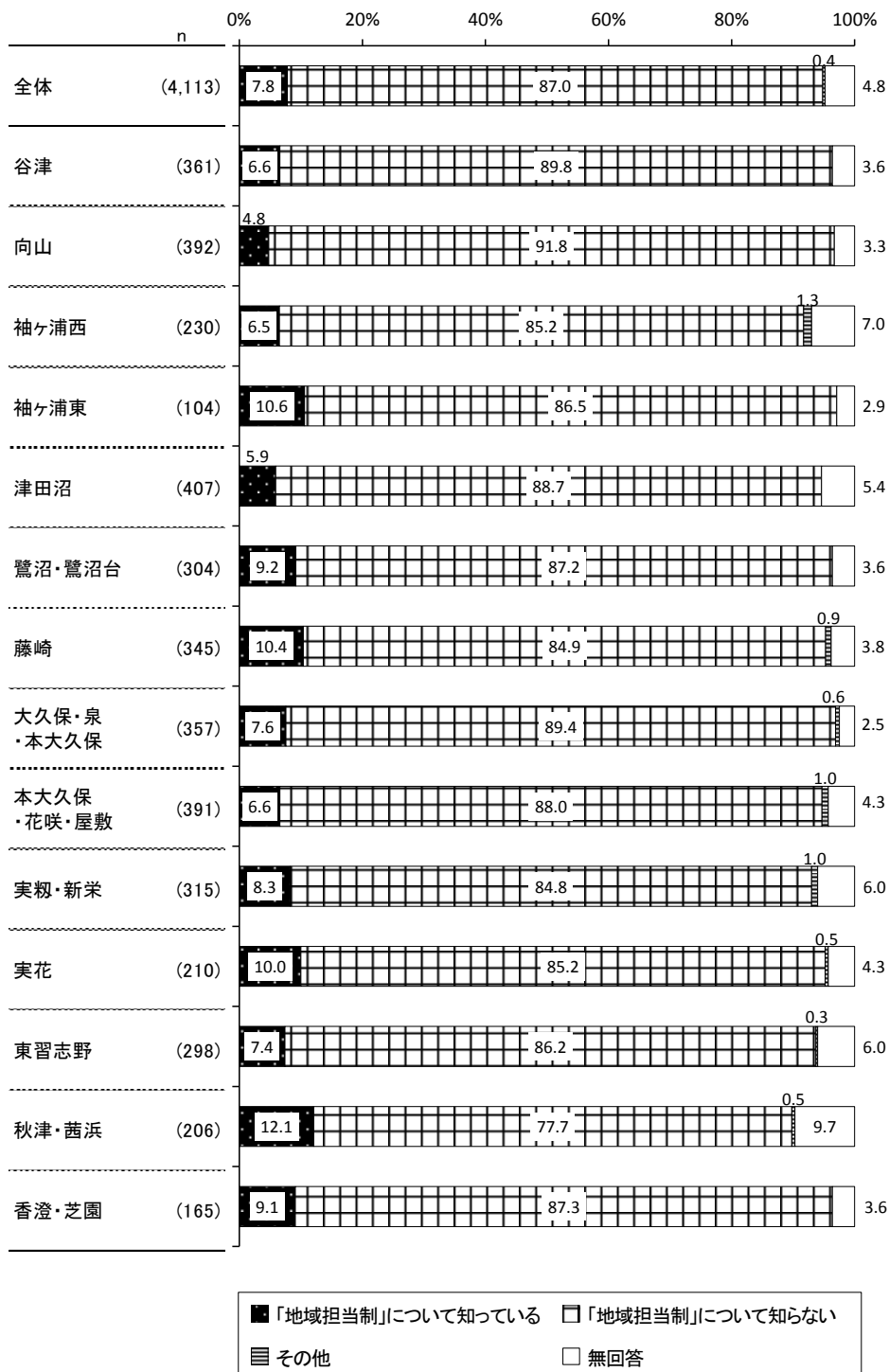
年齢別にみると、「知っている」は高齢になるにつれて多くなる傾向があります。

図 5- 8- 2 「地域担当制」の認知度：性別・年齢別



居住地区別にみると、「知っている」は秋津・茜浜で若干多く、1割強となっています。

図 5- 8- 3 「地域担当制」の認知度：居住地区別



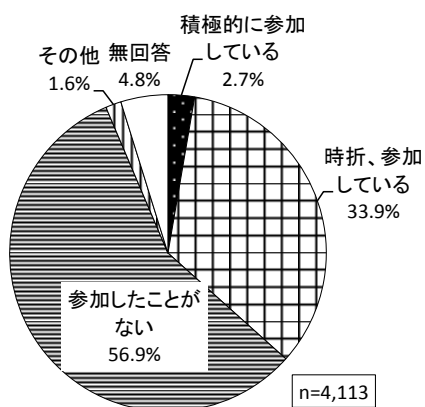
5-9 イベントへの参加状況

「参加したことがない」が5割半ば。

問29 あなたは、これまでに習志野市主催のイベントや行事に参加したことはありますか。(1つだけに○)

市主催のイベントや行事への参加状況は「参加したことがない」が56.9%で最も多く、次いで「時折、参加している」が33.9%となっています。

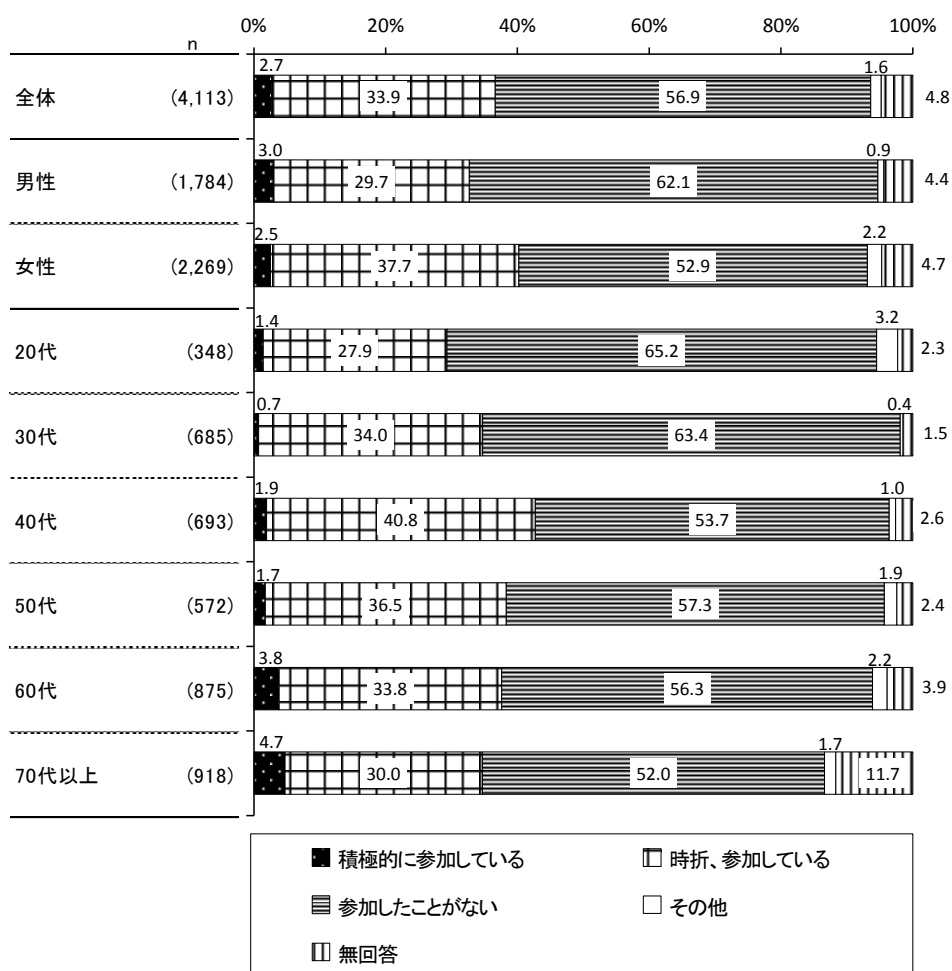
図 5-9-1



性別にみると、男性は「参加したことがない」が9.2ポイント高く、女性は「時折、参加している」が8.0ポイント高くなっています。

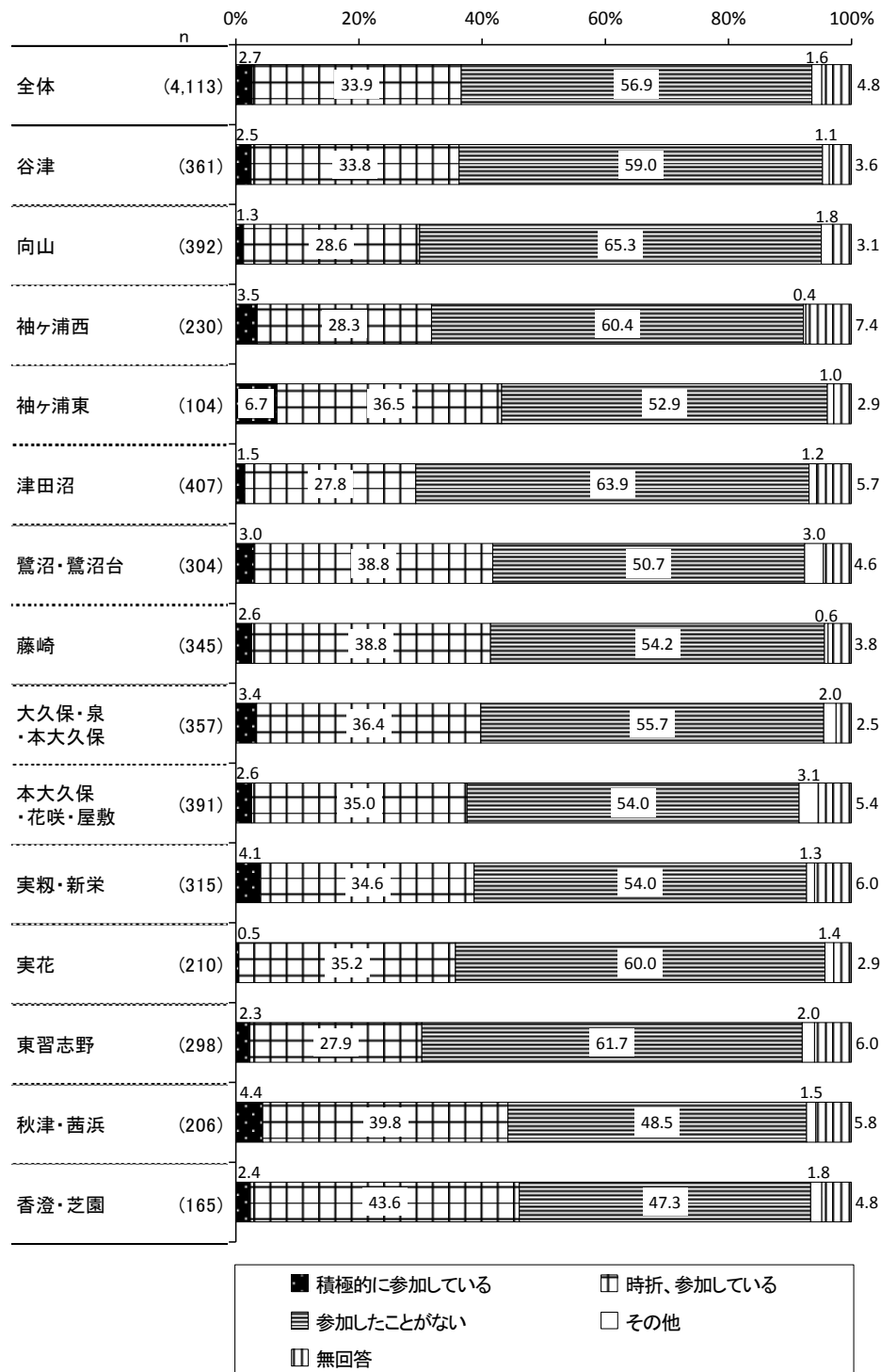
年齢別にみると、「時折、参加している」は40代で4割となっており、「参加したことがない」は20代で6割半ばとなっています。

図 5-9-2 イベントへの参加状況：性別・年齢別



居住地区別にみると、「積極的に参加している」と「時折、参加している」の合計が香澄・芝園と秋津・茜浜、袖ヶ浦東、鷺沼・鷺沼台、藤崎で4割を超えています。一方、「参加したことがない」は向山と津田沼で6割半ば前後となっています。

図 5-9-3 イベントへの参加状況：居住地区別



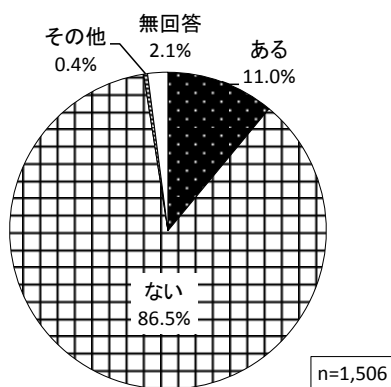
5-10 イベントの参加方法

イベント等で市政のあり方に意見を述べたり議会等の傍聴、公募委員の経験が「ない」が8割半ば。

問29-1 ※問29で、「積極的に参加している」「時折、参加している」を選ばれた方のみ、ご回答ください。パブリックコメント、市・地区主催のイベントや行事などを通じ、市政のあり方についての意見を述べたことがありますか。または、議会や委員会等の傍聴や、公募委員を経験したことがありますか。(1つだけに○)

市主催のイベントや行事に「参加している」を選んだ1,506人に、パブリックコメント等での発言、議会、委員会の傍聴、公募委員の経験等の有無を聞いたところ、「ない」が86.5%で最も多く、次いで「ある」が11.0%となっています。

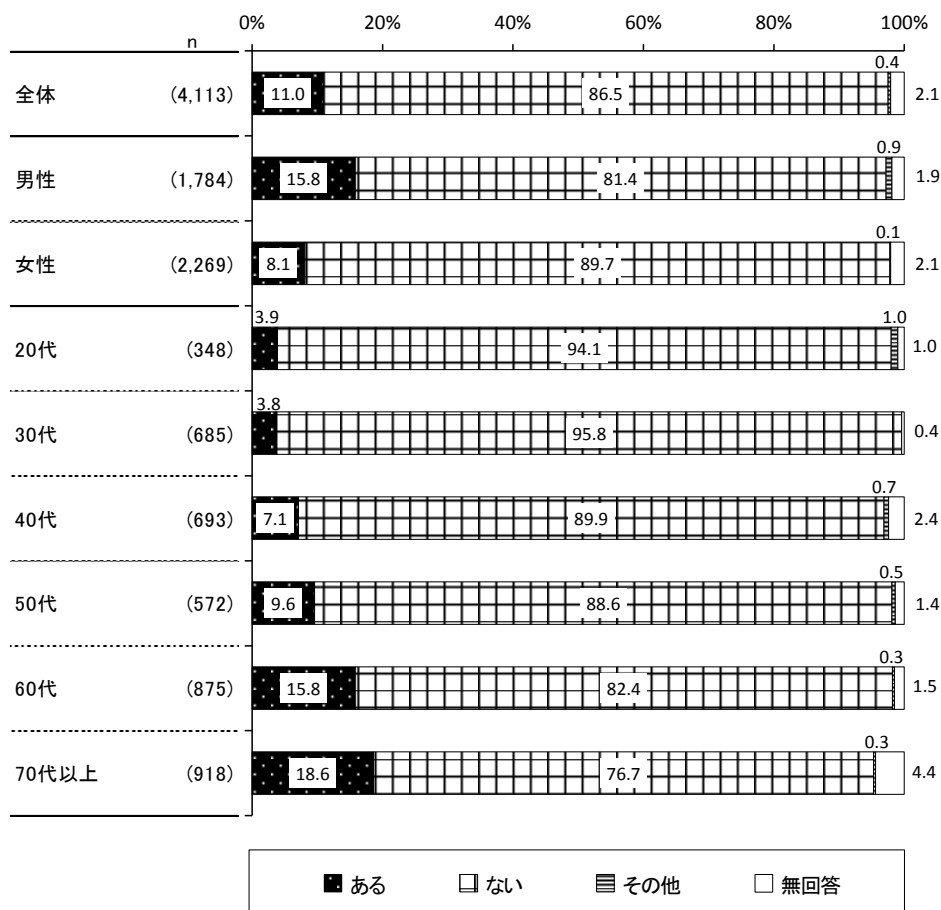
図 5-10-1



性別にみると、男性は「ある」が7.7ポイント高く、女性は「ない」が8.3ポイント高くなっています。

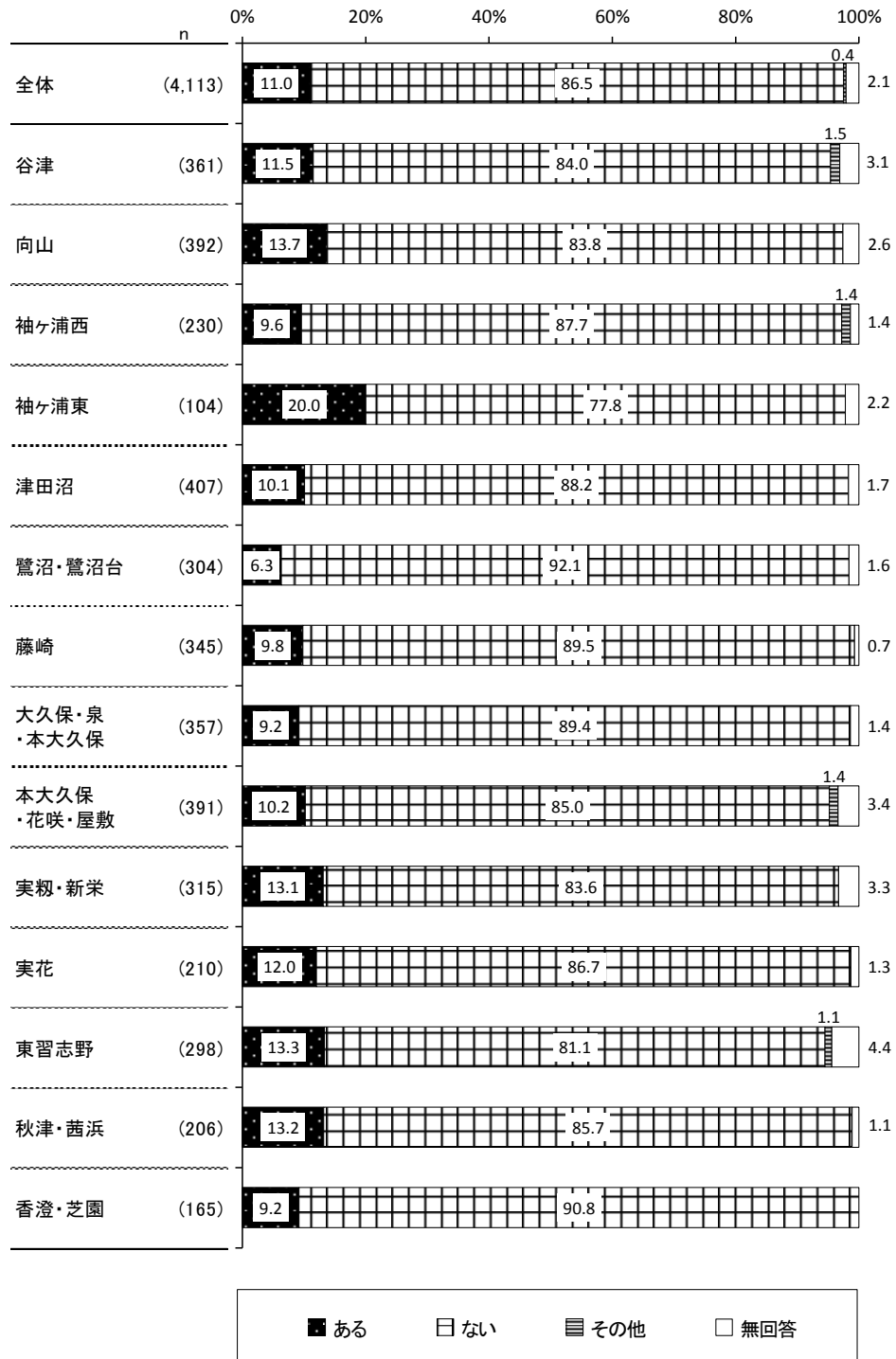
年齢別にみると、高齢になるにつれて、「ある」が増える傾向にあります。

図 5- 10- 2 イベントの参加方法：性別・年齢別



居住地区別にみると、「ある」が袖ヶ浦東で2割となっています。

図 5- 10- 3 イベントの参加方法：居住地区別



5-1-1 参加しない理由

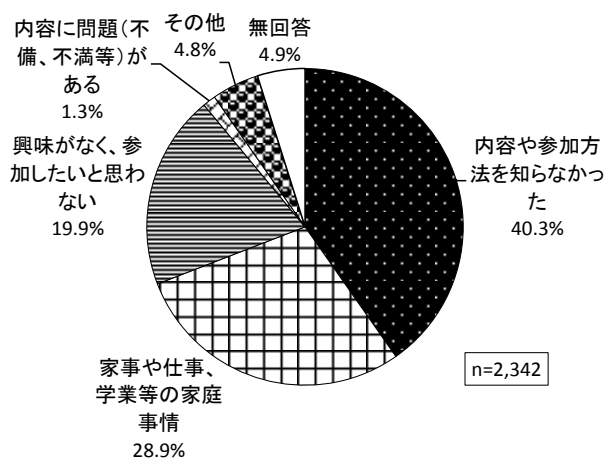
「内容や参加方法を知らなかった」が4割。

問29-2 ※問29で、「参加したことがない」を選ばれた方のみ、ご回答ください。

「参加したことがない」大きな理由はなんですか。(1つだけに○)

市主催のイベントや行事に「参加したことがない」を選んだ2,342人に理由を聞くと、「内容や参加方法を知らなかった」が40.3%で最も多く、次いで「家事や仕事、学業等の家庭の事情」が28.9%、「興味がなく、参加したいと思わない」が19.9%となっています。

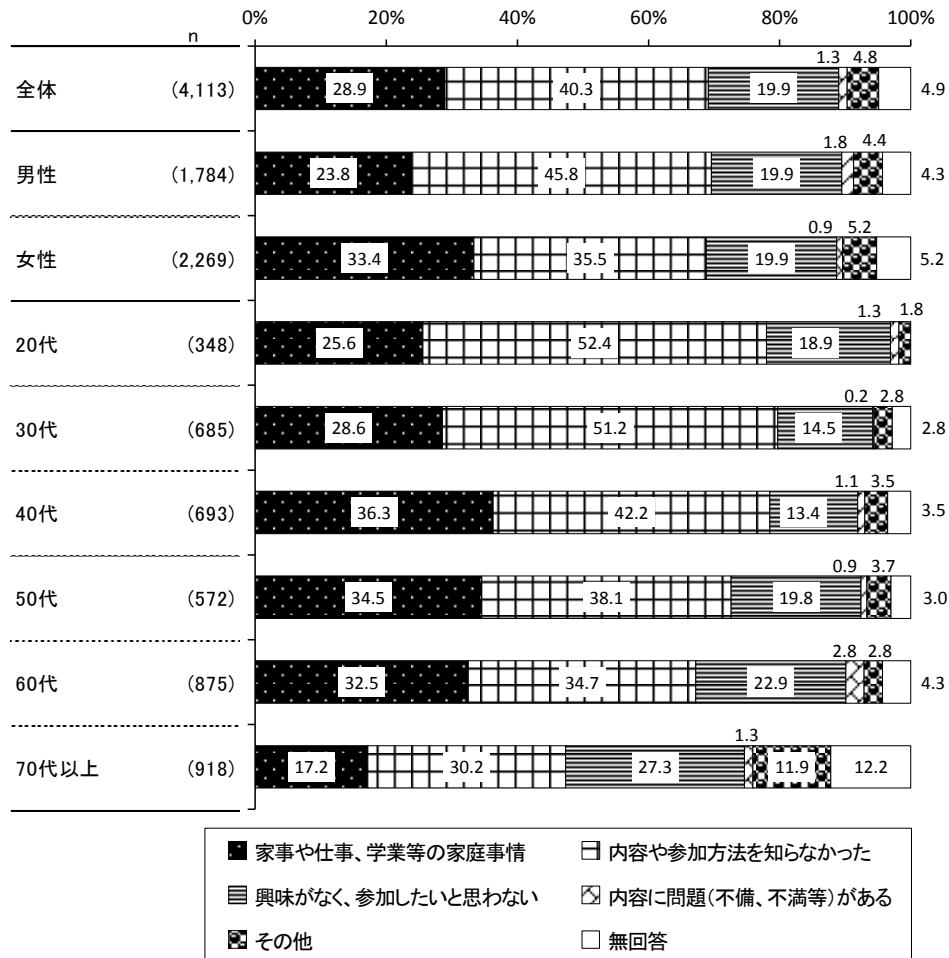
図 5- 11- 1



性別にみると、男性は「内容や参加方法を知らなかった」が 10.3 ポイント高く、女性は「家事や仕事、学業等の家庭事情」が 9.6 ポイント高くなっています。

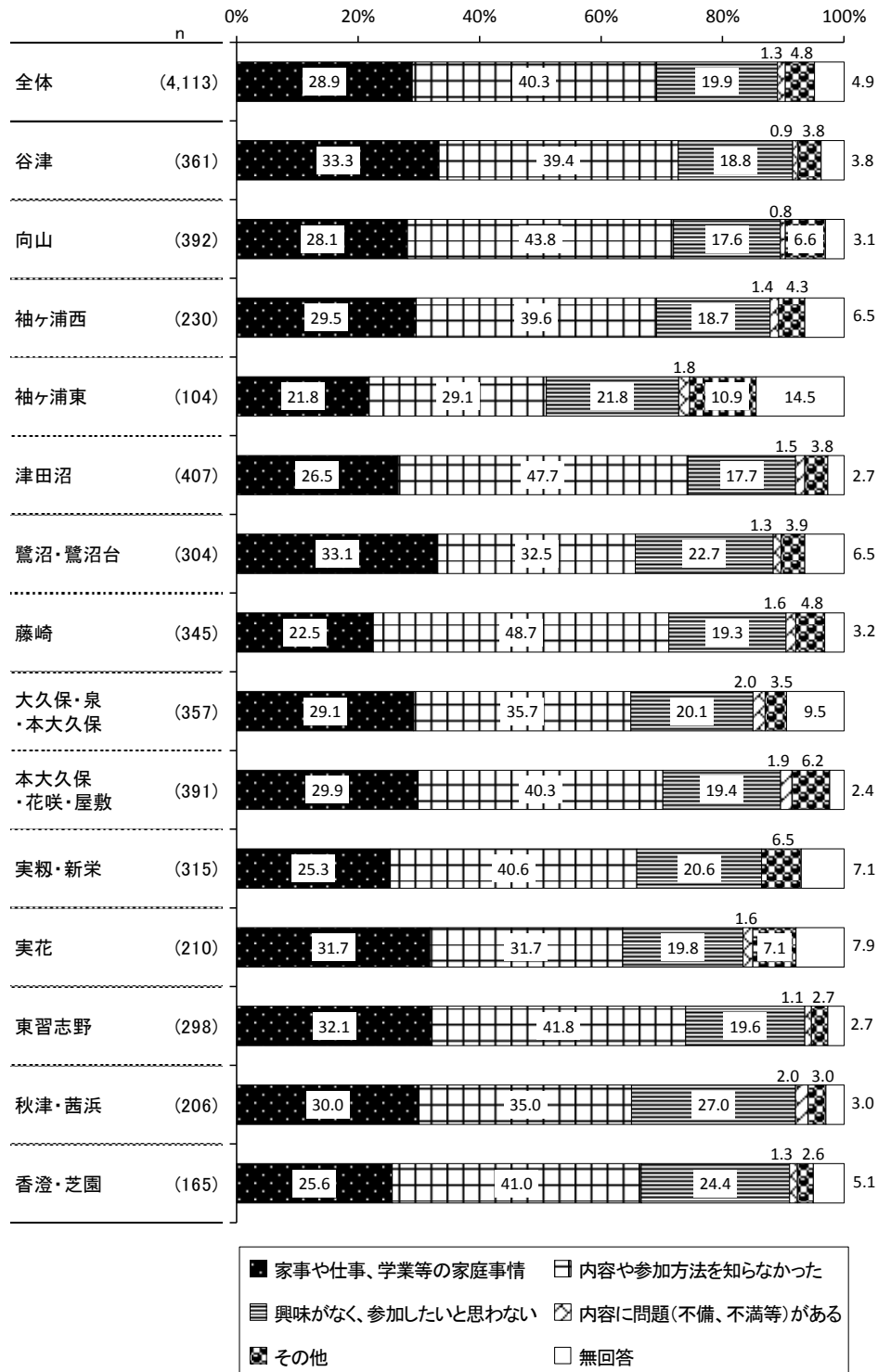
年齢別にみると、「内容や参加方法を知らなかった」は 20 代 30 代で 5 割を超えており、「家事や仕事、学業等の家庭事情」は 40 代 50 代で 3 割半ば前後となっています。「興味がなく、参加したいと思わない」は 70 歳以上で 2 割半ばを超えています。

図 5- 11- 2 参加しない理由：性別・年齢別



居住地区別にみると、「内容や参加方法を知らなかった」は藤崎と津田沼が5割弱となっており、「興味がなく、参加したいと思わない」は秋津・茜浜で2割半ばを超えています。

図 5- 11- 3 参加しない理由：居住地区別



第6節 行政情報について

6-1 情報の入手方法

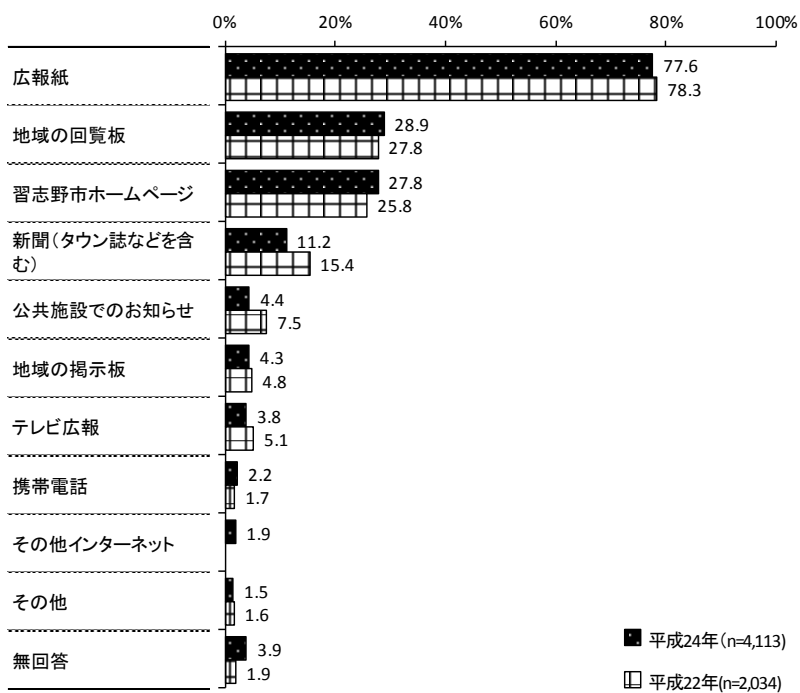
「広報紙」が8割弱。

問30 あなたは、市からの情報を得る手段として、どのような方法を利用していますか。(〇は2つまで)

情報の入手方法は「広報紙」が群を抜いて最も多く 77.6%となっています。次いで、「地域の回覧板」が 28.9%、「習志野市ホームページ」が 27.8%、「新聞（タウン誌などを含む）」が 11.2%となっています。

前回調査との推移をみると、「ホームページ」「インターネット」は 3.9 ポイント増加していますが、「新聞」は 4.2 ポイント、「公共施設でのお知らせ」は 3.1 ポイント減少しています。

図 6-1-1



※「習志野ホームページ」と「その他インターネット」は平成22年度は1つの選択肢だったが、24年度より2つの選択肢に分割

性別にみると、女性は「地域の回覧板」が6.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「習志野市ホームページ」は30代で5割を超え、20代と40代では4割を超えていますが、60代では1割強、70歳以上では1割にも満たないです。一方、「地域の回覧板」は20代と30代は1割半ばですが、60代以上では4割前後と多くなっています。

居住地区別にみると、「地域の回覧板」は実花で5割と多くなっています。

表 6- 1- 1 情報の入手方法：性別・年齢別、居住地区別

		全 体 (n)	広 報 紙	習 志 野 市 ホ ー ム ペ ー ジ	そ の 他 イ ン タ ー ネ ッ ト	地 域 の 回 覧 板	地 域 の 掲 示 板	公 共 施 設 で の お 知 ら せ	テ レ ビ 広 報	新 聞 (タ ウ ン 誌 な ど を 含 む)	携 帯 電 話	そ の 他	無 回 答
全 体		4,113	77.6	27.8	1.9	28.9	4.3	4.4	3.8	11.2	2.2	1.5	3.9
性別・年齢別	男	1,784	75.1	29.9	2.4	25.4	4.7	4.9	4.9	12.8	1.3	1.5	3.8
	女	2,269	79.6	26.6	1.4	31.7	4.0	3.8	3.0	9.8	2.9	1.5	3.7
	20代	348	56.3	41.4	4.0	16.7	5.7	4.3	5.7	10.1	4.6	4.3	2.0
	30代	685	68.9	50.7	2.5	14.2	2.9	4.5	3.2	8.9	4.2	2.9	1.6
	40代	693	77.5	42.3	2.2	21.2	2.6	2.6	4.5	9.8	3.5	1.3	2.3
	50代	572	85.0	26.9	2.1	29.5	3.5	2.6	5.2	11.2	1.6	0.9	1.0
	60代	875	85.0	13.8	1.4	38.1	5.7	5.3	2.4	13.4	0.9	0.8	4.1
	70歳以上	918	80.7	8.4	0.5	41.3	5.2	5.9	3.3	12.5	0.3	0.4	8.6
居住地区別	谷津	361	75.1	33.0	1.9	25.5	3.9	3.0	3.0	12.2	1.9	2.2	3.0
	向山	392	82.4	27.8	1.3	14.3	6.1	6.1	4.6	15.6	1.8	3.1	2.8
	袖ヶ浦西	230	79.1	20.0	1.7	14.3	9.6	9.1	6.1	16.5	2.6	1.3	3.9
	袖ヶ浦東	104	85.6	27.9	-	33.7	6.7	3.8	1.0	6.7	1.9	1.9	1.9
	津田沼	407	73.7	32.9	2.9	16.2	3.7	4.4	5.7	11.5	2.7	1.7	3.9
	鷺沼・鷺沼台	304	76.3	31.3	2.0	31.9	2.6	3.6	4.3	9.9	2.6	1.3	3.9
	藤崎	345	79.1	32.2	1.2	31.3	2.6	3.5	3.5	10.4	2.6	0.9	3.2
	大久保・泉・本大久保	357	79.6	28.6	1.7	28.6	3.1	5.9	3.4	12.9	2.5	0.8	2.5
	本大久保・花咲・屋敷	391	78.3	24.8	2.6	36.3	3.1	2.3	1.8	11.3	2.6	1.0	4.3
	実籾・新栄	315	74.3	23.8	1.6	36.8	2.9	3.5	6.3	11.4	2.5	1.3	4.8
	実花	210	73.8	20.0	1.4	51.9	0.5	4.3	4.8	5.2	1.0	2.9	5.2
	東習志野	298	73.5	26.8	3.4	32.6	7.0	4.0	3.0	6.7	1.0	1.0	5.4
	秋津・茜浜	206	85.0	23.3	1.0	32.5	7.3	5.8	1.0	10.2	1.0	-	5.3
	香澄・芝園	165	78.2	29.7	0.6	36.4	4.8	2.4	1.8	11.5	2.4	0.6	2.4

6-2 知りたい情報

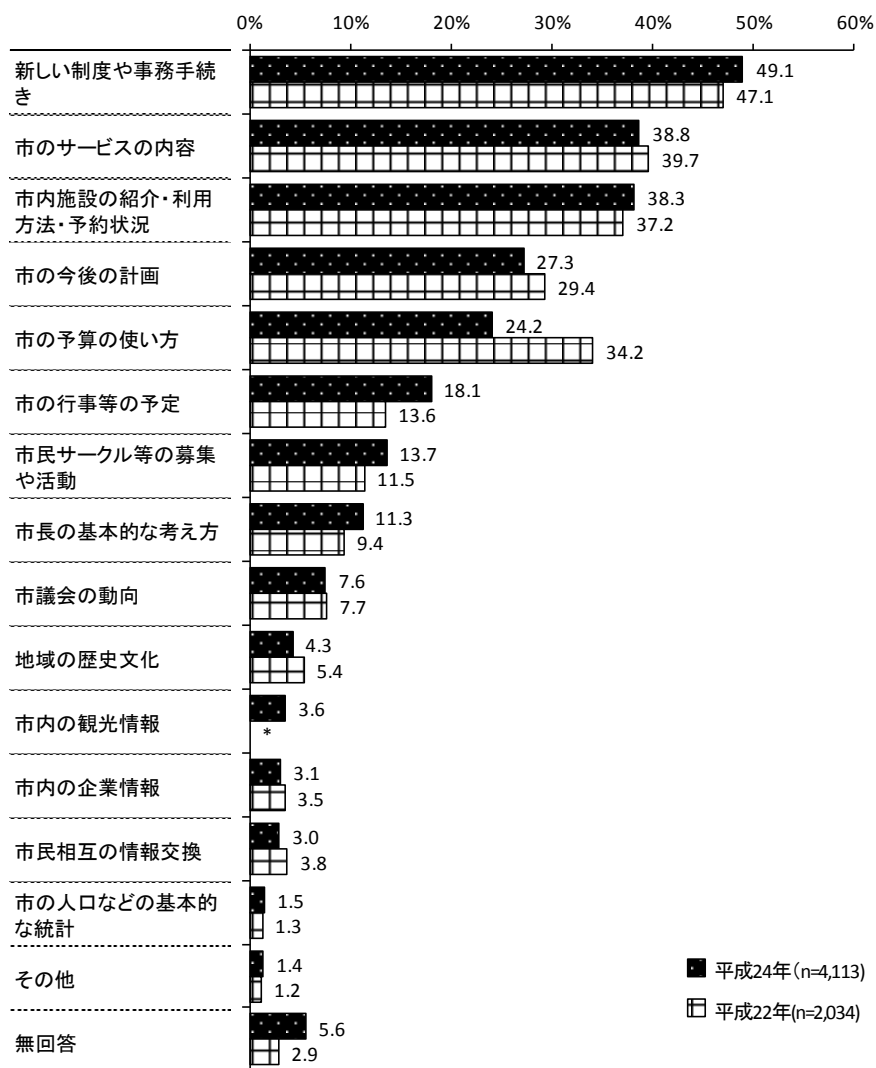
「新しい制度や事務手続き」が4割後半。

問31 あなたが、市民として知りたい情報は何ですか。(〇は3つまで)

知りたい情報は「新しい制度や事務手続き」が最も多く 49.1%となっています。次いで、「市のサービスの内容」が 38.8%、「市内施設の紹介・利用方法・予約状況」が 38.3%となっています。

前回調査との推移をみると、「市の行事等の予定」は 4.5 ポイント増加しています。一方、「市の予算の使い方」は 10.0 ポイント減少しています。

図 6-2-1



※「市内の観光情報」は平成24年度より追加

性別にみると、男性は「市の今後の計画」が13.2ポイント、「市の予算の使い方」が7.1ポイント高く、女性は「市内施設の紹介・利用方法・予約状況」が6.8ポイント、「新しい制度や事務手続き」が6.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「新しい制度や事務手続き」は30代で6割弱、「市長の基本的な考え方」は70歳以上で2割、「市のサービスの内容」は20代で4割半ばとなっています。

居住地区別にみると、「市の予算の使い方」は袖ヶ浦東で3割半ばと多くなっています。

表 6- 2- 1 知りたい情報：性別・年齢別、居住地区別

	全 体 (n)	新しい 制度や 事務手 続き	市内施設 の紹介・ 利用方 法・予 約状況	市長の 基本的な 考え方	市議 会の動 向	市の 予算の 使い方	市の サービ スの内 容	市の 今後の 計画	市の 人口な どの基 本的な 統計	市の 行事等 の予定	地域 の歴史 文化	市内 の企業 情報	市民 相互の 情報交 換	市民サ ークル 等の募 集や活 動	市内 の観光 情報	その他	無回 答	
全 体	4,113	49.1	38.3	11.3	7.6	24.2	38.8	27.3	1.5	18.1	4.3	3.1	3.0	13.7	3.6	1.4	5.6	
性別・年齢別	男	1,784	45.9	34.4	13.5	10.4	28.4	36.8	34.9	2.6	17.5	4.8	3.9	3.0	10.9	3.3	1.1	4.7
	女	2,269	52.1	41.2	9.7	5.5	21.3	40.5	21.7	0.7	18.7	3.9	2.5	2.9	15.9	4.0	1.5	5.9
	20代	348	56.3	39.7	4.9	3.7	24.1	45.4	19.8	1.4	20.7	2.6	5.7	1.4	17.2	4.9	1.1	2.3
	30代	685	59.1	42.9	6.6	4.5	24.8	42.0	22.6	1.8	24.1	3.2	3.2	1.8	14.7	3.4	1.9	1.9
	40代	693	53.8	41.4	8.2	5.8	23.1	41.4	28.9	1.4	18.5	3.5	3.6	4.0	12.0	2.0	1.2	3.3
	50代	572	52.6	38.5	8.9	8.4	24.8	43.0	28.0	0.9	15.4	3.7	2.1	3.7	15.0	3.7	1.9	2.3
	60代	875	44.1	36.0	12.8	11.5	27.8	38.2	31.2	1.9	16.0	6.1	2.3	4.3	15.0	3.7	1.0	5.8
	70歳以上	918	38.2	33.9	19.9	8.7	21.2	30.0	29.0	1.3	16.4	5.2	2.9	2.0	10.7	4.7	1.0	12.6
居住地区別	谷津	361	48.8	37.4	9.7	7.5	22.7	41.8	26.9	1.1	21.1	3.9	2.2	1.9	14.1	3.6	1.1	5.5
	向山	392	50.8	40.8	8.2	8.4	25.8	37.0	28.6	1.0	18.9	4.1	3.3	3.3	16.6	3.6	0.5	3.6
	袖ヶ浦西	230	45.2	34.8	13.5	8.3	25.7	39.6	28.3	1.7	17.0	4.3	4.8	2.6	13.9	1.3	1.3	7.0
	袖ヶ浦東	104	53.8	28.8	18.3	10.6	34.6	35.6	27.9	-	14.4	3.8	2.9	2.9	11.5	1.9	1.9	1.9
	津田沼	407	51.6	38.6	11.1	6.6	24.3	41.3	27.0	1.0	20.6	3.4	2.5	1.7	14.0	2.7	0.5	6.1
	鷺沼・鷺沼台	304	49.3	39.5	13.2	7.2	27.6	35.2	27.6	2.0	19.7	5.3	1.6	4.3	11.8	3.6	2.0	4.6
	藤崎	345	45.8	40.9	11.3	9.3	22.6	43.5	28.4	1.7	17.7	3.2	3.8	3.8	14.8	2.6	0.9	3.8
	大久保・泉・ 本大久保	357	49.0	38.7	12.6	8.4	23.8	36.4	25.5	1.1	20.2	5.6	4.5	1.7	15.4	7.0	1.7	4.8
	本大久保・花 咲・屋敷	391	48.6	36.3	11.5	7.9	25.3	37.3	28.9	2.3	16.9	3.3	2.6	4.9	10.5	3.1	1.8	6.6
	実籾・新栄	315	53.3	35.6	13.7	6.0	19.0	36.8	23.5	1.3	20.0	4.4	3.8	2.5	16.8	3.8	0.3	7.3
	実花	210	48.1	44.8	8.1	6.2	18.6	44.3	27.6	1.9	15.2	5.2	2.4	2.9	14.8	5.7	1.0	6.2
	東習志野	298	49.7	40.3	10.4	6.0	23.8	38.6	26.8	1.7	16.8	5.4	3.0	3.0	12.4	4.7	1.3	6.4
	秋津・茜浜	206	48.5	38.8	11.2	9.2	28.2	35.4	26.7	1.5	15.0	3.4	2.9	4.4	10.7	3.4	2.4	6.8
	香澄・芝園	165	46.1	33.3	12.1	7.3	26.1	40.0	33.9	2.4	12.1	6.7	1.8	1.8	10.9	3.0	3.0	3.6

第7節 都市のイメージ（将来像）について

7-1 希望する習志野市の都市イメージ

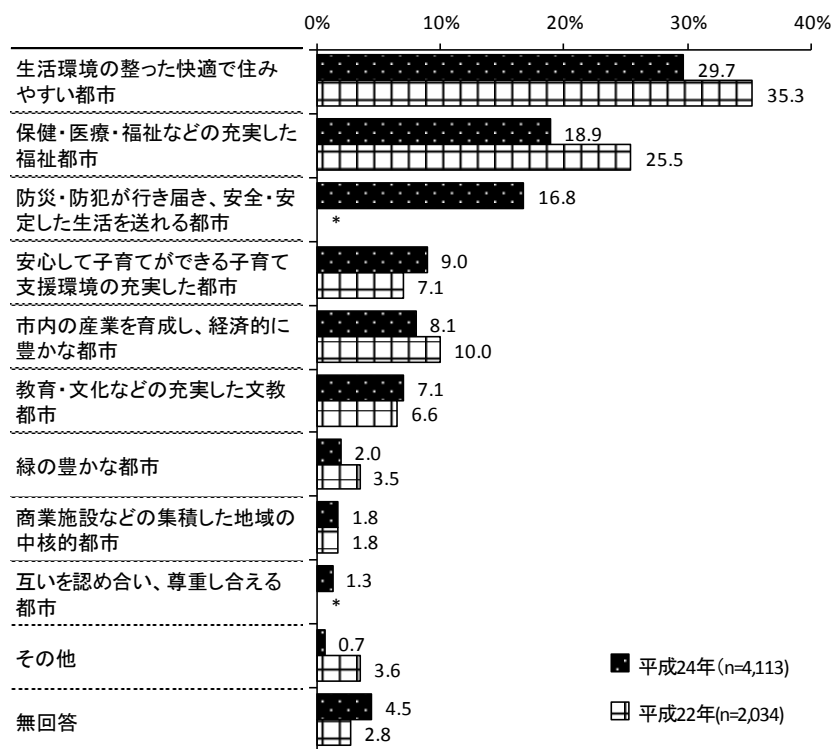
「生活環境の整った快適で住みやすい都市」が3割。

問32 あなたは、習志野市がどのようなまちになってほしいと思いますか。（1つだけに○）

市の将来像の意向は「生活環境の整った快適で住みやすい都市」が29.7%で最も多く、次いで「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」が18.9%の順となっています。

前回調査との推移をみると、「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」は6.6ポイント、「生活環境の整った快適で住みやすい都市」は5.6ポイント減少しています。

図 7-1-1



※「互いを認め合い、尊重し合える都市」は平成24年度より追加

※「防災・防犯が行き届き、安全・安定した生活を送れる都市」は平成24年度より追加

性別にみると、男性は「生活環境の整った快適で住みやすい都市」が4.5ポイント高く、女性は「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」が6.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「生活環境の整った快適で住みやすい都市」は50代で3割半ばを超え、「安心して子育てができる子育て支援環境の充実した都市」は20代30代で2割を超えています。

居住地区別にみると、「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」は実花で3割となっており、「生活環境の整った快適で住みやすい都市」は袖ヶ浦東で3割半ばを超えています。

表 7-1-1 習志野市のイメージ：性別・年齢別、居住地区別

		全 体 (n)	豊かな都市 市内の産業を育成し、経済的に 中核的都市	商業施設などの集積した地域の 生活環境の整った快適で住みや すい都市	教育・文化などの充実した文教 都市	保健・医療・福祉などの充実し た福祉都市	緑の豊かな都市	互いを認め合い、尊重し合える 都市	安心して子育てができる子育て 支援環境の充実した都市	防災・防犯が行き届き、安全・ 安定した生活を送れる都市	その他	無回 答	
全 体		4,113	8.1	1.8	29.7	7.1	18.9	2.0	1.3	9.0	16.8	0.7	4.5
性別・ 年齢別	男	1,784	9.5	2.6	32.3	7.3	15.5	2.1	1.7	8.4	16.1	0.7	3.9
	女	2,269	7.0	1.1	27.8	7.1	21.7	1.9	1.1	9.7	17.3	0.7	4.6
	20代	348	4.0	2.6	30.7	9.2	10.6	2.6	2.0	20.1	14.1	0.9	3.2
	30代	685	5.3	2.3	26.4	8.6	13.3	2.5	1.2	21.9	15.8	1.2	1.6
	40代	693	8.9	2.3	33.8	10.2	13.3	2.0	1.2	10.7	14.6	0.1	2.9
	50代	572	8.9	1.4	37.1	5.6	19.6	3.0	1.2	4.2	15.7	1.4	1.9
	60代	875	9.0	1.5	29.9	5.6	24.6	1.4	1.0	3.5	18.4	0.5	4.6
	70歳以上	918	9.9	1.2	24.4	5.3	24.5	1.4	1.6	2.4	19.4	0.3	9.5
居住地区別	谷津	361	5.5	3.3	33.2	9.1	14.7	2.5	0.6	11.4	16.1	-	3.6
	向山	392	6.4	2.0	29.6	6.9	19.9	2.3	0.5	9.9	18.6	1.3	2.6
	袖ヶ浦西	230	10.0	0.9	28.3	2.6	23.0	1.3	2.6	6.5	17.8	-	7.0
	袖ヶ浦東	104	7.7	1.0	36.5	9.6	17.3	-	2.9	8.7	12.5	1.9	1.9
	津田沼	407	9.1	2.0	31.4	6.6	12.8	2.5	1.2	11.3	18.7	0.5	3.9
	鷺沼・鷺沼台	304	9.9	2.0	24.0	5.6	18.4	2.3	0.7	12.5	18.4	0.7	5.6
	藤崎	345	5.2	0.6	33.3	9.3	17.1	2.6	1.7	6.7	18.8	0.9	3.8
	大久保・泉・本大久保	357	6.7	1.4	30.3	9.5	23.0	0.8	2.0	9.2	13.7	0.6	2.8
	本大久保・花咲・屋敷	391	6.6	2.6	29.7	6.9	19.9	2.8	1.5	7.9	16.4	0.5	5.1
	実籾・新栄	315	12.1	1.9	29.2	6.0	18.1	1.9	1.6	8.3	14.6	1.0	5.4
	実花	210	9.5	1.4	21.9	5.2	30.5	1.9	2.4	5.7	14.8	-	6.7
	東習志野	298	7.7	1.3	26.5	7.4	20.8	2.3	0.3	10.1	16.8	1.3	5.4
	秋津・茜浜	206	9.2	1.0	34.0	7.8	17.0	0.5	1.9	6.8	16.5	0.5	4.9
	香澄・芝園	165	13.3	2.4	30.9	7.3	14.5	2.4	-	8.5	17.6	0.6	2.4

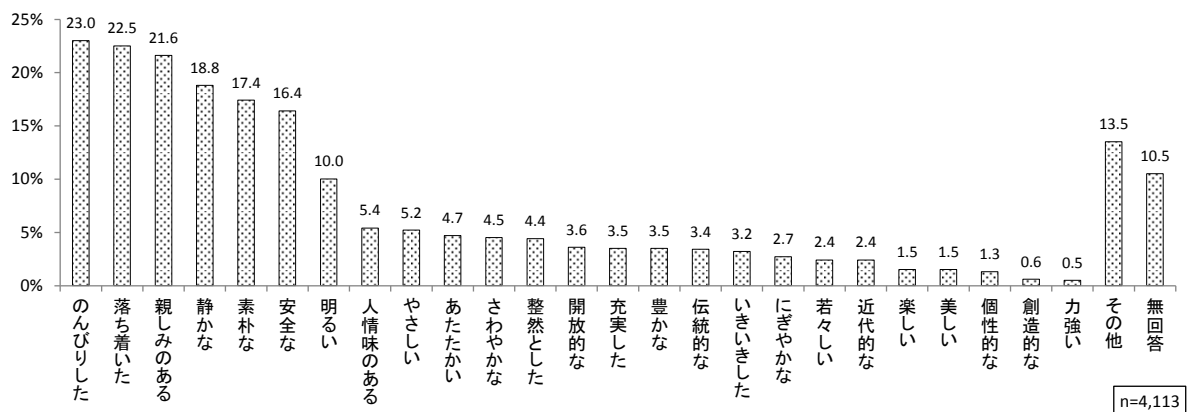
7-2 現在の習志野市のイメージに合う言葉

「のんびりした」習志野市が2割強。

問33 「現在」の習志野市のイメージに合う言葉を選んでください。(〇は3つまで)

現在の市のイメージに合う言葉については「のんびりした」が23.0%で最も多く、次いで「落ち着いた」が22.5%、「親しみのある」が21.6%となっています。

図 7-2-1



性別にみると、男性と女性との差はあまり見られません。

年齢別にみると、「のんびりした」と「落ち着いた」はどちらも20代が3割となっています。

居住地区別にみると、「静かな」は香澄・芝園で2割半ばを超えており、「落ち着いた」は袖ヶ浦東で3割を超えています。

表 7- 2- 1 現在の習志野市のイメージに合う言葉：性別・年齢別、居住地区別（上位10項目）

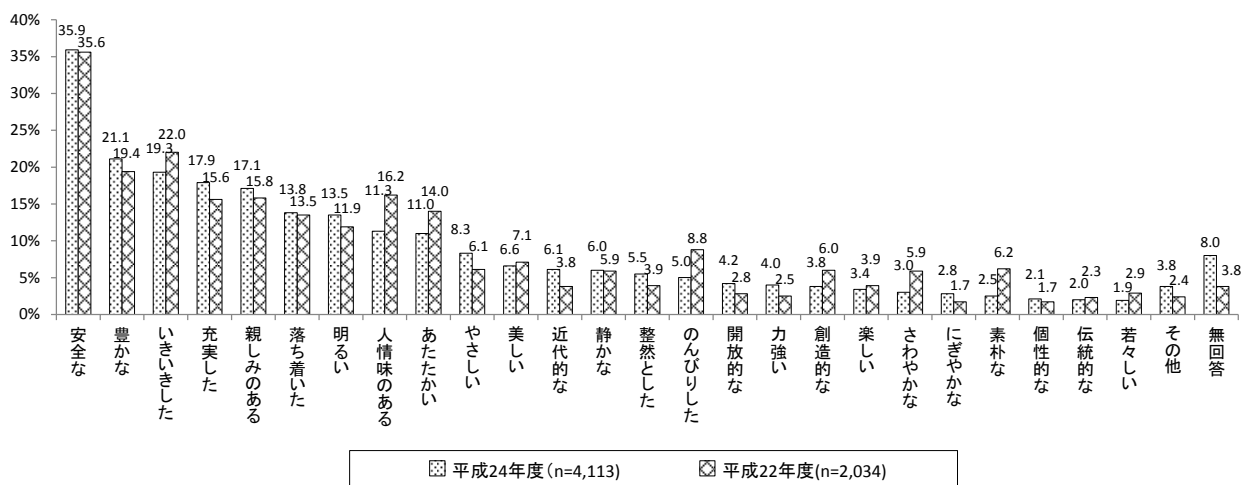
		全 体 (n)	の ん び り し た	落 ち 着 い た	親 し み の あ る	静 か な	素 朴 な	安 全 な	明 る い	人 情 味 の あ る	や さ し い	あ た た か い
全 体		4,113	23.0	22.5	21.6	18.8	17.4	16.4	10.0	5.4	5.2	4.7
性別・年齢別	男	1,784	22.1	24.1	21.0	20.7	17.3	17.0	11.0	4.8	5.5	4.2
	女	2,269	23.8	21.3	22.1	17.3	17.8	15.8	9.1	5.9	4.8	5.1
	20代	348	30.5	29.3	23.3	19.0	24.4	9.8	4.3	2.0	2.6	4.3
	30代	685	29.6	24.4	20.1	16.6	22.2	9.8	7.3	6.0	3.2	5.4
	40代	693	27.7	21.9	23.5	18.5	20.5	12.1	9.8	4.9	3.9	3.9
	50代	572	24.5	23.1	18.4	20.6	16.1	17.3	9.8	4.7	6.6	3.3
	60代	875	22.3	22.9	20.8	23.0	14.5	21.3	10.9	4.0	4.9	4.3
	70歳以上	918	11.4	18.2	23.5	15.5	12.4	21.8	13.7	8.3	7.7	6.2
居住地区別	谷津	361	21.9	26.6	19.4	16.9	16.3	16.1	8.9	6.4	5.3	2.8
	向山	392	20.7	25.3	24.0	18.9	16.1	18.6	10.5	5.6	7.4	5.9
	袖ヶ浦西	230	23.0	20.0	20.0	16.1	13.5	20.4	8.7	4.8	8.7	4.8
	袖ヶ浦東	104	14.4	30.8	15.4	26.9	14.4	16.3	10.6	6.7	4.8	1.9
	津田沼	407	21.9	20.6	20.9	16.7	16.0	17.7	10.3	3.2	2.7	3.4
	鷺沼・鷺沼台	304	26.6	24.0	19.7	21.4	21.7	12.2	8.6	5.6	3.9	3.3
	藤崎	345	23.5	20.6	24.6	15.7	20.9	15.7	9.0	4.6	5.2	4.1
	大久保・泉・本大久保	357	21.3	20.7	25.5	14.8	17.1	18.2	11.5	6.7	3.9	5.9
	本大久保・花咲・屋敷	391	22.3	24.8	22.8	22.3	18.2	13.6	7.9	4.3	5.9	6.6
	実籾・新栄	315	24.8	18.4	22.5	18.4	17.1	17.1	11.1	6.3	5.1	7.3
	実花	210	20.0	23.3	22.9	17.6	20.5	16.2	11.0	5.7	3.8	2.9
	東習志野	298	25.5	15.4	22.1	17.8	22.1	16.4	11.1	6.4	4.7	5.0
	秋津・茜浜	206	26.2	27.2	18.9	23.8	14.1	17.0	11.2	2.4	5.8	4.9
	香澄・芝園	165	29.1	24.2	14.5	27.3	10.3	13.9	12.1	7.9	4.8	4.8

7-3 10年後の習志野市のイメージにふさわしい言葉 「安全な」が3割半ば。

問34 「10年後」の習志野市のイメージとして次のどの言葉がふさわしいと思いますか。(〇は3つまで)

10年後の市のイメージにふさわしい言葉については「安全な」が35.9%で最も多く、次いで「豊かな」が21.1%、「いきいきした」が19.3%となっています。

図 7-3-1



性別にみると、女性は「豊かな」が6.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「安全な」は50代で4割を超えています。

居住地区別にみると、「安全な」は谷津と秋津・茜浜で4割を超えています。

表 7-3-1 10年後の習志野市のイメージに合う言葉：性別・年齢別、居住地区別（上位10項目）

		全 体 (n)	安全な	豊かな	いきいきした	充実した	親しみのある	落ち着いた	明るい	人情味のある	あたたかい	やさしい
全体		4,113	35.9	21.1	19.3	17.9	17.1	13.8	13.5	11.3	11.0	8.3
性別・年齢別	男	1,784	34.4	17.7	16.8	15.5	18.0	14.5	15.0	10.8	9.0	8.7
	女	2,269	37.2	23.8	21.3	20.1	16.5	13.2	12.3	11.8	12.8	8.1
	20代	348	31.0	19.3	19.5	19.5	18.4	16.4	11.8	6.3	12.4	8.6
	30代	685	32.7	22.2	18.8	21.8	14.6	13.3	10.8	9.1	10.8	8.9
	40代	693	37.2	23.5	19.6	20.6	14.6	14.4	11.0	7.4	10.0	8.9
	50代	572	41.3	23.4	19.1	15.2	17.5	16.4	12.8	10.3	11.2	10.5
	60代	875	37.5	20.3	22.6	19.5	16.2	14.7	15.5	13.6	11.4	7.4
	70歳以上	918	34.5	18.5	16.2	12.6	21.1	10.5	16.8	16.6	10.9	6.8
居住地区別	谷津	361	41.3	22.2	17.5	15.8	17.2	16.3	12.7	8.9	10.0	8.0
	向山	392	39.3	19.6	17.9	15.8	16.3	12.5	16.3	11.0	11.5	12.0
	袖ヶ浦西	230	35.2	18.3	18.7	17.0	24.3	15.2	12.2	11.3	10.4	8.7
	袖ヶ浦東	104	39.4	18.3	21.2	16.3	21.2	15.4	10.6	8.7	8.7	12.5
	津田沼	407	34.4	21.6	22.4	23.3	12.8	14.3	13.8	10.8	8.8	7.9
	鷺沼・鷺沼台	304	32.2	19.1	18.1	18.1	16.1	15.1	13.5	8.6	8.2	5.9
	藤崎	345	36.8	24.3	20.6	16.5	18.6	13.3	13.6	11.0	13.0	6.4
	大久保・泉・本大久保	357	38.1	19.9	20.7	18.5	19.0	14.0	14.6	11.8	15.1	9.0
	本大久保・花咲・屋敷	391	34.0	22.0	17.1	17.6	15.6	14.8	10.7	12.3	13.0	8.2
	実籾・新栄	315	28.6	18.1	19.7	18.4	15.9	11.7	14.6	12.7	12.4	9.8
	実花	210	32.4	22.9	21.0	19.5	21.4	12.9	11.0	17.1	10.0	10.0
	東習志野	298	36.9	22.5	17.1	18.1	17.8	11.7	12.4	13.4	8.4	8.4
	秋津・茜浜	206	40.8	21.8	20.9	15.5	18.4	13.6	19.4	10.7	8.7	4.9
香澄・芝園	165	35.2	25.5	19.4	18.2	10.9	13.3	13.3	11.5	13.3	4.2	

第4章 調査結果のまとめ



1. 住みよさと定住意向について

(1) 居住年数

- ・習志野市での居住年数は、20年以上（生まれてからずっとを含む）の『長期居住者』が55.9%となっています。前回調査（平成22年度）より1.2ポイント増加し、増加傾向にあります。5年未満の『短期居住者』は15.2%、5年以上20年未満の『中期居住者』は28.5%となっています。『長期居住者』が多いのは、袖ヶ浦西、袖ヶ浦東、本大久保・花咲・屋敷、実花・新栄、秋津・茜浜地区で6割以上となっています。
- ・習志野市に居住する理由は、「居住環境が良い」が最も多く24.6%、次いで「通勤・通学が便利」が23.6%、「家族の都合」が18.8%となっています。
- ・習志野市に住む前の居住地は「千葉県以外の関東」が最も多く29.7%となっています。また、4割は『千葉県内』（39.8%）からの転入となっています。20代から50代では「近隣市（千葉市・船橋市・八千代市・市川市・浦安市）」からの転入が、60代以上では「千葉県以外の関東」からの転入が多くなっています。

(2) 住みよさ

- ・習志野市が『住みよい』と感じている人は82.5%で、前回調査より3.3ポイント増加しています。特に、秋津・茜浜、向山、谷津、津田沼、袖ヶ浦西地区の満足度が高く8割半ばを超えています。
- ・住みやすいと感じる理由として、「交通が便利である」が68.5%、「生活基盤整備が進んでいる（買い物便利等）」が41.5%、「自然環境に恵まれている」が20.8%の順となっています。「交通が便利である」は津田沼地区が9割を占めています。香澄・芝園地区は「自然環境に恵まれている」と「街並みが整備されている」の割合が、実花は「災害が少ない」の割合が多くなっています。
- ・住みにくいと感じる理由として、「交通が不便である」が38.9%、「生活基盤が遅れている（買い物不便等）」が32.6%、「街に活気が乏しい」が23.4%となっています。「災害の不安がある」は袖ヶ浦東、香澄・芝園で8割前後、袖ヶ浦西で6割と多く、「交通が不便である」は実花と東習志野で7割弱を占め、「生活基盤整備が遅れている」は藤崎と本大久保・花咲・屋敷で多くなっています。

(3) 定住意向

- ・習志野市に今後も「住み続けたい」と思っている人は60.7%で、前回調査より5.9ポイント増加しています。一方、『転出したい』と思っている人は18.7%で、前回調査より1.6ポイント増加しています。特に、低年齢層では転出したい傾向が多くみられます。
- ・定住したい理由として、「土地、家屋所有のため」が30.3%で最も多くなっています。「愛着がある」は香澄・芝園、袖ヶ浦東、向山地区で、「自然環境がよい」は香澄・芝園地区で多くなっています。
- ・転出したい理由として、「家族の都合」が24.8%、「住宅の都合」が18.8%、「仕事の都合」が17.7%の順となっています。「東日本大震災の影響」は袖ヶ浦東で4割、「家族の都合」は実花、袖ヶ浦東、袖ヶ浦西、大久保・泉・本大久保で3割、「仕事の都合」は津田沼で3割を占めています。

2. 市政全般について

(1) 特に重要な施策

- ・習志野市として特に重要と思う施策については、「高齢者施策」が66.2%、「安全・安心で平和なまちづくりの施策」が59.6%、「都市整備（交通関係の施策を含む）」が45.0%の順となっています。
- ・「高齢者施策」は袖ヶ浦西、香澄・芝園で7割を超えています。「環境の施策」は谷津で4割半ば、「安全・安心で平和なまちづくりの施策」は向山で6割半ばとなっています。
- ・「子育て支援施策」は20代から30代で、「高齢者施策」は50代以上で割合が多くなっています。

(2) 優先順位の低い施策

- ・優先順位が低くてもやむを得ない施策については、「観光振興の施策」が64.2%、「生涯学習・生涯スポーツの施策」が24.7%、「産業振興の施策」が18.4%の順となっています。
- ・「観光振興の施策」は藤崎で7割、「生涯学習・生涯スポーツの施策」は向山で3割となっています。
- ・「生涯学習・生涯スポーツの施策」と「市民協働の施策」は50代で割合が多くなっています。

(3) 具体的に取り組むべき施策

【高齢者施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「高齢者医療など経済的支援の充実」が27.5%、「ひとり暮らし高齢者等に対する相談体制の充実」が24.3%、「福祉・介護施設等の整備」が22.8%となっています。施設面や医療負担に対する経済面への要望の他に、ひとり暮らし高齢者の増加に伴う相談体制の要望が高くなっています。
- ・「高齢者医療など経済的支援の充実」は60代以上で3割強、「働く場の確保」は30代40代で3割強と多くなっています。

【障がい者（児）施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「雇用対策・就労機会の充実」が37.5%、「生活機能向上のための支援」が21.3%、「施設福祉サービスの充実」が17.6%となっています。就労の機会や社会参加の支援への要望が高くなっています。
- ・「雇用対策・就労機会の充実」は働き世代である30代から50代で4割半ばを占めています。

【子育て支援施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「子育てと就労の両立支援」が35.8%、「時間外保育や短期の一時預かりなど、保育メニューの充実」が27.3%、「乳幼児の保育教育施設の整備」が25.7%となっています。依然として子育てと仕事を両立させるための対策に要望が高く、加えて医療費などの経済的支援への要望が多くなっています。
- ・「子育てと就労の両立支援」は20代から60代まで3割半ばから4割弱となっています。「子ども

の医療費など経済的支援の充実」は40代で3割半ばとなっています。

【健康づくりの施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「救急診療、休日・夜間診療等の充実」が47.1%、「医療施設の充実」が32.2%、「がん検診等健康診査の充実」が22.9%となっています。休日や夜間診療の実施に対する要望や、健康管理を支援する施策への要望が高くなっています。
- ・「救急診療、休日・夜間診療等の充実」は20代から50代で5割以上、「小児救急医療体制の整備」は30代で3割強、「がん検診等健康診査の充実」は20代で3割強となっています。

【学校教育の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「教職員の資質の向上」が39.1%、「いじめ、不登校を生まない教育の推進」が35.7%、「確かな学力を培う教育の推進」が26.8%となっています。教職員の資質改善やいじめ、不登校に対する対応に関する要望が高くなっています。
- ・「教職員の資質の向上」が40代から60代で4割半ば前後と多くなっています。

【生涯学習・生涯スポーツの施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「公民館、図書館等、生涯学習施設の整備」が32.5%、「スポーツ施設の整備・充実」が26.5%、「図書館の充実」が19.7%となっています。各種施設の整備・充実に関する要望が高くなっています。
- ・「スポーツ施設の整備・充実」は若い世代で割合が多く3割を超えています。一方、「各種公民館講座の充実」は年齢が高くなるにつれて割合が多くなっています。

【市民協働の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業・学校と市の連携、交流」が32.4%、「まちづくりへの市民参画(まちづくり会議等)の促進」が23.8%、「町会、自治会活動の支援」が23.2%となっています。市との連携や交流、活動への支援に関する要望が高くなっています。
- ・「市民協働にかかわる市民、市民活動団体、企業、学校と市の連携・交流」は20代から40代で4割弱、「町会、自治会活動の支援」は70歳以上で3割半ばとなっています。

【環境の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「ごみの減量化・リサイクルの推進」が27.4%、「公園や緑地の整備」が25.0%、「路上喫煙・ポイ捨て等の防止の強化」が24.9%となっています。ゴミ問題に関することや緑地環境の整備に付随する環境保護への要望が高くなっている。

【都市整備の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「身近な生活道路の整備」が27.9%、「安全で安定した水道水・ガスの供給」が22.9%、「バス路線の利便性の拡大・充実」が19.5%となっています。生活に密着した道路の整備やバス路線の充実に加えて、東日本大震災の影響により、安全・安定

したライフラインの供給に要望が高くなっています。

- ・「バス路線の利便性の拡大・充実」は東習志野で4割、実花で3割半ば、「身近な生活道路の整備」は谷津で4割、「踏切道の改善・解消」は津田沼で3割弱と多くなっています。

【安全で安心なまちづくりの施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「防災・減災対策の推進」が40.0%、「防犯に配慮した都市環境整備」が23.5%、「消防・救急体制の整備・充実」が22.3%となっています。震災の影響で、防災・減災対策が整備されたまちづくりへの要望が高くなっています。
- ・「防災・減災対策の推進」は20代で4割半ばを超えています。「犯罪情報の提供」は20代で2割弱ですが年齢が高くなるにつれて減少傾向となっています。

【産業振興の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「雇用・就業の支援（雇用の場の創出・確保）」が33.4%、「買い物しやすい環境整備（買い物弱者対策等）」が32.5%、「商業・商店街の活性化」が32.4%となっています。働ける場の提供や、買い物しやすいなどといったまちの活性化への要望が高くなっています。
- ・「雇用・就業の支援」は20代で4割半ばを超え、「買い物しやすい環境整備」は70歳以上で4割を超えています。
- ・「買い物しやすい環境整備」は香澄・芝園で4割、「商業・商店街の活性化」は袖ヶ浦西で4割弱、「雇用・就業の支援」は実花で4割弱となっています。

【観光振興の施策】

- ・取り組むべき施策として多かったのは、「ふるさと産品育成の支援」が33.1%、「観光資源の発掘・創出」が30.3%、「メディアを積極的に活用したPR」が23.3%となっています。産業振興や雇用の拡大などにも関係する施策の要望が多くなっています。
- ・「ふるさと産品育成の支援」は70歳以上で4割弱、「メディアを積極的に活用したPR」は20代で3割強となっています。
- ・「メディアを積極的に活用したPR」は向山で3割となっています。

（3）施策の満足度

- ・習志野市が取り組んでいる施策について満足度が高かった施策は、「健康づくりの施策」(38.4%)、「安全・安心で平和なまちづくりの施策」(35.0%)、「環境の施策」(34.8%)となっています。
- ・不満足度が高かった施策は、「環境の施策」(25.9%)、「安全・安心で平和なまちづくりの施策」(25.4%)、「子育て支援施策」(23.8%)となっています。ごみ減量化や公園等の整備を含めた環境問題や、防犯・防災に関する施策、子育て支援の充実に対する検討が必要と思われます。

3. 公共施設について

(1) 公共施設の施設数・規模についての考え方

- ・公共施設の数や規模については「施設の統廃合等により、適切な施設数・規模に縮小していくべき」が67.5%で最も多く、次いで「現状の施設数・規模を維持すべき」が19.6%となっています。公共施設の施設数や規模を縮小すべきであると考える人は7割近くを占めています。
- ・「施設の統廃合等により、適切な施設数・規模に縮小していくべき」は20代から50代で割合が多くなっています。
- ・「施設の統廃合等により、適切な施設数・規模に縮小していくべき」は鷺沼・鷺沼台で7割強と多くなっています。

(2) 公共施設再生にあたっての民間事業者の活用について

- ・公共施設再生の民間業者活用については「活用すべきだが、適切に判断してほしい」が53.6%で、「積極的に活用すべき」が31.5%となっています。
- ・男性は「積極的に活用すべき」が女性より13.2ポイント高く、4割弱が民間事業者の積極的活用を要望しています。
- ・「積極的に活用すべき」は40代で4割弱となっている一方、「活用すべきだが、適切に判断してほしい」は20代で6割強となっています。
- ・「積極的に活用すべき」は袖ヶ浦東で4割、「活用すべきだが、適切に判断してほしい」は本大久保・花咲・屋敷で6割となっています。

(3) 公共施設までの適正距離

- ・公共施設までの距離で望ましいのは「1キロメートル（歩いて12分）」が47.0%、「500メートル（歩いて6分）」が17.7%、「2キロメートル（歩いて24分）」が13.5%となっています。
- ・「1キロメートル」は津田沼で5割強と多い一方、実籾・新栄では4割弱と少なくなっています。

(4) 重要施設の優先順位

- ・将来の習志野市の重要施設で1位に挙げられたものは「小・中学校」が1,432人、「高齢者福祉施設」が709人、「保育所」が543人となっています。2位は「保育所」が583人、「高等学校」と「幼稚園」がそれぞれ530人となっています。3位は「保育所」が546人、「幼稚園」が515人、「小・中学校」が416人となっています。教育・育児と高齢者に関する施設が最も重要となっています。

4. 行政改革について

(1) サービス水準と受益者負担

- ・サービス水準と受益者負担の関係については、費用負担の現状維持を望む声はやや多く、「今よりサービス水準が低下してもやむを得ないので、受益者負担は今のままにしてほしい」が41.4%

となっていますが、「受益者負担が増えてもやむを得ないので、今のサービス水準を維持してほしい」は37.5%と同じくらい多くなっています。

- ・20代では負担増に関して消極的であり、「今よりサービス水準が低下してもやむを得ないので、受益者負担は今のままにしてほしい」が他の世代よりも多くなっています。
- ・「今よりサービス水準が低下してもやむを得ないので、受益者負担は今のままにほしい」は津田沼で4割半ば、「受益者負担が増えてもやむを得ないので、今のサービス水準を維持してほしい」は袖ヶ浦東で4割強となっています。

(2) 公共施設の管理運営方法

- ・公共施設の管理運営の実施については「民営化を含め適切に対応して欲しい」が35.4%、「公設民営、民設民営として欲しい」が21.1%、「統廃合を進めて欲しい」が19.7%となっています。統廃合も含めた公共施設の合理的運営が求められています。
- ・「公設公営を維持して欲しい」が70歳以上で2割を超えている一方、「民営化を含み適切に対応して欲しい」が20代から40代で4割となっています。
- ・「民営化を含め適切に対応して欲しい」は袖ヶ浦東で4割半ばを超えています。

(3) 今後取り組むべき行政改革の施策

- ・今後取り組むべき行政改革の施策については、「職員・人件費の削減」が35.2%、「業務の効率化、見直し」が32.8%、「収入に見合った事業の縮小・削減」が30.3%となっており、予算の削減・見直しが求められています。
- ・「職員数・人件費の削減」が60代で4割半ばとなっています。
- ・「業務の効率化、見直し」が袖ヶ浦東で4割強と多くなっています。

5. 協働型社会の在り方について

(1) 活動への参加状況

- ・仕事や家庭以外での活動については、「現在活動していないし、今後も活動しない」が44.1%で最も多くなっています。「現在活動していないが、今後活動してみたい」の31.2%と「現在活動している」の16.6%を合わせた『参加意向あり』が47.8%と5割弱となっています。
- ・「現在活動している」が20代で4.9%と少なくなっています。『参加意向あり』は50代60代で6割弱となっています。一方、20代30代では「現在活動していないし、今後も活動しない」が5割を超えています。
- ・活動している団体として、「サークル活動」が36.5%、「町会・自治会・まちづくり会議での活動」が34.4%となっています。
- ・「サークル活動」は20代と60代以上で4割を超えており、「学校支援活動」は30代で4割弱、40代で3割弱となっています。50代では「ボランティア団体・NPO等での活動」が3割弱となっています。
- ・活動している内容については、「スポーツ活動」が22.7%、「文化・芸術活動」が20.1%、「保

健・福祉活動」が16.8%となっています。

- ・男性は「スポーツ活動」や「環境保全活動」が多く、女性は「文化・芸術活動」や「保健・福祉活動」が多くなっています。
- ・現在活動していない参加意向者の、活動していない理由は「どのような活動があるのかわからない」が45.7%、「仕事が忙しい」が42.6%、「どのように始めたらよいのかわからない」が36.3%となっています。
- ・男性は「仕事が忙しい」が多く、女性は「子育てが忙しい」が多くなっています。
- ・「子育てが忙しい」は30代で4割半ばとなり、「仕事が忙しい」は40代50代で5割を超えています。20代は「どのような活動があるのかわからない」が5割強、「どのように始めたらよいのかわからない」が4割半ばと多くなっています。
- ・現在活動していない参加意向者の活動してみたいことは、「文化・芸術活動」が24.0%、「スポーツ活動」が21.4%、「子どもの健全育成活動」が20.9%となっています。
- ・参加意向は参加状況と同じく、男性は「スポーツ活動」や「環境保全活動」が多く、女性は「保健・福祉活動」や「文化・芸術活動」が多くなっています。
- ・「スポーツ活動」は20代で3割半ばとなっており、「子どもの健全育成活動」は30代で3割弱となっています。
- ・現在も今後も活動しない人の理由は、「家事や仕事、学業等の事情」が41.9%、「興味がなく、活動したいと思わない」が21.2%となっています。
- ・「家事や仕事、学業等の事情」が20代から40代で5割半ばから6割弱となっています。

(2) 「まちづくり会議」の認知度

- ・「知らない」が74.7%、「知っている」が18.7%となっています。
- ・「知らない」が20代で9割強、30代では9割弱となっており、その他の年齢層でも7割半ばから6割強となっています。
- ・「知っている」が香澄・芝園地区で4割、袖ヶ浦東と秋津・茜浜地区で3割半ばと多くなっています。地区により認知度に差があり、今後の周知方法の課題となります。

(3) 「地域担当制」の認知度

- ・「知らない」が87.0%、「知っている」が7.8%となっています。
- ・「知っている」は高齢になるにつれて多くなる傾向があります。
- ・全体的に認知度が低く、今後の周知方法の課題となります。

(4) イベントへの参加状況

- ・市主催のイベントや行事への参加状況は「参加したことがない」が56.9%、「時折、参加している」が33.9%となっています。
- ・男性より女性の方が参加しています。
- ・40代に参加者が多く、20代は少なくなっています。
- ・参加者の中で、パブリックコメント等での発言、議会、委員会の傍聴、公募委員の経験等の有無は「ない」が86.5%となっています。

- ・高齢になるにつれて、パブリックコメント等の経験が「ある」が増える傾向にあります。
- ・市主催のイベントや行事へ「参加したことがない」人の理由は、「内容や参加方法を知らなかった」が40.3%、「家事や仕事、学業等の家庭の事情」が28.9%、「興味がなく、参加したいと思わない」が19.9%となっています。イベント・行事の周知方法、参加方法の工夫が必要とされます。
- ・「内容や参加方法を知らなかった」は20代30代で5割を超えており、「家事や仕事、学業等の家庭事情」は40代50代で3割半ば前後となっています。「興味がなく、参加したいと思わない」は70歳以上で2割半ばを超えています。

6. 行政情報について

(1) 情報の入手方法

- ・市からの情報の入手方法は「広報紙」が群を抜いて最も多く77.6%、次いで「地域の回覧板」が28.9%、「習志野市ホームページ」が27.8%、「新聞（タウン誌などを含む）」が11.2%となっています。市の情報源として、広報紙が広く住民に浸透していることが伺えます。
- ・「地域の回覧板」は年齢が高くなるにつれて割合が増加傾向にあり、「習志野市ホームページ」は低年齢層に割合が多くなっています。全年代に情報が行き届く為に、広報紙を主体に様々な情報手段が必要とされています。

(2) 知りたい情報

- ・市民として知りたい情報については、「新しい制度や事務手続き」が49.1%、「市のサービスの内容」が38.8%、「市内施設の紹介・利用方法・予約状況」が38.3%となっています。
- ・男性は市政に関心が高く、「市の今後の計画」「市の予算の使い方」の割合が多く、女性は提供されるサービス内容に関心があり、「市のサービス内容」「新しい制度や事務手続き」の割合が多くなっています。
- ・「市の予算の使い方」は袖ヶ浦東で3割半ばと多くなっています。

7. 都市イメージ（将来像）について

(1) 希望する習志野市の都市イメージ

- ・市の将来像の意向は「生活環境の整った快適で住みやすい都市」が29.7%、「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」が18.9%の順となっています。生活基盤の整備や福祉の充実が望まれています。
- ・男性は「生活環境の整った快適で住みやすい都市」、女性は「生活環境の整った快適で住みやすい都市」と「保健・医療・福祉などの充実した福祉都市」の割合が多くなっています。

(2) 現在の習志野市のイメージに合う言葉

- ・現在の市のイメージに合う言葉については「のんびりした」が23.0%で最も多く、次いで「落ち着いた」が22.5%、「親しみのある」が21.6%となっています。
- ・「のんびりした」と「落ち着いた」はどちらも20代が特に多くなっています。

(3) 10年後の習志野市のイメージとしてふさわしい言葉

- ・10年後の市のイメージにふさわしい言葉については「安全な」が35.9%で最も多く、次いで「豊かな」が21.1%、「いきいきした」が19.3%となっています。
- ・「安全な」は50代で4割を超えています。

習志野市市民意識調査
結果報告書

平成24年10月発行

発行 習志野市 企画政策部 企画政策課
習志野市鷺沼1丁目1番1号
電話：047-451-1151（代表）